

**江南市地域公共交通基礎調査
基 礎 調 査 結 果
報 告 書**

平成29年3月

江 南 市

<目 次>

序章 背景・目的	1
1. 背景	1
2. 目的	1
3. 検討体制と経過	2
4. 調査結果概要及び今後の対応方針	3
第1章 江南市の地域構造	5
1. 江南市の人口構造の推移	5
2. 人口分布の状況	6
3. 人口流動	10
4. 産業構造	14
5. 中京都市圏パーソントリップ調査結果	17
6. 地勢	21
第2章 江南市の公共交通の実態	22
1. 交通網及び人口カバー率の状況	22
2. 名鉄犬山線の状況	25
3. 公共交通に対する市の負担額の推移	26
第3章 上位関連計画における公共交通事業の位置づけ	27
1. 江南市戦略計画第二次改訂基本計画	28
2. 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略	31
3. 江南市都市計画マスタープラン	33
第4章 市民アンケート調査結果（平成 25 年度調査）	35
1. 調査概要	35
2. アンケート調査結果要約	35
3. アンケート調査結果（抜粋）	36
第5章 利用者アンケート調査結果	41
1. 調査結果のまとめ	41
2. 名鉄バス「江南・病院線」の調査結果	43
3. 名鉄バス「江南団地線」の調査結果	48
4. いこまい CAR の調査結果	53
5. 大口町コミュニティバスの調査結果	57

第 6 章 江南市地域公共交通を語る会の開催結果.....	61
1. 語る会の概要	61
2. 語る会での主な意見.....	62
第 7 章 基礎調査結果.....	66
1. 基礎調査結果	66
第 8 章 調査結果をふまえた今後の対応方針.....	72
1. 調査結果のとりまとめ	72
2. 今後の対応方針	73
3. 公共交通施策において検討が求められる事項とその対応の考え方.....	76
資料編（検討に用いた資料）	79
1. 江南市内の現状のバス路線.....	81
2. いこまい CAR の経緯	82
3. いこまい CAR（予約便）の事業内容	89
4. いこまい CAR（予約便）の利用状況	92
5. 名鉄バス事業に対する補助の経緯	97
6. 名鉄バス事業の路線（区間）ごとの補助額（平成 27 年度）	99
7. 名鉄バスの利用状況.....	101
8. 福祉タクシーの利用状況	104
9. 大口町コミュニティバスの利用状況	106
10. 市民アンケート調査結果（平成 25 年度調査）	112
11. 市民アンケート調査票	157
12. 利用者アンケート調査票.....	168
13. 主要施設における公共交通の利用実態について	176
14. 江南市地域公共共通を語る会の案内・説明資料.....	178
15. 江南市地域公共共通を語る会の各回の成果	191
16. 江南市地域公共交通会議設置要綱・委員名簿	204

序章 背景・目的

1. 背景

江南市の公共交通を取り巻く環境は、バス利用客の減少を要因に一部の路線バスが廃止され、市民や議会等から高齢者等の交通弱者に対する移動手段の確保を行うよう強い要望があった。こうした要望を受け、江南市では、平成 14 年 1 月から「いこまい CAR（定期便）」の試行運行を開始した。定期便は、幹線と支線から構成し、利用状況やアンケート調査を基に、運行経路の検討を実施した。

その結果、平成 16 年 10 月には「いこまい CAR（定期便）」の幹線のみ本格運行を開始した。

平成 19 年 10 月には、「いこまい CAR（予約便）」の試行運行を開始し、交通空白地の解消を試みる。

平成 20 年度には、江南厚生病院の開院を踏まえ、名鉄バス「江南・病院線（布袋駅～江南駅～江南厚生病院）」を新設し、路線重複していた「いこまい CAR（定期便）」の一部を廃止し、新コースの運行を行った。

平成 21 年度には、「いこまい CAR（予約便）」の利用方法の改正・本格運行を開始した。

また、江南駅東地区の交通の利便性向上のため、以前から運行していた大口町コミュニティバスの運行系路上に市内 4 箇所のバス停を設置し、江南市内での利用を開始した。

平成 25 年度には、名鉄バスとの協議により、路線バスの分割・延長が実施されたことにより、路線重複するため、「いこまい CAR（定期便）」の全線を廃止し、運行を終了した。

平成 26 年度には、利用者の増加による市負担額の増大に伴い「いこまい CAR（予約便）」の料金制度改正を行っている。

以上の運行サービスの提供、見直しを行う一方で、平成 25 年度には、市民向けアンケート調査を実施し、住民意向の把握も行っている。

一方、道路運送法や地域公共交通活性化再生法などの関係法令の改正など、公共交通を取り巻く環境も変化しており、こうした状況に対して、本市における公共交通の取り組みの今後の方向性を検討するため、各種調査の実施が求められている。

2. 目的

本市における地域公共交通の現状把握、バス・いこまい CAR 等の利用の実態等の調査を行い、地域のニーズにあった持続可能な交通サービスの提供を図るため、市の総合的な公共交通体系に関する将来像・方針等について整理・検討を実施する。

3. 検討体制と経過

(1) 検討体制

当該調査の実施に当たり、市の内部で組織する「江南市公共交通再編委員会」及び、地域の交通関係者で組織する「江南市地域公共交通会議」で、検討を行った。

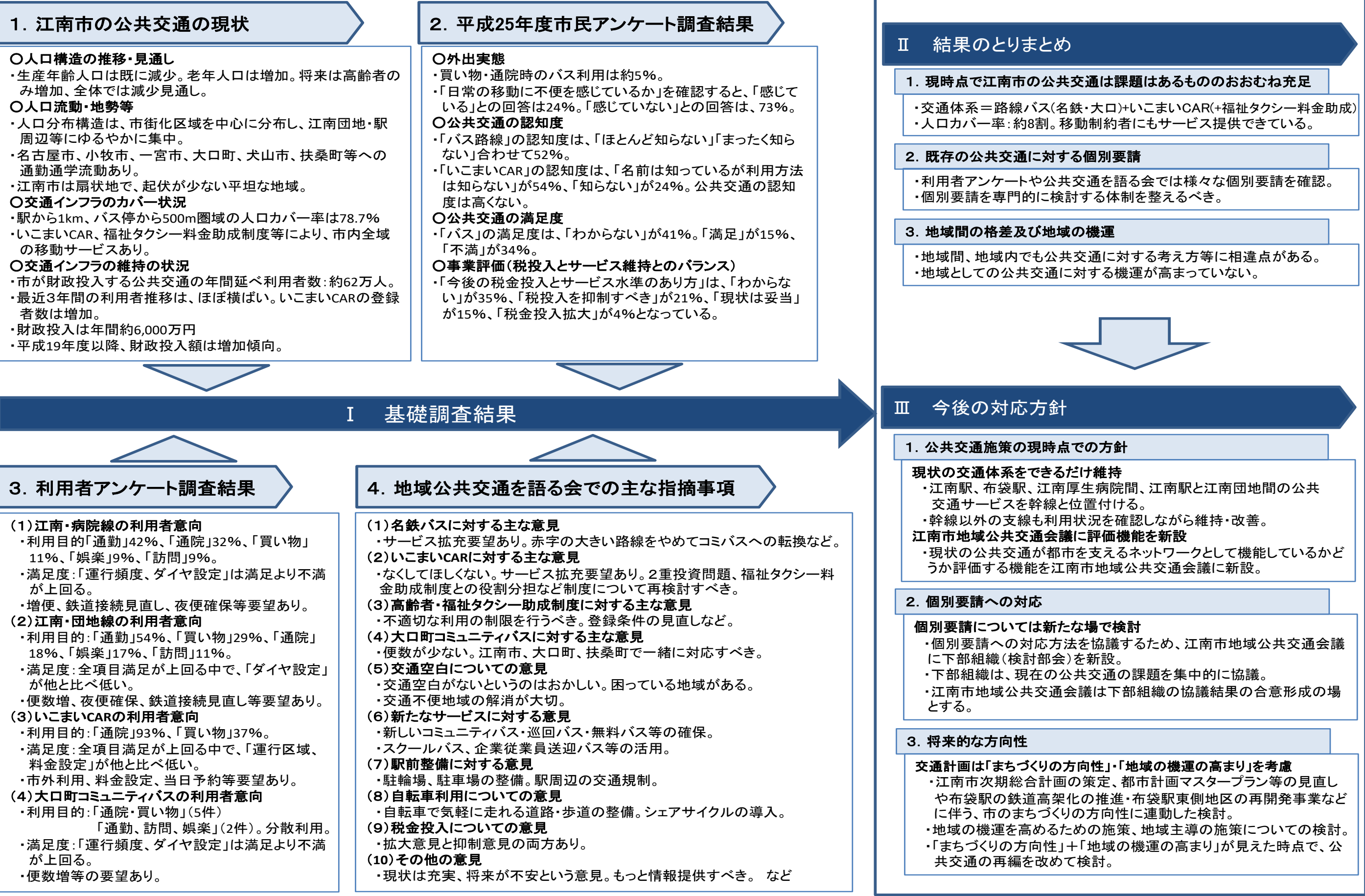
(2) 検討経過

江南市地域公共交通会議での検討経過は以下のとおり。

図表 序-1 検討経過

回数	日時	テーマ
第1回	平成28年6月6日 10:00～12:00	○協議事項 ・江南市公共交通の再編について ○報告事項 ・いこまいCAR(予約便)及び名鉄バス(補助路線)の利用状況について
第2回	平成28年8月4日 14:00～16:00	○報告事項 ・江南市の公共交通の現状について ○協議事項 ・利用者に対するアンケート調査方法について ・江南市地域公共交通を語る会(意見交換会)について
第3回	平成28年10月14日 14:00～16:00	○報告事項 ・利用者アンケート調査の結果について ・江南市地域公共交通を語る会の開催結果について ○協議事項 ・基礎調査結果の取りまとめと今後の対応方針について
第4回	平成28年12月26日 14:00～16:00	○協議事項 ・公共交通再編の今後の方向性について ○報告事項 ・大口町コミュニティバスルート変更及び「尾崎町」バス停の移設について
第5回	平成29年3月22日 14:00～16:00	○報告事項 ・江南市地域公共交通基礎調査結果について ○協議事項 ・今後の検討体制及びスケジュールについて

4. 調査結果概要及び今後の対応方針



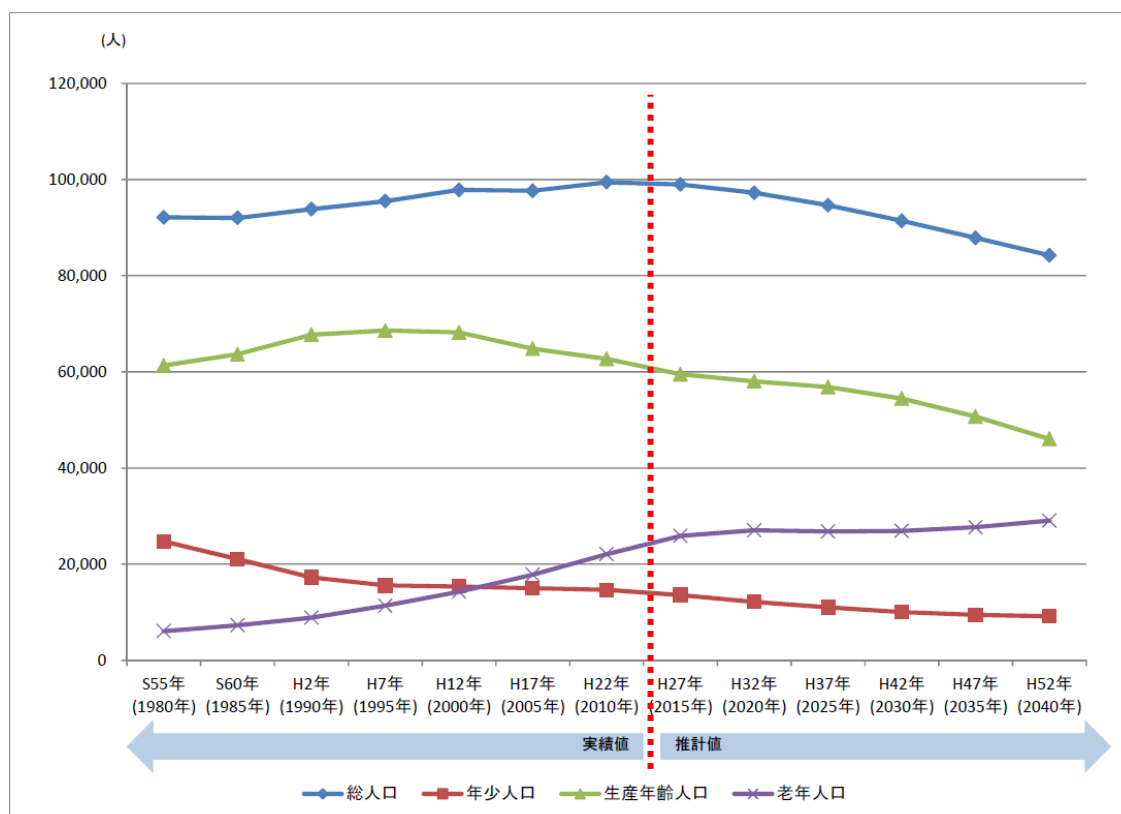
第 1 章 江南市の地域構造

1. 江南市の人口構造の推移

江南市の人口構造は、2010 年までゆるやかな増加を続けてきたが、生産年齢人口は 2000 年から既に減少に転じている。一方で、老年人口は増加の一途を辿っており、今後もこの傾向は続く見込みとなっている。

(1) 人口

図表 1-1 江南市の人口の推移



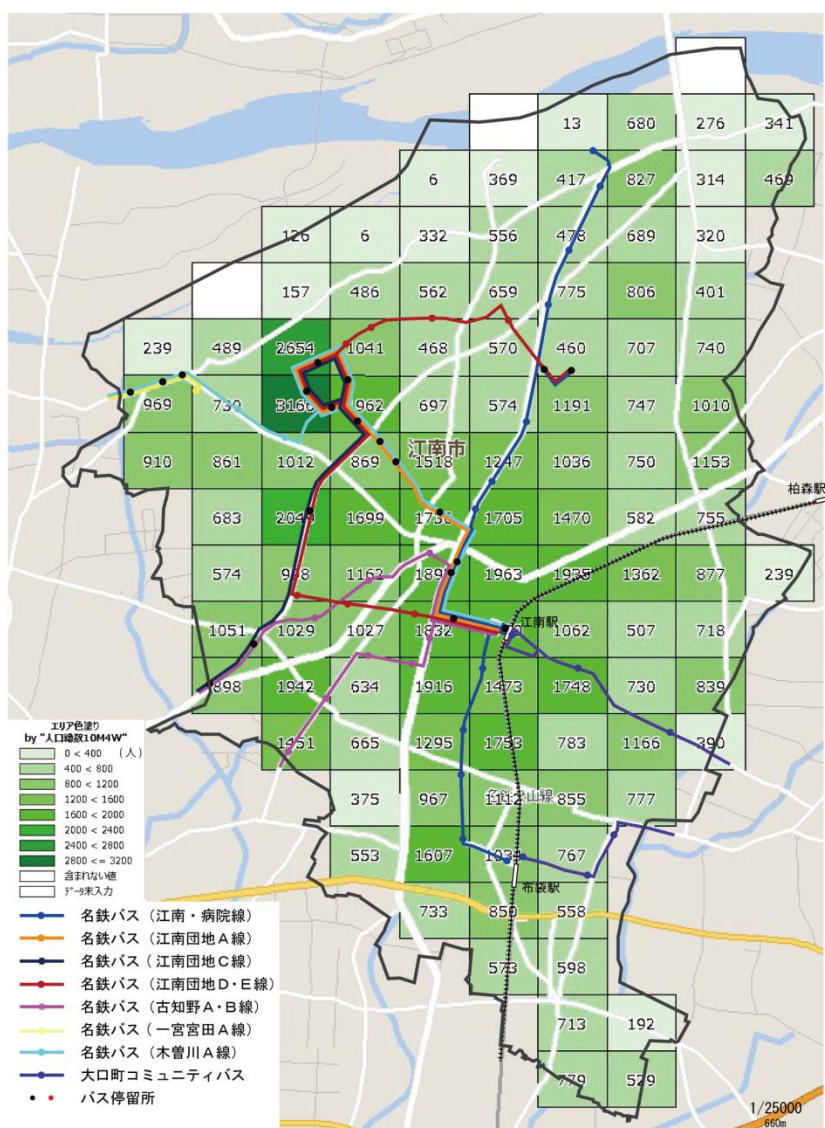
出典：江南市人口ビジョン

資料：実績値 国勢調査、推計値 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口（平成 25 年 3 月推計）」

2. 人口分布の状況

江南市の人口分布は、鉄道駅周辺・主要幹線道路周辺・江南団地により大きな人口集積がみられる。また、人口分布と鉄道、バス路線の関係をみると、エリア人口が 1,600 人以上の地域には公共交通機関がおおむね行き届いている状況にある。

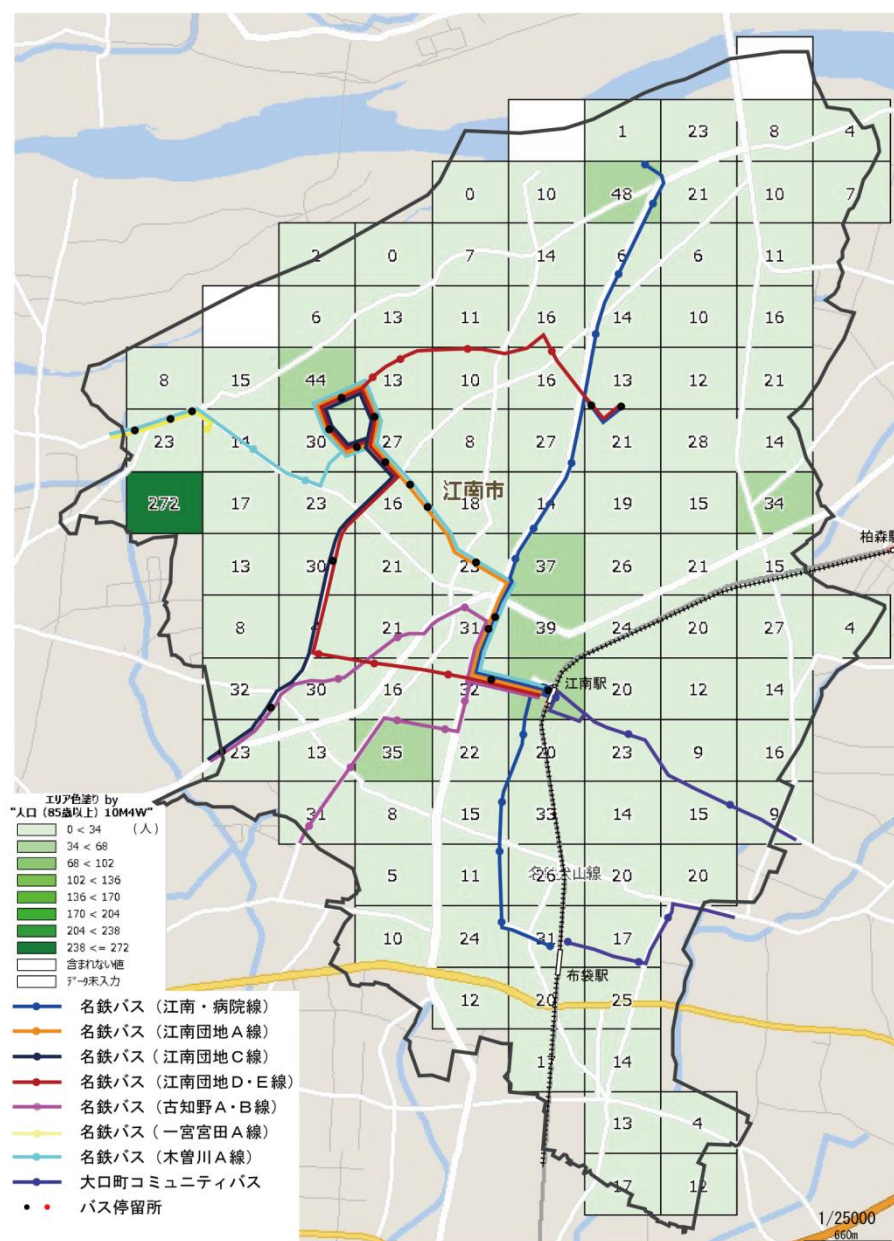
図表 1-2 人口分布（総人口）



出典：国勢調査（平成 22 年度）に基づく 4 次メッシュ人口

福祉タクシー（高齢者）の対象者である 85 歳以上の人口の分布が目立つのは主に、市の西端部、すいとぴあ江南付近、江南団地、及び市の中心部である。

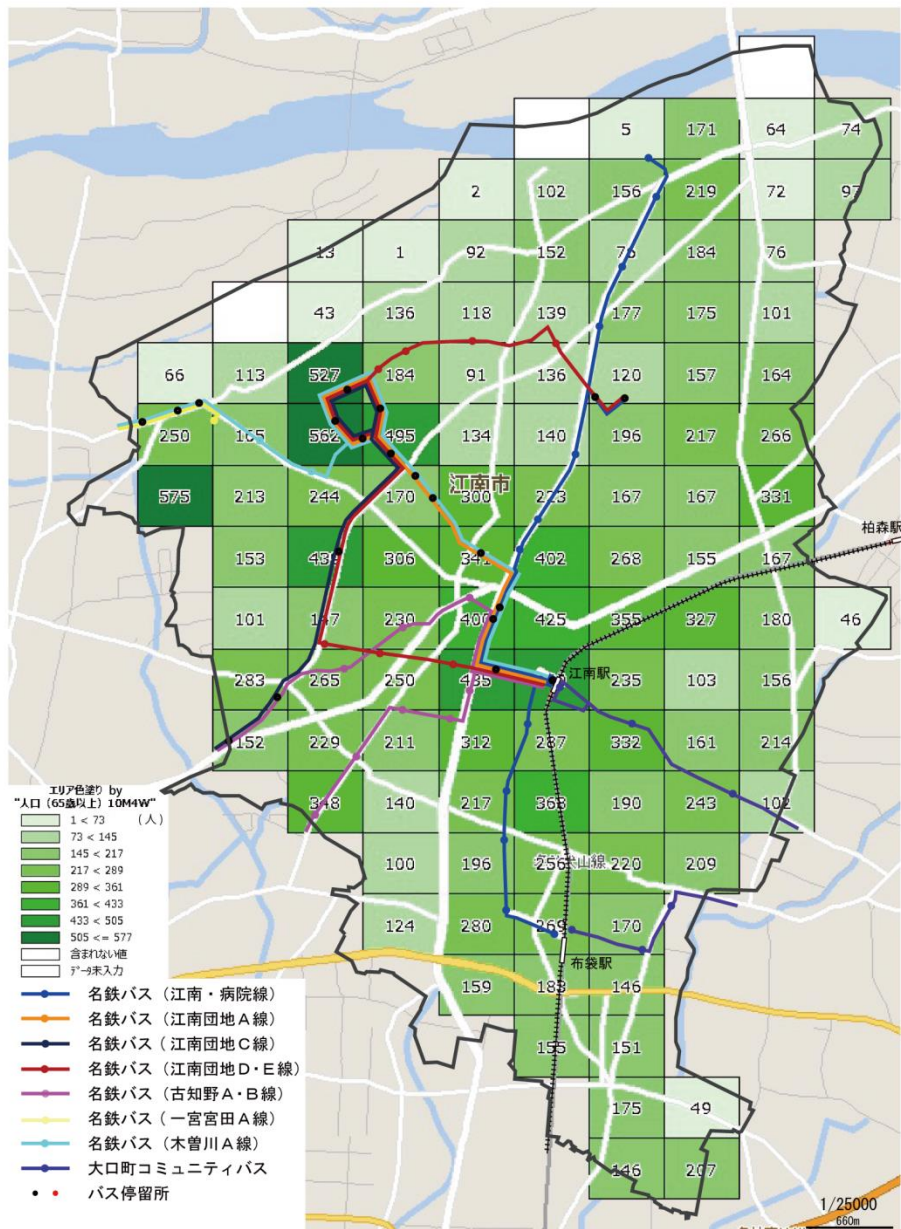
図表 1-3 人口分布（85 歳以上）



出典：国勢調査（平成 22 年度）に基づく 4 次メッシュ人口

65 歳以上の人口の分布の傾向は、85 歳以上と類似しているが、市内全域にわたってより広範に居住している。

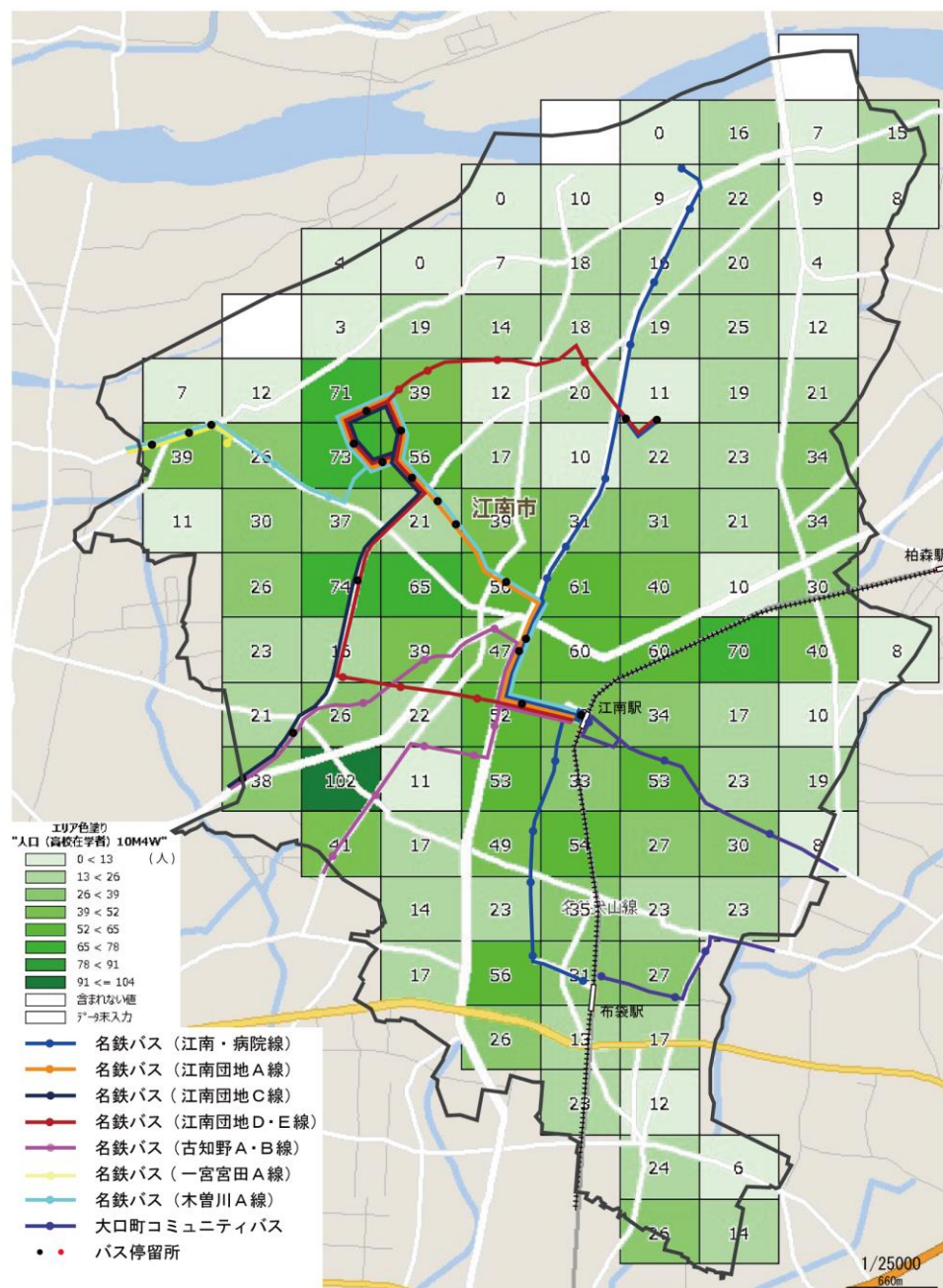
図表 1-4 人口分布（65 歳以上）



出典：国勢調査（平成 22 年度）に基づく 4 次メッシュ人口

高校在学者の人口の分布は、比較的バス路線周辺に多くなっている。

図表 1-5 人口分布（高校在学者）



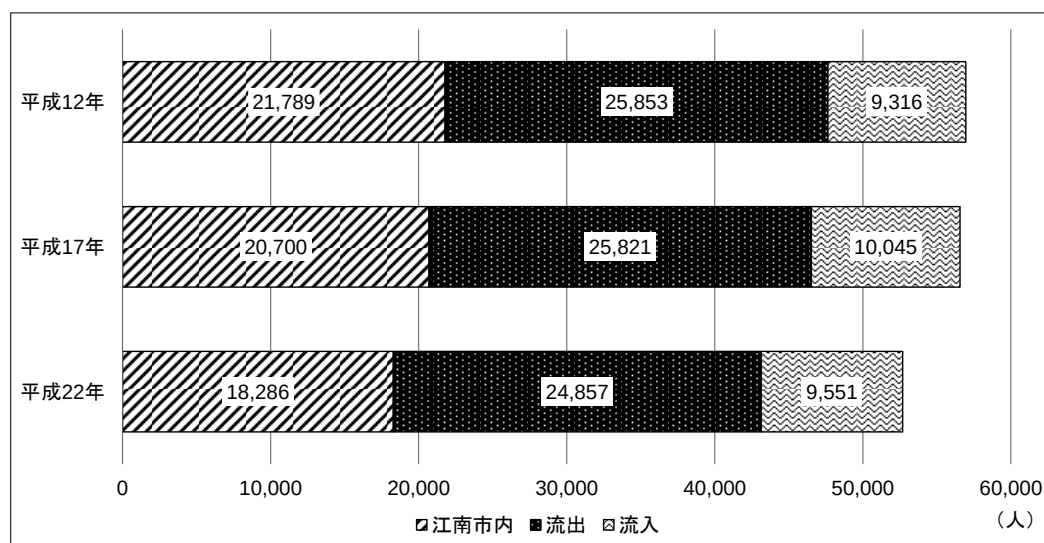
出典：国勢調査（平成 22 年度）に基づく 4 次メッシュ人口

3. 人口流動

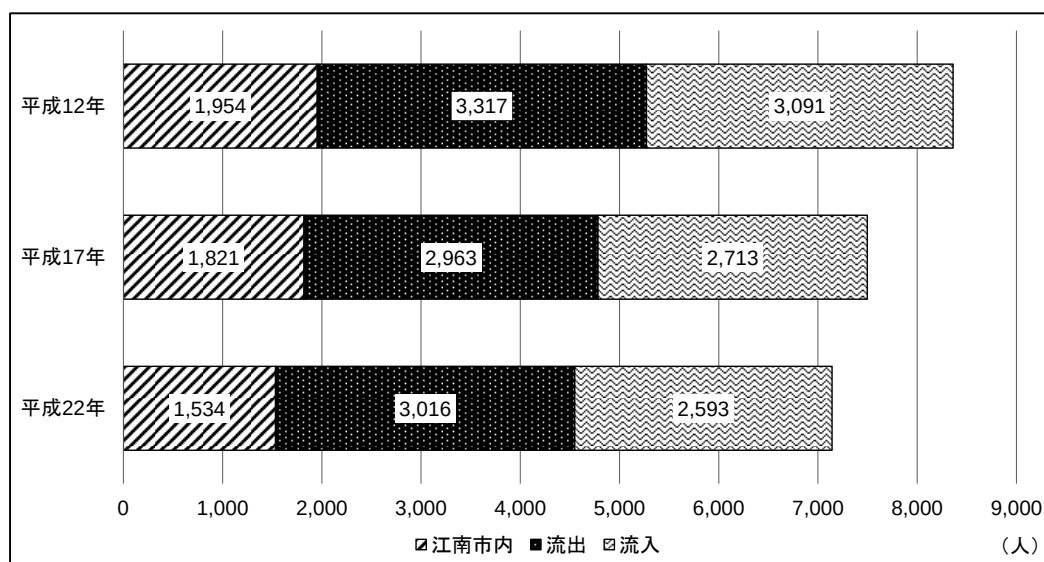
- ・ 平成12年度から平成22年度の変化をみると、通勤・通学ともに市内の人口流動が減少している。
- ・ 平成22年度の通勤流動実態をみると、市内が最も多く18,286人を示す。また、流出は、名古屋市、小牧市、一宮市、大口町、犬山市、扶桑町の順に多くなっており、後述（4-3 経済圏）の名古屋経済圏内への流出が多くを占めている。
- ・ 平成22年度の通学流動実態をみると、市内が最も多く1,534人を示す。また、流出は、名古屋市、一宮市、扶桑町、北名古屋市、犬山市、小牧市の順に多くなっており、名古屋市の大学、高校への通学者が多い事がわかる。

図表 1-6 人口流動の経年変化（通勤・通学）

【通勤】



【通学】



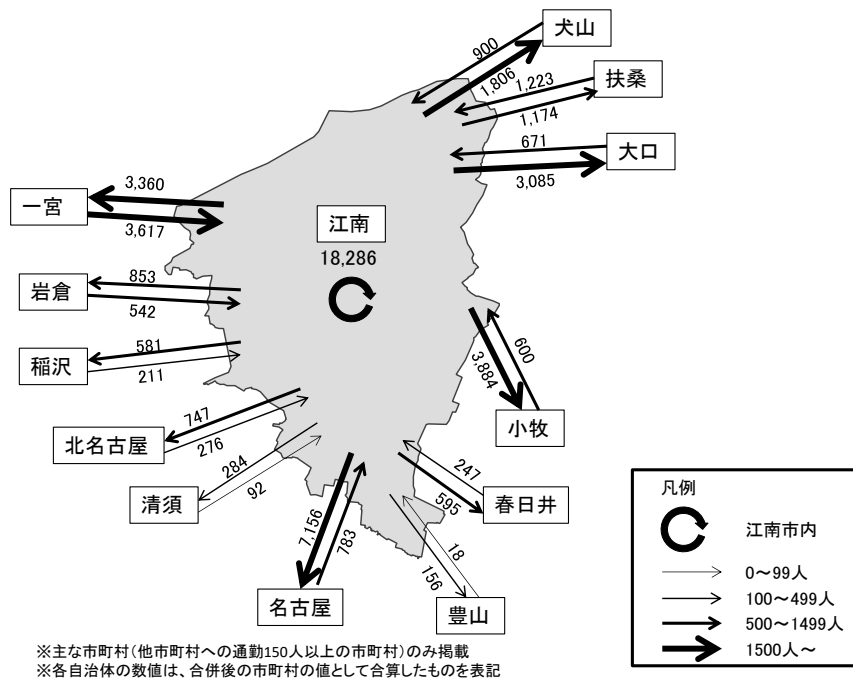
出典：国勢調査

※ここでの「流出人口」は、国勢調査での従業地・通学地が愛知県内の他市町村であり、常住地が江南市である人口をいう。

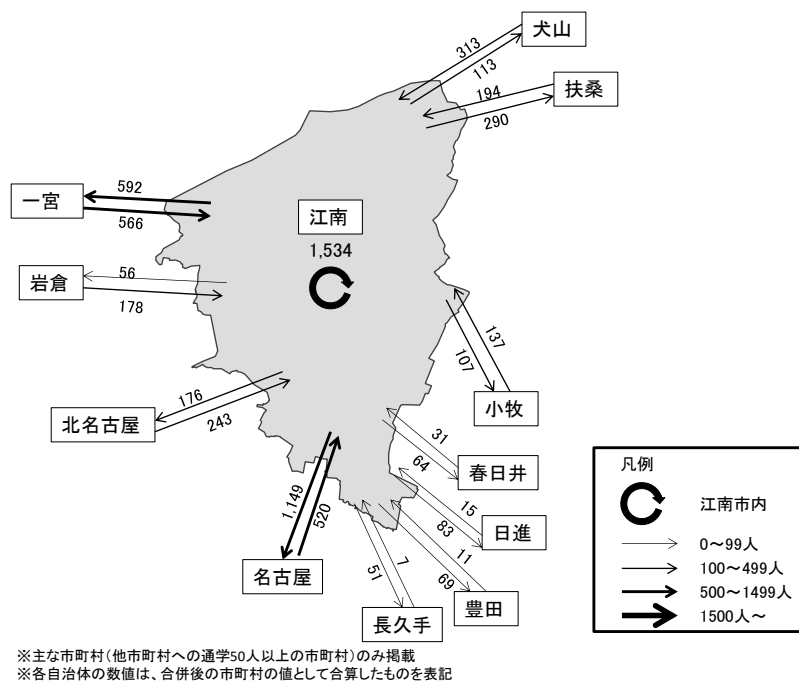
※ここでの「流入人口」は、国勢調査での従業地・通学地が江南市の人口のうち、その常住地が愛知県内の他市町村にある人口をいう。

平成 22 年

図表 1-7 通勤流動実態（平成 22 年）



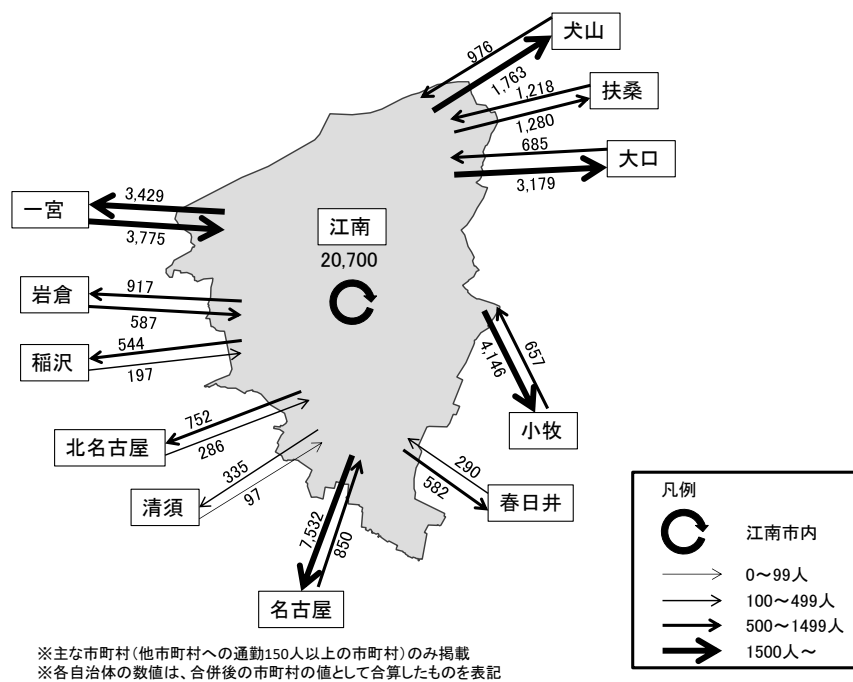
図表 1-8 通学流動実態（平成 22 年）



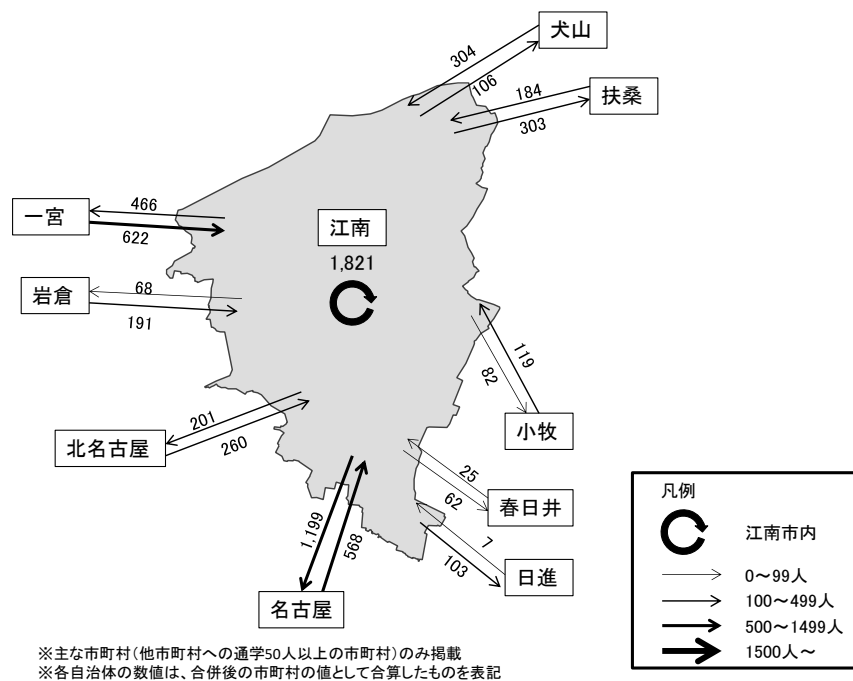
出典：平成 22 年国勢調査

平成 17 年

図表 1-9 通勤流動実態（平成 17 年）



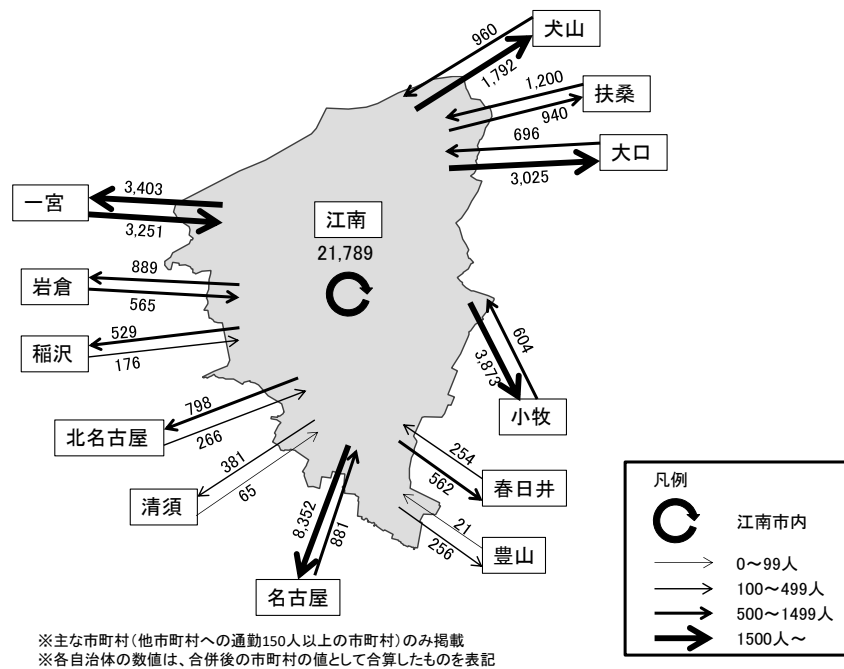
図表 1-10 通学流動実態（平成 17 年）



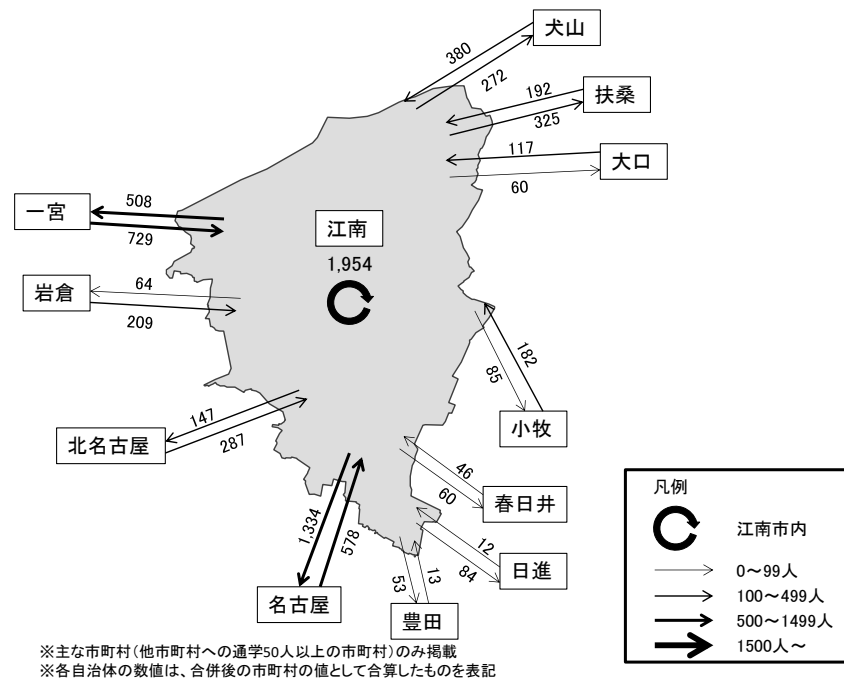
出典：平成 17 年国勢調査

平成 12 年

図表 1-11 通勤流動実態（平成 12 年）



図表 1-12 通学流動実態（平成 12 年）



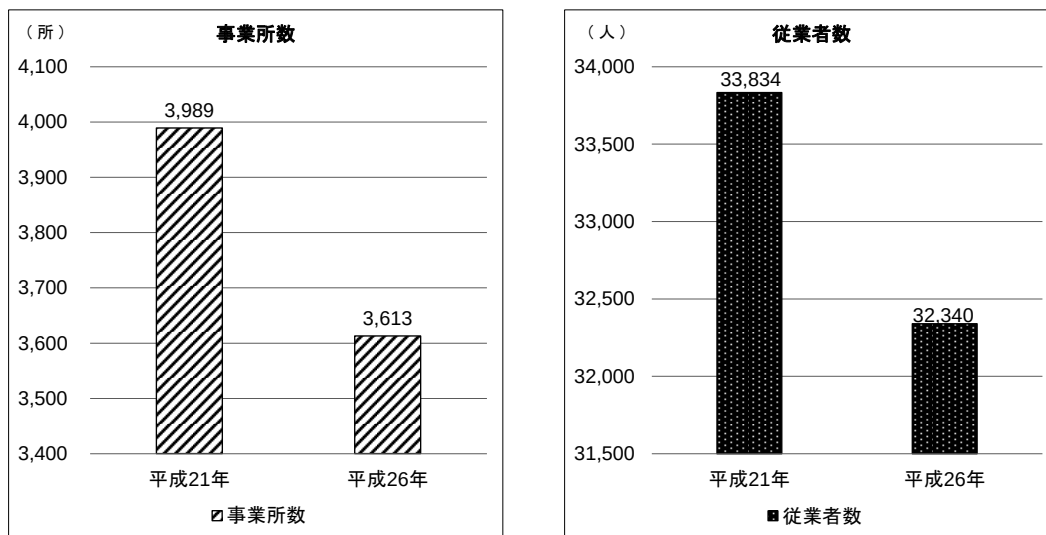
出典：平成 12 年国勢調査

4. 産業構造

(1) 産業構造

- ・ 江南市の事業所数は平成 21 年から平成 26 年までトレンドとしては減少傾向にある。
- ・ 平成 21 年と平成 26 年を比べると、1 事業所あたりの平均従業者数は増加傾向にある。

図表 1-13 事業所数・従業者数の推移



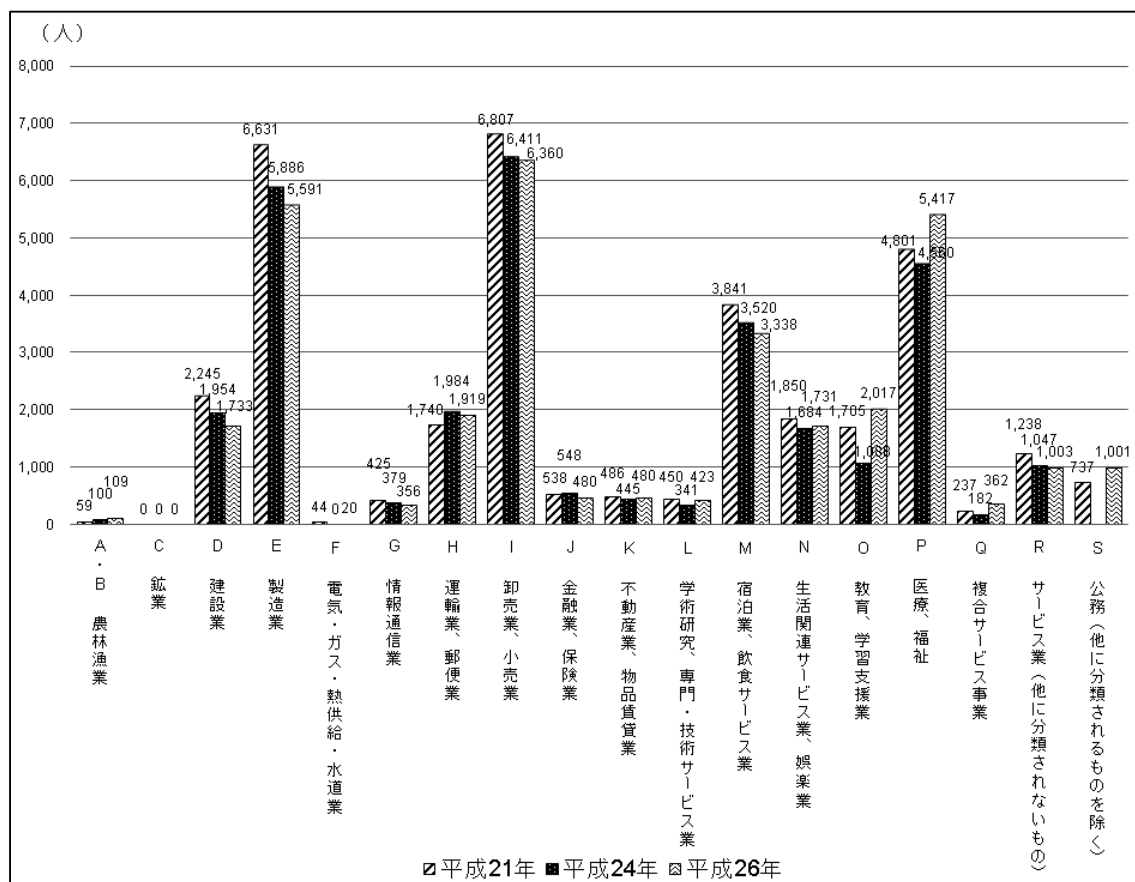
	平成21年	平成26年
事業所数(所)	3,989	3,613
従業者数(人)	33,834	32,340
1事業所当たり従業者数 (人/所)	8.5	9.0

出典：経済センサス-基礎調査（平成 21 年、平成 26 年）

(2) 産業別就業構造

江南市の産業別就業者数は H26 では多い順に「卸売業、小売業」、「製造業」、「医療、福祉」である。「医療、福祉」の就業者数が経年で増加している一方で、「卸売業、小売業」と「製造業」の就業者数は減少傾向にある。

図表 1-14 産業大分類別の就業者数の推移



出所：こうなんの統計

出典：経済センサス-基礎調査（平成 21 年、平成 26 年）

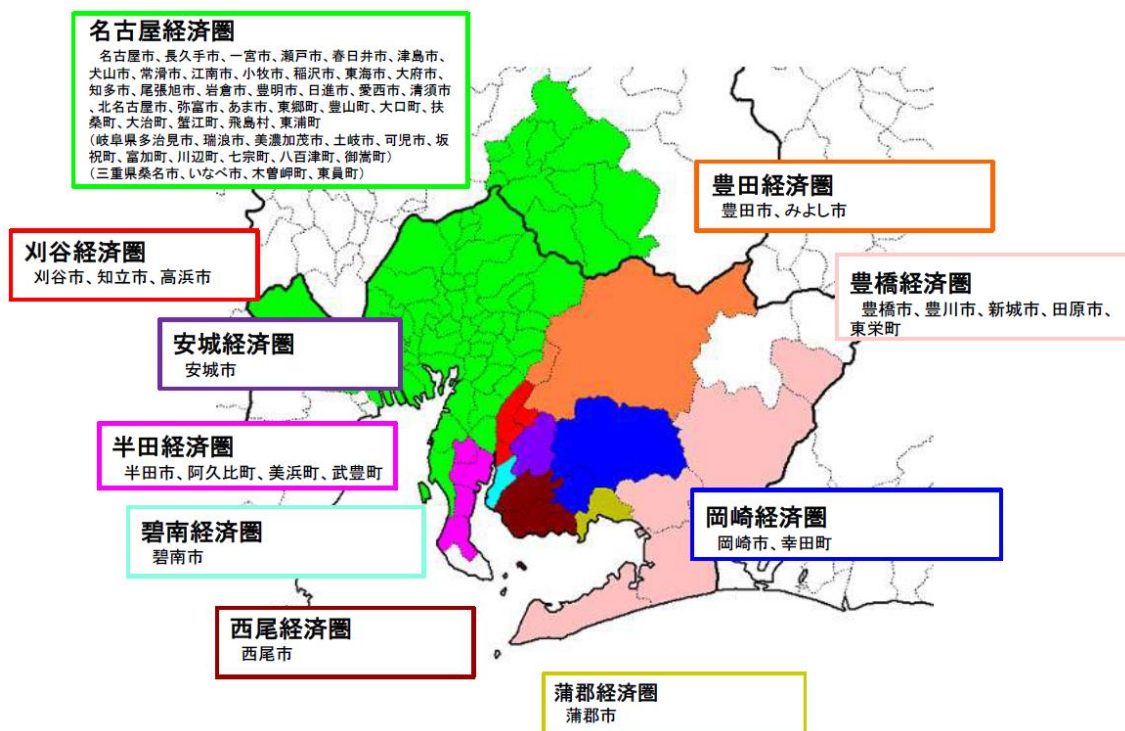
経済センサス-活動調査（平成 24 年）

※ 平成 24 年経済センサス-活動調査においては、産業大分類の「S 公務」が計上されていない。

(3) 経済圏

愛知県内は 10 の経済圏に区分される。
その中で江南市は名古屋経済圏に区分される。

図表 1-15 経済圏



出所：経済産業省「愛知県の地域経済分析」

※ 「日本の都市雇用圏設定基準」(金本良嗣・徳岡一幸『応用地域学研究』No.7, 1-15, 2002)による。

5. 中京都市圏パーソントリップ調査結果

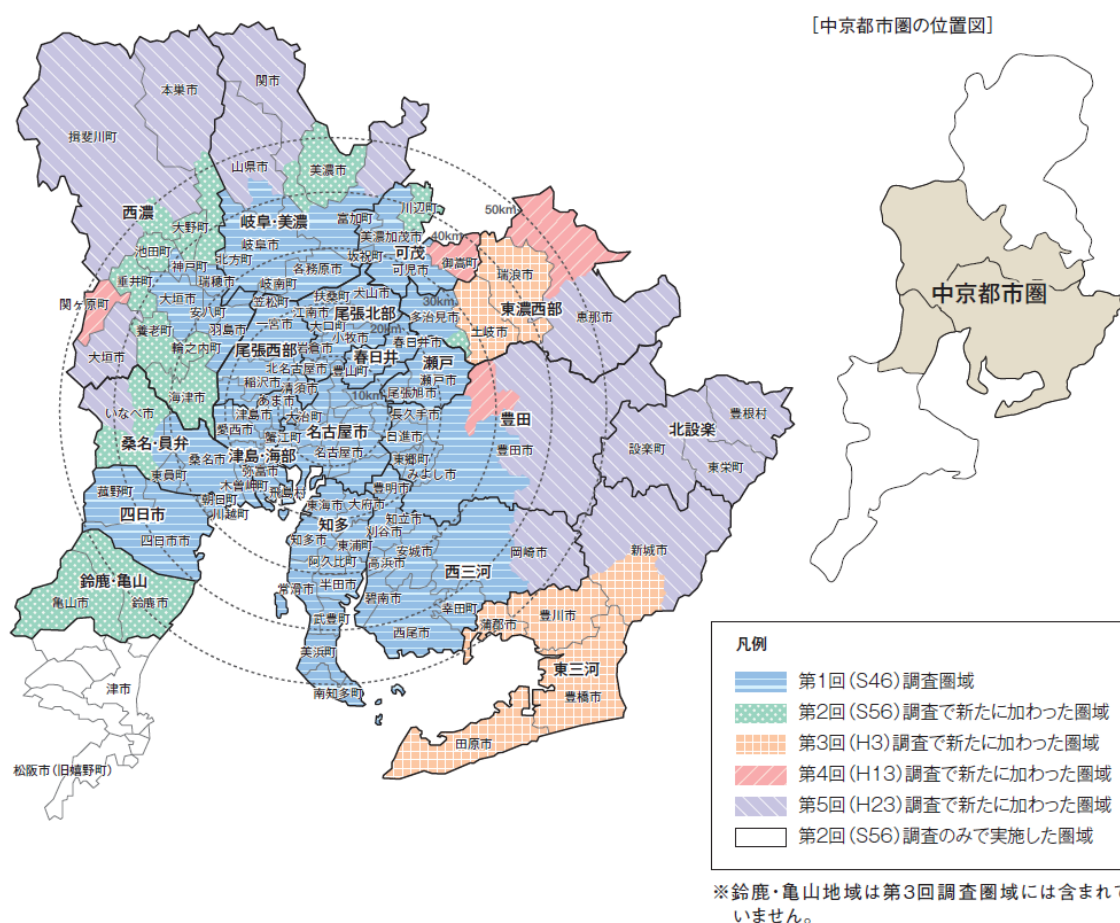
「第5回中京都市圏パーソントリップ実態調査結果の概要」より抜粋・整理した。

(1) 中京都市圏総合都市交通体系調査の概要

- ・ パーソントリップ調査（パーソン＝人、トリップ＝移動）とは、1日の移動について、「年齢などの個人属性」「出発地・目的地」「移動目的」「移動時刻」「交通手段」などを調査し、人の1日のすべての移動量を捉えるもの。
- ・ 中京都市圏パーソントリップ調査では、昭和46年以降10年毎に実施しており、今回調査は5回目の調査を平成23年に実施。
- ・ パーソントリップ調査は都市圏の人の移動を総合的に把握する唯一の調査であり、交通だけでなく、防災、環境分野など様々な分野に活用されている。

※中京都市圏総合都市交通計画協議会「パーソントリップ調査からみる中京都市圏における人の動き（概要版・本編）」及び「第5回中京都市圏パーソントリップ調査結果の概要」より抜粋・一部要約。

図表 1-16 調査圏域（対象圏域：愛知県、岐阜県南部、三重県北部の96市町村）

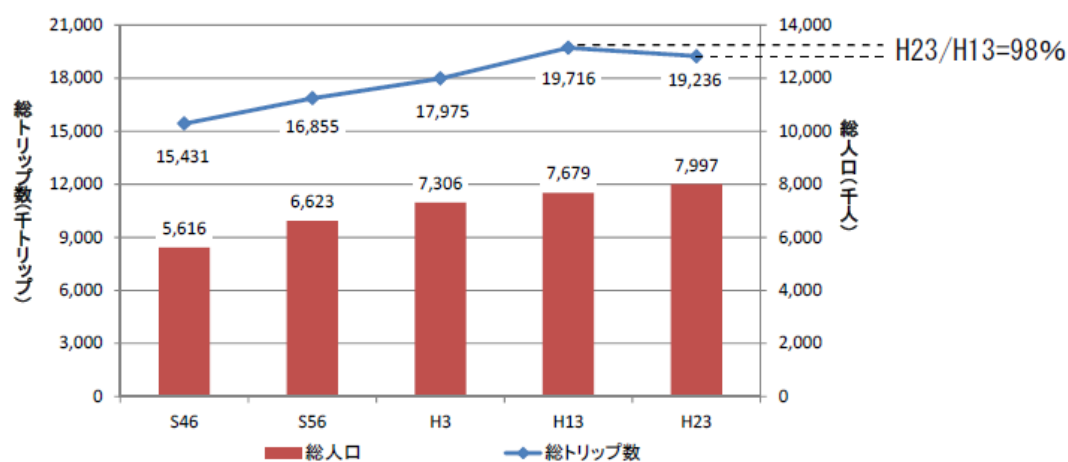


（２）中京都市圏における１日の人の動き

- ・13年までは、人口の増加に伴って、総トリップ数は増加し続けていたが、23年の集計結果で初めて総トリップ数が減少。減少した要因として、少子・高齢化や情報化の進展などにより、外出機会や一人当たりのトリップ数が減少していることが想定される。

図表 1-17 第5回調査の規模と総トリップ数の推移

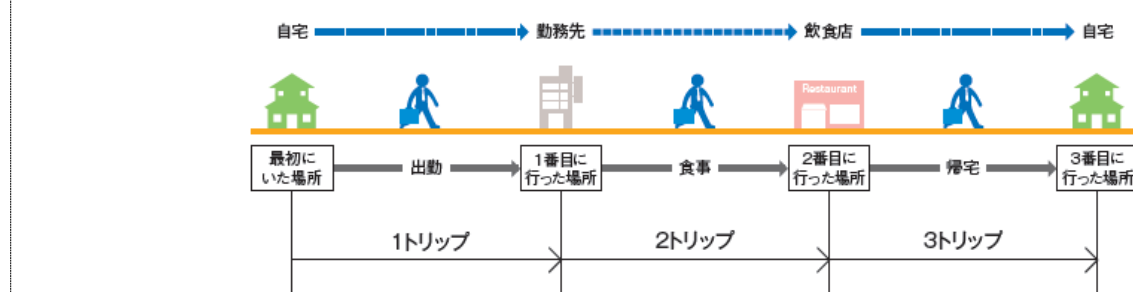
対象市町村数	岐阜県南部	16市16町
	愛知県全域	37市15町2村 (名古屋市を含む)
	三重県北勢地域	5市5町
	中京都市圏	58市36町2村
対象面積	10,463km ²	
総人口	9,999千人	
5歳以上人口	9,485千人	



都市圏人口（5歳以上）及び総トリップ数の推移 【第1回調査圏域での推移】

注：このグラフで示す総人口は中京都市圏内に居住する5歳以上人口

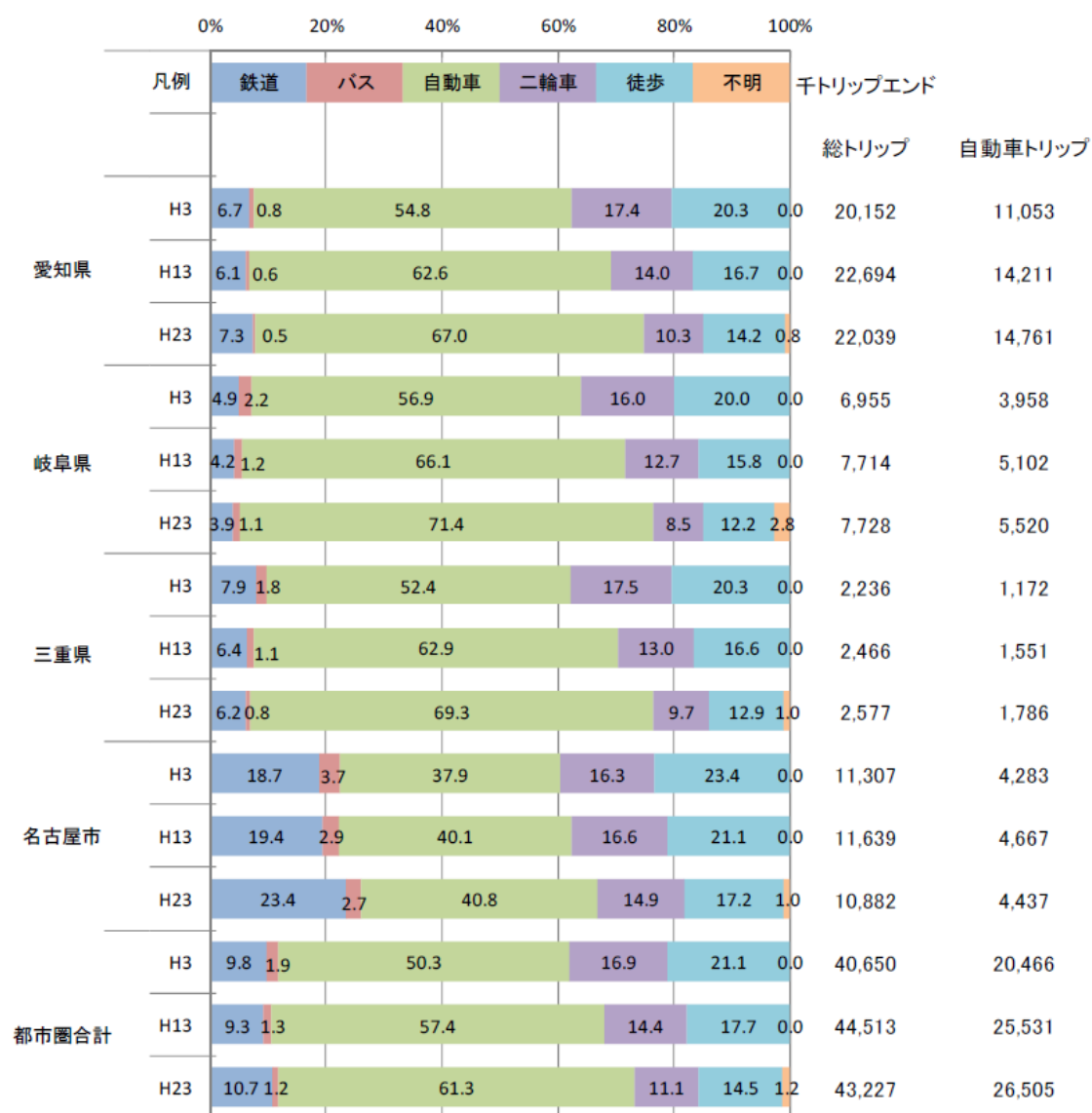
人がある目的をもって「ある地点」から「ある地点」に移動するときの1回の動きをトリップといいます。移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。



(3) 機関分担の状況

- ・ 交通手段の内訳の推移としては、愛知県（名古屋市除く）では自動車の分担が増加している。鉄道、バスについてはあまり変化がない。
- ・ 愛知県（名古屋市除く）の方が、名古屋市よりも自動車の分担の経年増加率が大きく、より自動車への依存度が高まっている。

図表 1-18 3 県 1 市別交通手段別発生集中量の現状

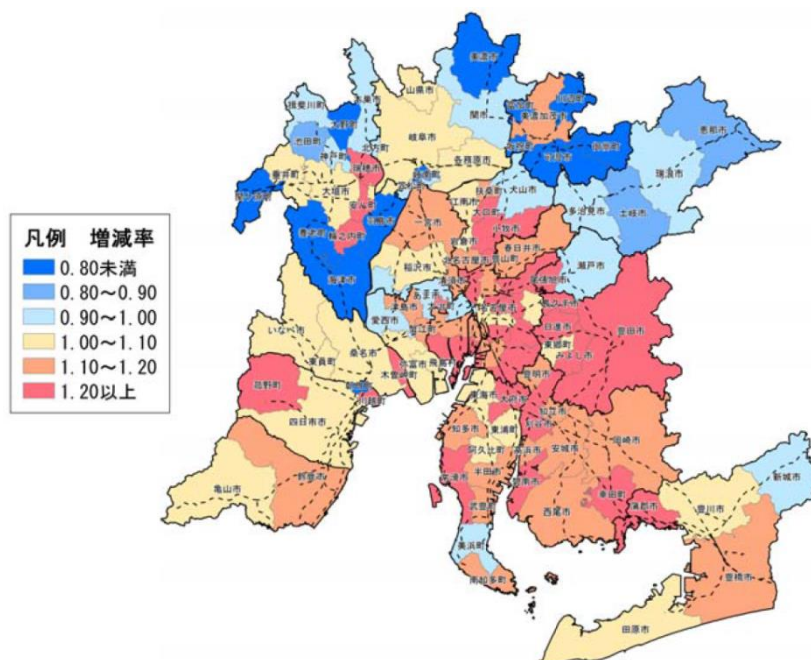


※ 「愛知県」には「名古屋市」を含まない

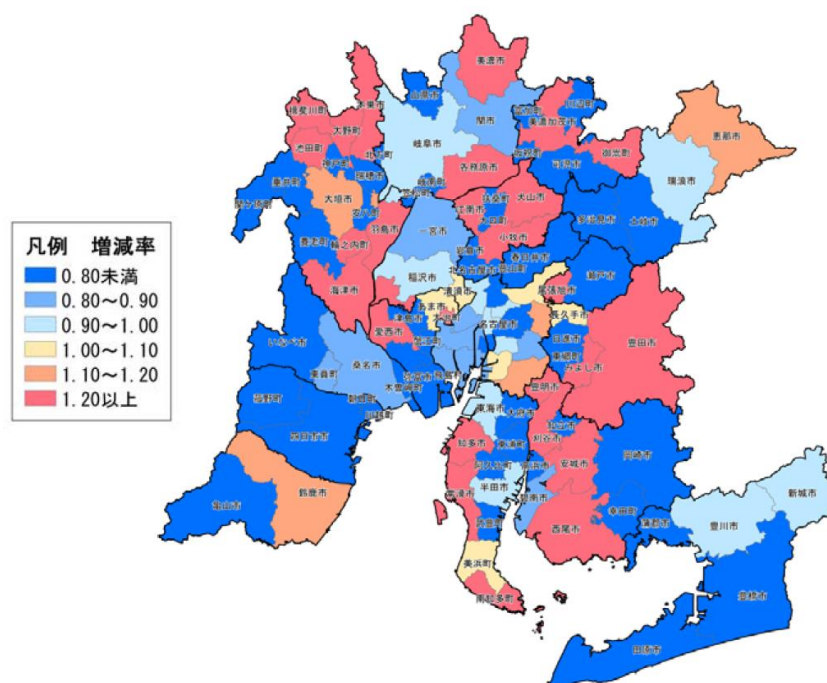
(4) 江南市の状況

- ・ 江南市の場合、鉄道利用発生集中量、バス利用発生集中量ともに平成13年から平成23年の間に増加。(参考：名鉄バスは平成20年4月1日に江南・病院線を新設した。)
- ・ 江南市の場合、鉄道よりもバスの方が、増加率が高い。

図表 1-19 中京都市圏全体の市町村別に見た鉄道・バス利用の発生集中量の増減率



市町村別鉄道利用発生集中量の増減率 (H23/H13) 【第4回調査圏域での推移】



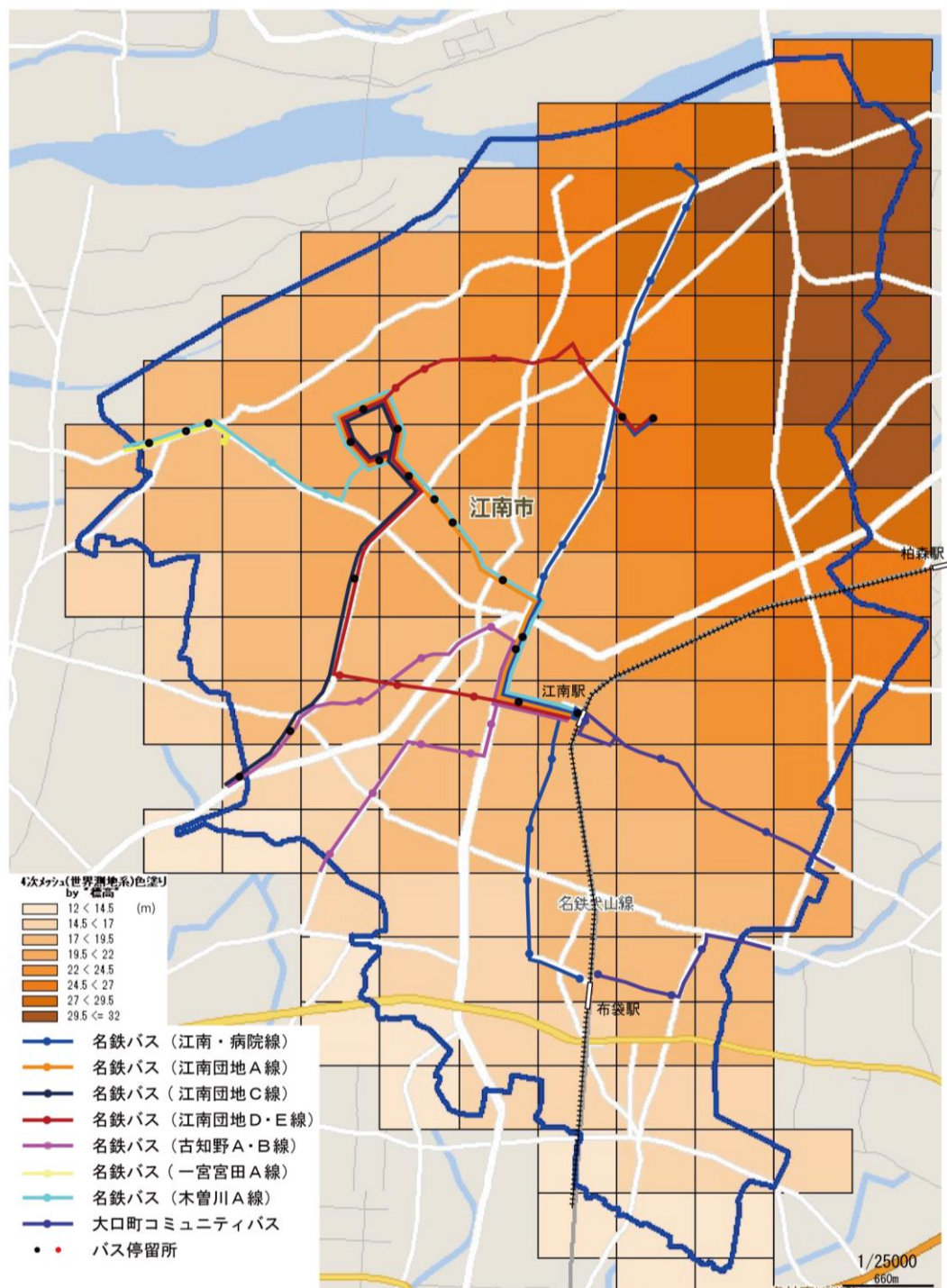
市町村別バス利用発生集中量の増減率 (H23/H13) 【第4回調査圏域での推移】

6. 地勢

(1) 地勢 (高低差)

江南市は扇状地となっており、標高は概ね 10~40m の範囲であり、北東から南西へ向かってなだらかに下っていく形状となっている。全体として、起伏は少ない方である。

図表 1-20 高低差



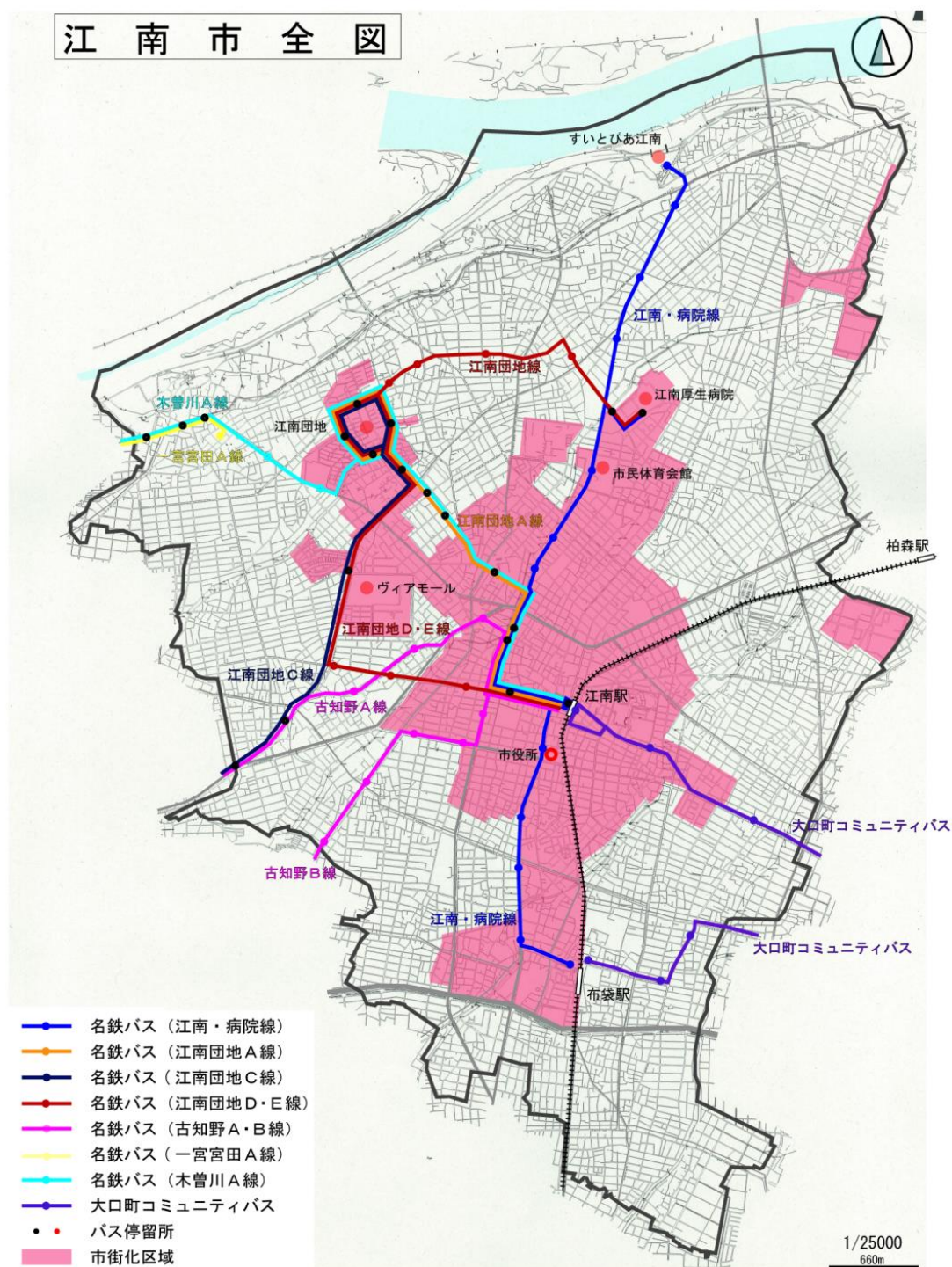
第2章 江南市の公共交通の実態

1. 交通網及び人口カバー率の状況

(1) 交通インフラ及び主要施設の分布

江南市は鉄道については名鉄犬山線を有し、2カ所の駅がある。バスについては名鉄バスと大口町コミュニティバスが市内に定期路線を有している。

図表 2-1 江南市の市街化区域



（２）バス・鉄道の人口カバー率推計

- ・ 鉄道駅（江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅）から半径 1 km 及びバス停から半径 500 m の範囲の人口集積状況は約 7 万 9 千人であり、総人口の約 79 % を網羅している。

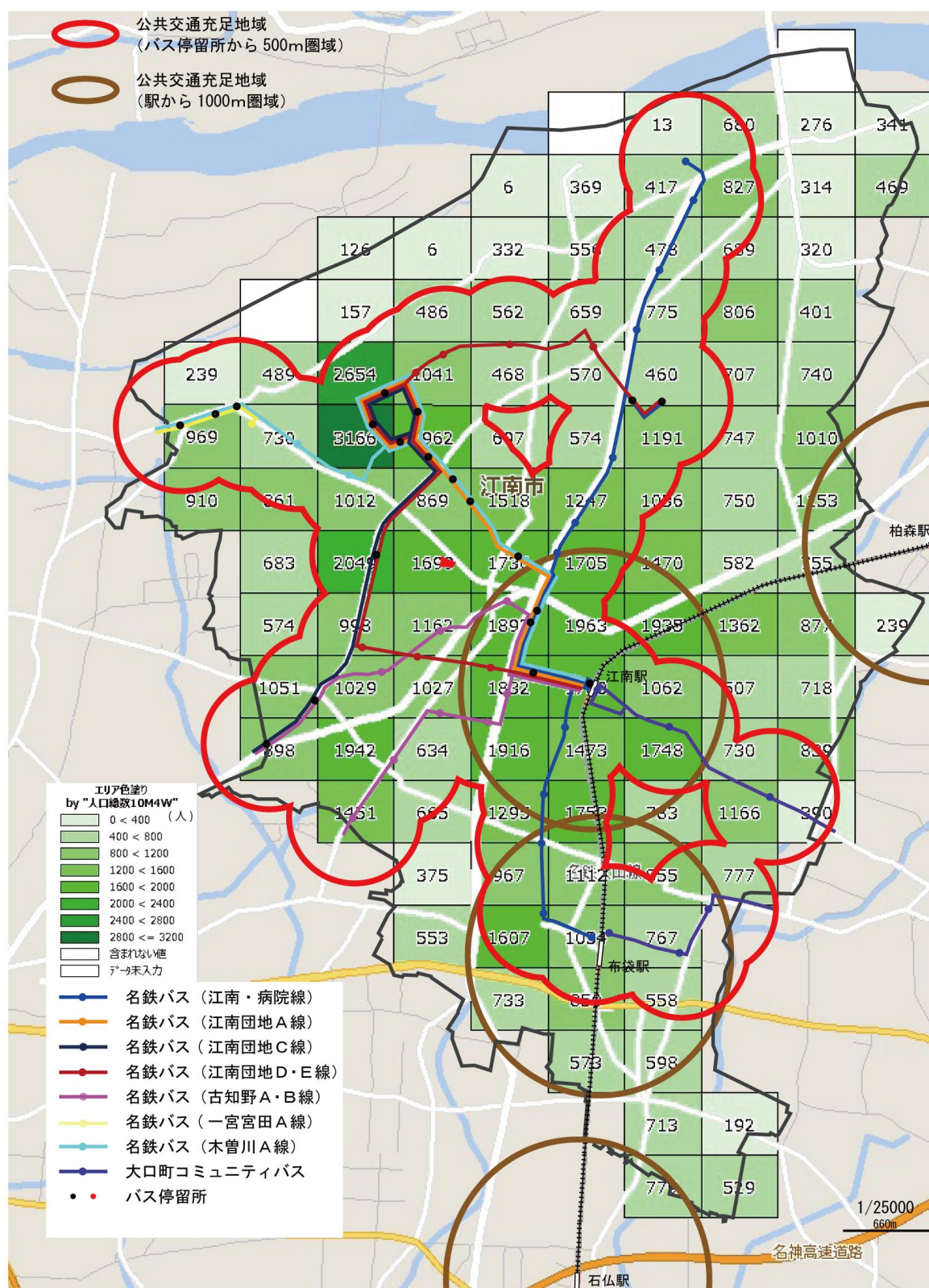
図表 2-2 公共交通機関カバーエリアの人口及びカバー率の推計

推計パターン		公共交通機関 カバーエリア 人口（※１）	全人口に対す るカバー率 （※２）
①	江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径 1 km、 バス停から半径 300 m の場合	61,628 人	61.8%
②	江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径 1 km、 バス停から半径 500 m の場合	78,531 人	78.7%
③	江南駅・布袋駅・柏森駅・石仏駅から半径 1 km、 バス停から半径 1 km の場合	93,092 人	93.3%

※１ 円が江南市域をはみ出す部分に関しては、４次メッシュ毎に按分・除外してある。

※２ 母数の江南市人口には平成 22 年国勢調査時の 99,726 人を採用している。

図表 2-3 公共交通の影響範囲



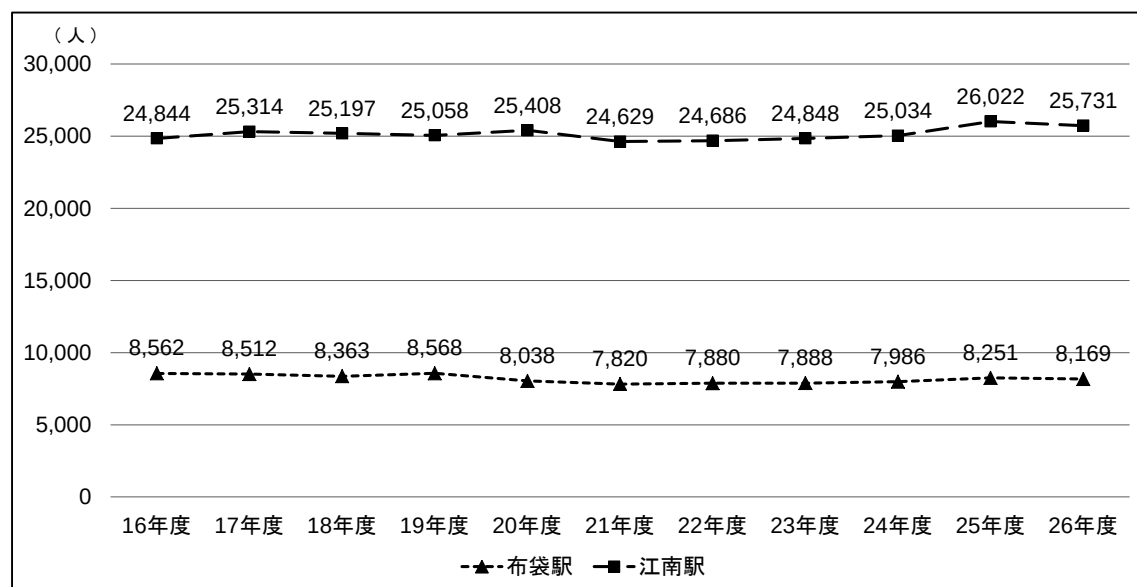
2. 名鉄犬山線の状況

(1) 乗降客数の推移（名古屋鉄道 名鉄犬山線）

- ・ 名鉄犬山線の布袋駅と江南駅の利用状況は、平成16年度以降ほぼ横ばいとなっている。
- ・ 平成26年度の江南駅の一日平均乗降人員は25,731人であり、平成16年度と比較して3.6%増加している。

図表 2-4 駅別一日平均乗降人員の推移（布袋駅及び江南駅）

駅名 (単位: 人/日)	平成16 年度	平成17 年度	平成18 年度	平成19 年度	平成20 年度	平成21 年度	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	前年比	平成16 年度比
布袋駅	8,562	8,512	8,363	8,568	8,038	7,820	7,880	7,888	7,986	8,251	8,169	-1.0%	-4.6%
江南駅	24,844	25,314	25,197	25,058	25,408	24,629	24,686	24,848	25,034	26,022	25,731	-1.1%	3.6%

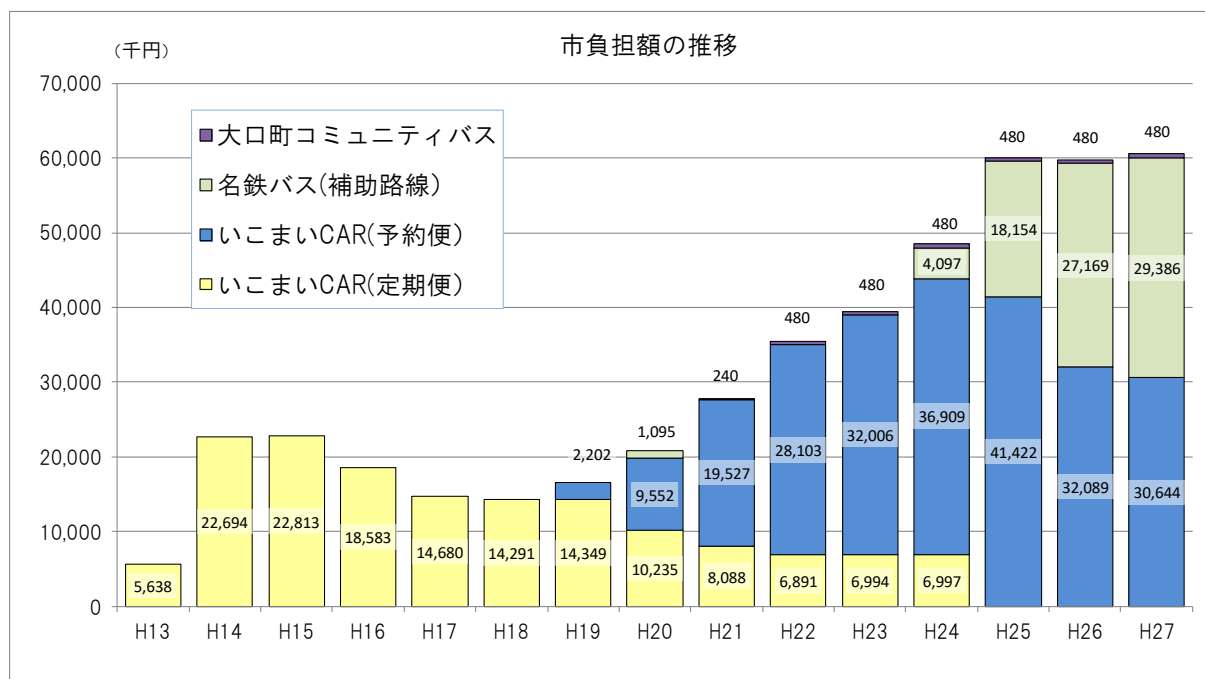


資料：名古屋鉄道(株)

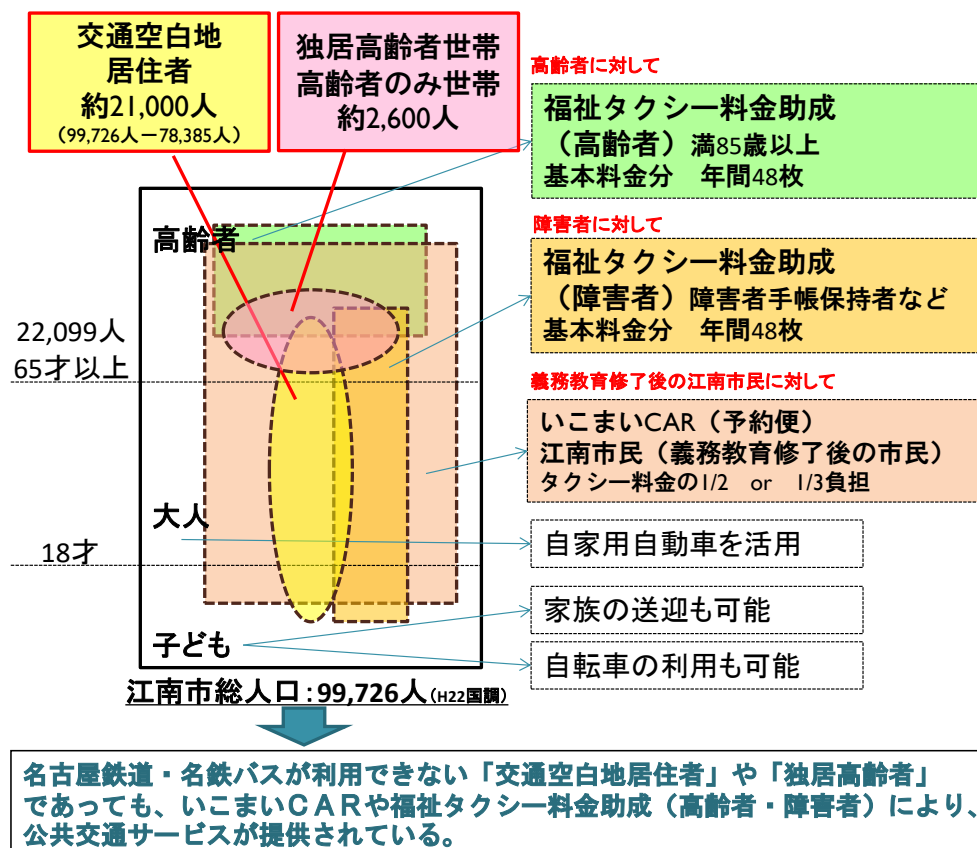
3. 公共交通に対する市の負担額の推移

- ・ 公共交通を維持するために市が負担している負担額の推移は以下のとおり。
- ・ 当初はいこまい CAR 定期便の事業に対して負担していたが、予約便に事業変更して負担額が変動した。現状は年間約 6,000 万円負担しており、その内訳は、いこまい CAR 予約便で約 3,000 万円、名鉄バス（補助路線）に約 3,000 万円となっている。

図表 2-5 公共交通に対する市の負担額の推移



図表 2-6 公共交通についての市の支援内容



第3章 上位関連計画における公共交通事業の位置づけ

ここでは、江南市における上位計画のうち、下記の3点について取りまとめた。

図表 3-1 上位関連計画

関連計画	策定時期	参照内容
江南市戦略計画（二次改訂）	H26.3	土地利用構想、市民生活（市民の足の確保）等を整理
江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略	H28.3	住みたいまち：交通ネットワークの維持・充実等を整理
江南市都市計画マスタープラン	H21.3	将来の都市構造・交通施設の方針等を整理

1. 江南市戦略計画第二次改訂基本計画

平成 26 年 3 月策定の「江南市戦略計画第二次改定基本計画（平成 26～29 年度計画）」では、市民の足を確保し、便利な日常生活を可能にする観点から、公共交通システムを充実させるとともに市内全体の公共交通に関する検討を行うこととしている。

図表 3-2(1) 江南市戦略計画（第二次改訂基本計画）【H26.3】

柱 3 快適で便利な日常生活の確保

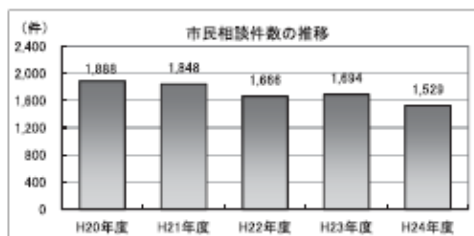
— 市民生活 —

■ 現状と課題

近年の情報通信技術等の著しい発展により、市民生活の利便性は向上していますが、一方では、悪質商法、架空請求、振り込み詐欺といった消費生活に関する問題が発生しています。また、住民異動届や各種証明書等の交付申請手続きにおいては、市民サービスの窓口として、便利で丁寧な対応が求められています。

江南市においても、消費生活の問題や被害及び個人的な悩みごとやトラブルなどを早期に解決するため、専門的知識をもった各種相談員による市民相談を行っています。また、多様化する相談内容にいかに対応するかが課題となっています。また、住民異動手続きの窓口においては、転入や転居等の多い時期には混雑により待ち時間が長くなるなどの問題が発生しています。他方で、市内の公共交通は、「いこまい CAR（定期便）」の廃止に伴い、既存バス路線の分割・延長がされ、利用しやすくなりましたが、移動をより便利なものにするため、「いこまい CAR（予約便）^{※1}」のあり方を含め、市内公共交通全体について、さらに検討していく必要があります。

今後は、市民が消費生活に関する被害にあわないように、相談窓口及び市民への教育・啓発活動を充実し、窓口サービスの利便性を向上するため、よりよいサービス提供手法を導入することが求められています。また、市独自の公共交通システムである「いこまい CAR（予約便）」と既存の路線バスなど市内公共交通全体の利用促進を図っていく必要があります。



（資料：市民サービス課）

■ 10年後の地域のすがた

市役所では、正確で早くて便利な窓口サービスが提供されている。市民は消費生活に関する講座・相談などに積極的に参加することにより、日常生活に役立つ知識を得ている。また、市民の足が確保され、地域活動に参加しやすくなっている。

その結果、市民は快適で便利な日常生活を送っている。

■ 市役所の使命

専門的な知識をもった弁護士、消費生活相談員などによる適切な助言による問題解決に向けた相談体制を充実させるとともに、消費生活に関する問題や被害を防止するため、消費者団体等と共に啓発活動を行う。

窓口サービスの効率化と顧客満足度の向上をめざし、休日などでも利用できる窓口体制の整備、外国語を話せる人材の恒久的配置などに取り組む。

市独自の公共交通システムである「いこまい CAR（予約便）」と既存路線バス等の存続を図りながら、公共交通システムの充実を図る。

※1 いこまい CAR（予約便）とは、市民が地域社会に積極的に参加しやすくするために、市内移動の交通手段として、市が平成 19 年 10 月から運行しているデマンド・タクシー。

図表 3-2(2) 江南市戦略計画（第二次改訂基本計画）【H26.3】

【全体目標】市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている

指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			説明
			H22	H25	H29	
迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合	%	26.3 (H18)	40.0	60.0	80.0	市民満足度調査により測定。
			46.5	52.7	***	

【個別目標①】専門家による相談を受け安心して暮らしている

指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			説明
			H22	H25	H29	
消費生活講座※2の受講者数	人	166 (H18)	200	230	240	消費生活講座を受け、知識を得ている状況を測定するもの。
			198	232 (H24)	***	
消費生活相談の件数	件	67 (H19)	65	80	80	消費生活に関する悩みごとを解消するため、相談を受けた状況を測定するもの。
			65	68 (H24)	***	
弁護士などの専門家による相談の件数	件	576 (H19)	587	620	675	さまざまな悩みごとを解消するため、弁護士などの専門家による相談を受けた状況を測定するもの。
			587	654 (H24)	***	



市民の役割	市役所の役割
○専門的な知識をもった行政・法律相談員、消費者団体などに積極的に相談し、知識を習得する。【個人・家庭】	○地域情報センターの総合相談コーナーを活用して、幅広い相談に対応する。 ○市広報、ホームページなどで消費生活に関する啓発を行う。 ○自立した消費者を育成するため、消費生活講座などを開催する。

※2 消費生活講座とは、商品・サービスの契約、金融、保険、環境や食料問題など、消費生活に関わるさまざまなテーマについて、専門の講師を招き開催する講座のこと。

図表 3-2(3) 江南市戦略計画（第二次改訂基本計画）【H26.3】

【個別目標②】身分等が正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている						
指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			説明
			H22	H25	H29	
戸籍訂正の件数	件	87 (H18)	80	60	50	戸籍記録の正確性を測定するもの。
			63	99 (H24)	***	
正確で早くて便利な窓口サービスを受けていると感じる市民の割合	%	94.5 (H19)	95.0	96.0	97.0	窓口利用者アンケート調査により測定。
			91.1	92.4 (H24)	***	

↓

市民の役割	市役所の役割
○届出期間の定めがある場合は、その期間を守る。【個人・家庭】 ○各種届出・申請の際には、本人確認ができる身分証明書を持参する。【個人・家庭】	○戸籍事務を正確に記録し管理する。 ○住民基本台帳事務を正確に記録し管理する。 ○休日・夜間でも証明書の発行ができる体制を整える。 ○窓口の混雑緩和に取り組む。

【個別目標③】市民の足が確保できている						
指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値			説明
			H22	H25	H29	
誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合	%	19.5 (H18)	25.0	30.0	35.0	市民満足度調査により測定。
			24.6	26.9	***	

↓

市民の役割	市役所の役割
○積極的に公共交通機関を利用する。【個人・家庭】	○公共交通機関の存続のための意識啓発に努める。 ○路線バス会社に対して、<u>路線の新設・増発やコースの変更を要望する。</u> ○市が推進している「<u>いこまいCAR（予約便）</u>」の利用促進を図りながら、<u>市内全体の公共交通に関する検討を行う。</u>

2. 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 28 年 3 月に策定した、「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略（対象期間：平成 27～31 年度）」では、コンパクトなまちづくりの推進を掲げており、市民の利便性向上のため、市内公共交通網についてさらに見直しを行うこととしている。

図表 3-3(1) 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略【H28.3】

第4章 目標達成のための取組とKPI

1 基本目標 1：住みたいまち“江南”づくり

誰もが住みたい、住み続けたいと思える生活環境の充実を図るため、名古屋市都心部への高いアクセス性と緑や水辺などの良好な自然環境といった江南市の強みを活かし、都市的機能と自然環境がそれぞれ機能的に結びついたコンパクトシティ構想の実現を目指します。

数値目標	項目	基準値 ^(※1)	目標値 ^(※2)
	転出者数 ※1 H26 年実績値 ※2 H31 年	3,245 人	2,700 人
	転入者数 ※1 H26 年実績値 ※2 H31 年	3,137 人	2,660 人
	交流人口 ※1 H26 年実績値 ※2 H31 年	1,691,351 人	1,860,000 人

基本施策 1－① 江南の優位性を活かした生活環境づくり

名古屋市都心部への高いアクセス性と水辺などの良好な自然環境を強みとした、若い世代が住んでみたいと思える生活環境づくりのため、江南市の顔となる駅前の魅力向上を始めとし、各地区の拠点づくりを検討するとともに、鉄道駅への公共交通や自転車によるアクセス性向上を図り、各地区間や鉄道駅とのネットワーク化など、コンパクトなまちづくりを推進します。また、ICTを活用し、子どもの思考力を育む教育環境や、多世代が交流できるスポーツ活動の場づくりなど魅力の向上に取り組めます。

重要業績評価指標 (KPI)	項目	基準値 ^(※1)	目標値 ^(※2)
	駅周辺の交流施設数 ※1 H26 年実績値 ※2 H31 年	3箇所	4箇所
	いこまいCARの登録者数 ※1 H26 年実績値 ※2 H31 年	6,443 人	8,000 人
	資源ごみリサイクルセンターの開場日数 (1 週間あたり) ※1 H26 年実績値 ※2 H31 年	—	6 日

図表 3-3(2) 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略【H28.3】

第4章 目標達成のための取組とKPI

《目標達成のための取組・事業》

凡例：●地方創生先行型 ○既存事業の拡大 ◎新規事業

i) 江南市の顔となる駅前の魅力向上 ○

江南市の顔となる江南駅・布袋駅周辺の美しい駅前景観づくりに向けて、市民の協力のもと花や緑を増やす取組を積極的に行うことや、商業団体等事業費補助金の活用による空き店舗の利用促進等により、市民が愛着を持ち、気軽に集い憩える交流拠点の創出を図り、活性化・賑わいづくりを推進します。

ii) 交通ネットワークの維持・充実 ○

ドアツードアで円滑に移動できる、いこまいCARの予約便をはじめ、市民がより利用しやすいよう、市内公共交通網について、さらに見直しを行います。

iii) 資源ごみリサイクルセンターの常設 ◎

資源ごみリサイクルセンターを常設化することで、資源ごみの搬出機会を増やし、稼働時間内は持込による受入可能な体制を整備することにより、生活利便性の向上と限りある資源の有効活用を図ります。

iv) 新体育館の建設・活用 ◎

気軽に健康づくりを楽しみ、多世代が交流できる新体育館を建設し、競技スポーツから生涯スポーツまで幅広い市民のスポーツ活動の振興を図るとともに、防災拠点として要求される性能、設備を確保することで、災害時の活動拠点として活用します。

v) 自転車利用の促進 ◎

江南市の通勤通学の利便性向上のため、鉄道駅から離れた地域からのアクセス手段として、また、レクリエーションや健康づくりのため、安心して自転車が行き通える環境を構築し、自転車利用の促進を図ります。

自転車利用ルールの周知やマナー向上のための取組などのソフト面、関連する鉄道駅周辺の駐輪対策、自転車利用者が多いルートへの安全対策および自転車通行環境整備などのハード面の双方から検討を行います。

vi) ICT教育の推進 ◎

小・中学校へのICT教育の推進により、児童・生徒の能動的な学習への参加を促し、思考力や表現力、発表力などを育むため、タブレット端末の導入およびWi-Fi環境の整備を図ります。

3. 江南市都市計画マスタープラン

江南市都市計画マスタープラン（平成 21 年 3 月策定）では、土地利用の方針として、市街化調整区域における市街地のスプロール化の抑制、市街化区域内における低・未利用地の都市的土地利用などを掲げている。また、公共交通については既存の路線バス等の拡充を図るなど、誰もが利用しやすい交通環境をめざすこととしている。

○ 江南市都市計画マスタープラン【H21.3】（関係部分を抜粋）

4 都市づくりの方針

4-1 土地利用の方針

（1）土地利用に関する基本的な考え方

1）集約型の都市構造に向けた土地利用の誘導

本市の都市構造は、これまでの人口増加や活発な企業活動を背景に、郊外へと拡散する都市構造を目標として掲げてきました。しかし、少子高齢社会の到来や、中心市街地の空洞化等の問題を踏まえ、郊外型の都市構造からの転換が必要となっています。

このため、街なかを中心とした集約型の都市をめざし、居住、商業、福祉、交通などの都市機能を集積させるなど、街なか居住を促進する土地利用を誘導する方針とします。

2）市街化区域内の低・未利用地の活用

本市のは場整備等の農業関連施策による都市づくりの経緯から、市街化調整区域に点在する集落において、日常生活を営む上で必要となる道路の整備を進めてきました。その結果、市街化調整区域における農地の宅地化が進行する一方で、市街化区域内に低・未利用地が残っています。

このため、市街化調整区域における市街地のスプロール化を抑制するとともに、市街化区域内における低・未利用地の都市的土地利用を誘導する方針とします。

3）市街化調整区域における土地利用

市街化調整区域については、都市的な土地利用を抑制することを基本とします。しかし、狭あい道路などを有する一部の既存集落では、防災機能の向上の観点から、土地利用上の対策が必要となる場合も考えられます。

このため、防災機能の維持・向上が必要な既存集落については、農地等の自然環境の保全を図ることを前提として、道路の拡幅などにより安全性を確保します。

4-2 施設整備の方針

4-2-1 交通施設の方針

（1）交通施設に関する基本的な考え方

2）公共交通機関の利用促進

公共交通機関の利用促進に向けて、駅へのアクセス道路の整備をはじめ、駅前広場、駅周辺の駐車場及び駐輪場等の拡充を検討し、環境負荷の少ない都市づくりをめざします。

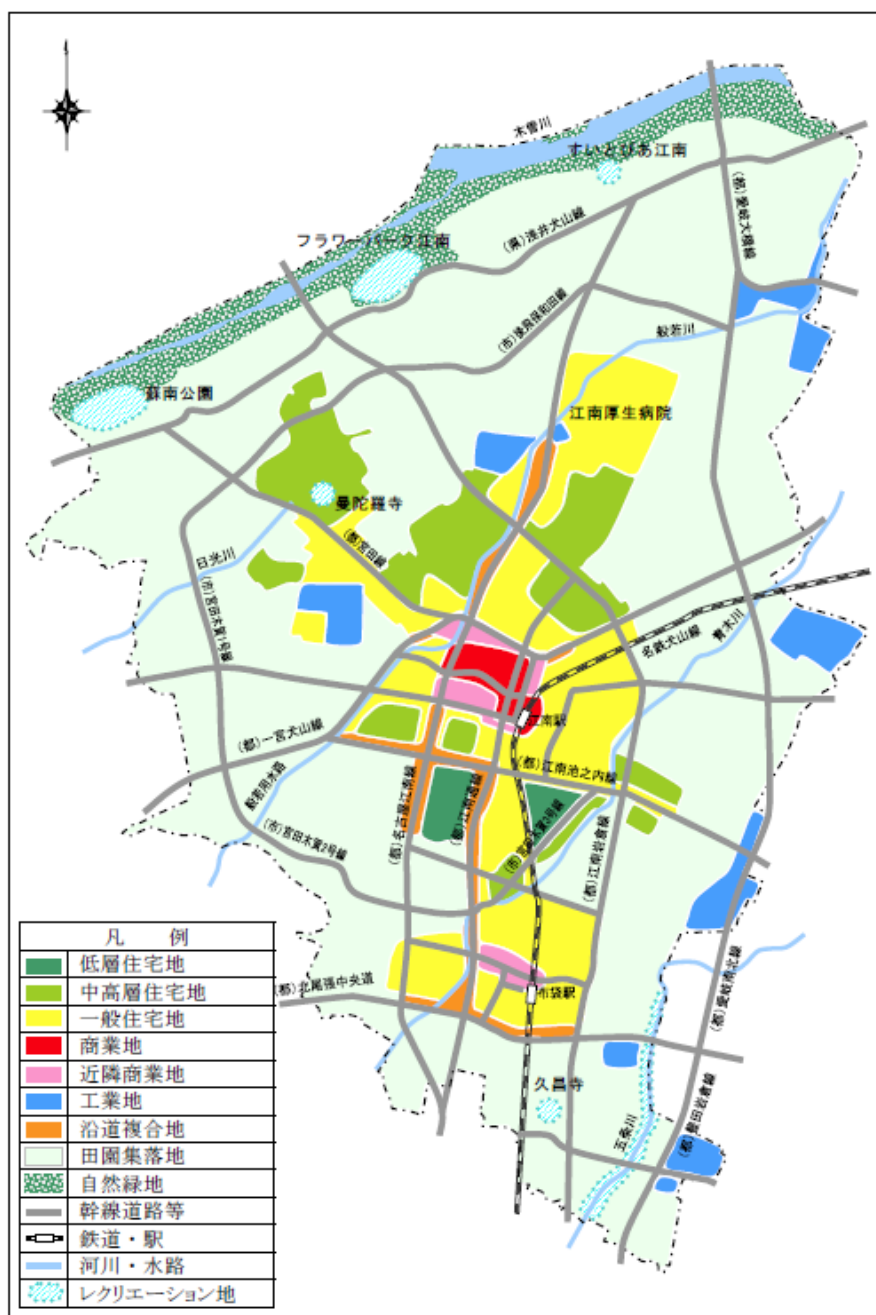
また、鉄道高架事業とあわせた駅舎のユニバーサルデザイン・バリアフリー化など、交通結節点を一体的に整備することに加え、既存の路線バス等の拡充を図るなど、誰もが利用しやすい交通環境をめざします。

(2) 整備方針

2) 公共交通

- ・路線バスは、江南駅を起点に4路線、布袋駅を起点に1路線、一宮駅を起点に2路線が運行されているほか、「いこまいCAR」の定期便・予約便が運行されています。今後、布袋駅周辺については、鉄道高架事業や駅前広場の整備とあわせ、路線の拡充や近隣とのネットワーク化など利便性の向上のため、関係機関と協議していきます。

図表 3-3 土地利用方針図



以上より、市は市民の移動に係る利便性の向上を掲げていることから、現在の地域公共交通のサービス水準、利用実態等について調査を実施し、市内全体における地域公共交通のあり方について検討を行う必要があるものと考えられる。

第4章 市民アンケート調査結果（平成25年度調査）

1. 調査概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査対象 | 江南市在住の満16歳以上の方 |
| (2) 調査方法 | 郵送調査 |
| (3) 調査期間 | 平成25年5月27日～6月21日 |
| (4) 標本数 | 3,000人
回収数は1,477人（回収率は49.2%） |
| (5) 調査項目 | 問1：回答者属性
問2：外出頻度・目的、通勤通学・買い物・通院時の行動実態
問3：公共交通の利用実態、認知度、現状サービスの満足度
問4：税金投入に対する理解度、交通転換の可能性、今後の対策
問5：利用しない人の理由、利用可能性 |
| (6) 調査実施主体 | 江南市役所生活産業部市民サービス課 |

2. アンケート調査結果要約

- 全体を総括すると、バス・いこまいCAR（予約便）は、認知度・利用度とも、決して高い状況には無いにも関わらず、そのサービス水準に対しては、「満足」より「不満」が上回っている。税金を投入して民間路線バスを維持することは、「妥当」が若干上回っているが、今後の税金投入は維持もしくは抑制すべきとの意向にある。
- 名鉄バスが通過していない「古知野東（線路東）」・「古知野北」・「布袋（線路東）」・「布袋北」等のエリアは、公共交通に対するサービス水準の満足度や税金を投入して維持することに対して評価は低く、「今以上の税金投入・サービス向上」の期待があり、地域格差が明確に認められた。
- アンケート結果をふまえると、「線路東」地区等の名鉄バスが通過していない比較的交通不便地域のサービス強化に対する要望は認められるが、バス・いこまいCAR（予約便）の認知度・利用度が決して高い状況になく、今後の税金投入に対する維持もしくは抑制すべきとの意向が多い。サービス強化を行うよりも、地域公共交通のPR活動を進め、利用促進を促すことが優先されるべきである。

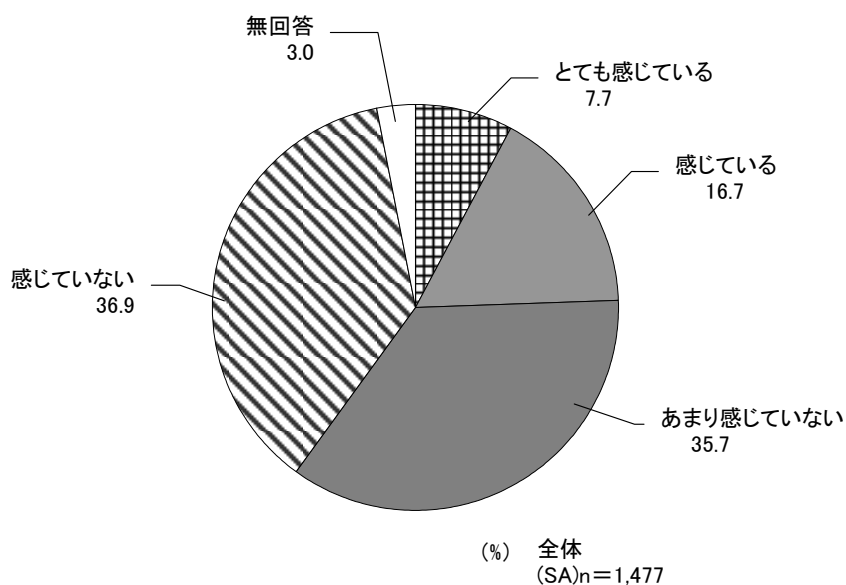
3. アンケート調査結果（抜粋）

（1）市民全体の意向

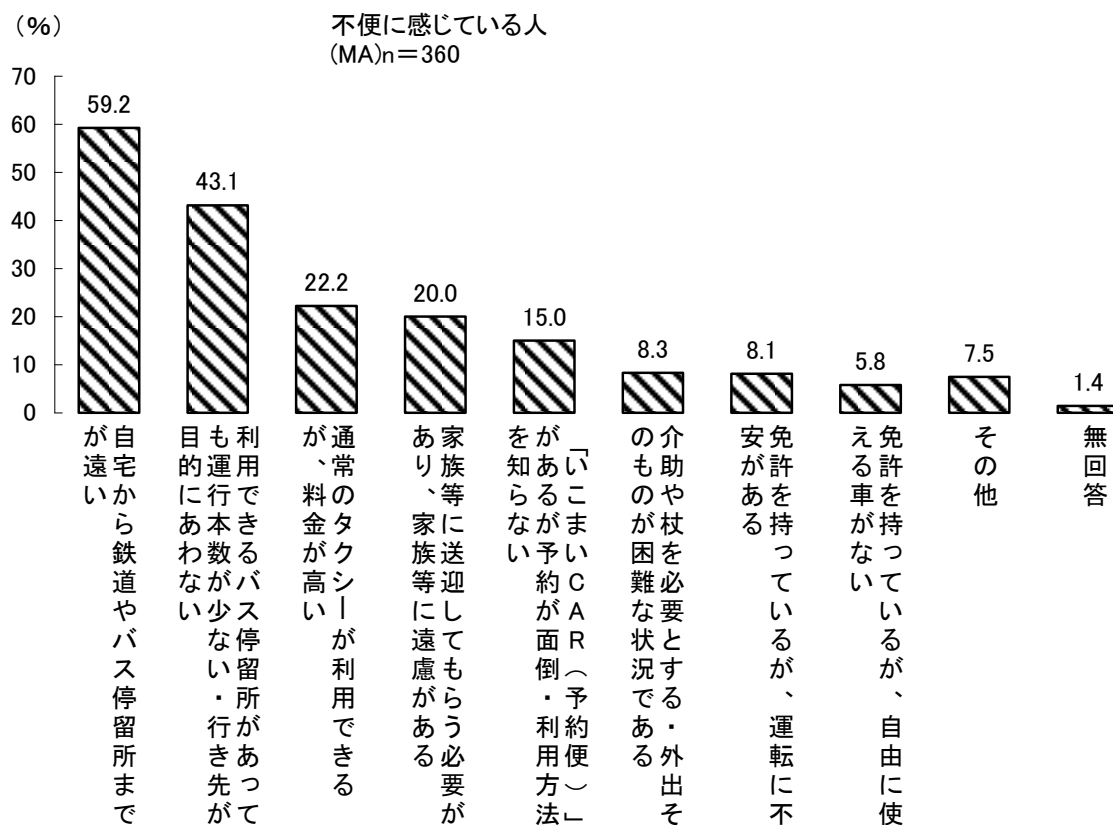
①日常の移動に不便を感じているか（問3-1）

- ・「日常の移動に不便を感じているか」を確認すると、「とても感じている」「感じている」が合わせて24.4%存在した。4人に1人が移動に不便を感じている。
- ・「不便を感じている理由」を確認すると、「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」が59.2%と最も選択されており、次いで「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」（43.1%）が選択された。

図表 4-1 日常の移動に不便を感じているか



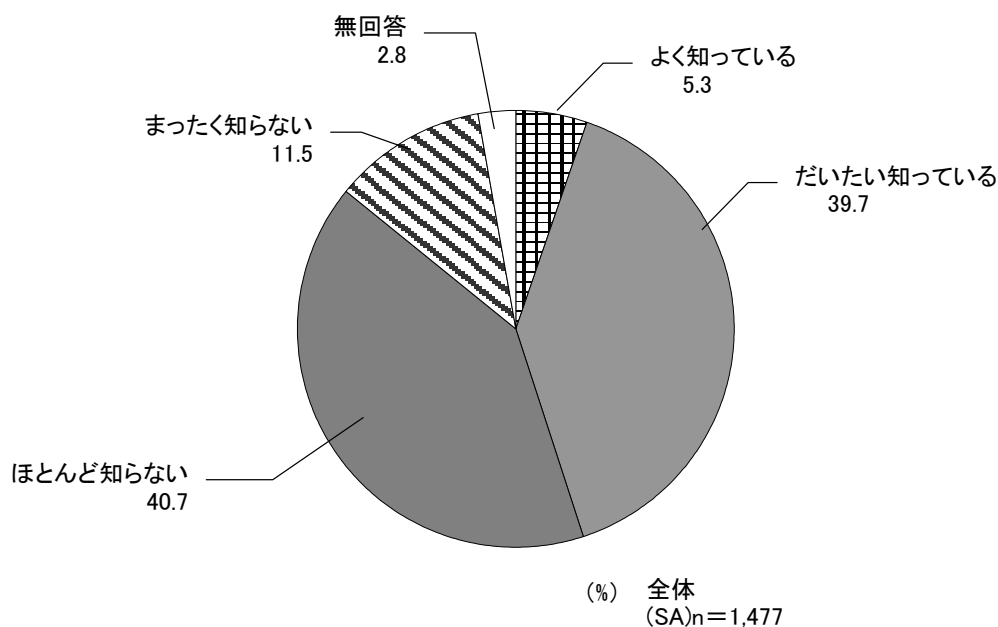
図表 4-2 不便を感じる理由



②バス路線の認知状況について（問3－3）

- ・「バス路線の認知状況」を確認すると、「ほとんど知らない」「まったく知らない」が合わせて52.2%となっており、住民の過半数がバス路線を知らない状況にある。

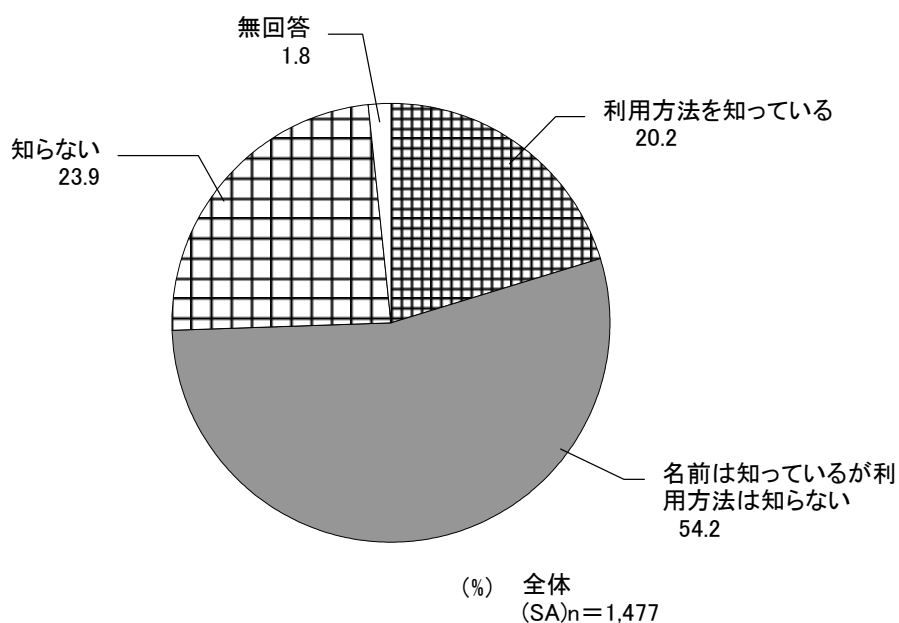
図表 4-3 認知程度



③「いこまい CAR（予約便）」の認知状況とサービス水準に対する満足度について(問3－4)

- ・「いこまい CAR（予約便）」の認知状況については、「利用方法を知っている」が20.2%にとどまり、約8割の人が「いこまい CAR（予約便）」を「知らない」「使い方を知らない」状況にある。
- ・「いこまい CAR（予約便）」の「サービス水準の満足度」については、「わからない」が全体の70.4%となっており、適切に評価できる状況にはない。

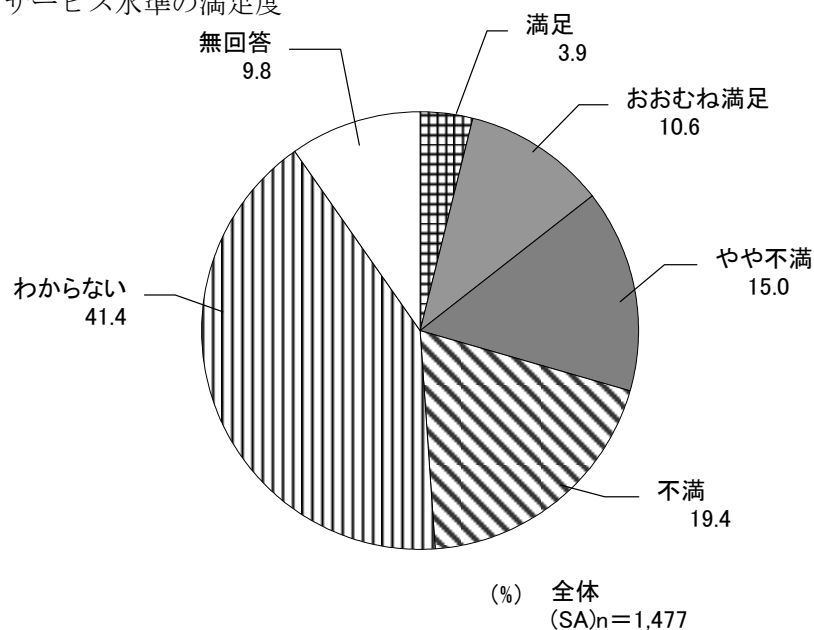
図表 4-4 「いこまいCAR（予約便）」の認知状況



④バスの利用頻度とサービス水準に対する満足度について（問 3－6）

- ・「バスの利用状況」を確認すると、約 7 割の人が「ほとんど乗らない」と回答しており、利用している人の中でも「週に 3 日以上」「週に 1～2 日」を合わせた「週に 1 日以上」利用する人は 3.6%にとどまる状況にある。
- ・バスに対する「現状のサービス水準の満足度」を確認すると、利用者が少ないため、「わからない」が 41.4%と最も多かった。
- ・「満足」「おおむね満足」の小計が 14.5%で、「不満」「やや不満」の小計 34.4%となり、「不満」の声の方が多かった。

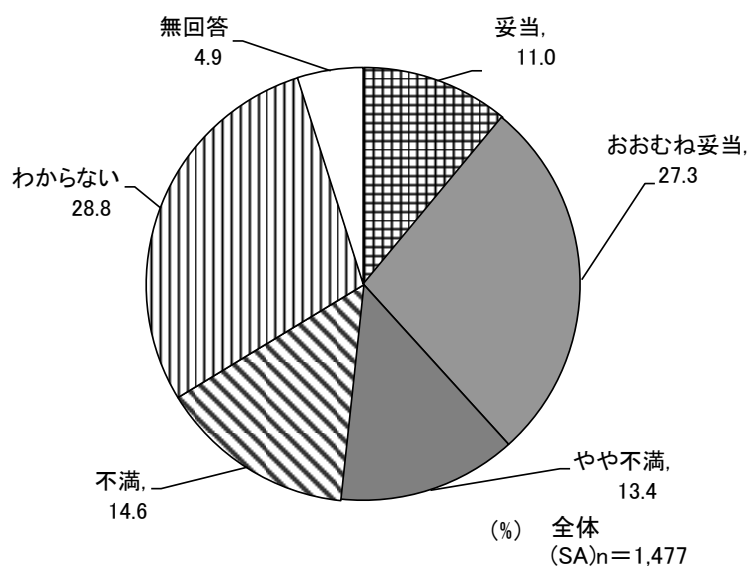
図表 4-5 サービス水準の満足度



⑤税金を投入して民間路線バスを維持することに対する評価（問 4－1）

- ・年間数百万円の税金を投入して「民間路線バスを維持することは妥当と考えるか」を確認したところ、「妥当」「おおむね妥当」が 38.3%であるのに対し、「不満」「やや不満」が 28.0%であり、「妥当」とする意見が約 10%上回った。ただし、「わからない」を選択する回答者が 28.8%存在しており、「妥当」が大多数を占める状況にはない。

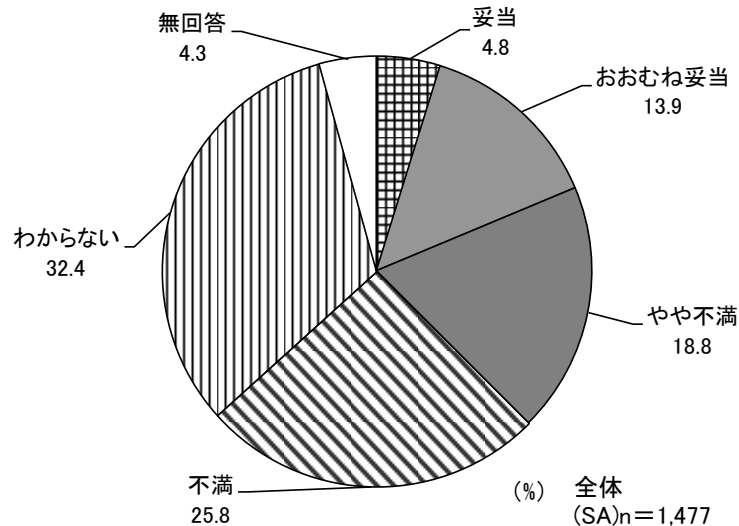
図表 4-6 民間路線バスを維持することに対する評価



⑥「いこまいCAR（予約便）」を維持することに対する評価（問4－2）

- ・「いこまい CAR（予約便）」を維持することの妥当性」を確認したところ、「妥当」「おおむね妥当」が18.7%、「不満」「やや不満」が44.6%となり、「不満」とする意見が25.9%上回った。路線バスを維持するよりも「不満」とする意見が多い。

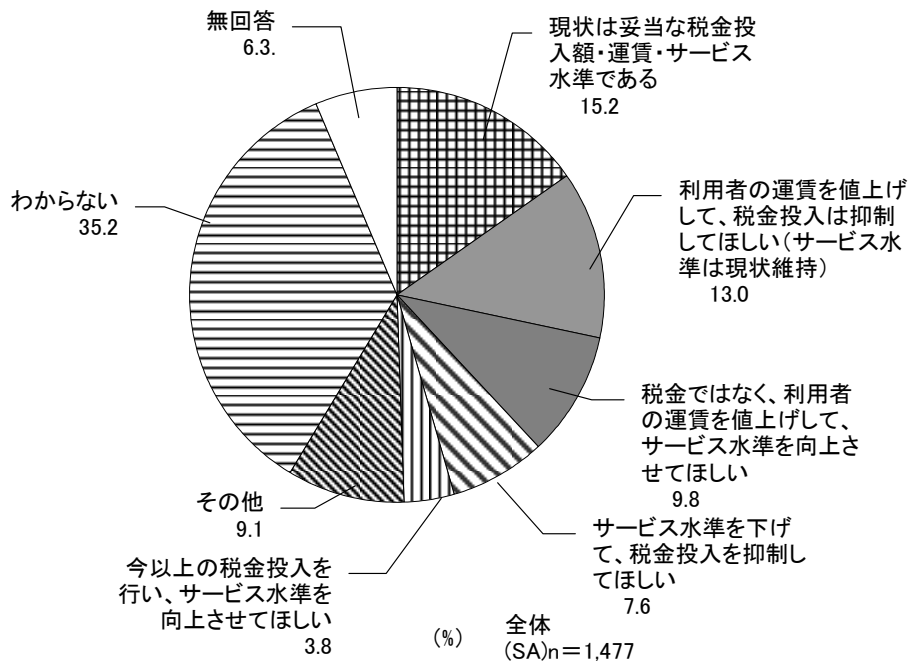
図表 4-7 「いこまいCAR（予約便）」を維持することに対する評価



⑦今後の税金投入とサービス水準のあり方（問4－3）

- ・「今後の税金投入とサービス水準のあり方」について確認すると、「わからない」が35.2%と最も多かった。
- ・明確な意思表示をした意見を確認すると、「現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である」が15.2%と一番多く、次いで「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービスは現状維持）」が13.0%、「税金ではなく運賃を値上げし、サービス水準を向上させてほしい」が9.8%となった。
- ・市民の意向は、「税金投入は維持もしくは抑制」し、「運賃負担で賄うべき」という意向にあると言える。

図表 4-8 今後の税金投入とサービス水準のあり方



（２）調査結果のまとめ

- 江南市民の４人に１人の割合で、日常の移動に不便を感じている。その理由は、「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」（５９％）が選択されている。
- そうした状況においても、「バス路線の認知状況」は、過半数の住民が知らないと回答しており、「いこまい CAR（予約便）」は、約８割の住民が知らない・使い方を知らないと回答している。
- 現状のバスの利用状況を確認すると、約７割の人が「ほとんど乗らない」と回答している。
- 現状のバスのサービス水準に対する満足度を確認すると、「満足（１４．５％）」より「不満（３４．４％）」の回答が上回っており、藤里地区を除いたほとんどの地域で不満度が高い。特に、「布袋（線路東）」「布袋北」「草井」地区での不満度が高い。
- 税金を投入して民間路線バスを維持することに対する評価を確認すると、「妥当（３８．３％）」が「不満（２８．０％）」を１０％上回った。ただし、「わからない」を選択する回答者が２８．８％存在しており、「妥当」とする意見は大多数を占めていない。また、居住地別には、「古知野東（線路東）」・「古知野北」・「布袋（線路東）」・「布袋北」の名鉄バスが通過していない地域は、評価が低い結果が示された。
- 「いこまい CAR（予約便）を維持することの妥当性」を確認したところ、「妥当（１８．７％）」を「不満（４４．６％）」が２５．９％上回り、路線バスを維持するよりも「不満」とする意見が多い。
- 「今後の税金投入とサービス水準のあり方」について確認すると、「わからない」が３５．２％と最も多かった。明確な意思表示をした意見を確認すると、「現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である」が１５．２％と一番多く、次いで「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービスは現状維持）」が１３．０％、「税金ではなく運賃を値上げし、サービス水準を向上させてほしい」が９．８％となった。
- 市民の意向は、「税金投入は維持もしくは抑制」し、「運賃負担で賄うべき」という意向にあると言える。
- 利用の有無による傾向を確認すると、「バス利用者」も「いこまい CAR（予約便）利用者」ともに、「現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である」を選択している割合が高い。
- 居住地別の傾向を確認すると、「今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい」という回答が、市全体の平均値よりも大きく上回ったのは、「布袋（線路東）」・「布袋北」であった。
- アンケート結果をふまえると、「線路東」地区等の名鉄バスが通過していない比較的交通不便地域のサービス強化に対する要望は認められるが、バス・いこまい CAR（予約便）の認知度・利用度が決して高い状況になく、今後の税金投入に対する維持もしくは抑制すべきとの意向が多いことから、サービス強化を行うよりも、地域公共交通のＰＲ活動を進め、利用促進を促すことが優先されるべきである。
- なお、「線路東」地区については、民間路線バスとはサービス水準が異なるものの大口町コミュニティバスが運行されており、江南市民でも利用可能な交通サービスが提供されている。江南市内のバス・いこまい CAR（予約便）の認知度の低さから、大口町コミュニティバスの認知度も低いことが想定されるため、前述のＰＲ活動の中に、大口町コミュニティバスも含めて対応していくべきである。

第5章 利用者アンケート調査結果

1. 調査結果のまとめ

(1) 調査概要

主に民間路線バスを対象に、公共交通サービスの利用者に対する満足度等の把握のためのアンケート調査を行った。

当該調査のポイントは、「利用者にとって、満足度の低い路線とその内容」を抽出する。

図表 5-1 アンケート調査方法（概要）

調査項目	属性（性別、居住地、年齢、職業） 利用状況（乗降バス停、目的、頻度、乗り継ぎ） 満足度（頻度・定時性・ダイヤ・鉄道との接続性）
実施時期	9月頃（夏季休暇時期を除外、交通事業者と調整し設定）
名鉄バス 江南市内路線のみ	○対象路線 ・江南・病院線、江南団地線 ※一宮市をまたぐ広域路線は、補助対象外路線のため調査対象から除外 ○調査員による車内配布、車内・郵送回収 車両の運行が不効率、広域路線の場合は、江南駅等での直接配布方法で対応
いこまい CAR	○交通事業者による直接配布・郵送回収
大口町コミュニティバス	○江南市民を主に調査するため、市内を通過する車両内で直接配布・郵送回収

(2) 配布数・回収数

図表 5-2 配布数・回収数

	調査日	配布数	回収数（率）
名鉄バス 江南・病院線	9月4・5日 （日・月曜日）	557票 （131+426）	352票 （63.2%）
名鉄バス 江南団地線	9月4・5日 （日・月曜日）	693票 （288+405）	307票 （44.3%）
いこまい CAR	8月27日～9月10日		148票
大口町コミュニティバス 中部・南部ルート	9月4～6日 （日・月・火曜日）	32票 （中部18、南部14）	18票 （56.3%）

(3) 調査結果（要約）

1) 名鉄バス「江南・病院線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」42%、「通院」32%、「買い物」11%、「訪問」9%、「娯楽」9%。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・増便、鉄道接続見直し、夜便確保等要望あり。

2) 名鉄バス「江南・団地線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」53%、「買い物」29%、「通院」18%、「娯楽」17%、「訪問」11%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「ダイヤ設定」が他と比べ低い。
- ・増便、夜便確保、鉄道接続見直し等要望あり。

3) いこまい CAR の利用者意向

- ・利用目的：「通院」88%、「買い物」34%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「運行区域」が他と比べ低い。
- ・市外利用、料金設定、当日予約等要望あり。

4) 大口町コミュニティバスの利用者意向

- ・利用目的：「通院・買い物」（5件）
「通勤、訪問、娯楽」（2件）。分散利用。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・便数増等の要望あり。

5) 満足度の比較（満足度の低い路線）

○名鉄バス「江南・病院線」が4項目中3項目で満足度の合計値が50%を下回った。

図表 5-3 満足度

	名鉄バス「江南・病院線」	名鉄バス「江南団地線」	大口町コミュニティバス
運行頻度	43.2	54.8	33.3
定時性（遅れ）	61.9	52.1	83.4
ダイヤ設定	38.3	45.9	44.4
鉄道等との接続性	49.2	55.4	55.6

※満足・やや満足の合計値

○いこまい CAR の満足の合計値

- ・予約受付時間：77.0、利用時間：68.3、運行区域 60.8、利用目的 70.3、料金設定 66.9
- ・50%を下回った項目は特に無し。

※以後表示しているグラフの数値は、端数処理により合計が100%にならない場合があります。

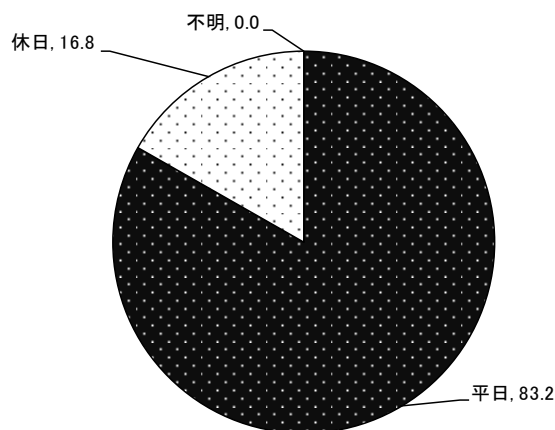
2. 名鉄バス「江南・病院線」の調査結果

(1) 回答者属性

○調査日

- ・平日が 83.2%、休日が 16.8% となっている。

図表 5-4 調査日



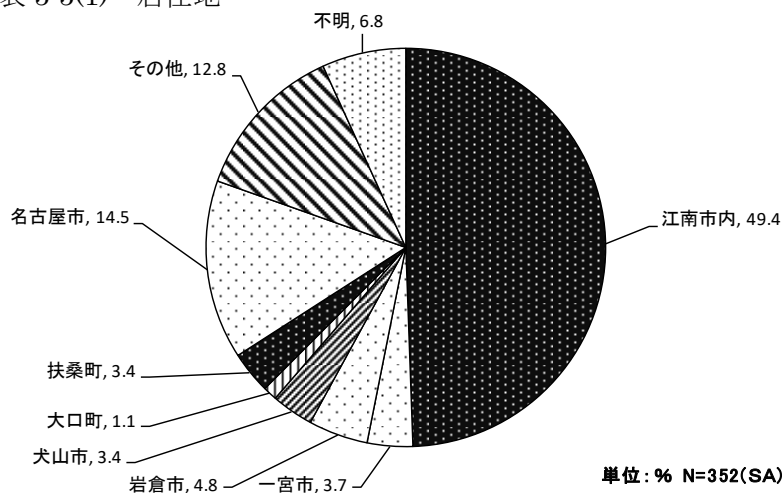
単位: % N=352(SA)

○居住地

- ・江南市内が 49.4%。
次いで名古屋市が 14.5% となっている。

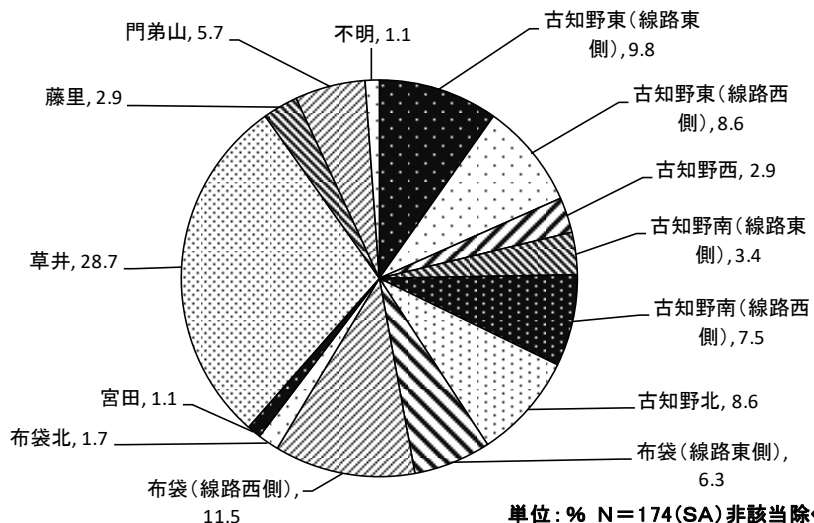
- ・江南市内では、草井が 28.7%と最も多く、次いで、布袋（線路西側）が 11.5% となっている。

図表 5-5(1) 居住地



単位: % N=352(SA)

図表 5-5(2) 居住地

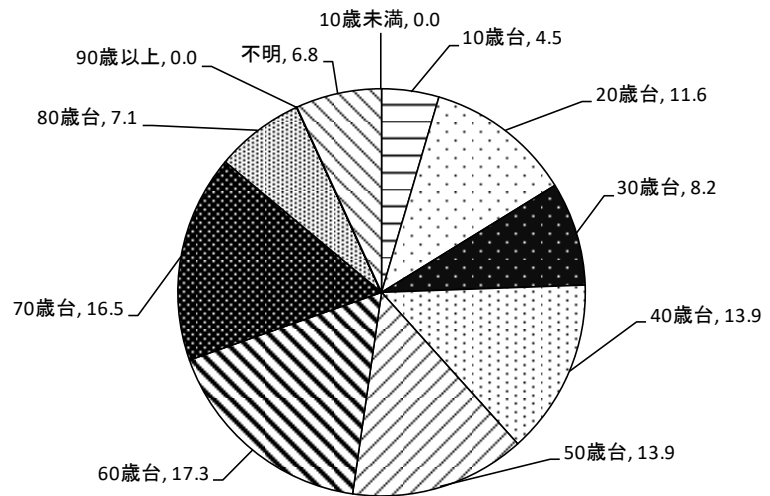


単位: % N=174(SA) 非該当除く

○年齢

- ・回答者の年齢では、60 歳未満が 52.1%。
- ・70 歳・80 歳台の利用は、23.6%となっている。

図表 5-6 年齢

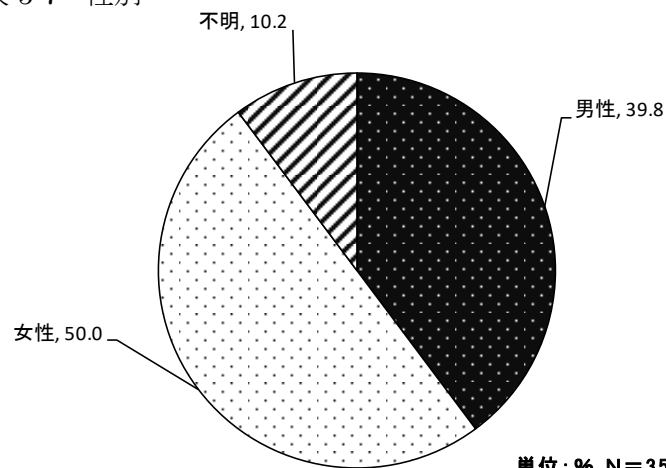


単位: % N=352(SA)

○性別

- ・女性が 50.0%となっており、女性の利用が多い。

図表 5-7 性別

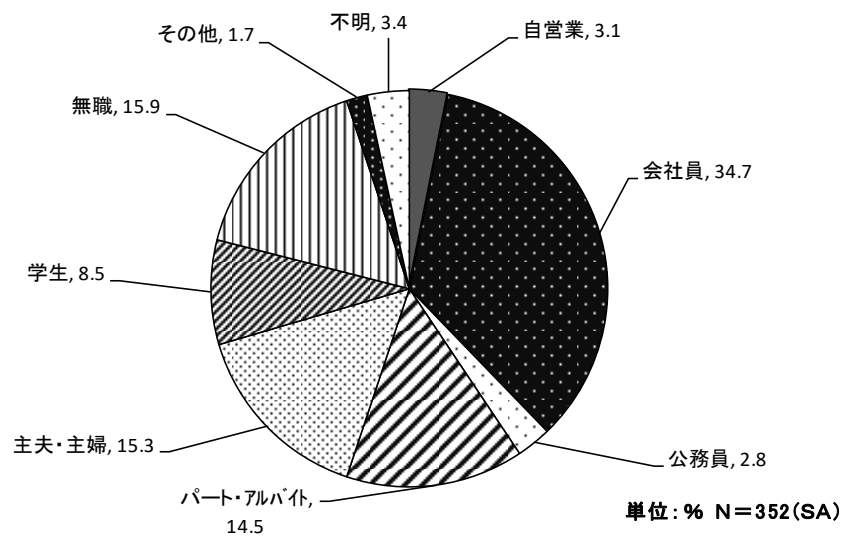


単位: % N=352(SA)

○職業

- ・会社員が 34.7%と最も多く、次いで、無職 15.9%となっている。

図表 5-8 職業



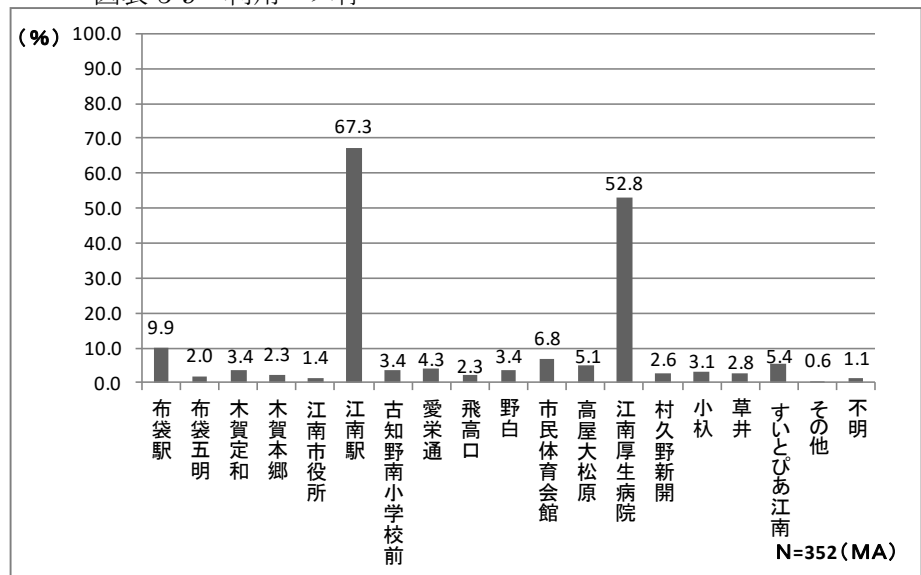
単位: % N=352(SA)

(2) 利用状況 (問 1)

○利用バス停

- ・江南駅が 67.3%、江南厚生病院が 52.8%と多い。

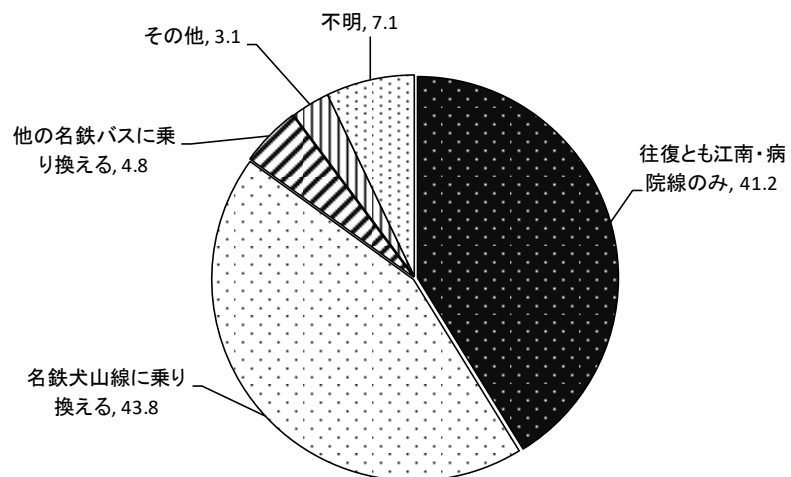
図表 5-9 利用バス停



○乗継状況

- ・名鉄バス「江南・病院線」のみの利用が 41.2%、名鉄犬山線への乗り継ぎ・その他名鉄バスへの乗り継ぎ利用が合わせて 48.6%となっており、乗り継ぎ利用の方が多い。

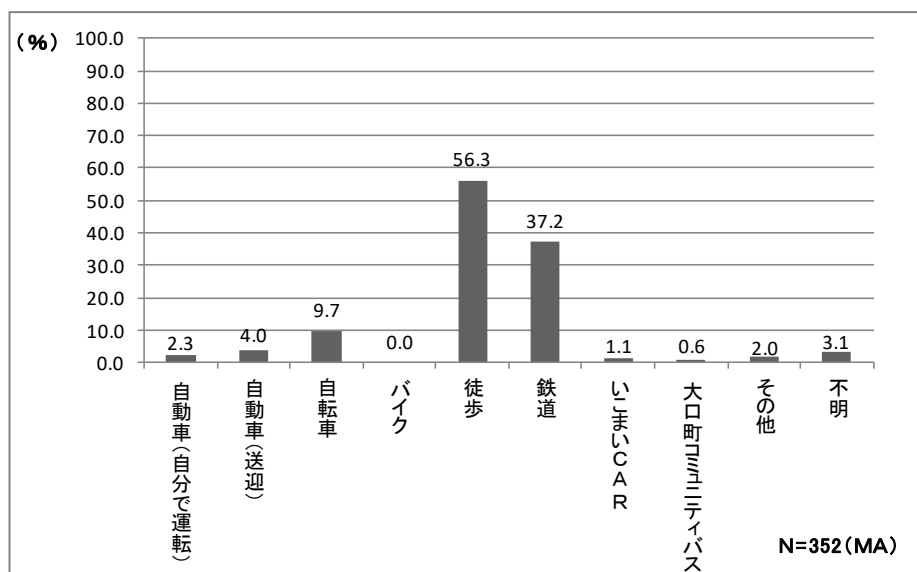
図表 5-10 乗継状況



○前後の移動手段

- ・徒歩、鉄道利用に次いで、自転車の利用が 9.7%認められる。

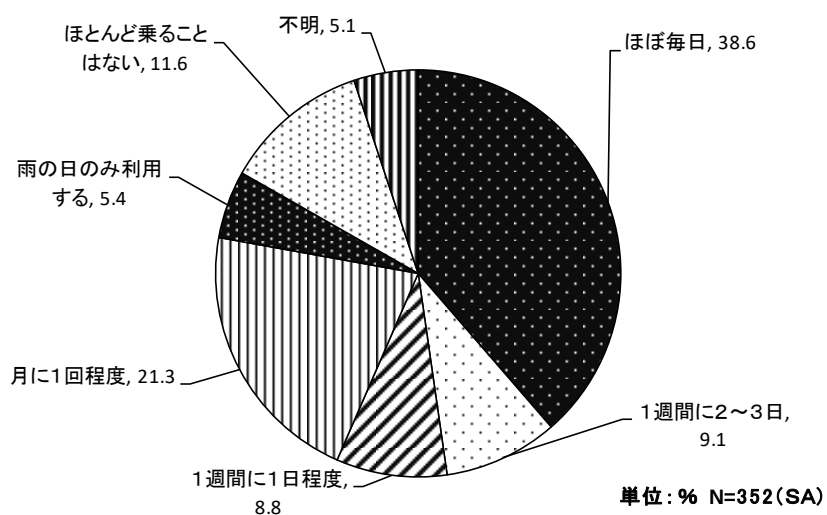
図表 5-11 移動手段



○利用頻度

- ・ ほぼ毎日利用が 38.6%。次いで、月に1回程度の利用が 21.3%となっている。

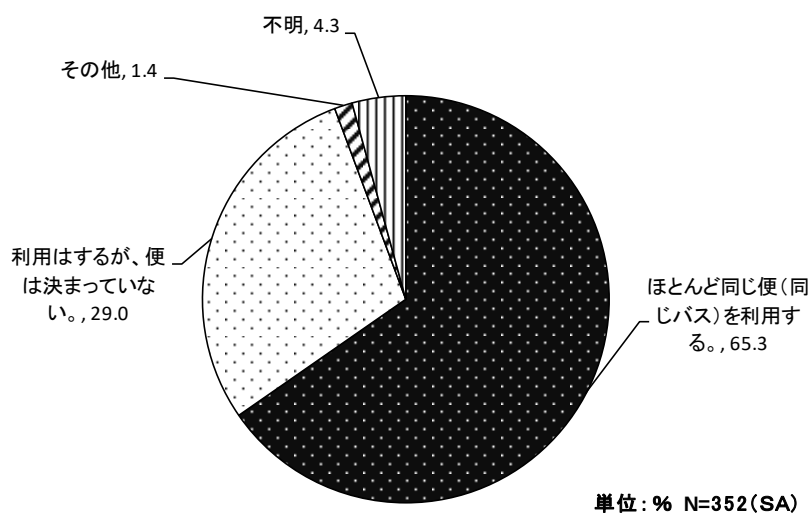
図表 5-12 利用頻度



○利用の仕方

- ・ 通勤、ほぼ毎日利用者が多いことなどから、同じ便を利用する割合が 65.3%となっている。

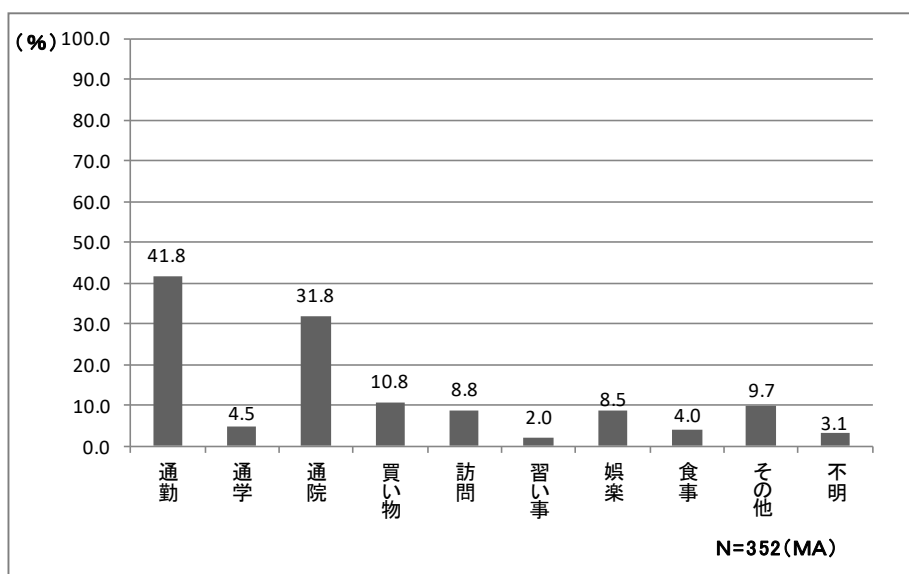
図表 5-13 利用の仕方



○利用目的

- ・ 通勤利用が 41.8%と最も多く、次いで、通院利用が 31.8%となっている。

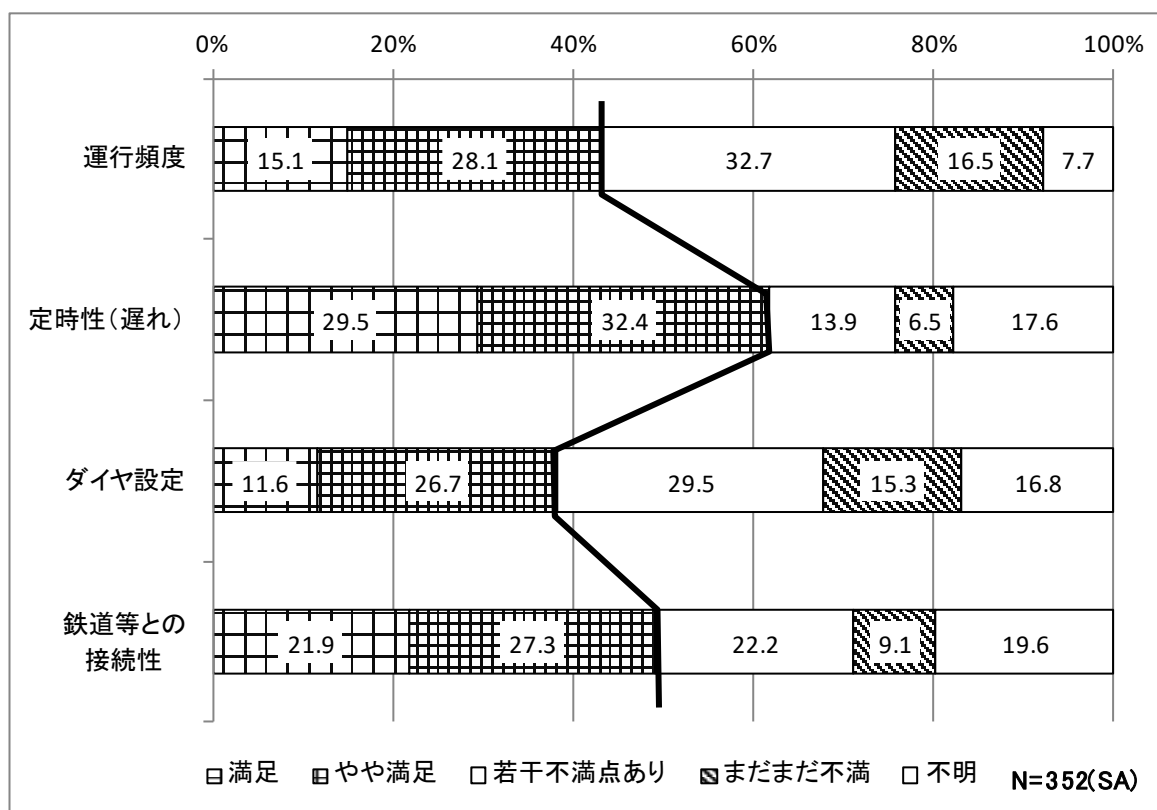
図表 5-14 利用目的



(3) 満足度 (問2)

- ・運行頻度とダイヤ設定については、満足より不満が上回る。

図表 5-15 満足度



○不満と思うこと、改善すべき点 (自由意見)

- ・運行頻度、ダイヤ設定 (利用時間) に対する意見が多い。
- ・主な意見としては、次の通り。
 - 本数を増やしてほしい。
 - 通勤時間帯の増便。
 - 最終便を遅くしてほしい。
 - 名鉄の特急電車に合わせたダイヤにしてほしい。
 - 時間通りに来ない。
 - 江南駅ロータリーが一般車で混雑して、電車に乗り遅れたことがある。

(4) 自由意見 (問4)

- ・運行頻度、ダイヤ設定、停留所環境等についての指摘が多い。
- ・運行頻度、ダイヤ設定以外の自由意見としては、次の通り。
 - 江南駅のバス停に自家用車が停車している。
 - ドライバーの運転技術に差がある。
 - 発車までエアコンを切るのはやめてほしい。
 - 高校生のマナーが悪い。
 - 運賃が高い。

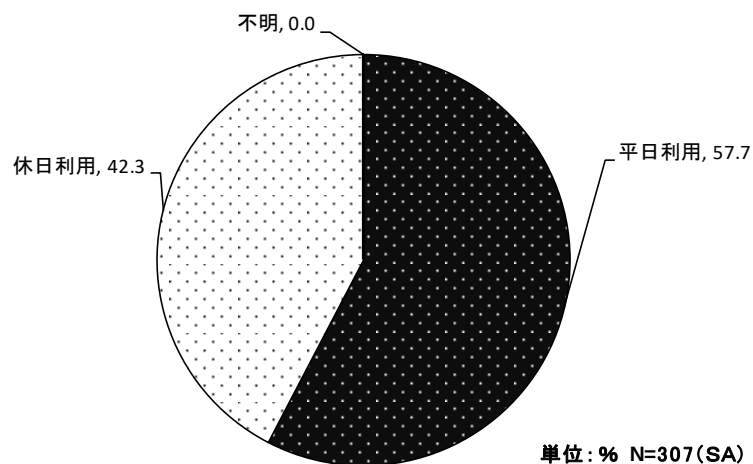
3. 名鉄バス「江南団地線」の調査結果

(1) 回答者属性

○調査日

- ・ 平日が 57.7%、休日が 42.3%となっている。
- ・ 名鉄バス「江南・病院線」より、休日の回答割合が多い。

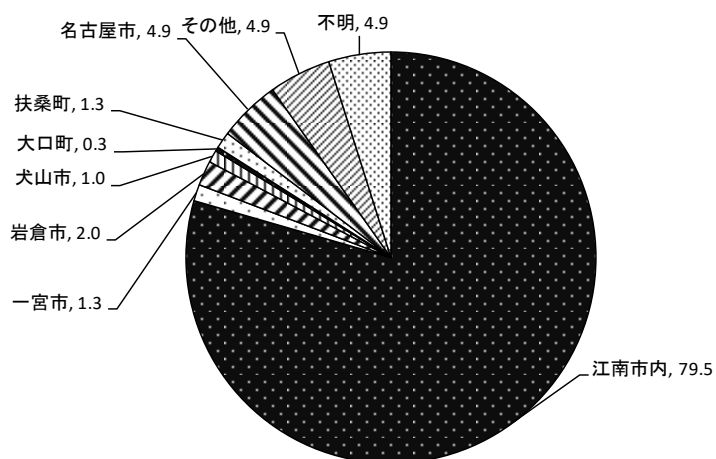
図表 5-16 調査日



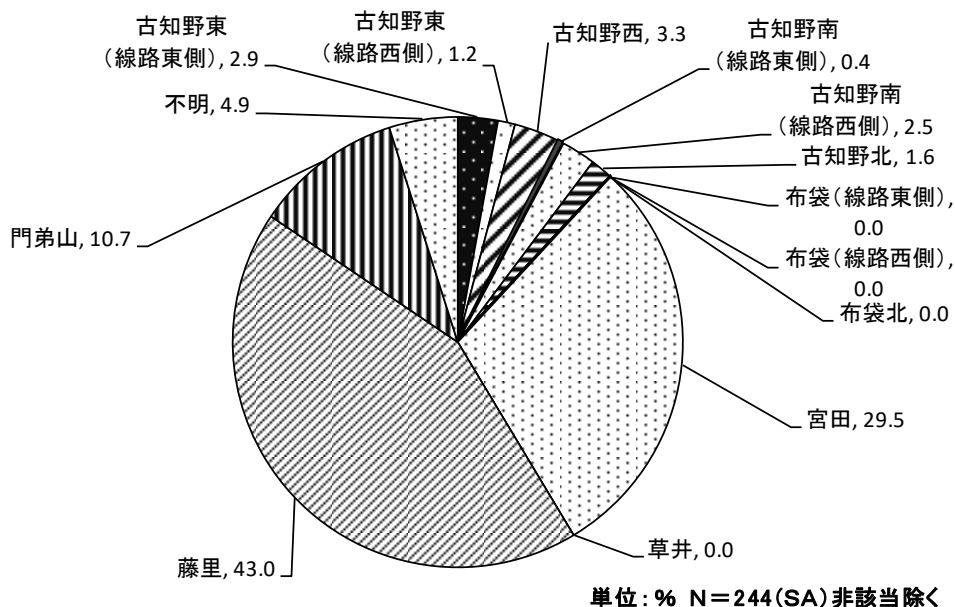
○居住地

- ・ 江南市内が 79.5%。
次いで、名古屋市が 4.9%となっている。
- ・ 江南市内では、藤里が 43.0%と最も多く、次いで、宮田が 29.5%となっている。

図表 5-17(1) 居住地



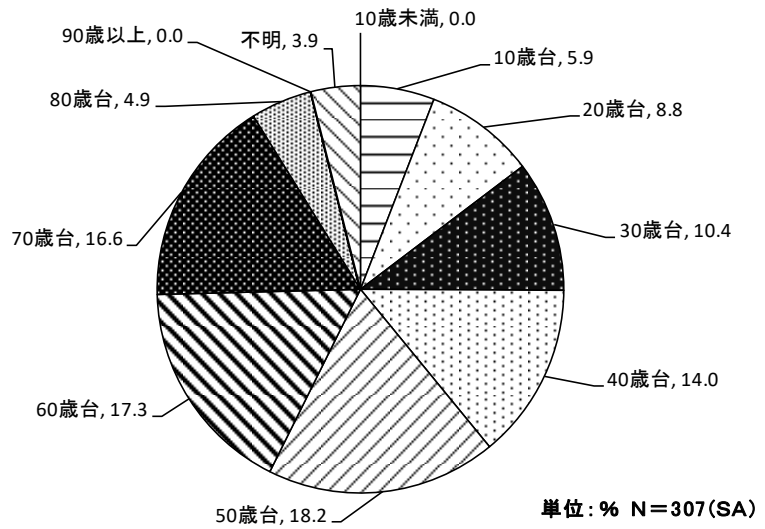
図表 5-17(2) 居住地



○年齢

- ・回答者の年齢では、60 歳未満が 57.3%。
- ・70 歳・80 歳台の利用は、21.5%となっている。

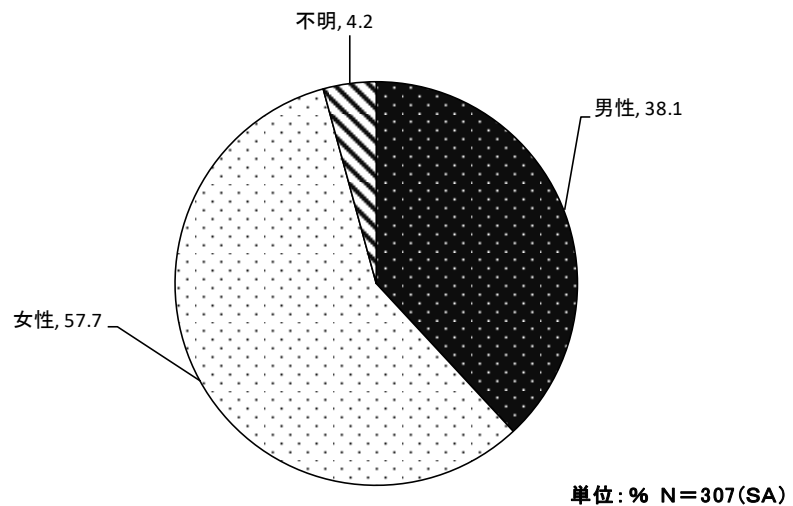
図表 5-18 年齢



○性別

- ・女性が 57.7%となっており、女性の利用が多い。

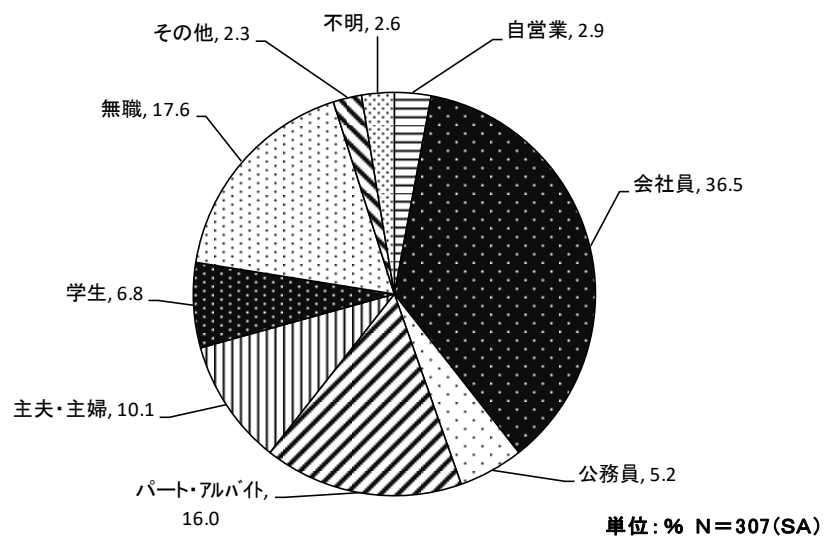
図表 5-19 性別



○職業

- ・会社員が 36.5%と最も多く、次いで、無職 17.6%となっている。

図表 5-20 職業

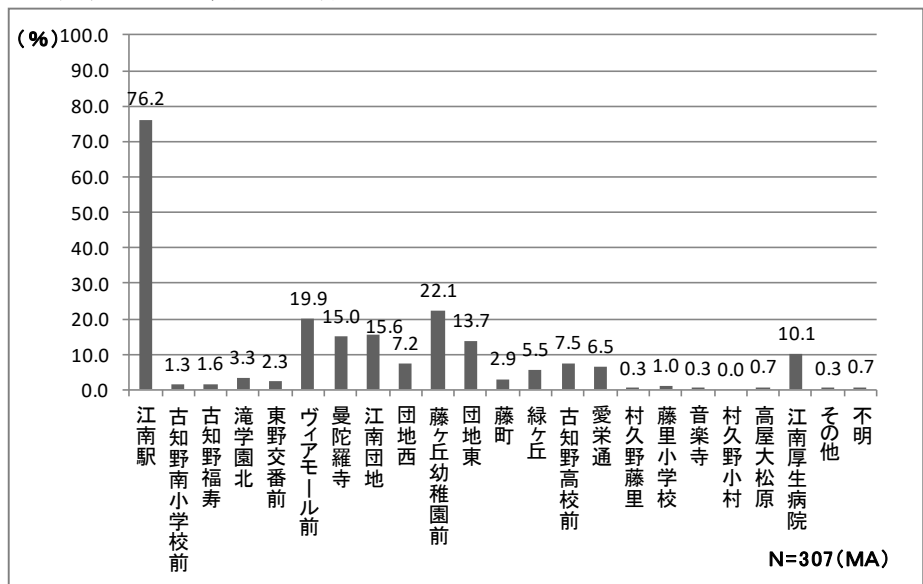


(2) 利用状況（問1）

○利用バス停

- ・江南駅が 76.2%、江南団地内の藤ヶ丘幼稚園前が 22.1%、次いで、ヴィアモール前が 19.9%と多い。
- ・江南団地内の中では、団地西が 7.2%と最も少ない。

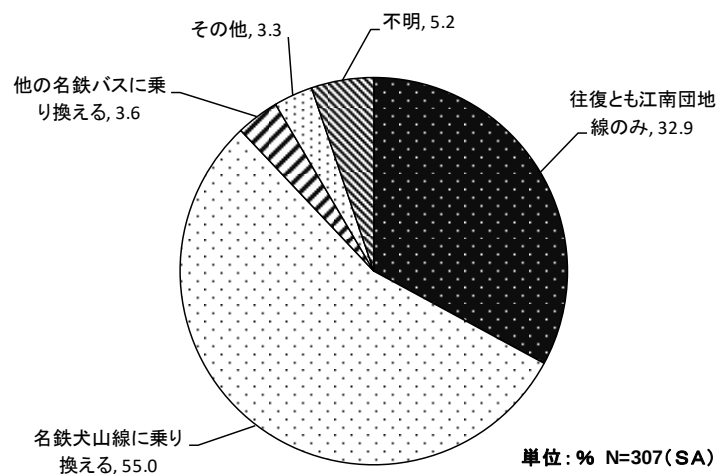
図表 5-21 利用バス停



○乗継状況

- ・名鉄バス「江南団地線」のみの利用が 32.9%、名鉄犬山線への乗り継ぎ・その他名鉄バスへの乗り継ぎ利用が合わせて 58.6%となっており、乗り継ぎ利用の方が多い。

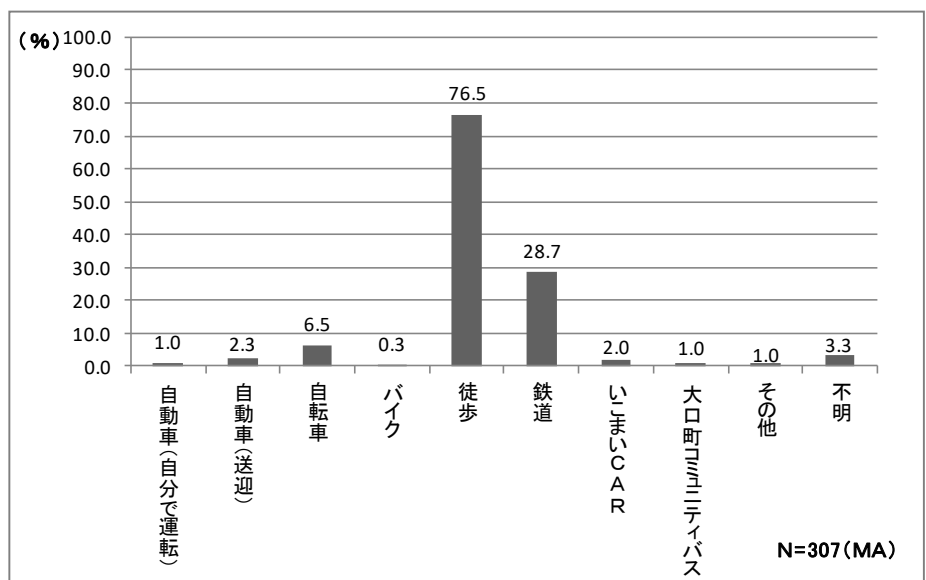
図表 5-22 乗継状況



○前後の移動手段

- ・徒歩、鉄道利用に次いで、自転車の利用が 6.5%認められる。

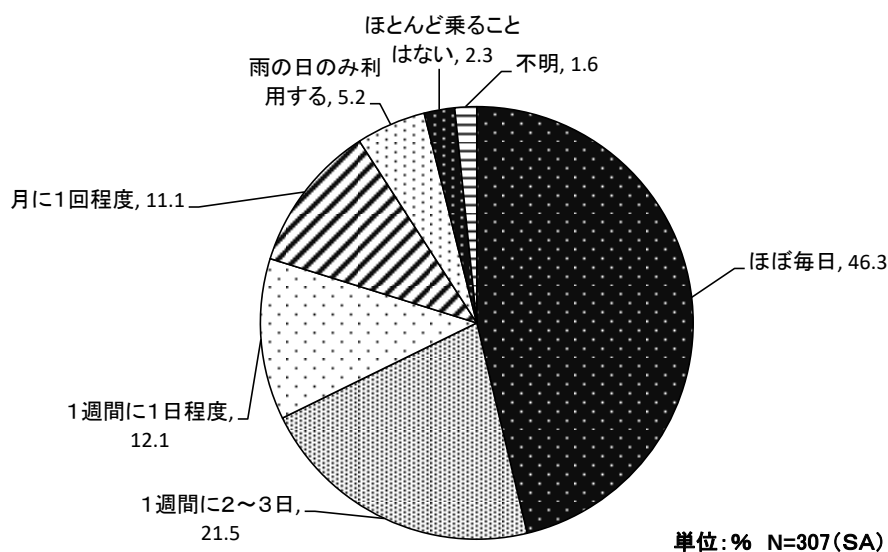
図表 5-23 移動手段



○利用頻度

- ・ほぼ毎日利用が 46.3%。
次いで、1 週間に 2～3 日の利用が 21.5%となっている。
- ・名鉄バス「江南・病院線」よりも「江南団地線」の方が、利用頻度が多い。

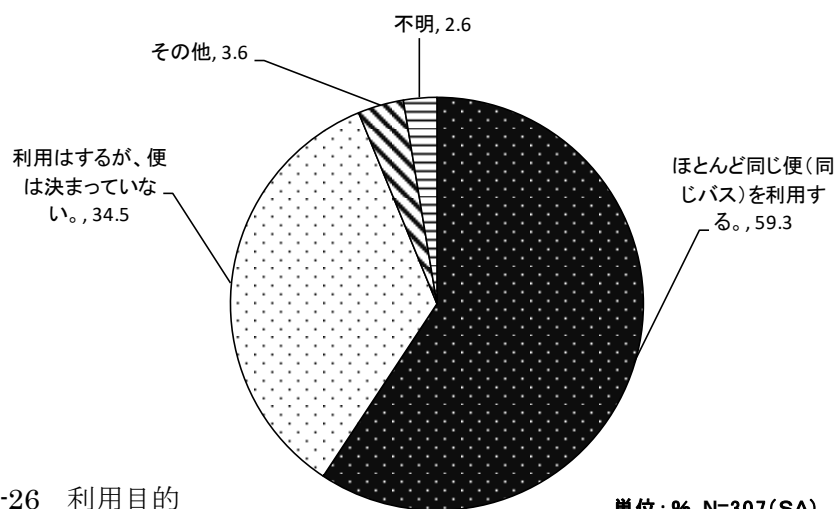
図表 5-24 利用頻度



○利用の仕方

- ・通勤、ほぼ毎日利用者が多いことなどから、同じ便を利用する割合が 59.3%となっている。

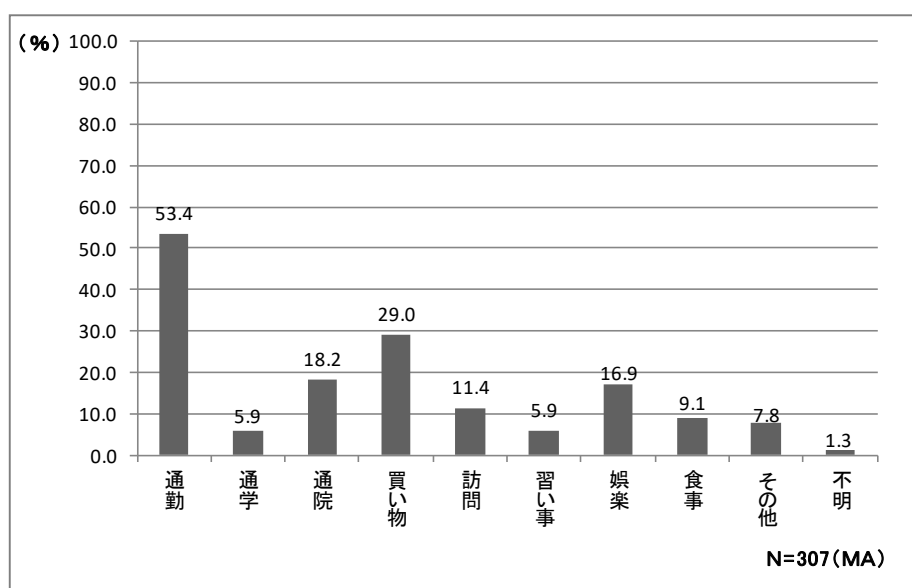
図表 5-25 利用の仕方



○利用目的

- ・通勤利用が 53.4%と最も多く、次いで、買い物利用が 29.0%、通院利用が 18.2%となっている。

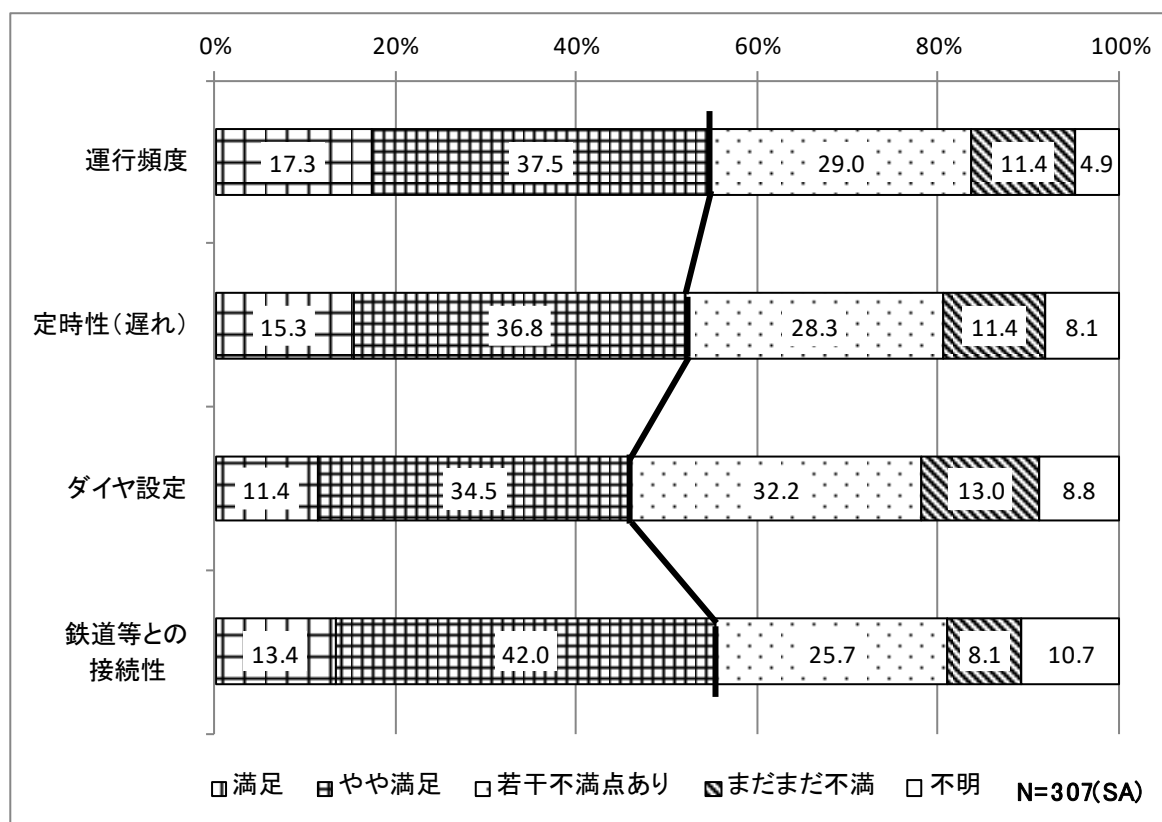
図表 5-26 利用目的



(3) 満足度 (問2)

- ・全項目で、不満より満足が上回る中で、ダイヤ設定が他の項目に比べ、満足度が低い。

図表 5-27 満足度



○不満と思うこと、改善すべき点 (自由意見)

- ・ダイヤ設定 (利用時間)、定時性 (遅れ)、鉄道等との接続性、運行頻度の全てで意見が指摘された。
- ・主な意見としては、次の通り。
 - 夕方から夜の便が少ない。遅くまではしい。
 - 朝の便、昼の便を増やしてほしい。
 - 時間通りに来ない。雨の日は遅れる。
 - 鉄道に合わせたダイヤにしてほしい。
 - 本数を増やしてほしい。
 - 運転があらいい時がある。

(4) 自由意見 (問4)

- ・停留所環境、運行頻度、ダイヤ設定等についての指摘が多い。
- ・上記以外に指摘された自由意見としては、次の通り。
 - バス停は禁煙にすべき (マナーが悪い)。
 - 江南駅のロータリーを何とかしてほしい。
 - 藤まつりの時は臨時便を出してほしい。
 - 名鉄バスの携帯サイトが見にくい。鉄道との乗り換えがわかれば便利。
 - 社員教育を充実させてほしい。
 - 発車までエアコンを切るのはやめてほしい。 など

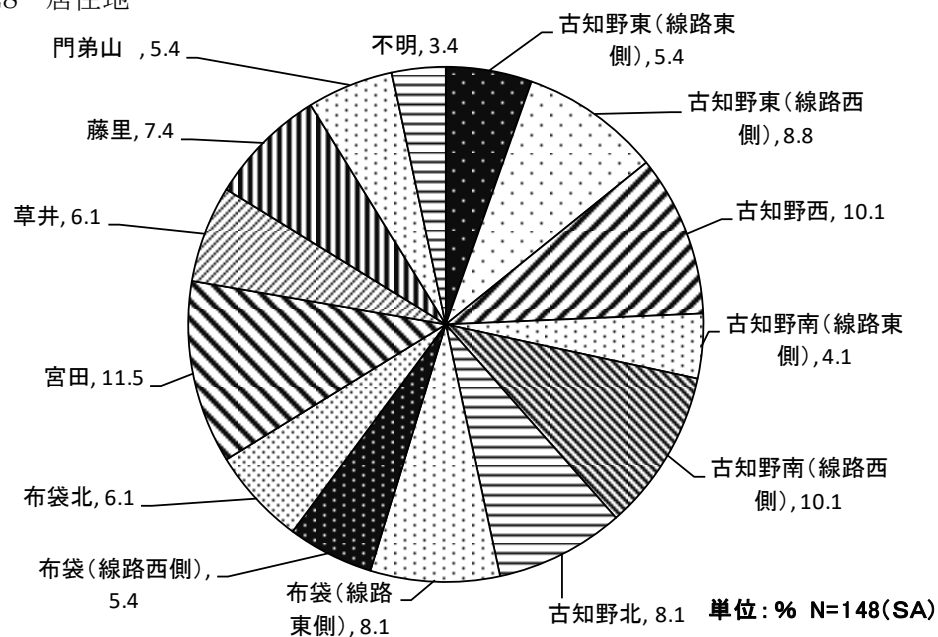
4. いこまいCAR の調査結果

(1) 回答者属性 (問1)

○居住地

- ・構成比として10%を超えている地域は、古知野西(10.1%)、古知野南(線路西側)(10.1%)、宮田(11.5%)の3地区となった。

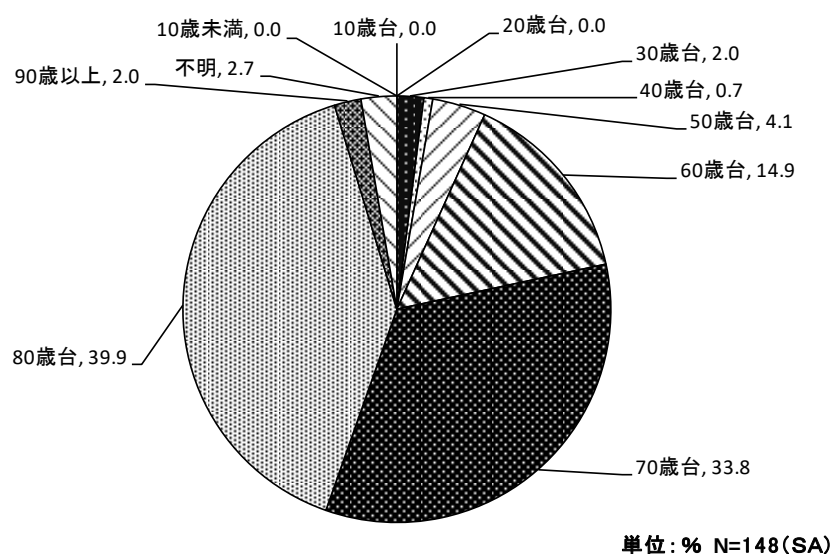
図表 5-28 居住地



○年齢

- ・回答者の年齢では、60歳未満が6.8%。
- ・80歳台の利用が39.9%と最も多く、次いで70歳台の利用が33.8%となっている。

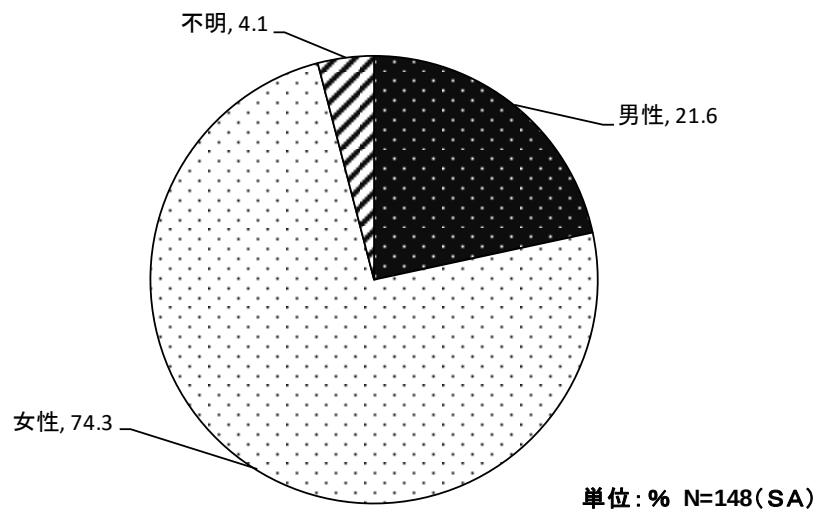
図表 5-29 年齢



○性別

- ・女性が 74.3%となっており、女性の利用が多い。

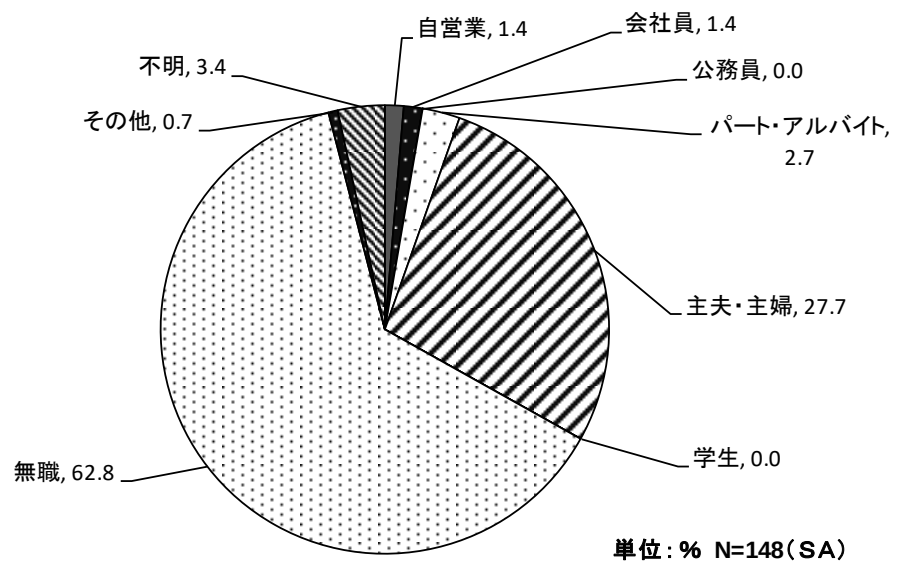
図表 5-30 性別



○職業

- ・無職が 62.8%と最も多く、次いで、主夫・主婦が 27.7%となっている。

図表 5-31 職業

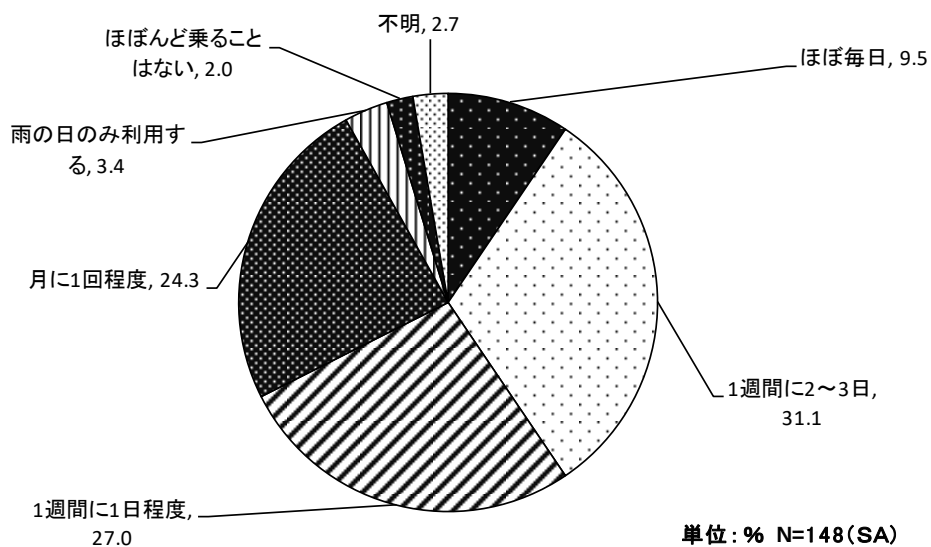


(2) 利用状況 (問2)

図表 5-32 利用頻度

○利用頻度

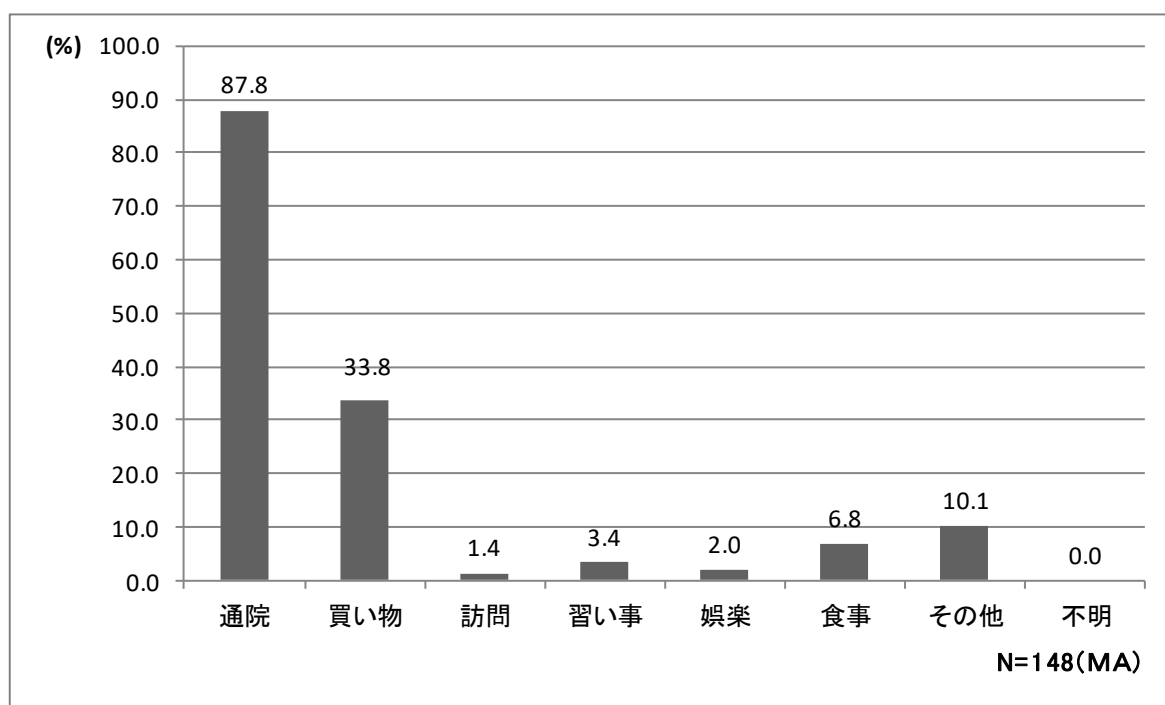
- ・ 1週間に2～3日の利用が 31.1%と最も多く、次いで、1週間に1日程度の利用が 27.0%、月に1回程度が 24.3%となっている。



○利用目的

- ・ 通院が 87.8%と最も多く、次いで、買い物利用が 33.8%となっている。

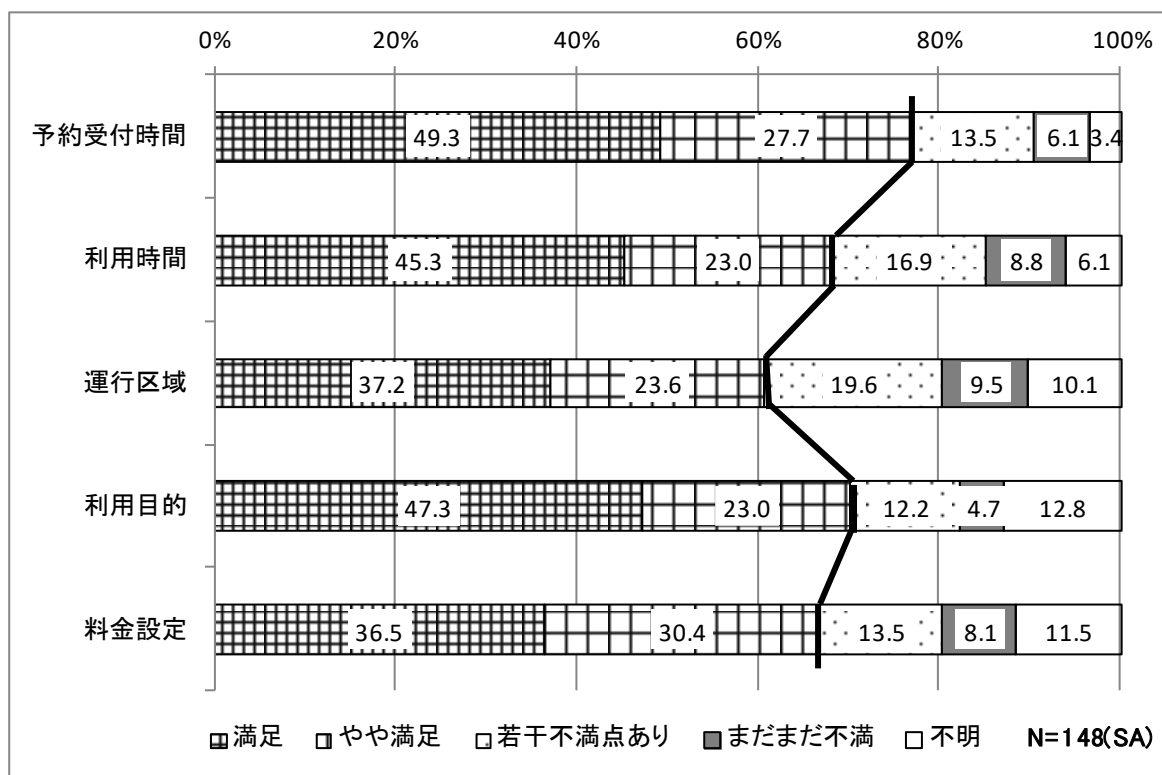
図表 5-33 利用目的



(3) 満足度 (問3)

- ・全項目で、不満より満足が上回る中で、運行区域（市外利用等）の満足度が他の項目に比べ低い。

図表 5-34 満足度



○不満と思うこと、改善すべき点（自由意見）

- ・主な意見としては、次の通り。
 - 予約時間は、当日予約にしてほしい。
 - 利用時間は、遅くまで伸ばしてほしい。
 - 運行区域は、市外利用できるようにしてほしい。
 - 料金設定は、安くしてほしい、迎車料金を無くしてほしい。

(4) 自由意見 (問4)

- ・運行区域、予約受付時間、料金設定等についての指摘が多い。
- ・上記以外のその他意見は、次の通り。
 - 荷物があるときは車に入れてもらいたい。
 - 一部のタクシー事業者は評判が悪い。
 - 是非続けてほしい。存続を望む。

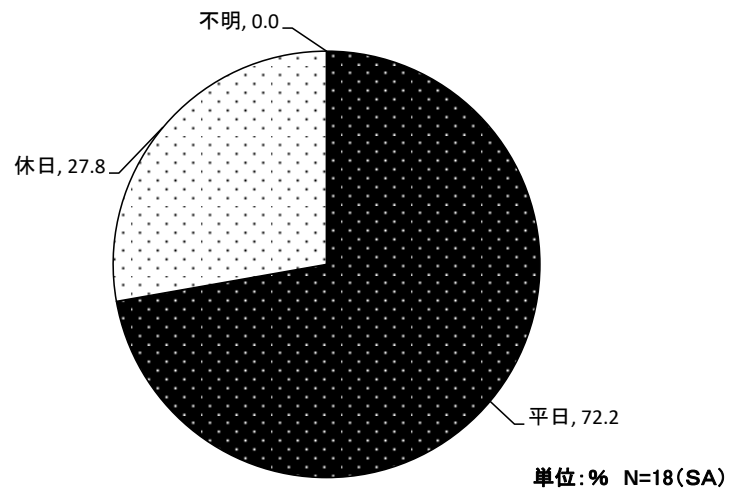
5. 大口町コミュニティバスの調査結果

(1) 回答者属性 (問1)

○調査日

- ・平日が 72.2%、休日が 27.8%となっている。

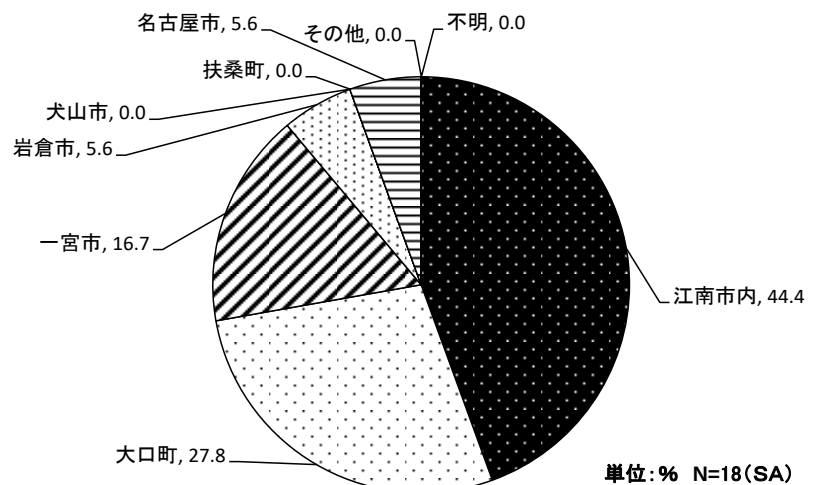
図表 5-35 調査日



○居住地

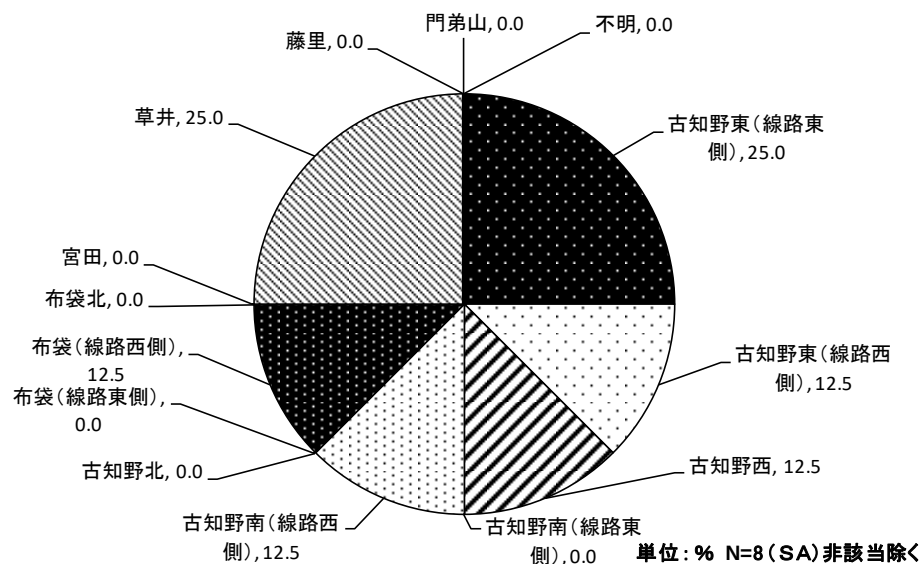
- ・江南市内が 44.4%。
- 次いで、大口町が 27.8%となっている。

図表 5-36(1) 居住地



- ・江南市内では、古知野東、古知野西、古知野南、布袋、草井の利用者が認められた。

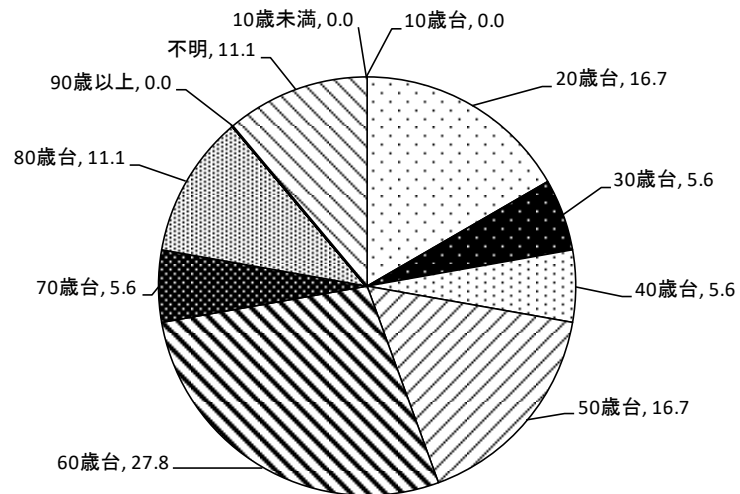
図表 5-36(2) 居住地



○年齢

- ・回答者の年齢では、60歳未満が44.6%となっている。
- ・70歳・80歳台の利用は、16.7%となっている。

図表 5-37 年齢

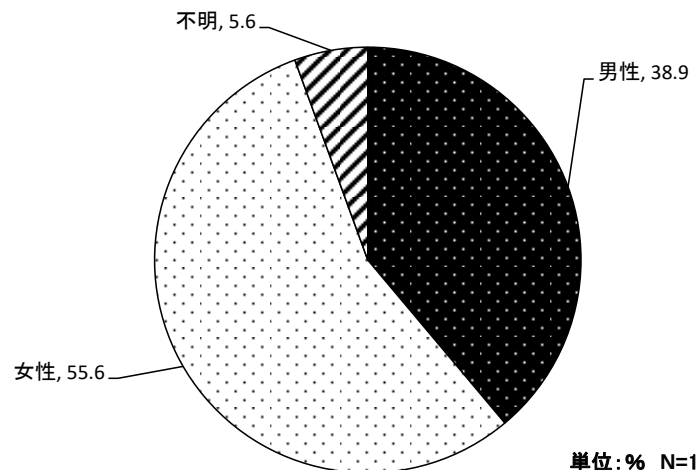


単位: % N=18(SA)

○性別

- ・女性が55.6%となっており、女性の利用が多い。

図表 5-38 性別

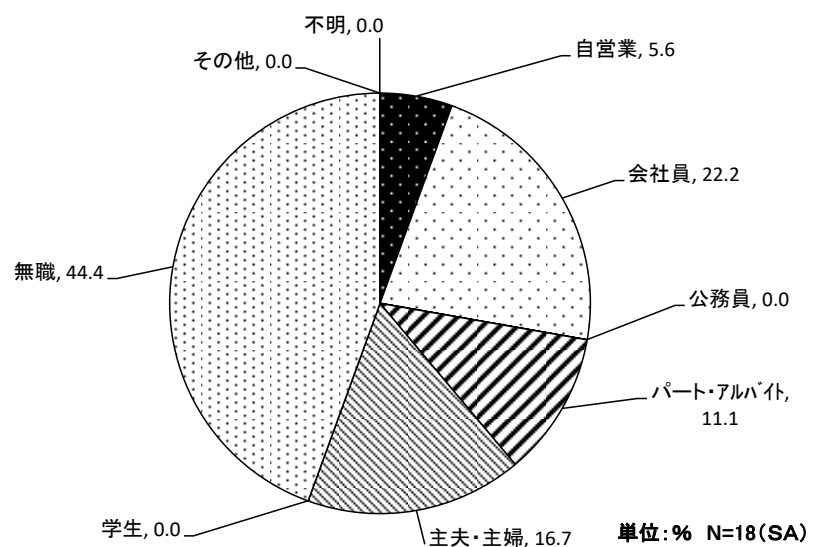


単位: % N=18(SA)

○職業

- ・無職が44.4%と最も多く、次いで、会社員22.2%となっている。

図表 5-39 職業



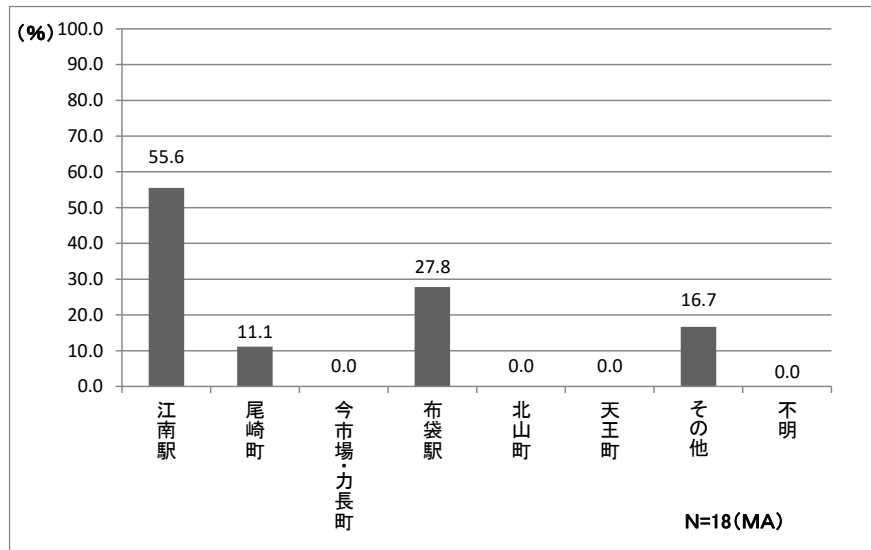
単位: % N=18(SA)

(2) 利用状況 (問2)

○利用バス停

- ・江南駅が 55.6%、布袋駅が 27.8%と多い。

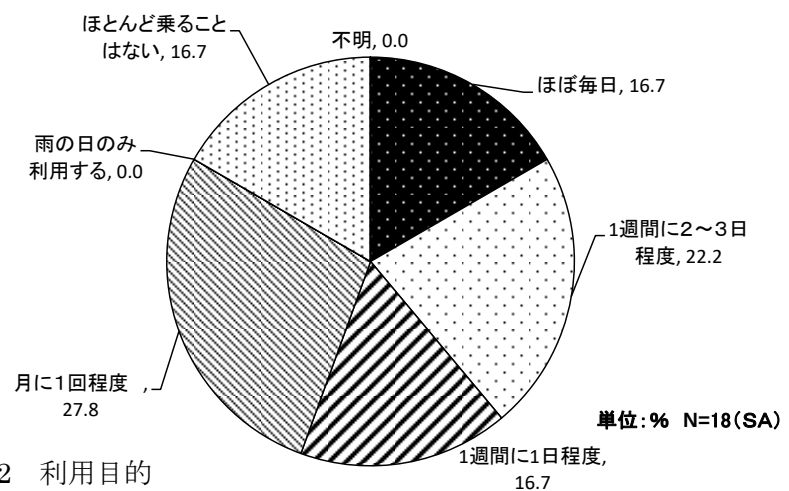
図表 5-40 利用バス停



○利用頻度

- ・月に1回程度の利用が 27.8%と最も多く、次いで、1週間に2～3日程度が 22.2%となっている。

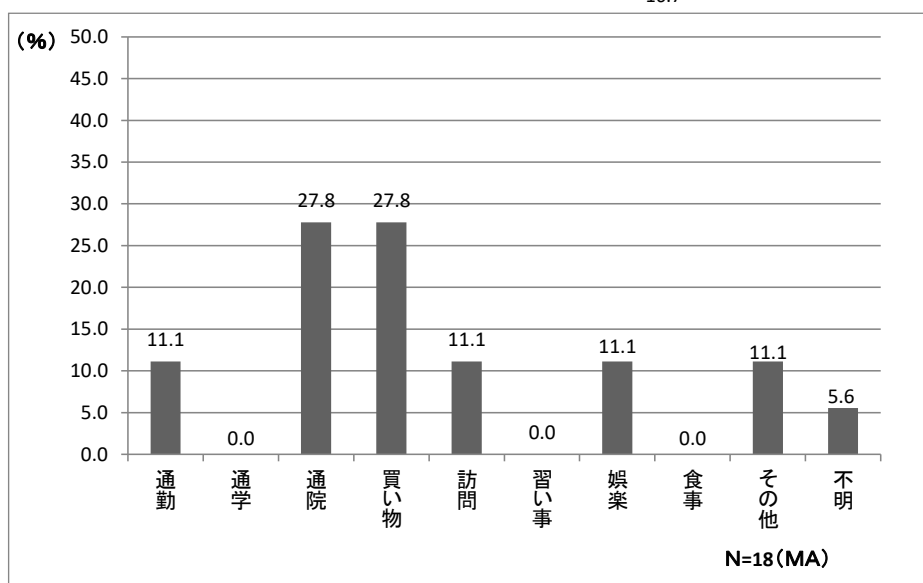
図表 5-41 利用頻度



○利用目的

- ・通院利用と買い物利用が 27.8%と同率で多い。

図表 5-42 利用目的

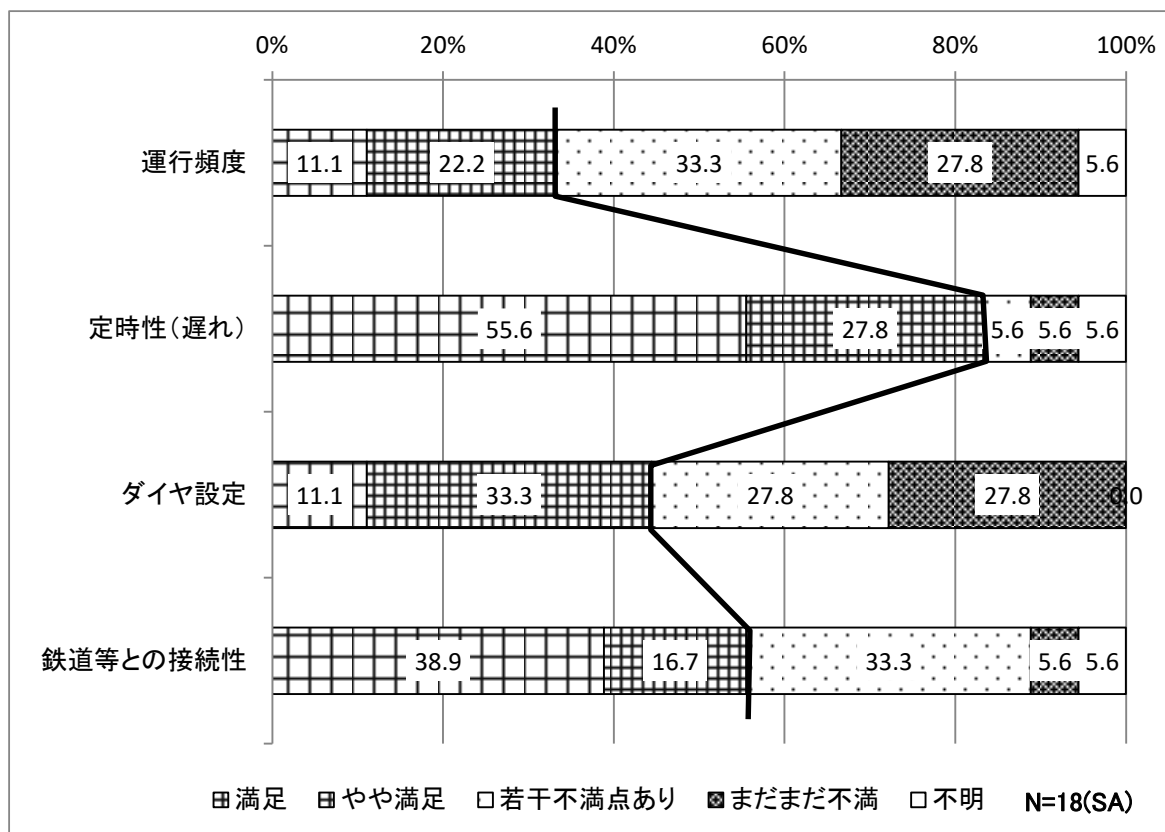


- ・特定施設として多い場所は、「さくら総合病院」「アピタ大口店」「大口福祉会」「ヨシヅヤ大口店」の回答が確認された。

(3) 満足度 (問3)

- ・運行頻度とダイヤ設定については、満足より不満が上回る。

図表 5-43 満足度



○不満と思うこと、改善すべき点 (自由意見)

- ・運行頻度に対する意見が多い。
- ・主な意見としては、次の通り。
 - 本数が少ない。
 - 本数を増やしてほしい。
 - 時刻がまちまちでわかりにくい。

(4) 自由意見 (問4)

- ・主な自由意見としては、次の通り。
 - 本数が少ない。
 - 往復で100円がいい。ほんとにただにしてほしい。
 - 小型バスでも良いのではないか。
 - 土日も夕方以降のバスを走らせてほしい。
 - 運転手が無愛想で運転もあらくこわいのであまり使用していない。

第6章 江南市地域公共交通を語る会の開催結果

1. 語る会の概要

(1) 開催日時及び出席者数

図表 6-1 開催日と出席者数

日時	場所	出席者数
8月20日(土) 18:30～	布袋ふれあい会館	16名
8月21日(日) 14:00～	古知野西公民館	13名
8月25日(木) 18:30～	中央コミュニティ・センター	12名
8月31日(水) 18:30～	宮田地区学習等供用施設	24名
9月2日(金) 18:30～	古知野北部地区学習等供用施設	15名
小計		80名

(2) 開催内容

○江南市の公共交通の現状についての報告

○グループに分かれて意見交換

- ・自己紹介と公共交通の利用状況の確認
- ・公共交通の現状報告に対する意見の確認
- ・今後、どのような対応をすべきかについての意見の確認

○各グループの意見の発表、確認

(3) 開催風景（写真）



2. 語る会での主な意見

(1) 名鉄バスに対する主な意見

○サービス水準・利用環境に対する意見

- ・便数が少ない。本数を増やしてほしい。運賃高い。バス停まで遠い。
- ・バス停に屋根がほしい。バス停環境よくない。
- ・最終便を遅くしてほしい。
- ・鉄道、路線バス相互の乗り継ぎをしやすく。
- ・布袋駅の鉄道とバスの接続が悪い。
- ・朝の江南団地から江南厚生病院行きの便数増をしてほしい。江南厚生病院から江南団地に戻る昼の便を増やしてほしい。江南厚生病院への便数が減って不便になった。

○事業改善に対する意見

- ・江南団地から江南厚生病院への利用は少ないのではないか。
- ・江南団地の一周はもったいない。バス停を減らすべき。
- ・江南→一宮方面のルートの見直し（平和堂・滝学園の新たな道路等）。
- ・江南厚生病院からすいとぴあ江南は別の手段にした方がよい。
- ・北部エリアは利用しにくい。
- ・フラワーパーク江南に行くバスがない。
- ・車両が大きすぎる。小型バス、ワゴン車ぐらいに小さくすべき。

○補助支援に対する意見

- ・補助金をもっと減らせないか。赤字の多い路線を見直すべき。
- ・補助金投入をやめて、コミュニティバスに切り替えるべき。順次廃止し、コミュニティバスに転換すべき。
- ・赤字バス路線の補助はやめるべき。
- ・利用者負担、応分の負担を考えるべき。
- ・名鉄バスに頼らず、江南市がマイクロバスで交通網を作るべき。
- ・病院、スーパー、駅等をつなぐ、循環するバスを走らせるべき。

(2) いこまいCARに対する主な意見

○事業に対する意見

- ・なくしてほしい。
- ・高齢者しか利用できない、年齢制限があるとの間違った認識をしている人が多いと思う。

○制度改善に対する意見

- ・予約がネック。前日予約を当日予約にしてほしい。いつでも予約・呼べるようにしてほしい。
- ・運行時間を延長してほしい。希望は朝6時から夜10時まで。
- ・江南市内だけの利用では、生活圏とあっていない。市外利用を認めて欲しい（柏森駅・商業施設等）。

- ・使うかわからないので登録しづらい。自動登録ができるように。

○運賃設定に対する意見

- ・定期便よりも運賃が高くなった。空白地域に住んでいる人にとって運賃が高く使えない。
- ・収入のある人は使い勝手が良いが、余裕のない人には負担が重い。所得での減免。
- ・距離の格差を減らしてほしい。周辺部との格差がある。

○バス事業との関係性に対する意見

- ・名鉄バスといこまい CAR の二重投資になっている。いこまい CAR はバスへの乗り継ぎ利用にすべき。
- ・いこまい CAR がバスの利用を減らしている（妨害）。
- ・予約便の利用が多い区間を定期便にすべき。巡回バスにする。

○制度設計等に対する意見

- ・福祉タクシー料金助成との役割分担について再検討すべき。年齢制限すべき（70 歳以上など）。
- ・利用の目的を病院等に制限すべき。目的と緊急性に応じて分類すべき。
- ・制度を再構築する必要がある。
- ・事業運営を第三セクター（個人）等に移してもよいのではないかな。

（３）福祉タクシー料金助成制度に対する意見

○制度設計等に対する意見

- ・48 枚では少なすぎる。
- ・対象者の枠の拡大。
- ・対象年齢（85 歳）を弱者の実年齢に引き下げるべき（75、80 歳など）。
- ・不適切な利用がある（旅行、パチンコ、飲酒時など）。

○事業費等に対する意見

- ・高福祉要求により市の財政赤字拡大。既得権にメスを入れるべき。
- ・福祉有償ボランティア輸送を検討すべき。

（４）大口町コミュニティバスに対する意見

- ・便数が少ない。
- ・生活圏を考えると、江南・大口・扶桑で一緒に対応すべき。
- ・バス停に屋根がほしい。暑いし寒い。

(5) 交通空白についての意見

- ・空白地がないというのはおかしい。宮田、飛保、鹿子島、草井、勝佐などは困っている。
- ・駅に出るのに 20～30 分もかかる場所への配慮をしてほしい。
- ・いこまい CAR は公共交通とは言えない、交通空白地域はある。タクシーがあるから空白がないとは言えない。
- ・空白地を解消することが大事。
- ・空白地居住者にアンケートをしてほしい。
- ・空白地への対応は、いこまい CAR のランク分けをして補助投入する。
- ・安心料として地域からの寄付、受益者負担を。
- ・きめ細かいフォロー、福祉政策で。

(6) 新たなサービスに対する意見

- ・新しいコミュニティバスを導入すべき。
- ・巡回バスの導入。夜の便の確保。
- ・市で独自にバスを走らせるといくらかかるのか教えてほしい。
- ・ボランティアで対応できるのではないか。地域通貨の仕組みと一緒に。
- ・拠点を選択し、ハブ&スポーク※1としてネットワークをつなぐ。
- ・玄関先まで迎えに来てくれるサービスも必要。
- ・江南駅から江南厚生病院までの無料バスを。
- ・スクールバスの活用を。企業の送迎バスの活用。大口町のように企業との連携を。

(7) 駅前整備に対する意見

- ・送迎車両で危ない。
- ・駅周辺の交通規制を行い、混雑緩和を。
- ・駐輪場、駐車場の整備が必要。
- ・駐車場を借りている人用に、公共交通で通勤できるようにしてほしい。

(8) 自転車利用についての意見

- ・自転車で気軽に走れる道路がほしい。
- ・裏道の活用、歩道の整備など。
- ・シェアサイクルがあると便利。
- ・自転車専用道路がない。

(9) 税金投入についての意見

- ・もっと財政投入すべき。
- ・どれくらいまで補助できるか検討すべき。
- ・補助金はもっと減らせないか。コスト削減すべき。
- ・江南市は補助金を出しすぎ。これ以上の投入はだめ。財政負担の歯止めがない。
- ・財政投入のキャップ（上限枠）を決めるべき。
- ・受益者負担にすべき。
- ・企業バスの活用、連携方法の検討を行うべき。大口町のように広告・企業スポンサーを。
- ・市長の退職金など、人件費高い。江南市は貧乏ではない。
- ・財政を豊かにすることが先決。福祉にお金がかかるのは当然。大きな財政計画を。
- ・財政負担、利用状況からみると年々増加しており今後が心配。

(10) その他全体に対する意見

○評価

- ・公共交通は大変充実していると思う。

○情報提供について

- ・公共交通について十分理解できていなかった。
- ・もっとPRすべき。情報提供すべき。
- ・こうした会合が多くあればよいと思う。市職員が資料説明、進行すべき。
- ・市議会議員、区長が住民の意見を吸い上げる仕組みが必要。
- ・市の現状報告までなので、市の考えを聞きたい。

○将来不安に対する意見

- ・将来が不安。

○その他の意見

- ・使いたい人の掘り起しが必要。
- ・個人の意見を聞いても使わなければ意味がない。
- ・サポートする人が必要。民生委員の活用。ボランティア輸送、元気な人が他人を乗せる仕組みの検討。
- ・行政サービスの選択と集中が必要。

注釈

※1 ハブ&スポーク…交通の中心となる拠点を自転車の車輪の中心にある車軸（ハブ）、そこから各方面に向かっていく路線を車軸から延びる鉄の棒（スポーク）になぞらえて、バスを同時刻に中心地（ハブ）に集め、乗り換えが完了したら、一斉に各方面へ発車させる方法

第 7 章 基礎調査結果

1. 基礎調査結果

(1) 江南市の公共交通の現状について（要約）

○人口構造の推移・見通し

- ・生産年齢人口は既に減少。老年人口は増加。将来は高齢者のみ増加、全体では減少見通し。

○人口流動・地勢等

- ・人口分布構造は、市街化区域を中心に分布し、江南団地・駅周辺等にゆるやかに集中。
- ・名古屋市、小牧市、一宮市、大口町、犬山市、扶桑町等への通勤通学流動あり。
- ・江南市は扇状地で、起伏が少ない平坦な地域。

○交通インフラのカバー状況

- ・駅から 1km、バス停から 500m 圏域の人口カバー率は 78.7%。
(エリア外人口約 21,000 人)
(国の地域公共交通確保維持改善事業費補助金要綱の基準である駅 1km、バス停 1km 圏域のカバー率 93.3% : エリア外人口約 6,600 人)
- ・いこまい CAR、福祉タクシー料金助成制度等により、市内全域の移動サービスあり。

○交通インフラの維持の状況

- ・市が財政を投入している公共交通の年間延べ利用者数 : 約 62 万人。
(名鉄バス「江南・病院線」「江南団地線」: 54 万人・87%、いこまい CAR : 6 万人・10%、大口町コミュニティバス : 2 万人・3%)
- ・最近 3 年間の利用者推移は、ほぼ横ばい。いこまい CAR の登録者数は増加。
- ・財政投入は年間約 6,000 万円 (いこまい CAR 約 3,100 万円、名鉄バス補助約 2,900 万円)。
- ・平成 19 年度以降、財政投入額は増加傾向。

(2) 平成 25 年度市民アンケート調査結果について（要約）

○外出実態

- ・「外出には困難を感じない」との回答者が 91%。「杖が必要」が 4%、「介助が必要」2%、「困難な状況」との回答が 2%。
- ・「買い物」時の交通手段の内、「鉄道」利用者 13%、「バス」等 5%。「通院」時の交通手段の内、「鉄道」利用者 2%、「バス」等 5%。買い物・通院時のバス利用は約 5%。
- ・「日常の移動に不便を感じているか」を確認すると、「感じている」との回答は 24%。「感じていない」との回答は、73%。

○公共交通の認知度

- ・「バス路線」の認知度は、「ほとんど知らない」「まったく知らない」合わせて 52%。
- ・「いこまい CAR」の認知度は、「名前は知っているが利用方法は知らない」が 54%、「知らない」が 24%。公共交通の認知度は高くない。

○公共交通を利用しない人の理由

- ・居住地近くにおけるバス停の有無については、「知らない・わからない」が 38%、「ある」が 25%、「ない」が 37%。
- ・近くにバス停がある人のバスを利用しない理由は、「車を運転できる」が 64%。

○公共交通の満足度

- ・「バス」の満足度は、「わからない」が 41%。「満足」が 15%、「不満」が 34%。居住地別では、市周辺部での満足度が相対的に低い。

○事業評価（税投入とサービス維持とのバランス）

- ・「民間路線バスを維持することの妥当性（評価）」について、「わからない」との回答が 29%、「妥当」が 38%、「不満」が 28%。不満より妥当が上回る。
- ・「いこまい CAR を維持することの妥当性（評価）」について、「わからない」との回答が 32%、「妥当」が 19%、「不満」が 45%。妥当より不満が上回る。
- ・「今後の税金投入とサービス水準のあり方」は、「わからない」が 35%、「税投入を抑制すべき」が 21%、「現状は妥当」が 15%、「税金投入拡大」が 4%となっている。

(3) 利用者アンケート調査結果について（要約）

1) 名鉄バス「江南・病院線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」42%、「通院」32%、「買い物」11%、「訪問」9%、「娯楽」9%。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・増便、鉄道接続見直し、夜便確保等要望あり。

2) 名鉄バス「江南団地線」の利用者意向

- ・利用目的：「通勤」53%、「買い物」29%、「通院」18%、「娯楽」17%、「訪問」11%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「ダイヤ設定」が他と比べ低い。
- ・増便、夜便確保、鉄道接続見直し等要望あり。

3) いこまいCARの利用者意向

- ・利用目的：「通院」88%、「買い物」34%。
- ・満足度：全項目満足が上回る中で、「運行区域」が他と比べ低い。
- ・市外利用、料金設定、当日予約等要望あり。

4) 大口町コミュニティバスの利用者意向

- ・利用目的：「通院・買い物」（5件）、
「通勤、訪問、娯楽」（2件）。分散利用。
- ・満足度：「運行頻度、ダイヤ設定」は満足より不満が上回る。
- ・便数増等の要望あり。

(4) 江南市地域公共交通を語る会での主な指摘事項について（要約）

1) 名鉄バスに対する主な意見

○サービスの拡充要望

- ・便数が少ない、最終便を遅く、運賃が高い、バス停まで遠い、屋根がほしい、鉄道との接続が悪い、バス停の見直しなど。
- ・北部エリア、フラワーパークなどの路線確保。車両の小型化。

○税投入の見直し

- ・補助金の見直し。赤字の大きい路線の補助はやめるべき。
- ・利用者負担の拡大、応分の負担を考えるべき。

○コミュニティバスへの転換要請

- ・補助路線をやめて、コミュニティバスに転換すべき（市がマイクロバスで交通網を作るべき）。
- ・病院、スーパー、駅等をつなぐ、循環バスを走らせるべき。

2) いこまいCARに対する主な意見

○事業存続意見

- ・なくしてほしくない。

○サービスの拡充要望

- ・予約がネック。当日予約にしてほしい。
- ・運行時間の延長（朝6時～夜10時）。
- ・市外利用を認めてほしい（柏森駅、商業施設等）。

○運賃制度

- ・距離の格差を減らしてほしい。

○バス事業との関係性

- ・2重投資になっている（バス利用を減らしている）。
- ・バスへの乗り継ぎ利用にすべき。
- ・利用の多い区間を定期便にすべき。

○制度設計等に対する意見

- ・福祉タクシー料金助成制度との役割分担など、制度について再検討すべき。
- ・年齢制限を導入すべき（70歳以上など）。
- ・利用目的を制限すべき（病院等に）。

3) 福祉タクシー料金助成制度に対する主な意見

○制度設計等に対する意見

- ・配布枚数 48 枚では少ない。
- ・対象者の枠の拡大（年齢制限の引き下げ等）。
- ・不適切な利用の制限を行うべき。

○事業費等に対する意見

- ・登録条件（年齢、利用目的制限など）を見直し、全体事業費の削減を行うべき。
- ・福祉有償ボランティア輸送等のその他方法を検討すべき。

4) 大口町コミュニティバスに対する主な意見

○サービスの拡充要望

- ・便数が少ない、バス停環境の整備（屋根、風よけ）。

○事業構築に対する意見

- ・江南市、大口町、扶桑町で一緒に対応すべき。

5) 交通空白についての意見

○交通空白の定義について

- ・交通空白がないというのはおかしい。困っている地域がある。
- ・いこまい CAR は、公共交通とは言えない。タクシーがあるから空白がないとは言えない。

○交通不便地域の対応について

- ・定時定路線でカバーできていないエリアの解消が大事。

○改善方法について

- ・いこまい CAR を距離や年齢などにより補助率を変えるべき。
- ・地域からの寄付、受益者負担を考えるべき。
- ・福祉政策で対応。

6) 新たなサービスに対する意見

- ・新しいコミュニティバスを導入すべき。
- ・巡回バス、夜の便、無料バスなどの確保。
- ・拠点を選択して、相互に繋ぐネットワークをつくる。
- ・スクールバス、企業従業員送迎バスの活用。
- ・ボランティア輸送などの導入検討。

7) 駅前整備に対する意見

- ・駐輪場、駐車場の整備。
- ・駅周辺の交通規制を行い、混雑緩和を行う。

8) 自転車利用についての意見

- ・自転車で気軽に走れる道路・歩道の整備。
- ・シェアサイクルの導入。

9) 税金投入についての意見

○拡大意見

- ・もっと財政投入すべき。
- ・どれくらいまで補助できるか検討すべき。
- ・市長の退職金など、他の財源を回すべき。
- ・財政を豊かにする。福祉にお金がかかるのは当然。大きな財政計画を。

○抑制意見

- ・受益者負担にすべき。
- ・これ以上はだめ。上限枠を決めるべき。もっと減らすべき。

10) その他の意見

○実態評価・将来見通し

- ・公共交通は大変充実していると思う。
- ・将来が不安。

○情報提供について

- ・十分理解されていない。もっと情報提供・PRすべき。
- ・議会議員・区長が、住民の意見を吸い上げる仕組みが必要。

○その他

- ・個人の意見を聞いても使わなければ意味がない。
- ・行政サービスの選択と集中が必要。
- ・地域でサポートする仕組み、ボランティア輸送、元気な人が他人を乗せる仕組み等の検討。

第8章 調査結果をふまえた今後の対応方針

1. 調査結果のとりまとめ

(1) 現時点で江南市の公共交通は課題があるもののおおむね充足

- ・ 鉄道駅から半径 1 km 及びバス停から半径 500m のカバーエリア人口は 78.7% となっている。カバーエリア圏外の市民に対しても、いこまい CAR 等によって公共交通サービスが提供できている。
- ・ 現時点で、江南市の交通体系は定時定路線である名鉄バス及び大口町コミュニティバスで構成されており、いこまい CAR（一部、福祉タクシー料金助成）で補完している。
- ・ 現時点で、江南市には「交通空白地」は存在しないとし、鉄道駅から 1 km、バス停から 500m 圏外を「交通不便地域」とする。

(2) 既存の公共交通に対する個別要請についての対応

- ・ 公共交通はおおむね充足しているというものの、利用者アンケート調査や江南市地域公共交通を語る会では様々な個別要請があることを確認した。
- ・ 提出された個別要請は、基本的に現在の江南市地域公共交通会議の体制の中で検討できるものが大多数を占めている。
- ・ 個別要請を検討するためには内部組織だけでなく、外部委員を迎えて専門的に協議する体制を整えるべきである。

(3) 地域間の格差及び地域の機運

- ・ 公共交通に対する意見については、税投入や公共交通サービスの拡大・縮小など、地域間で格差があり、さらに、地域内でも意見の相違がみられる。
- ・ 現状の改善案としてコミュニティバス・巡回バスの導入など、新たな公共交通サービスの導入について意見はあるものの、利用者の確保策やコースの検討について地域の案として成熟した回答が出せる状況ではなく、公共交通に対する機運が高まっていない。

2. 今後の対応方針

(1) 公共交通施策の現時点での方針

○現状の交通体系をできるだけ維持

- ・現状の公共交通は、概ね充足しているため、この状況をできるだけ維持する。
- ・江南市都市計画マスタープランでは、将来の都市構造の中で都市核のうち中心核を江南駅周辺、サブ核を布袋駅周辺、江南厚生病院周辺と位置付けていることから、それぞれの核を結ぶ公共交通サービスを市の幹線と位置付ける。この位置付けに併せて、現状路線が存在し、人口集積率も高く公共交通サービスの利用者を多く見込むことができる江南団地と江南駅間の公共交通サービスについても幹線と位置付ける。
- ・幹線以外の支線についても「豊かで暮らしやすい生活都市」として江南市戦略計画に定める都市のすがたを実現するため、利用の状況を確認しながら維持・改善に努める。

○江南市地域公共交通会議に評価機能を新設

- ・現状の公共交通が各地域の都市を支えるネットワークとして機能しているかを評価し、より良いものにするため、江南市地域公共交通会議に評価の役割を新たに設定。

(2) 個別要請への対応

○個別要請については新たな場で検討

- ・利用者アンケート調査や江南市地域公共交通を語る会で個別要請が出されている状況を踏まえ、既存の枠組みの中で体制を強化する。
- ・個別要請への対応方法を協議するため、庁内で検討を進めるとともに、江南市地域公共交通会議に下部組織（検討部会）を新設する。
- ・下部組織は、現在の公共交通サービスに関する課題を集中的に協議し、その協議結果を江南市地域公共交通会議に報告・提案する。
- ・江南市地域公共交通会議は、下部組織の協議結果について合意形成を図る。

(3) 将来的な方向性

○江南市のまちづくりについて方向性が大きく転換する時期

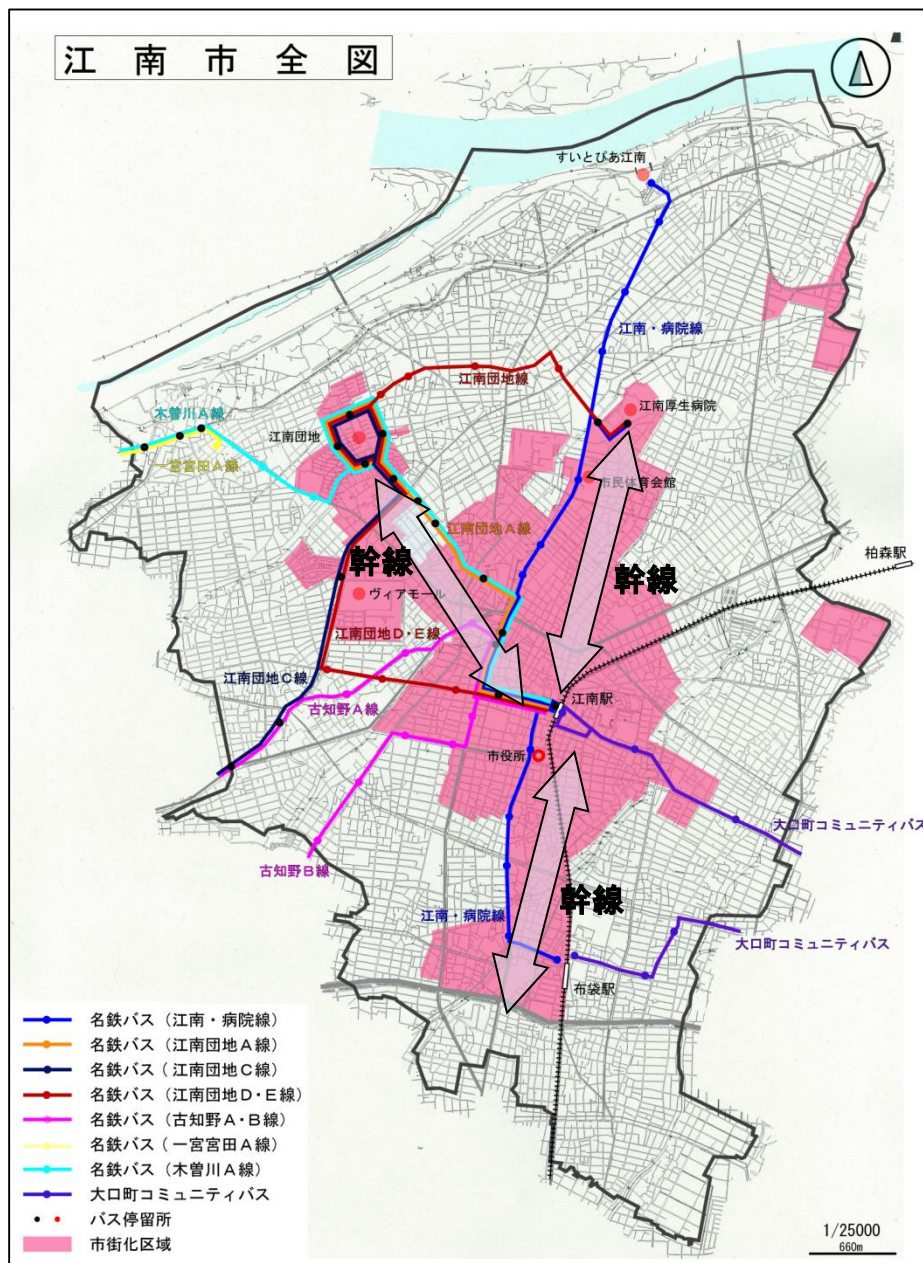
- ・現行の江南市戦略計画、江南市都市計画マスタープランの計画目標年次が平成 29 年度となっており、計画の見直しが予定されている。また、今後、立地適正化計画の策定についても検討されており、まちづくりと公共交通の整合性が確保できる時期とは言えない。
- ・布袋駅の鉄道高架化事業を推進しており、平成 31 年度末の完成を目指している。また、平成 28 年 9 月に布袋駅東側地区における再開発事業について検討を開始した状態であり、これから「まちのすがた」が大きく変わる時期を迎える。
- ・まちづくりの進展により大口町等との広域連携の方向性が転換する可能性がある。

- ・公共交通を再編し、新たなサービスを実現させようとする場合、地域（コミュニティ）が主体的に関わることが非常に大きな鍵であり、「地域が主役となり一体で公共交通について取り組む」といった機運の高まりが重要である。
- ・地域の機運を高めるための施策、地域主導の施策についても検討を進める。

○交通計画は「まちづくりの方向性」・「地域の機運の高まり」を考慮

- ・「まちづくりの方向性」が見えた段階に加え、「地域が主役となり地域住民（利用者）・行政・事業者が一体で公共交通に取り組む」といった公共交通に対する地域の機運の高まりが見えた時点で、公共交通の再編について改めて検討する。

図表 8-1 江南市内の公共交通と幹線の位置付け



図表 8-2 江南市の公共交通に関する協議体制の考え方

【現行体制】

江南市地域公共交通会議

- 体制
 - ・有識者、国、県、警察、道路管理者、老人クラブ、江南厚生病院、社会福祉協議会、県バス協会、バス事業者、県タクシー協会、公募市民、市
- 役割
 - ・道路運送法に基づき、バス等の旅客輸送の確保と地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。

江南市

- 必要に応じて「委員会」を設置
- ・交通会議での協議事項について、予め庁内調整等が必要な場合、都度必要に応じて委員会を設置。

【来年度の体制】

江南市地域公共交通会議

- 体制
 - ・有識者、国、県、警察、道路管理者、老人クラブ、江南厚生病院、社会福祉協議会、県バス協会、バス事業者、県タクシー協会、公募市民、市
 - ・その他交通会議で必要と認める者(市長が委嘱)(議会、周辺自治体、鉄道事業者等をオブザーバーとして参加要請する。)
 - ・集中して協議すべき事項が生じた場合、「部会」を設置できる。
- 役割
 - ・道路運送法に基づき、バス等の旅客輸送の確保と地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する。
 - ・部会での協議結果をふまえ、関係者の合意形成を図る。(承認の場)
 - ・交通会議での合意事項や輸送サービスに関する事業について、事業の実施状況を定期的に評価を行う。(評価機関)
- ※法定協議会への転換
 - ・将来のまちづくりの方向性と公共交通に対する地域の機運の高まりが見通された段階で、まちづくりと連動した公共交通の再編が必要となった際には、法定協議会への転換を行う。

江南市

- 必要に応じて「委員会」を設置
- ・交通会議での協議事項について、予め庁内調整等が必要な場合、都度必要に応じて委員会を設置。

下部組織

江南市地域公共交通会議 検討部会(新設)

- 体制
 - ・有識者、老人クラブ、社会福祉協議会、事業者、公募市民、市等から組成
- 役割
 - ・江南市地域公共交通会議の下部組織
 - ・地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項について、専門的に・集中して協議し、協議結果を江南市地域公共交通会議に報告・提案する。

※来年度の検討部会での主な協議事項

- 既存の公共交通サービスについての指摘事項(地域格差の扱い、いこまいCARの制度見直し等)
- 新たな交通サービスについての指摘事項(地域全体で公共交通を実現するための施策等)
- 財政負担、その他についての指摘事項(モニタリング・評価手法の検討)

3. 公共交通施策において検討が求められる事項とその対応の考え方

(1) 既存の公共交通サービスについての指摘事項とその対応の考え方について

1) 名鉄バスについて

○住民からの要望事項についての検討

- ・便数が少ない、運賃が高い、バス停が遠いといった各種要望事項について、名鉄バスと共有すると共に、改善できる事項について「事務局にて交通事業者と協議」する。

○税投入の見直しについての検討

- ・利用者負担の拡大との指摘に対して、名鉄バスの運賃形態は、認可運賃のため原則変更できない。
- ・税投入して維持している名鉄バス「江南・病院線」「江南団地線」の扱いについて、「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。

○コミュニティバスへの転換要請についての検討

- ・上記の対応に関連するため、対応の方向性について「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。

2) いこまいCARについて

○住民からの要望事項についての検討

- ・当日予約、運行時間の延長、市外利用、運賃制度の要望事項について、「庁内会議にて協議」する。関係者の合意形成が必要なものについては「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。

○制度設計等に対する意見についての検討

- ・バス事業との2重投資、福祉タクシー料金助成制度との役割分担、年齢制限、利用目的制限等、制度設計等について、「庁内会議にて協議」する。

3) 福祉タクシー料金助成制度について

○制度設計等に対する意見についての検討

- ・配布枚数、登録条件、利用条件、事業費削減等の意見について、「庁内（福祉部門）へ情報提供」する。

4) 大口町コミュニティバスについて

○住民からの要望事項等についての検討

- ・ 要望等については、江南市による財政負担無くして改善できない。
- ・ 大口町、扶桑町との連携については、新たな事業化を行う方向性が示された時点で、調整すべき事項である。
- ・ 後述の新たなサービスの対応と併せて、対応方針について「他市町・庁内会議にて協議」する。

(2) 新たな交通サービスについての指摘事項とその対応の考え方について

1) 交通不便地域について

○交通不便地域の対応についての検討

- ・ 市内全域をカバーする「いこまい CAR」、一般乗用タクシーが、公共交通として認識されていないことから啓発活動に努める。
- ・ 交通不便地域などにおける福祉施策、地域格差による受益者負担の扱いについて、今後策定・改定される江南市総合計画、江南市都市計画マスタープラン等に鑑みながら「庁内会議にて協議」する。

2) 新たなサービスについて

○導入についての検討

- ・ 地域全体で公共交通を実現するための施策、地域主導による新たな施策のあり方について「庁内会議にて協議」する。
- ・ 新たなコミュニティバス、巡回バス、無料バス等の導入は、新たな財政投資が必要。税金投入の今後の対応次第となるため、財政負担の対応と併せて地域の負担・利用者の負担・地域への補助（市の負担）などのあり方を整理する。
- ・ 地域主導により新たなサービスを実現する際は、「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。

○財政上の工夫（財政投入を伴わない施策）についての検討

- ・ スクールバス（愛知江南短期大学、滝学園）、企業従業員送迎バス、ボランティア輸送など、新たな財政投入を伴わないで活用が考えられるサービスについて、「庁内会議にて協議」する。

3) 駅前整備について

○将来のまちづくりでの検討

- ・ 駐輪場・駐車場・駅周辺の交通規制等は、駅周辺のまちづくり事業での対応となる。上位関連計画の「江南市都市計画マスタープラン」の計画目標年次は平成 29 年度であるため、当該要望事項を関係部局と共有し、次期計画策定時に検討する。
(※既存計画においては、駐車場・駐輪場は、駅やバス停留所の周辺での確保・拡充を検討することとしている。(江南市都市計画マスタープラン p53))

4) 自転車利用について

○将来のまちづくりでの検討

- ・自転車の活用、気軽に走れる道路・歩道の整備については、駅前整備と同様にまちづくり事業での対応となる。当該要望事項を関係部局と共有し、次期計画策定時に検討する。
(※既存計画での自転車道の扱いは、環境負荷の少ない社会の構築の中で、整備を検討することとしている。(江南市都市計画マスタープラン p60))

(3) 財政負担（税金投入）についての指摘事項とその対応の考え方について

○拡大 or 抑制の相対立する意見についての検討

- ・住民アンケート調査結果では、維持・抑制を求める意見が多数である。
- ・江南市地域公共交通を語る会では、住民アンケート調査結果、財政負担の実態（負担額は増加傾向）等について報告した中で、「もっと財政投入すべき」と「抑制すべき」との相対立する意見が指摘された。
- ・江南市の財政状況に鑑みると、現在の財政負担を維持することはできず、今以上の負担額の圧縮が求められている状況にある。
- ・財政投入拡大の意見があるものの、江南市の財政事情を考慮しつつ、投入の方向性を検討する必要がある。

(4) その他指摘事項とその対応の考え方について

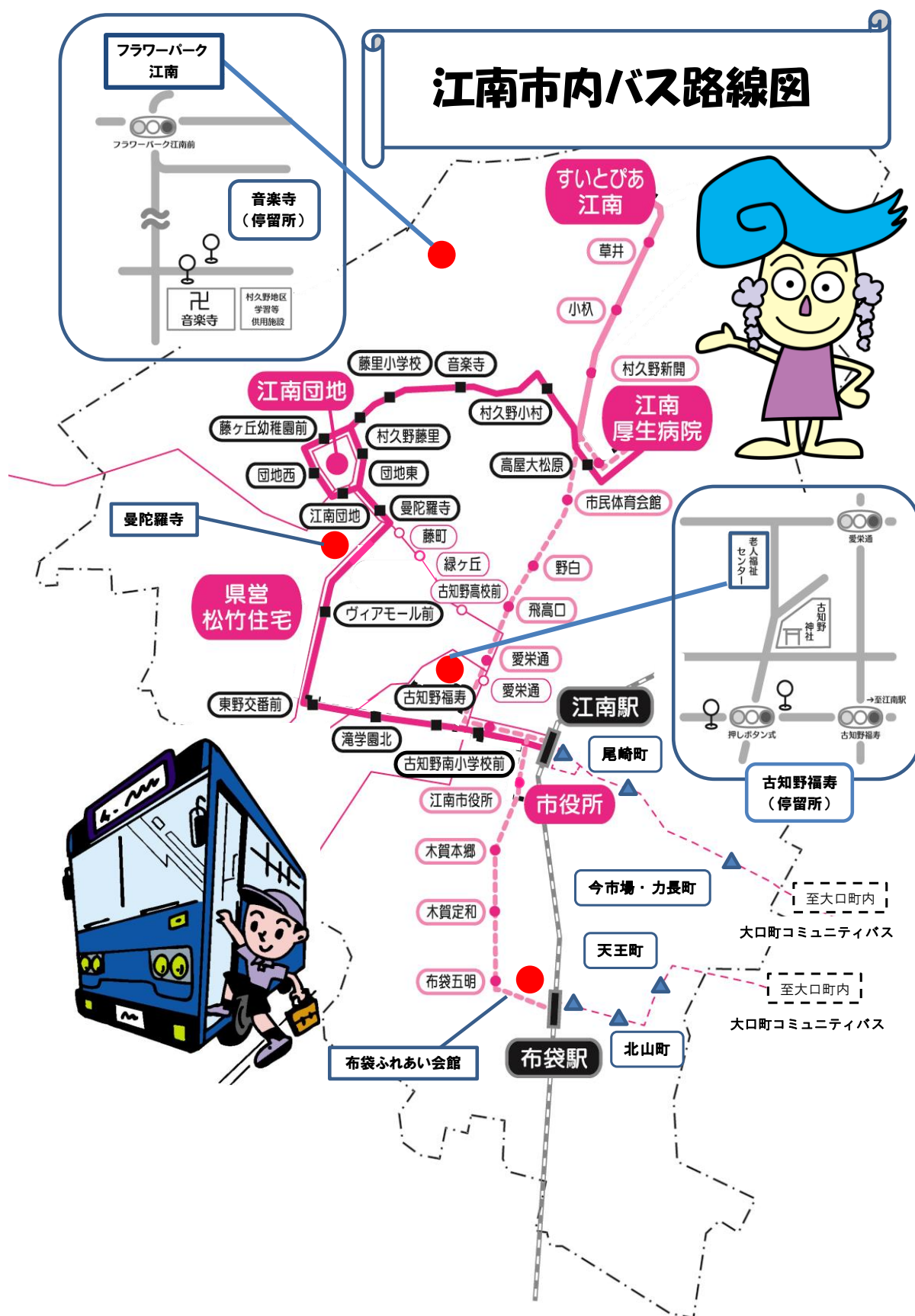
○評価・情報発信等の体制確保についての検討

- ・実態を評価する意見としては、前述までの各種要望事項以外に、「大変充実していると思う」という意見と「将来が不安」という意見が共存する。また、現状について知らなかった、もっと情報発信すべきとの指摘がある。
- ・公共交通のモニタリング、評価については「江南市地域公共交通会議等にて協議」する。
- ・情報発信等を行う体制確保や取り組み方法について「庁内会議にて協議」する。

資料編（検討に用いた資料）

1. 江南市内の現状のバス路線	81
2. いこまい CAR の経緯	82
3. いこまい CAR（予約便）の事業内容	89
4. いこまい CAR（予約便）の利用状況	92
5. 名鉄バス事業に対する補助の経緯	97
6. 名鉄バス事業の路線（区間）ごとの補助額（平成 27 年度）	99
7. 名鉄バスの利用状況	101
8. 福祉タクシーの利用状況	104
9. 大口町コミュニティバスの利用状況	106
10. 市民アンケート調査結果（平成 25 年度調査）	112
11. 市民アンケート調査票	157
12. 利用者アンケート調査票	168
13. 主要施設における公共交通の利用実態について	176
14. 江南市地域公共共通を語る会の案内・説明資料	178
15. 江南市地域公共共通を語る会の各回の成果	191
16. 江南市地域公共交通会議設置要綱・委員名簿	204

1. 江南市内の現状のバス路線



2. いこまいCARの経緯

○H14. 1. 5「いこまいCAR（定期便）」試行運行開始

- ・利用客の減少により、路線バスが3路線撤退したため、市民や議会等から高齢者等の交通弱者の移動手段を確保するよう強い要望があった

H14. 1. 5～H14. 7. 31：幹線＋支線A [いこまいCAR（定期便）路線図①]

H14. 8. 1～H15. 3. 31：幹線＋支線B [いこまいCAR（定期便）路線図②]

H15. 4. 1～H15. 9. 30：幹線＋支線B [いこまいCAR（定期便）路線図③]

H15. 10. 1～H16. 9. 30：幹線＋支線A [いこまいCAR（定期便）路線図④]

H16. 10. 1「いこまいCAR（定期便）」支線を廃止し、幹線のみの本格運行開始

- ・試行運行期間中の利用状況やアンケート調査をもとに、運行コースの見直し
- ・「すいとぴあ・布袋ふれあい会館コース」「松竹住宅コース」の幹線2コースを運行 [いこまいCAR（定期便）路線図⑤]

○H19. 10. 1「いこまいCAR（予約便）」試行運行開始

- ・既存の公共交通や福祉施策では対応しきれない交通弱者の移動支援
- ・交通空白地帯の解消

○H20. 4. 1「いこまいCAR（定期便）」路線の一部廃止及び変更

- ・H20. 5月「江南厚生病院」開院により、4月から名鉄バス「江南・病院線（布袋駅～江南駅～江南厚生病院）」新設
- ・「いこまいCAR（定期便）」路線とバス路線が競合するため、重複部分を廃止
- ・「すいとぴあ江南コース」「県営松竹住宅コース」の2コースを運行 [いこまいCAR（定期便）路線図⑥]

○H21. 4. 1「いこまいCAR（予約便）」利用方法改正

- ・予約受付期限を、利用日の2日前から前日までとした
- ・運行期間を、年末年始（12. 29～1. 3）運休から、年中無休とした
- ・運行時間を、午後5時までから、通院の往復予約者のみ、復路の運行時間を午後6時までとした

○H21. 10. 1「いこまいCAR（予約便）」本格運行開始

○H25. 3. 31「いこまいCAR（定期便）」路線廃止及び運行終了

- ・H25. 4月バス路線の分割・延伸
- ・「いこまいCAR（定期便）」路線とバス路線が競合するため運行終了

○H26. 4. 1「いこまいCAR（予約便）」利用料金制度改定

- ・利用料金のタクシー運賃の1/2を、100円未満切り捨てから、10円未満切り捨てとした
- ・迎車料金を、市負担から利用者負担（一般乗車方式のみ）とした
- ・最低利用料金を、300円から350円とした

○H28. 1. 21「いこまいCAR（予約便）」利用料金制度改定

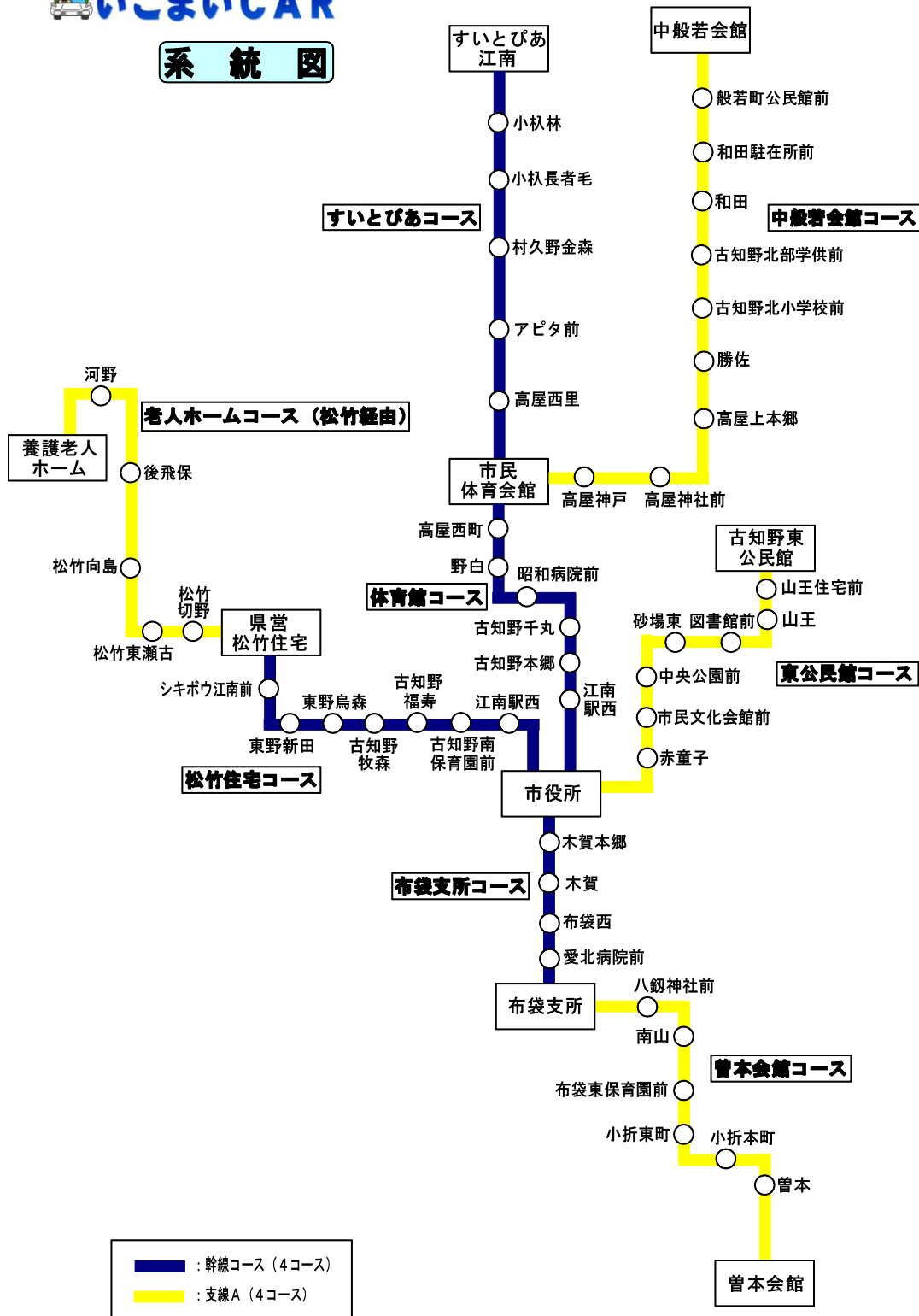
- ・タクシー運賃の改定に伴い、最低利用料金を、350円から300円とした

H14. 1. 5～H14. 7. 31までの運行コース（幹線+支線A）

江南市コミュニティ・タクシー

いこまいCAR

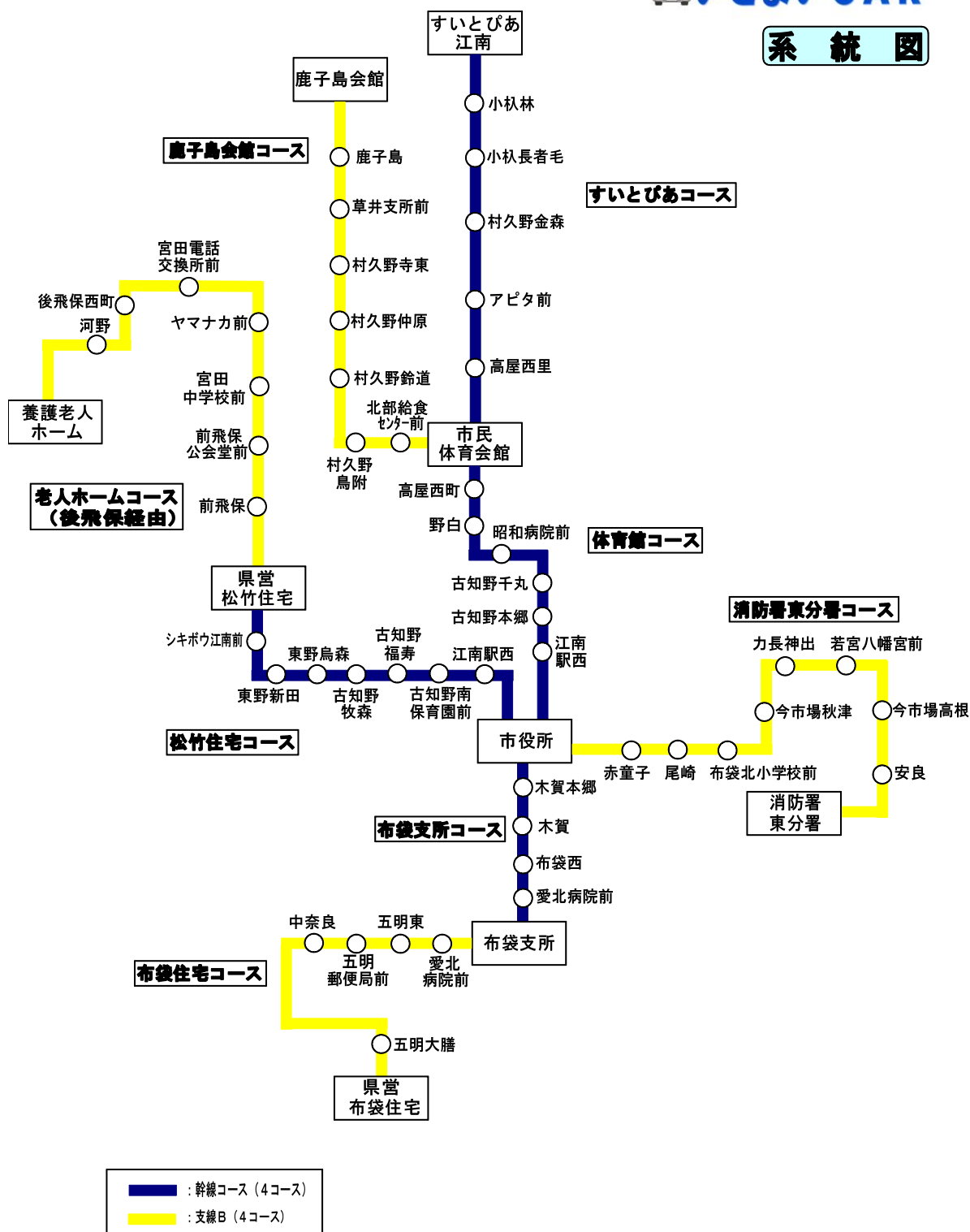
系 統 図



H14. 8. 1～H15. 3. 31までの運行コース（幹線+支線B）



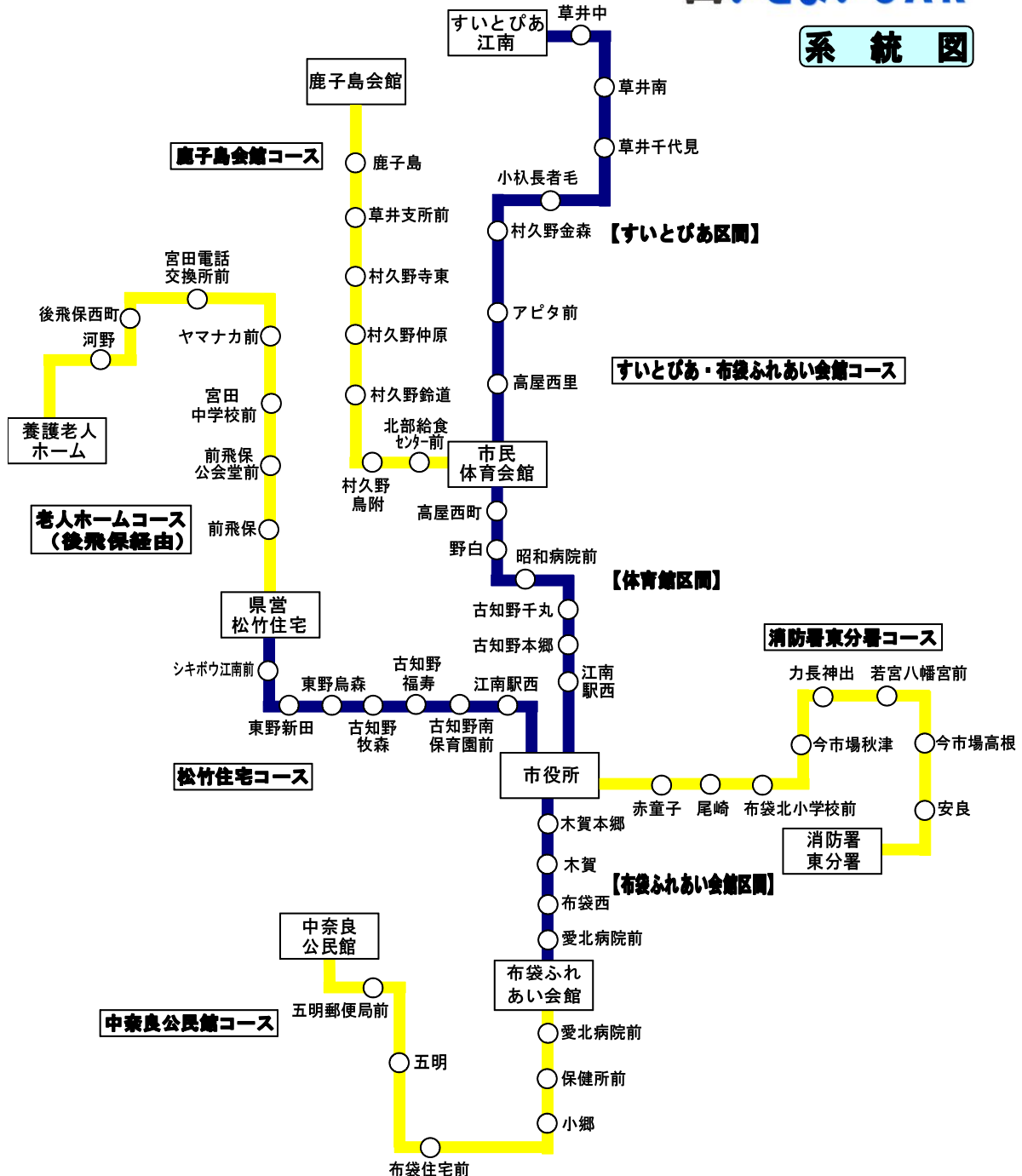
系 統 図



H15. 4. 1～H15. 9. 30までの運行コース（幹線＋支線B）



系 統 図



■ : 幹線コース (2コース)
 すいとびあ・布袋ふれあい会館コース (3区間)
■ : 支線B (4コース)

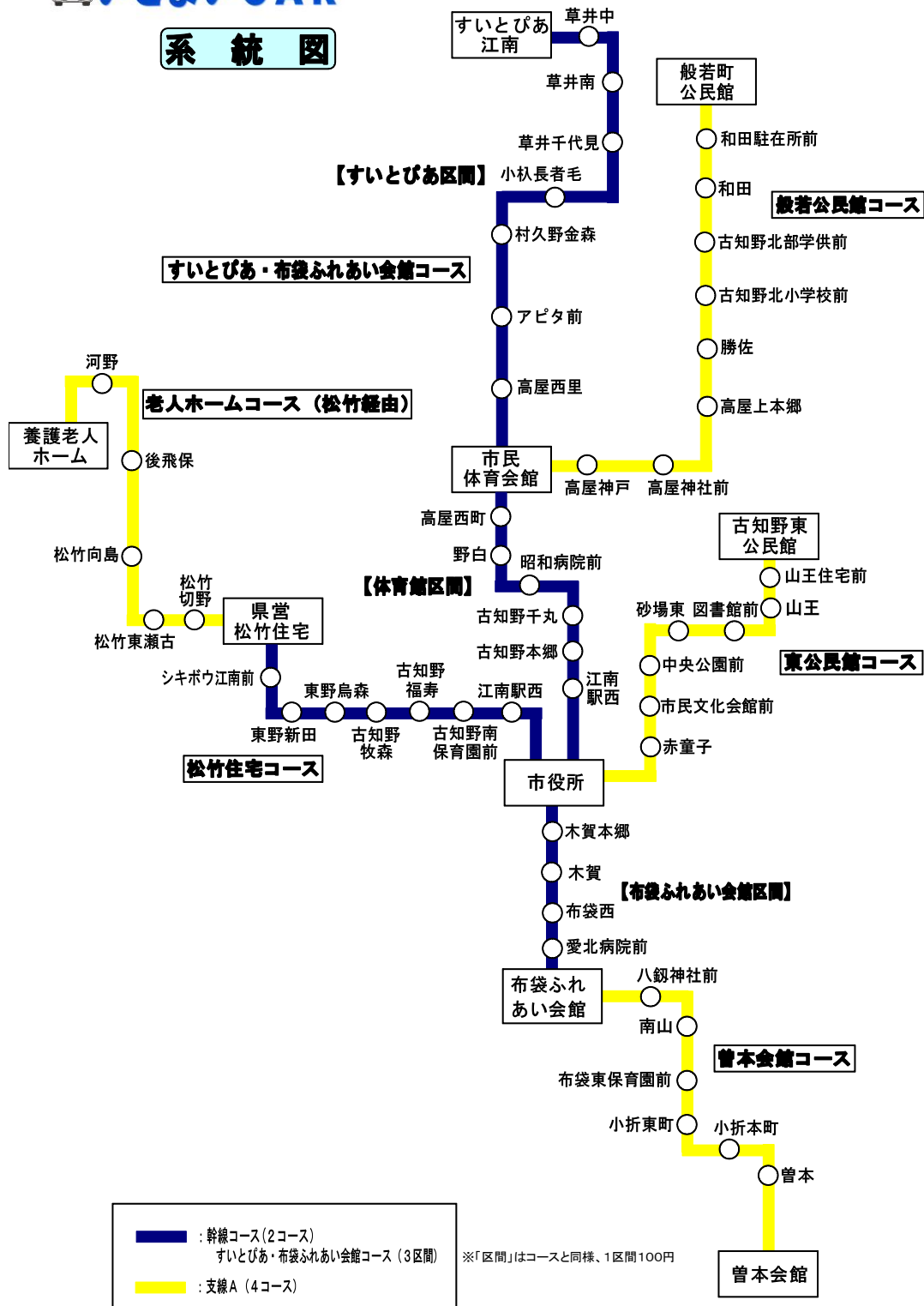
※「区間」はコースと同様、1区間100円

H15.10.1～H16.9.30までの運行試行コース（幹線+支線A）



 いこまいCAR

系 統 図



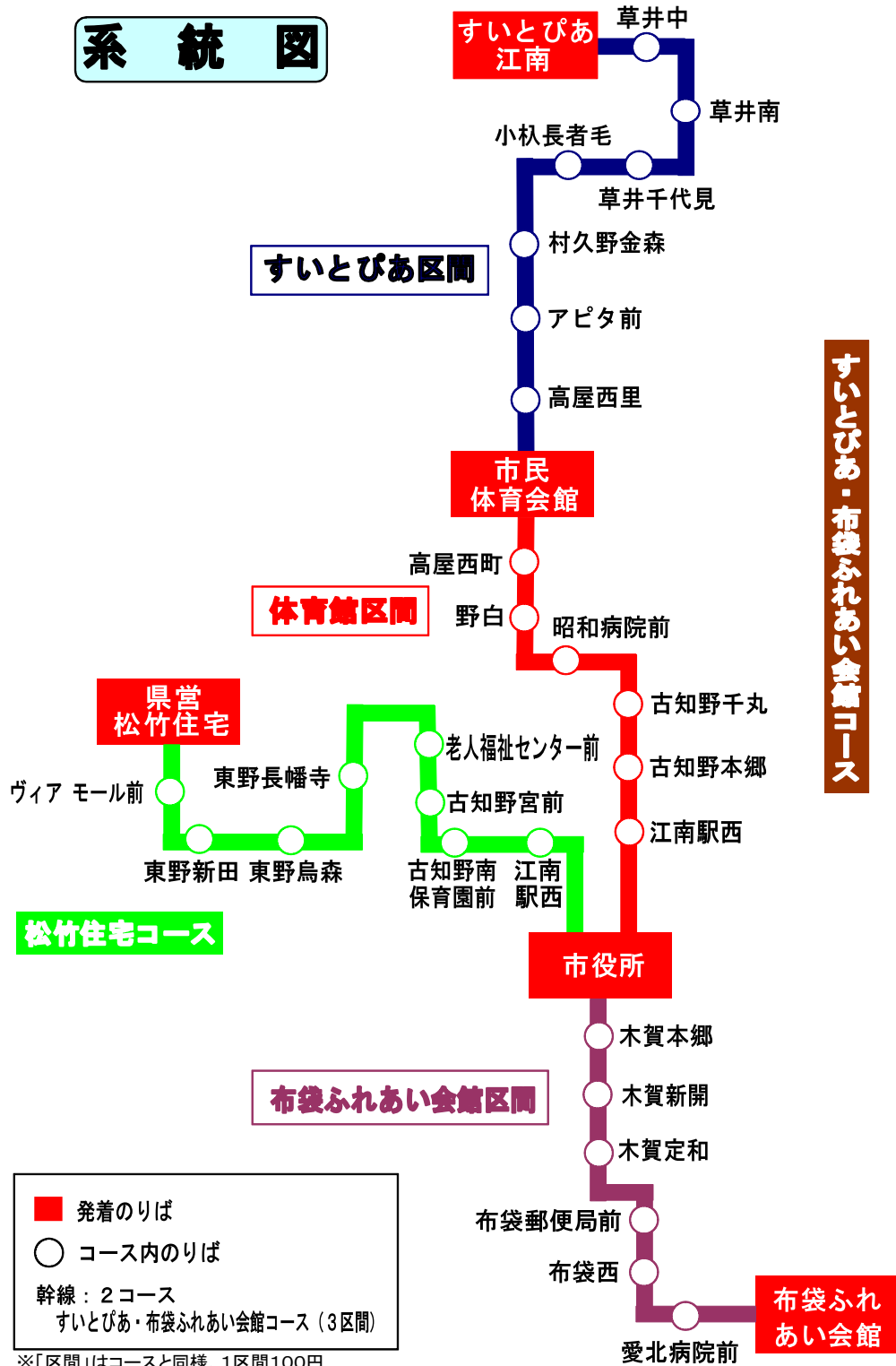
H16. 10. 1～H20. 3. 31までの運行コース（幹線のみ）

江南市コミュニティ・タクシー



いこまいCAR

系 統 図

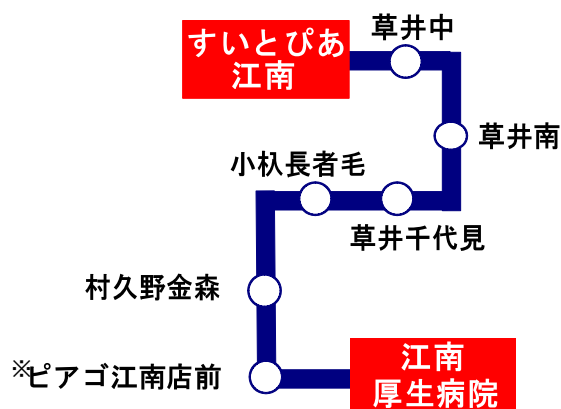


H20. 4. 1～H25. 3. 31までの運行コース

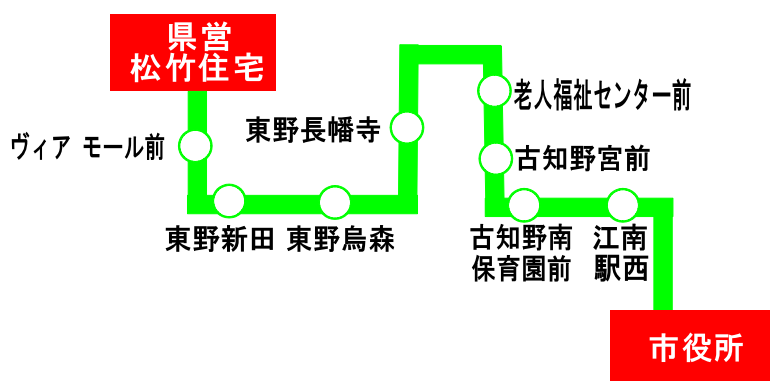
江南市コミュニティ・タクシー



系 統 図



すいとぴあ江南コース



県営松竹住宅コース

- 発着停留所
- コース内停留所
- 幹線：2コース

3. いこまい CAR（予約便）の事業内容

1. はじめに

この資料は、平成19年10月1日から試行運行を行い、平成21年10月1日より本格運行しております「いこまい CAR（予約便）」について詳しく説明したものです。

2. 事業の目的

市内には既存の公共交通機関を利用することができず、また福祉タクシー料金助成などの行政サービスにも該当しないため、思うように外出や移動することができない方が多くおられます。

こうした方が気軽に利用できる地域公共交通として、「いこまい CAR（予約便）」を運行しています。

3. 事業の内容

「いこまい CAR（予約便）」は、利用を希望される方が、あらかじめ市へ利用者登録をしておき、実際に利用される前日までに利用予約をして、市内の区域に限り、玄関先等から目的地までタクシーを利用していただくものです。

なお、配車によっては乗合乗車になる場合もあります。

4. 利用方法

利用を希望される方は、次のとおり手順をお願いします。

①利用者登録

市民サービス課で利用者登録票を記入してください。利用者登録票の記入は代理の方でも可能です。また、電話による登録もできます。

登録項目：住所、氏名、生年月日、電話番号

受付時間：午前8時30分から午後5時まで

（土曜・日曜日、祝休日及び12月29日から1月3日を除く）

登録先：市民サービス課 電話 54-1111 内線 409・225

- ・登録された内容は、市が契約しているタクシー事業者（タクシー会社）にも提供しますのでご了承ください。
- ・一度登録されれば、この事業が終了するまで有効です。

利用者登録ができない方

- ・江南市民でない方
- ・義務教育修了前の児童、生徒等
- ・満85歳以上の方や重度心身障害者等で福祉タクシー料金助成の対象になっている方で、助成を受けられた方

※利用者登録した方と同乗すれば、いこまい CAR（予約便）を利用できますが、その際に福祉タクシー料金助成券を使用することはできません。

②利用予約

利用者登録された方は、登録の2日後から利用したい日の前日までに、タクシー会社へ直接電話で予約してください。定員は4人のため、利用者登録していない方も同乗することができます。

※転入・転居をした日に登録をする場合は、住民情報を入力した後に登録をするため、利用予約ができるまでに3日～5日かかる場合があります。

《予約の申込み》

予約の際には、必ず「いこまい CAR の予約」であることを伝えてください。

受付時間：午前10時から午後7時まで

予約項目：利用日時、乗車する場所と降車する場所、人数（4人以内）、
利用目的

往復利用の場合：帰りの時刻、乗車場所・降車場所

ただし、予約時に帰りの時刻が不明確の場合には、その旨を伝えていただき、当日、確定した時刻をタクシー会社へ電話してください。

- ※注意** ・利用日当日に行き先、利用人数等を変更することはできません。
・利用日当日に帰りの便を予約することはできません。
・運行上、希望される乗車時刻の前後10～15分程度のずれが生じる場合があります。

いこまい CAR（予約便）予約先一覧

会 社 名	電 話 番 号
名鉄西部交通北部（株）	5 6 - 4 5 4 5
尾張北部タクシー（株）	5 4 - 1 5 1 5
犬山タクシー（株）	5 4 - 2 3 8 0
愛北乗用自動車（有）	5 5 - 2 2 6 6

③運行日時等

- ・運行区域は江南市内のみです。
- ・運行日時は毎日の午前8時30分から午後5時までです。ただし、通院のために往復利用する方に限り、帰りの通院先から直接乗車する場合は、目的地への到着時間が午後6時までとなります。
- ・通院には利用できますが、通勤、通学、通塾などの定期的な利用、業務のための利用はできません。
- ・台風等で運行に支障のある場合は、事前にタクシー会社から予約者に連絡をして運休します。

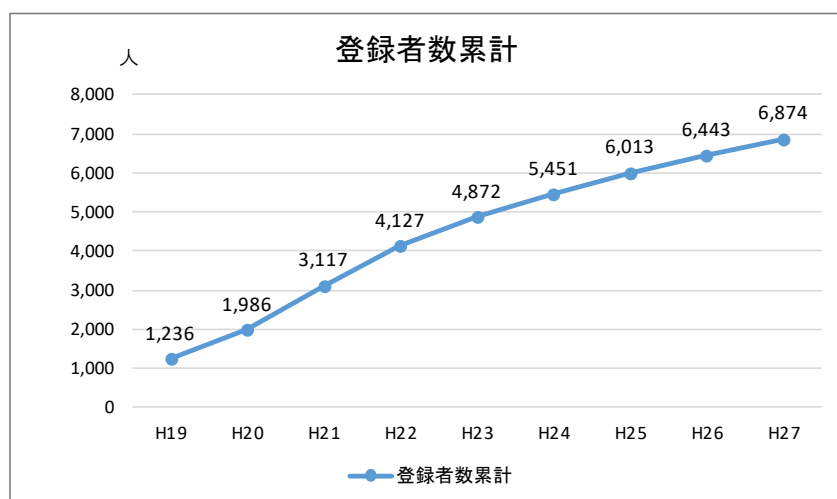
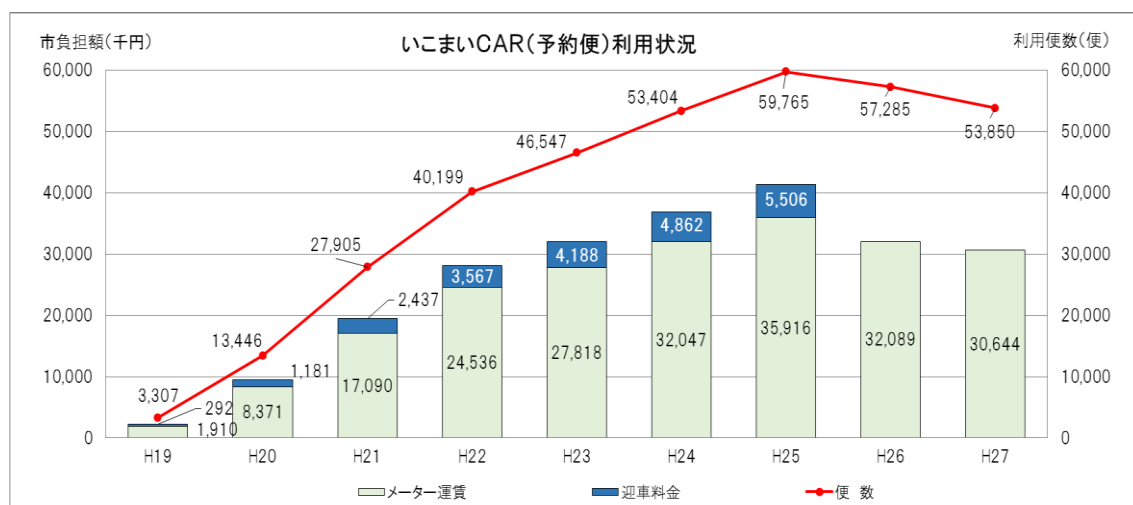
5. 利用料金（1回の利用ごとに、予約者が支払います。）

①一般乗車方式 : 1つの予約で、1人で利用する場合、あるいは家族、友人等と相乗りする場合 ⇒ **タクシー運賃の1/2**

②乗合乗車方式 : 2つ以上の予約で、タクシー会社の配車によって、他の利用客と乗合いになった場合 ⇒ **タクシー運賃の1/3**

- ・10円未満は切り捨て、最低利用料金は300円です。
- ・お迎え料金は利用する方の負担となります。
- ・キャンセル料は、いただきません。
- ・公共交通のため一般タクシーのように、いこまいCARを待たせることはできません。
乗合乗車で、予約場所に予約者がいない場合には、そのまま次の予約者の予約場所に向かいます。

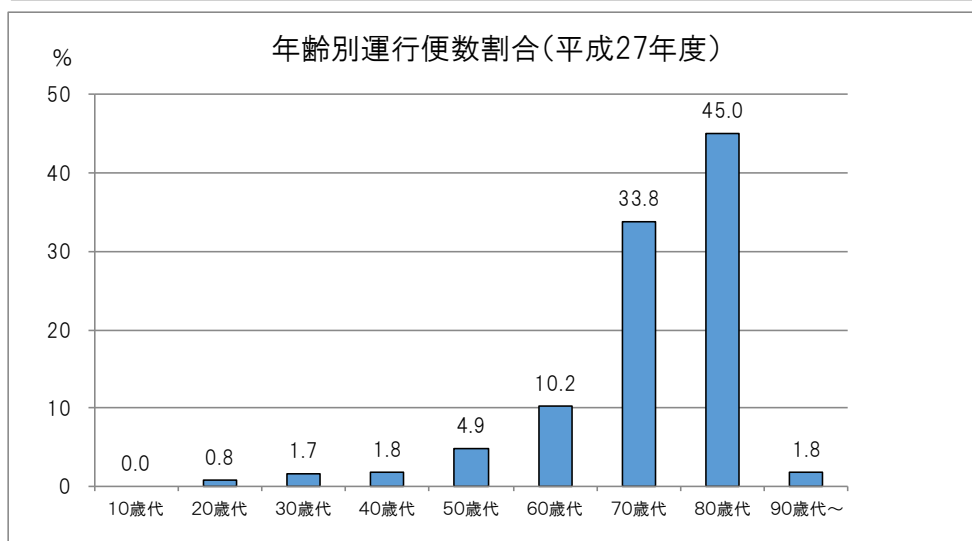
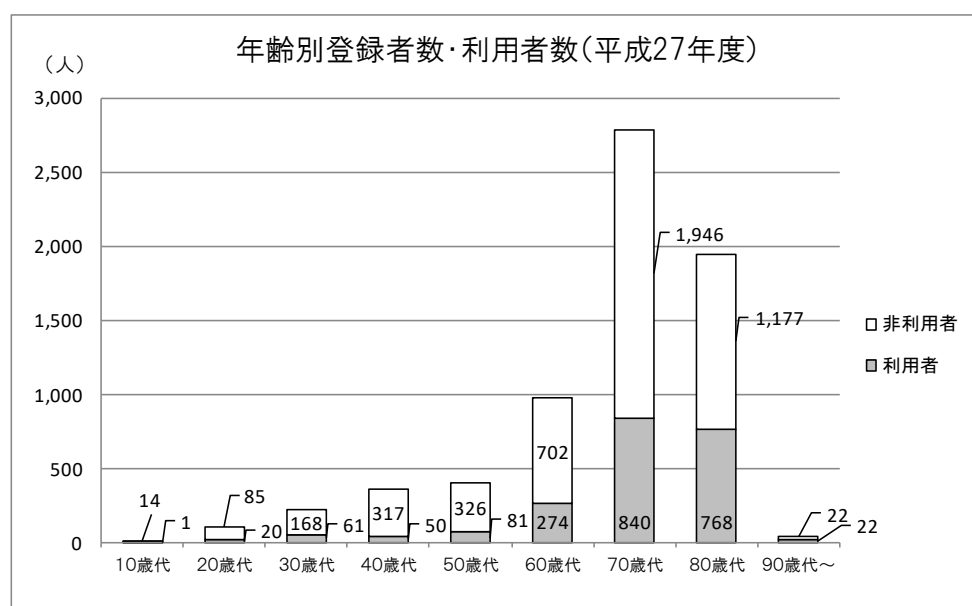
4. いこまいCAR（予約便）の利用状況



○登録者数・利用状況

年度	登録者数累計 (人)	利用者数 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)	市負担額(円)			伸び率 (市負担額)	伸び率 (便数)	1便当りの額(円)		
					うちメーター運賃	うち迎車料金				利用料金分	市負担分	合計
H19	1,236	3,887	3,307	1.18	2,202,240	1,910,410	291,830	-	-	485	666	1,151
H20	1,986	17,351	13,446	1.29	9,552,140	8,371,070	1,181,070	216.9%	203.3%	534	710	1,244
H21	3,117	37,590	27,905	1.35	19,526,940	17,089,790	2,437,150	204.4%	207.5%	521	700	1,221
H22	4,127	51,348	40,199	1.28	28,103,170	24,535,980	3,567,190	143.9%	144.1%	517	699	1,216
H23	4,872	54,692	46,547	1.17	32,006,190	27,818,160	4,188,030	113.9%	115.8%	501	688	1,189
H24	5,451	63,550	53,404	1.19	36,908,650	32,047,090	4,861,560	115.3%	114.7%	501	691	1,192
H25	6,013	70,911	59,765	1.19	41,421,510	35,916,010	5,505,500	112.2%	111.9%	499	693	1,192
H26	6,443	67,932	57,285	1.19	32,088,610	32,088,610	0	77.5%	95.9%	651	560	1,211
H27	6,874	62,075	53,850	1.15	30,644,050	30,644,050	0	95.5%	94.0%	661	569	1,230
計		429,336	355,708	1.21	232,453,500	210,421,170	22,032,330	-	-	-	-	-

◆いこまい CAR（予約便）利用状況（平成 27 年度）



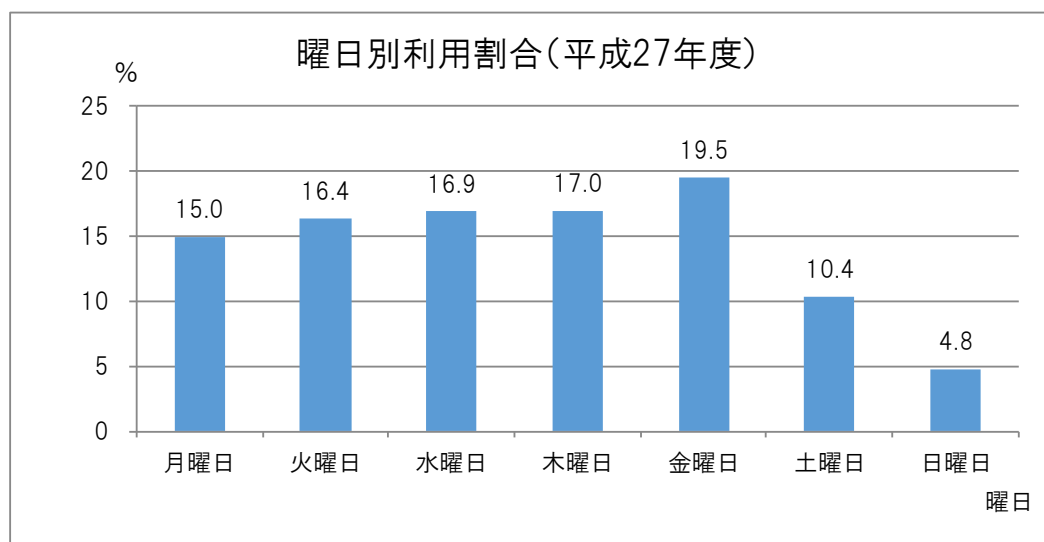
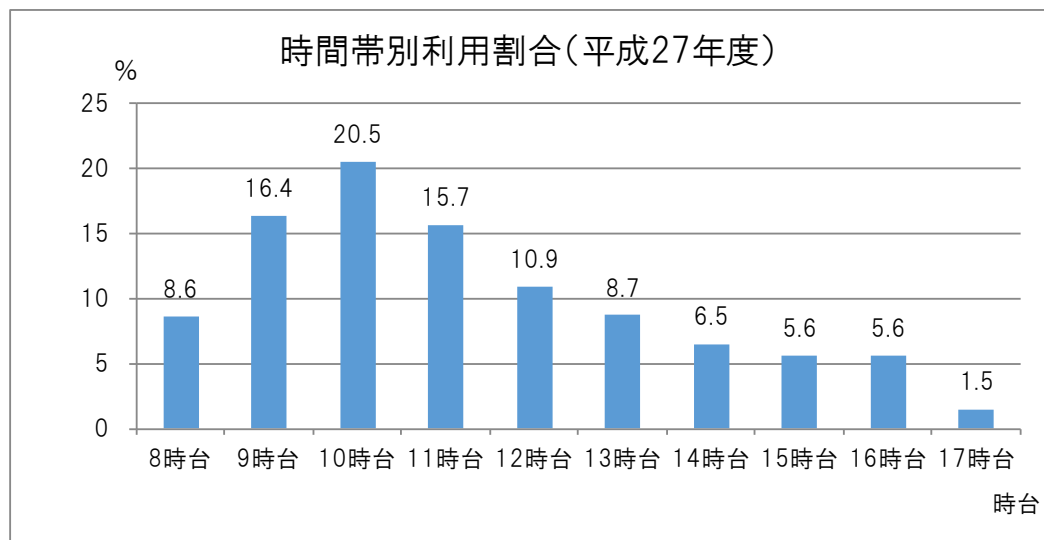
年齢別登録者数・利用者数累計

(平成28年3月31日現在)

年代	登録者 (人)	利用者(人)		登録者割合 (%)
		利用者(人)	利用者割合(%)	
10歳代	15	1	6.7	0.2
20歳代	105	20	19.0	1.5
30歳代	229	61	26.6	3.3
40歳代	367	50	13.6	5.4
50歳代	407	81	19.9	5.9
60歳代	976	274	28.1	14.2
70歳代	2,786	840	30.2	40.5
80歳代	1,945	768	39.5	28.3
90歳代～	44	22	50.0	0.7
計	6,874	2,117	30.8	100.0

年齢別運行便数(27年度)

年代	便数 (便)	割合 (%)
10歳代	4	0.0
20歳代	430	0.8
30歳代	900	1.7
40歳代	947	1.8
50歳代	2,654	4.9
60歳代	5,507	10.2
70歳代	18,197	33.8
80歳代	24,256	45.0
90歳代～	955	1.8
計	53,850	100.0
～64歳	6,655	12.4
65歳～84歳	38,982	72.4
85歳～	8,213	15.2
計	53,850	100.0

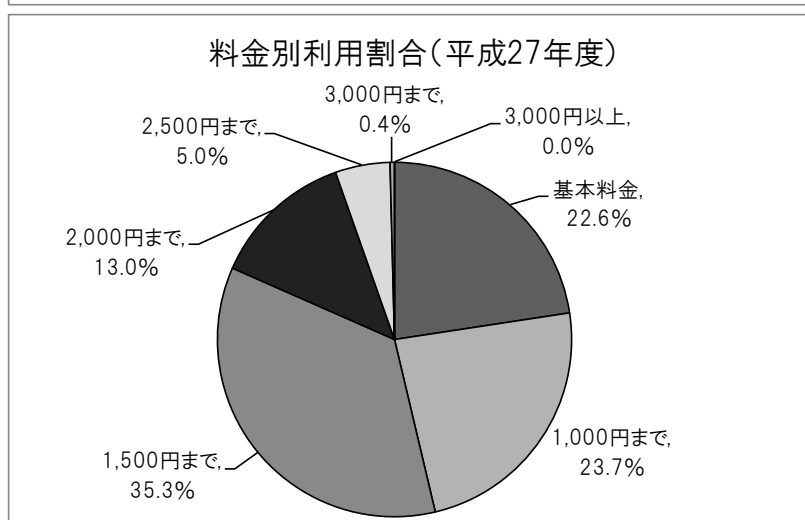
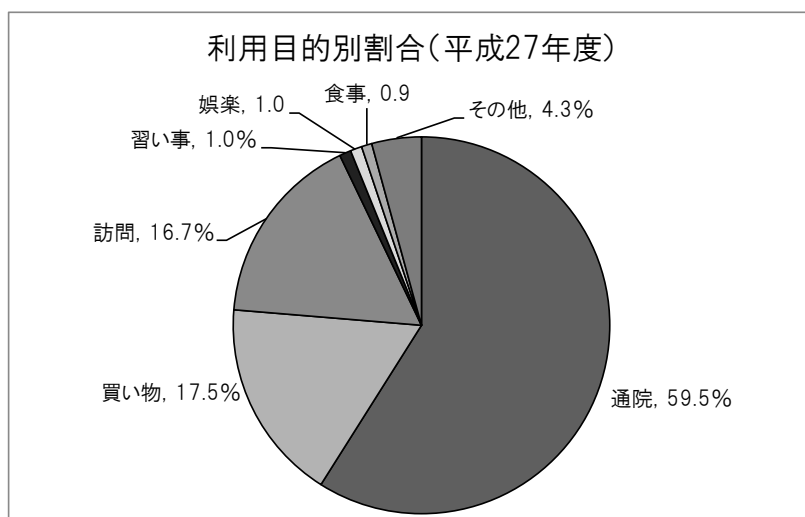


時間帯別利用状況(27年度)

時間帯	利用者数 (人)	利用者数 割合(%)
8時台	5,346	8.6
9時台	10,161	16.4
10時台	12,708	20.5
11時台	9,750	15.7
12時台	6,769	10.9
13時台	5,373	8.7
14時台	4,039	6.5
15時台	3,497	5.6
16時台	3,487	5.6
17時台	945	1.5
計	62,075	100.0

曜日別利用状況(27年度)

曜日	利用者数 (人)	利用者数 割合(%)
月曜日	9,333	15.0
火曜日	10,159	16.4
水曜日	10,482	16.9
木曜日	10,547	17.0
金曜日	12,124	19.5
土曜日	6,484	10.4
日曜日	2,946	4.8
計	62,075	100.0



利用目的別利用状況

利用目的	H26年度		H27年度	
	利用者数 (人)	利用者数 割合(%)	利用者数 (人)	利用者数 割合(%)
通院	42,277	62.2	36,909	59.5
買い物	12,225	18.0	10,881	17.5
訪問	9,679	14.2	10,354	16.7
習い事	750	1.1	646	1.0
娯楽	513	0.8	597	1.0
食事	590	0.9	551	0.9
その他	2,488	3.7	2,688	4.3
計	67,932	100.9	62,075	100.9

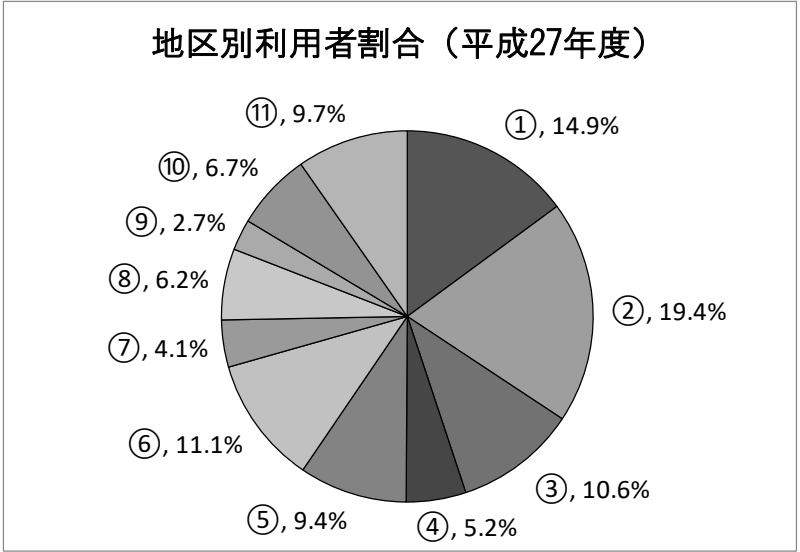
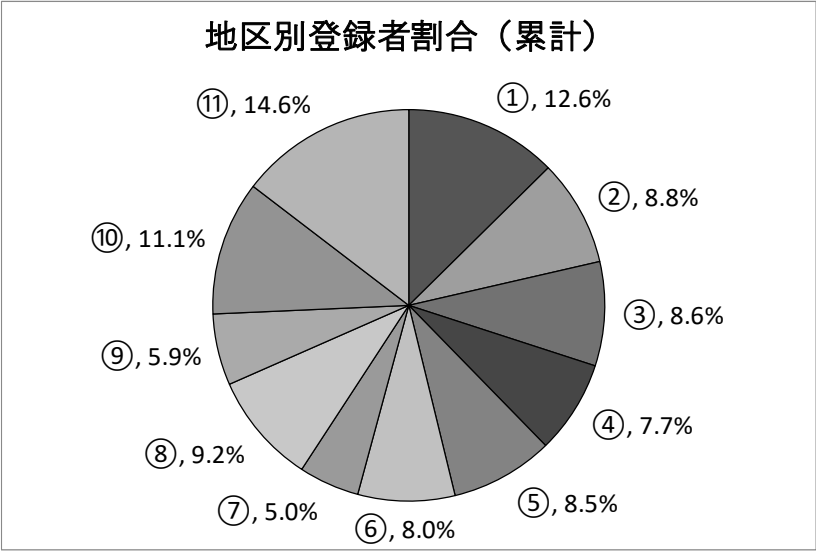
※利用目的その他: 市役所・郵便局・銀行、法要、スポーツ、旅行等

料金別利用利用状況

メーター料金	H26年度			H27年度		
	件数 (件)	割合 (%)	市負担額 (円)	件数 (件)	割合 (%)	市負担額 (円)
基本料金	13,578	23.7	4,746,210	12,189	22.6	4,188,960
1,000円まで	13,707	23.9	5,894,480	12,751	23.7	5,453,960
1,500円まで	20,066	35.0	12,383,370	18,986	35.3	11,749,120
2,000円まで	7,878	13.8	6,806,460	7,016	13.0	6,063,870
2,500円まで	1,916	3.4	2,072,610	2,701	5.0	2,909,180
3,000円まで	133	0.2	174,320	195	0.4	259,270
3,000円超過	7	0.0	11,160	12	0.0	19,690
計	57,285	100.0	32,088,610	53,850	100.0	30,644,050

※基本料金変更 H28.1.21 700円→600円

◆いこまいCAR（予約便）利用状況（地区別）



※

地区別登録者数・利用者数

（平成28年3月31日現在）

No.	地 区	累 計							平成27年度			
						登録者に対する		人口に対する 登録者割合 A / C			運行 (便) E	利用率 (人/便) D / E
		登録者 (人) A	割合 (%)	うち利用者 (人) B	割合 (%)	利用者割合 (%) B / A	人口 (人) C		利用者 (人) D	割合 (%)		
①	古知野・赤童子・大間	868	12.6	278	13.1	32.0	14,299	6.1	9,252	14.9	8,007	1.16
②	高屋・野白・飛高	604	8.8	197	9.3	32.6	12,196	5.0	12,076	19.4	10,282	1.17
③	北野・尾崎・石枕・宮後・山王・前野	593	8.6	196	9.3	33.1	8,613	6.9	6,597	10.6	5,908	1.12
④	般若・中般若・和田・勝佐・山尻・江森	529	7.7	163	7.7	30.8	7,813	6.8	3,199	5.2	2,825	1.13
⑤	上奈良・東野・島宮	588	8.5	151	7.1	25.7	8,656	6.8	5,863	9.4	5,003	1.17
⑥	布袋・布袋下山・木賀・木賀本郷・中奈良・五明・小郷	547	8.0	182	8.6	33.3	9,096	6.0	6,868	11.1	6,150	1.12
⑦	天王・北山・南山・小折・小折本・小折東・田代・曾本	347	5.0	114	5.4	32.9	4,937	7.0	2,524	4.1	2,250	1.12
⑧	力長・今市場・安良・寄木・大海道・木賀東	631	9.2	239	11.3	37.9	7,002	9.0	3,852	6.2	3,323	1.16
⑨	草井・鹿子島・小杣・小脇・慈光堂	403	5.9	85	4.0	21.1	5,298	7.6	1,697	2.7	1,486	1.14
⑩	村久野・宮田神明・藤ヶ丘	763	11.1	232	11.0	30.4	10,813	7.1	4,139	6.7	3,478	1.19
⑪	宮田・後飛保・前飛保・松竹・河野	1,001	14.6	280	13.2	28.0	12,347	8.1	6,008	9.7	5,138	1.17
計		6,874	100.0	2,117	100.0	30.8	101,070	6.8	62,075	100.0	53,850	1.15

5. 名鉄バス事業に対する補助の経緯

○H20.4.1 路線新設（江南・病院線）

- ・愛北病院と昭和病院が統合され、厚生病院が新設
- ・地元からも要望があり、布袋駅から厚生病院までバスを走らせることとなった
- ・名鉄バスとしては、江南駅から厚生病院までなら走らせてもよい（以前は昭和病院まで走らせていた）が、布袋駅からでは赤字となるので補填して欲しい⇒補助路線

○H23.3.26 ダイヤ変更（土のみ増便）

- ・第1・第3土曜日は厚生病院が開院しているため、午後2時までを平日並みにして欲しいと、病院より要望あり

○H25.4.1 路線の分割・延伸

① 布袋駅～江南駅～厚生病院（江南・病院線）をすいとびあまで延伸

- ・「布袋駅～江南駅～厚生病院」と「江南駅～厚生病院～すいとびあ」に分割し、1時間に1便ずつとする
- ・乗車率の良い江南駅～厚生病院は30分に1便となる
- ・競合する「いこまい CAR（定期便）すいとびあ江南コース」は廃止

② 江南駅～古知野高校～江南団地（江南団地線）をヴィアモール方面に分割、10便を厚生病院まで延伸

- ・利用状況次第で3年を目途に見直す
- ・競合する「いこまい CAR（定期便）県営松竹住宅コース」は廃止

江南駅～古知野高校～江南団地
江南駅～ヴィアモール～江南団地
江南駅～ヴィアモール～江南団地～厚生病院

補助路線とする

○H27.10.1 ダイヤ見直し

- ・利用者の少ない江南団地線「江南駅～ヴィアモール～江南団地～厚生病院」を5往復減らす
- ・補助金削減の試算額 約 5,775 千円

バス運行便数の推移

江南・病院線

期間	路線	平日	土曜日	休日	路線	平日	土・休日
H20.4.1～	布袋～江南～病院	29往復	14往復				
H23.3.26～		29往復	21往復	14往復			
H25.4.1～	布袋～江南～病院～すい	4便	5便		すい～病院～江南～布袋	4便	4便
	布袋～江南～病院	14便	10便		病院～江南～布袋	13便	11便
	江南～病院～すい	10便	5便		すい～病院～江南	11便	7便
	江南～病院	1便	1便		病院～江南	1便	1便
	合計	29便	21便		合計	29便	23便

江南団地線

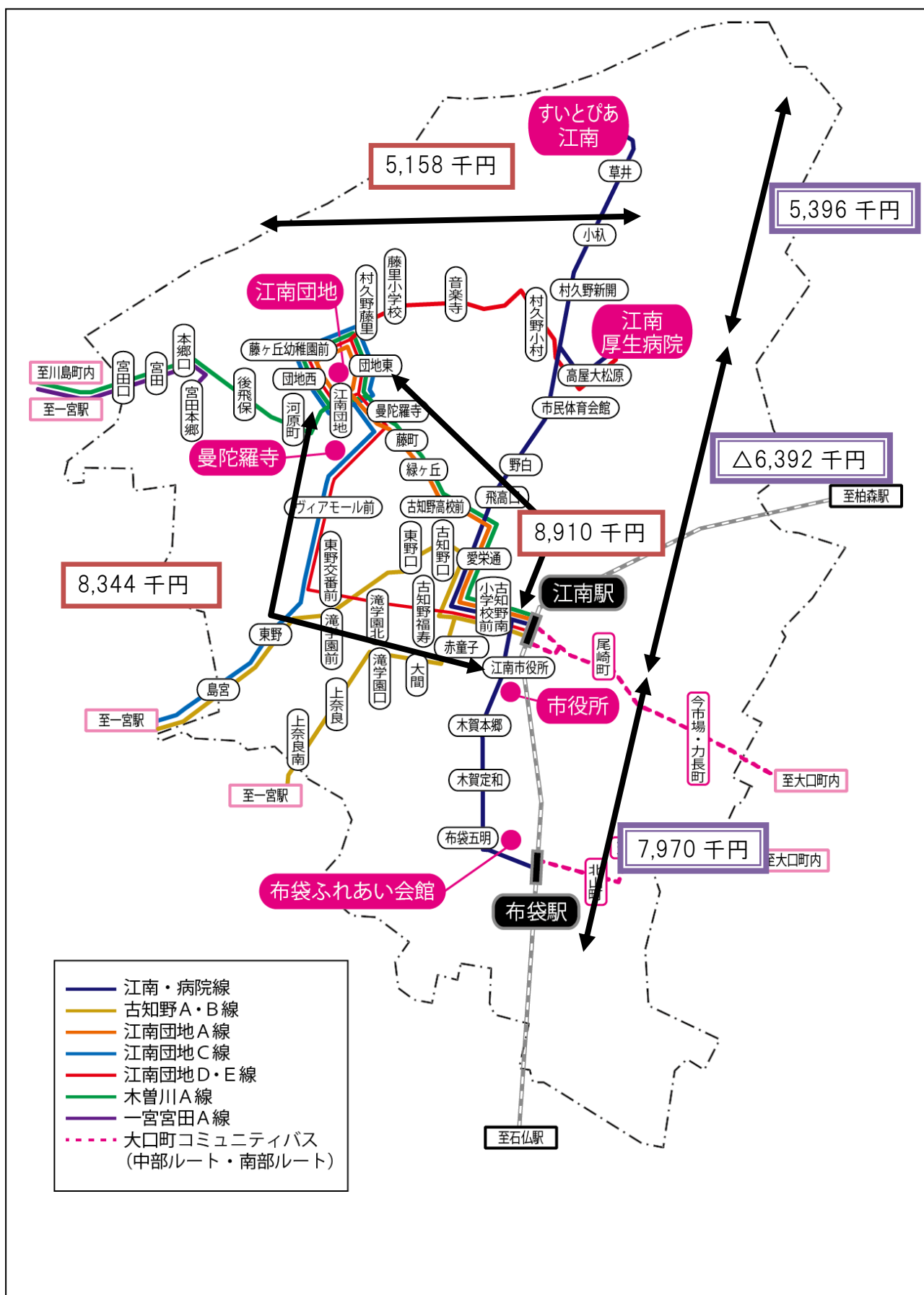
期間	路線	平日	土・休日
H25.4.1～	江南高校経由江南団地線	69便	56便
	ヴィアモール前経由江南団地線	50便	37便
	江南団地経由厚生病院線	20便	20便
H27.10.1～	江南高校経由江南団地線	69便	56便
	ヴィアモール前経由江南団地線	50便	37便
	江南団地経由厚生病院線	10便	10便

補助金の状況(年度別)

(単位:人・円)

年度	期間	路線	利用者数	1便当たりの人数 (人/便)	補助額
H20	平成20年4月～20年9月	江南・病院線	80,092	9.12	1,095,000
H21	平成20年10月～21年9月		177,121	10.19	0
H22	平成21年10月～22年9月		165,588	9.47	0
H23	平成22年10月～23年9月		169,128	9.49	0
H24	平成23年10月～24年9月		168,616	9.27	4,097,000
H25	平成24年10月～25年9月	江南・病院線	171,773	9.14	6,724,000
	平成25年4月～25年10月	江南団地線	191,971	8.05	11,430,000
	合 計		363,744	8.53	18,154,000
H26	平成25年10月～26年9月	江南・病院線	167,414	8.61	7,793,000
		江南団地線	369,300	7.77	19,376,000
	合 計		536,714	8.02	27,169,000
H27	平成26年10月～27年9月	江南・病院線	173,380	8.93	6,974,000
		江南団地線	371,196	7.82	22,412,000
	合 計		544,576	8.14	29,386,000

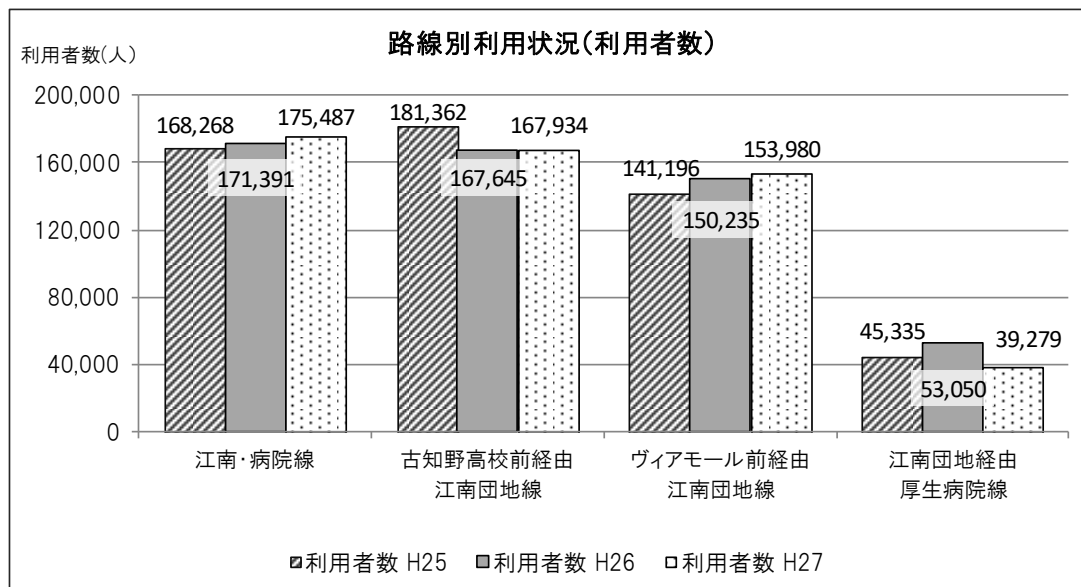
6. 名鉄バス事業の路線（区間）ごとの補助額（平成27年度）



○平成27年度補助金額算定一覧(各路線・区分ごと)

路線名	経常費用(a) (円)	経常収益(b) (円)	欠損額(a-b) (円)	補助金交付申請額 (千円)	備 考
江南・病院					
	布袋駅⇄江南駅	13,108,635	5,138,502	7,970	
	厚生病院⇄江南駅	27,656,953	34,049,152	△6,392	
古知野高校經由江南団地	厚生病院⇄すいとびあ	10,341,256	4,945,585	5,396	
		34,202,207	25,487,757	8,714	
ヴィアモール經由江南団地		31,581,344	31,427,693	154	
江南団地經由厚生病院	江南駅⇄団地	15,436,901	7,246,762	8,190	
	団地⇄厚生病院	8,191,009	3,032,708	5,158	
木曽川		2,583,318	2,386,939	196	
合計		143,101,623	113,715,098	29,386	

7. 名鉄バスの利用状況



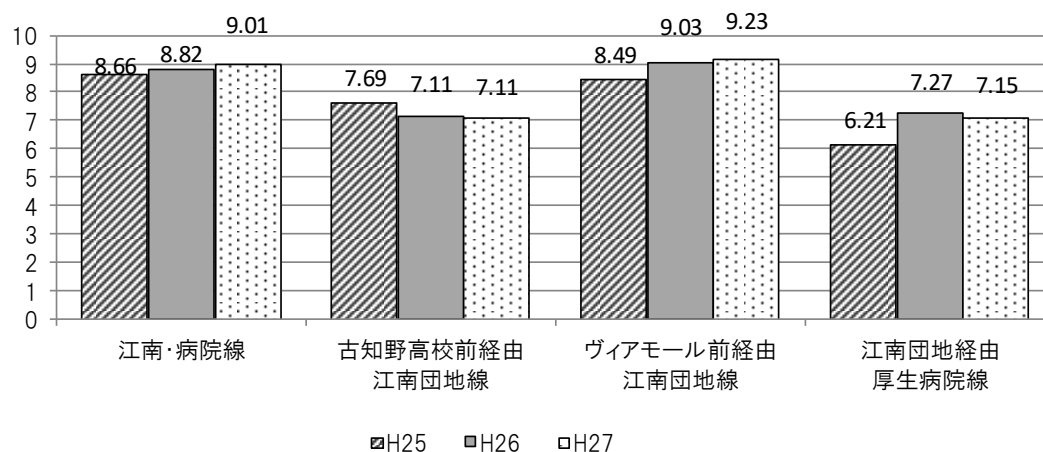
利用者数(路線・年度別)

(単位:人)

区分	H25	H26	H27
江南・病院線	168,268	171,391	175,487
古知野高校前経由江南団地線	181,362	167,645	167,934
ヴィアモール前経由江南団地線	141,196	150,235	153,980
江南団地経由厚生病院線	45,335	53,050	39,279
合計	536,161	542,321	536,680

1便当たり利用者数
(人/便)

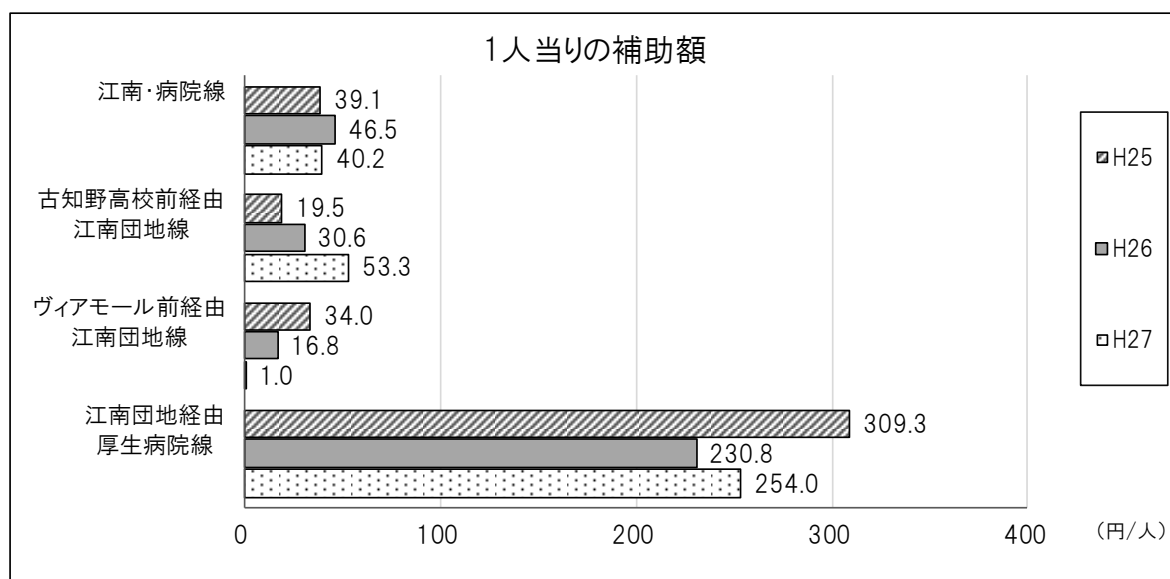
路線別利用状況(1便当たり利用者数)



1便当たり利用実績(路線・年度別)

(単位:人/便)

区分	H25	H26	H27
江南・病院線	8.66	8.82	9.01
古知野高校前経由江南団地線	7.69	7.11	7.11
ヴィアモール前経由江南団地線	8.49	9.03	9.23
江南団地経由厚生病院線	6.21	7.27	7.15
合計	8.01	8.10	8.22



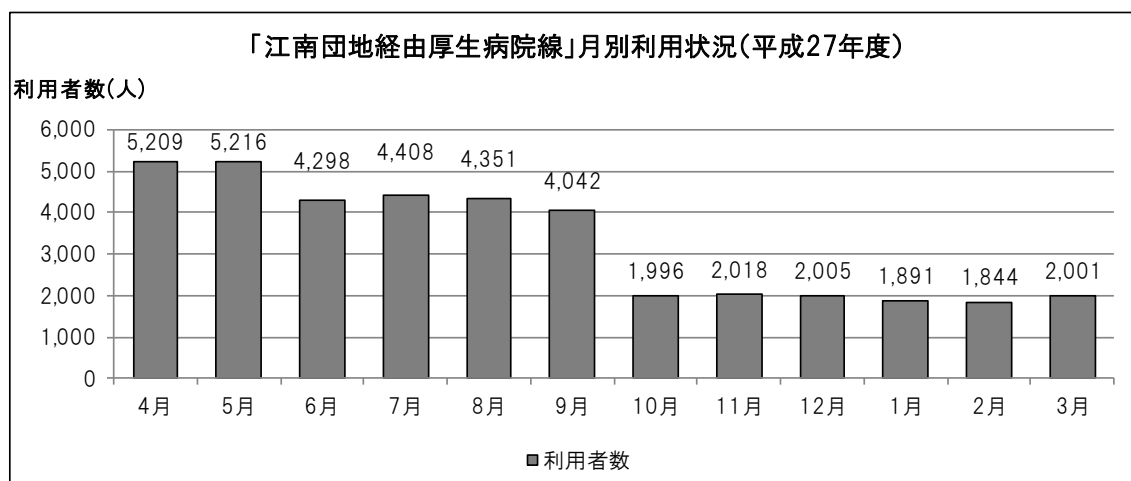
○利用者一人当たりの補助額(補助年度ベース)

(単位:人・円)

区分	H25			H26			H27		
	利用者数	補助額	一人当りの補助額	利用者数	補助額	一人当りの補助額	利用者数	補助額	一人当りの補助額
江南・病院線	171,773	6,724,000	39.1	167,414	7,793,000	46.5	173,380	6,974,000	40.2
古知野高校前経由 江南団地線	97,017	1,896,000	19.5	172,119	5,269,000	30.6	167,262	8,910,000	53.3
ヴィアモール前経由 江南団地線	72,035	2,446,000	34.0	146,744	2,466,000	16.8	151,381	154,000	1.0
江南団地経由 厚生病院線	22,919	7,088,000	309.3	50,437	11,641,000	230.8	52,553	13,348,000	254.0
合計	363,744	18,154,000	49.9	536,714	27,169,000	50.6	544,576	29,386,000	54.0

※補助期間は10月～9月であるので、利用者数もその期間で集計

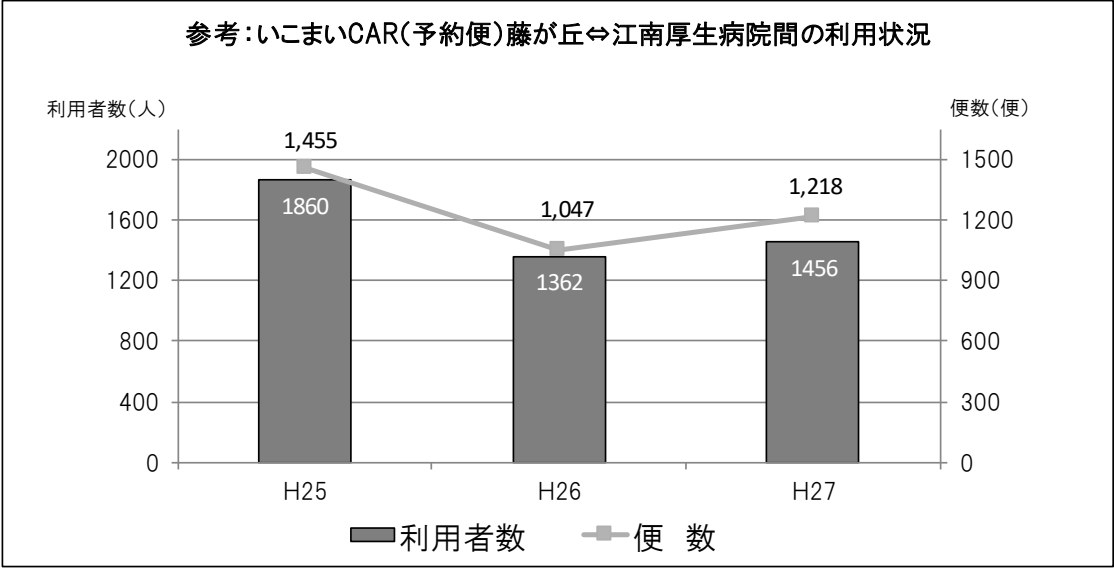
H25年度「江南病院線」はH24.10.1から補助開始。それ以外はH25.4.1から補助開始



利用実績(平成27年度)

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	5,209	5,216	4,298	4,408	4,351	4,042	1,996	2,018	2,005	1,891	1,844	2,001



いこまいCAR(予約便)利用状況(藤が丘⇄江南厚生病院間)

	利用者数 (人)	便 数 (便)
H25	1,860	1,455
H26	1,362	1,047
H27	1,456	1,218

8. 福祉タクシーの利用状況

1. 福祉タクシー料金助成(高齢者・障害者)

助成内容

小型・中型タクシー基本料金相当額のチケットを年間 48 枚配布

対象者

高齢者福祉タクシー助成…85 歳以上の方

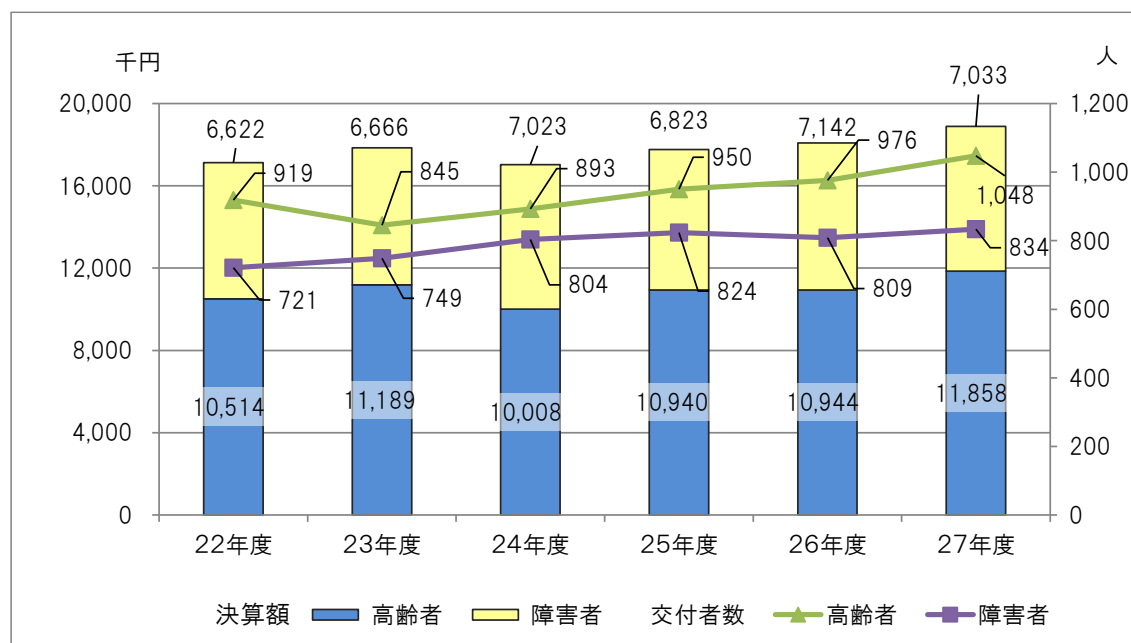
障害者福祉タクシー助成…障害者手帳等をお持ちの方で決められた要件を満たす方

その他

いこまい CAR 登録と選択制(いこまい CAR か福祉タクシー助成どちらか一方のみの利用)

2. 福祉タクシー経費の状況

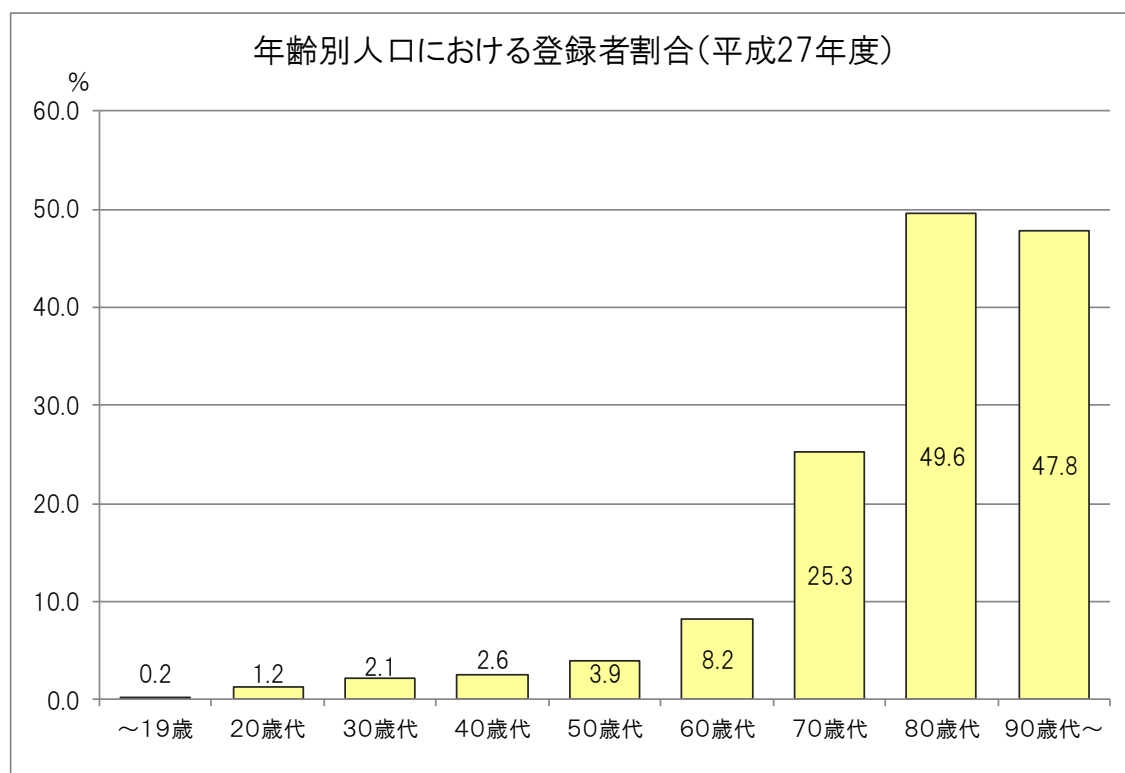
図表 福祉タクシー助成券利用実績(金額及び交付者枚数)の経年比較



	福祉タクシー決算額(円)			交付者数(人)			助成券利用枚数(枚)		
	高齢者	障害者	合計	高齢者	障害者	合計	高齢者	障害者	合計
22年度	10,513,500	6,622,480	17,135,980	919	721	1,640	15,583	11,184	26,767
23年度	11,188,910	6,665,900	17,854,810	845	749	1,594	16,566	11,316	27,882
24年度	10,007,970	7,023,300	17,031,270	893	804	1,697	14,836	11,681	26,517
25年度	10,940,250	6,823,070	17,763,320	950	824	1,774	16,213	11,652	27,865
26年度	10,943,750	7,142,400	18,086,150	976	809	1,785	15,726	11,614	27,340
27年度	11,857,860	7,032,560	18,890,420	1,048	834	1,882	17,052	11,634	28,686

3.いこまい CAR(予約便)及び福祉タクシーの年齢別人口における状況

いこまいCARの登録者と福祉タクシー(高齢者・障害者)のタクシーチケット交付者の合計は、80歳代で年齢別人口の約50%となっており、90歳代以上でも半数近くとなっている。



年齢別登録者数・利用者数累計(平成28年3月31日現在)

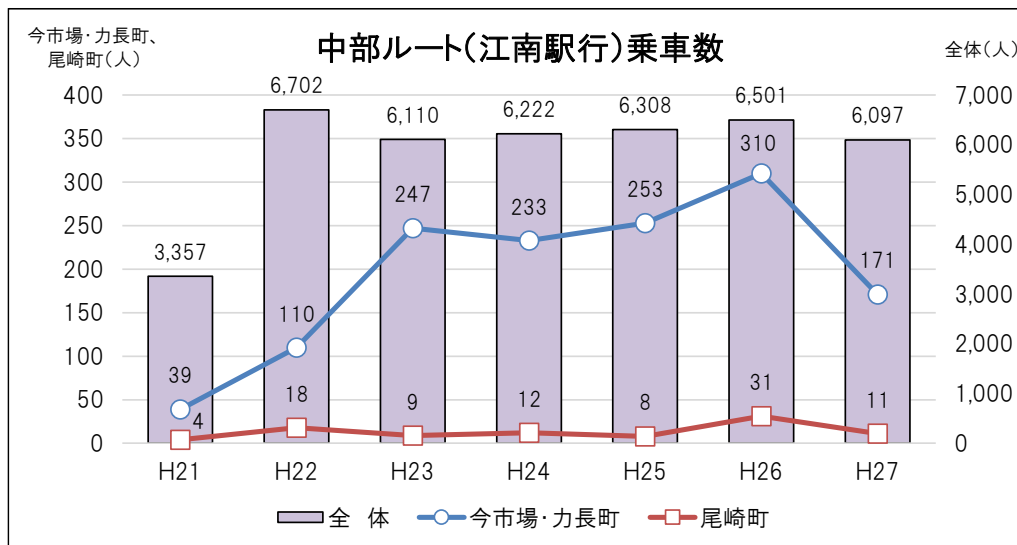
年代	登録者 (人)	利用者 (人)	利用者割合 (%)	登録者 割合 (%)	福祉タクシー チケット交付者 (人)	人口 (人)	人口に対する 登録者割合 (%)	タクシーチケット利用 者を含む割合(%)
～19歳	15	1	6.7	0.2	23	19,081	0.1	0.2
20歳代	105	20	19.0	1.5	14	9,668	1.1	1.2
30歳代	229	61	26.6	3.3	24	11,793	1.9	2.1
40歳代	367	50	13.6	5.4	47	16,103	2.3	2.6
50歳代	407	81	19.9	5.9	66	12,028	3.4	3.9
60歳代	976	274	28.1	14.2	147	13,717	7.1	8.2
70歳代	2,786	840	30.2	40.5	252	11,989	23.2	25.3
80歳代	1,945	768	39.5	28.3	866	5,673	34.3	49.6
90歳代～	44	22	50.0	0.7	443	1,018	4.3	47.8
計	6,874	2,117	30.8	100.0	1,882	101,070	6.8	8.7
～64歳	1,412	295	20.9	20.5	229	74,533	1.9	2.2
65～84歳	4,994	1,381	27.7	72.7	468	23,547	21.2	23.2
85歳～	468	441	94.2	6.8	1,185	2,990	15.7	55.3
計	6,874	2,117	30.8	100.0	1,882	101,070	6.8	8.7

平成28年3月31日現在の人口…101,070人

高齢者タクシーチケット利用者数(85歳以上対象)…1,048人(人口に対する利用者割合…35.0%)

9. 大口町コミュニティバスの利用状況

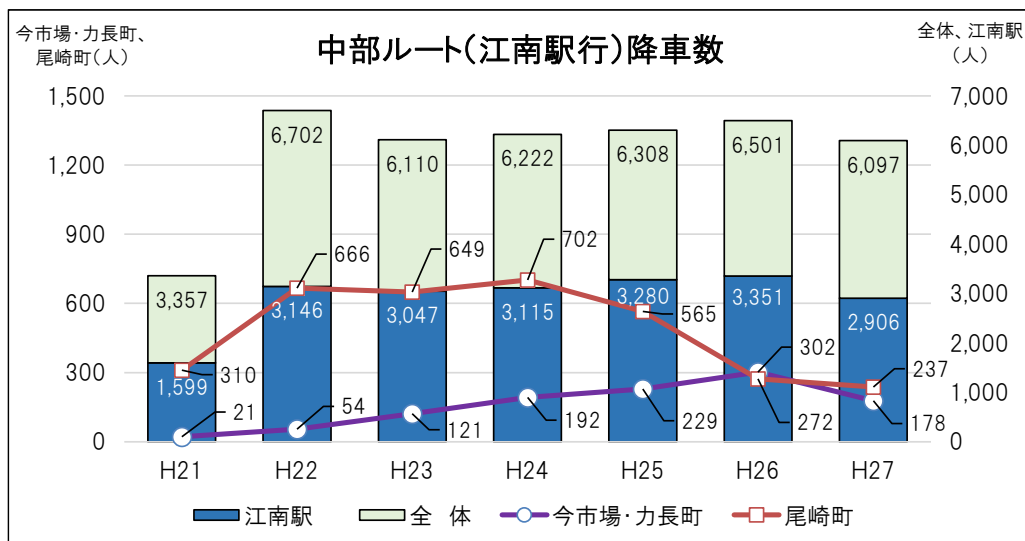
1. 平成27年度の利用状況



中部ルート 江南駅行(乗車数)

(単位: 人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
今市場・力長町	39	110	247	233	253	310	171
尾崎町	4	18	9	12	8	31	11
江南駅	—	—	—	—	—	—	—
全 体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097



中部ルート 江南駅行(降車数)

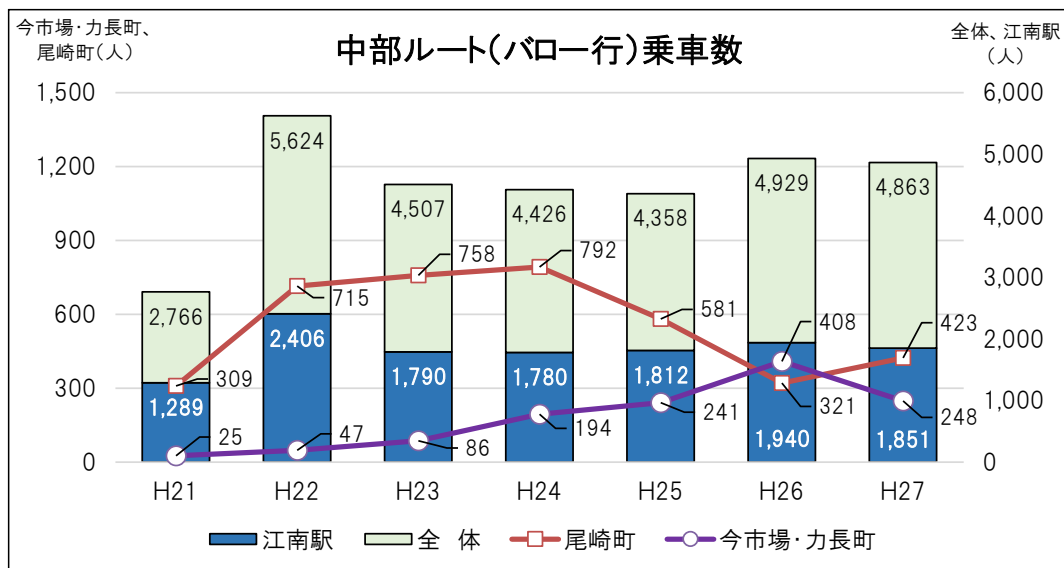
(単位: 人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
今市場・力長町	21	54	121	192	229	302	178
尾崎町	310	666	649	702	565	272	237
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906
全 体	3,357	6,702	6,110	6,222	6,308	6,501	6,097

乗降客数合計 中部ルート(江南駅行)

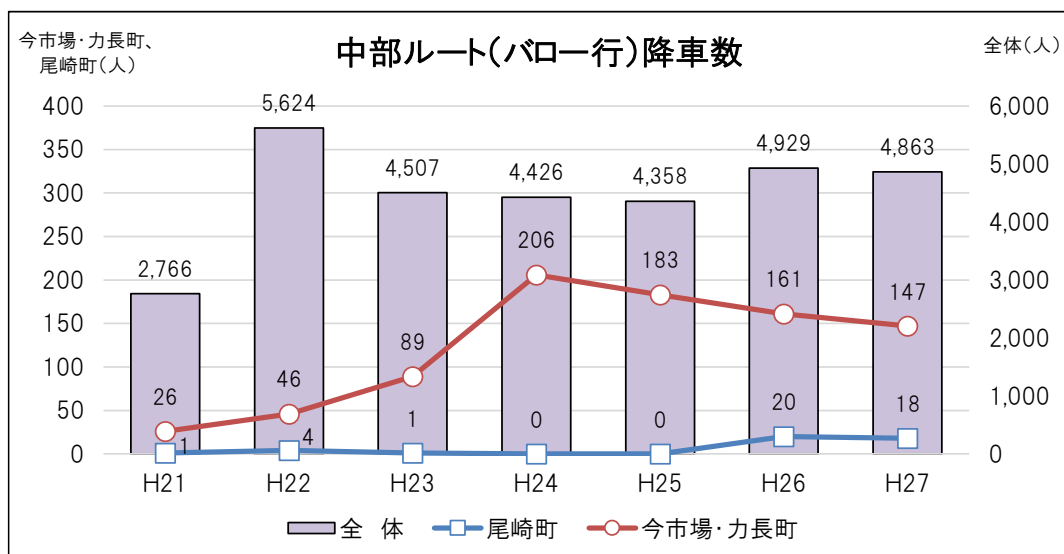
(単位: 人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
今市場・力長町	60	164	368	425	482	612	349
尾崎町	314	684	658	714	573	303	248
江南駅	1,599	3,146	3,047	3,115	3,280	3,351	2,906
計	1,973	3,994	4,073	4,254	4,335	4,266	3,503



中部ルート パロー行(乗車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851
尾崎町	309	715	758	792	581	321	423
今市場・力長町	25	47	86	194	241	408	248
全 体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863

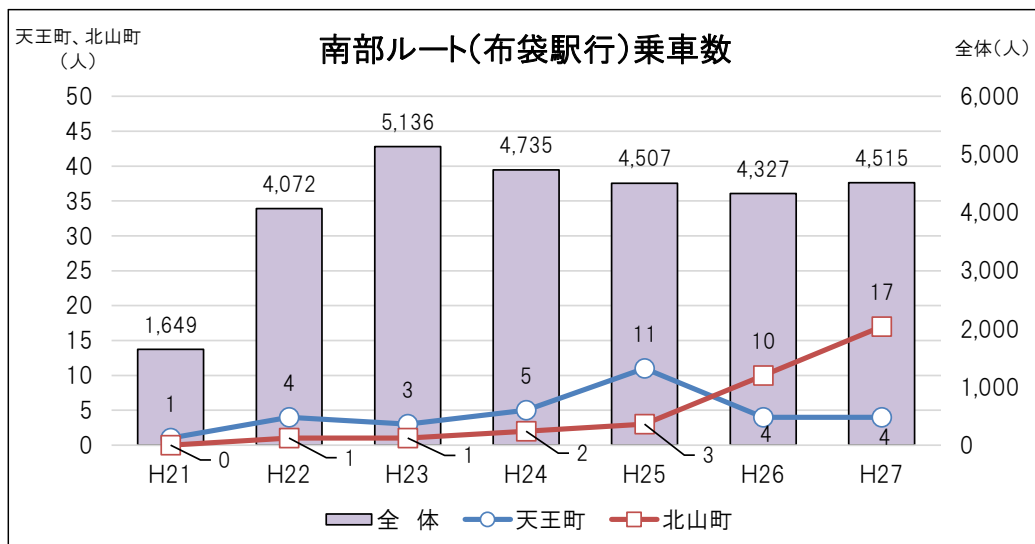


中部ルート パロー行(降車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
江南駅	—	—	—	—	—	—	—
尾崎町	1	4	1	0	0	20	18
今市場・力長町	26	46	89	206	183	161	147
全 体	2,766	5,624	4,507	4,426	4,358	4,929	4,863

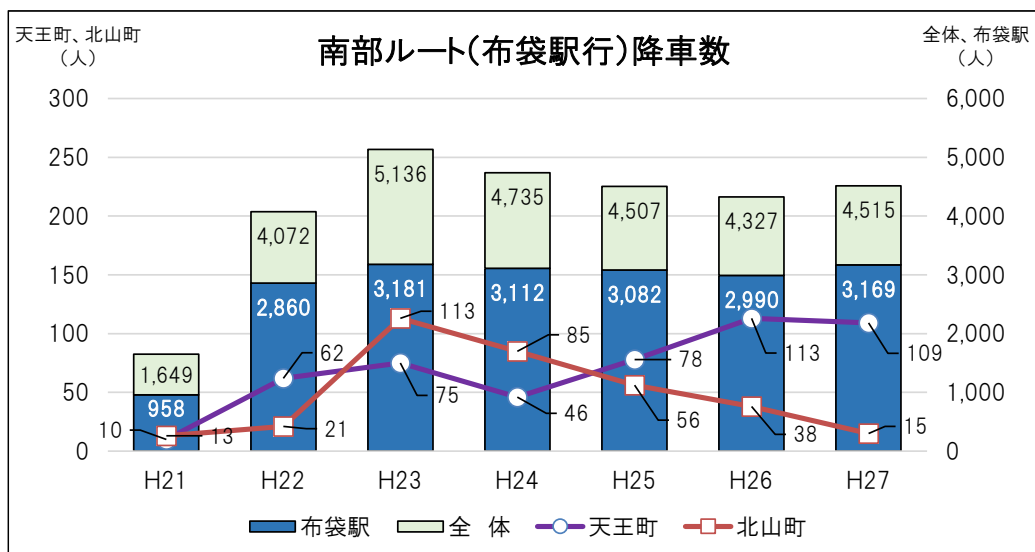
乗降客数合計 中部ルート(パロー行) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
江南駅	1,289	2,406	1,790	1,780	1,812	1,940	1,851
尾崎町	310	719	759	792	581	341	441
今市場・力長町	51	93	175	400	424	569	395
計	1,650	3,218	2,724	2,972	2,817	2,850	2,687



南部ルート 布袋駅行(乗車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
天王町	1	4	3	5	11	4	4
北山町	0	1	1	2	3	10	17
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515

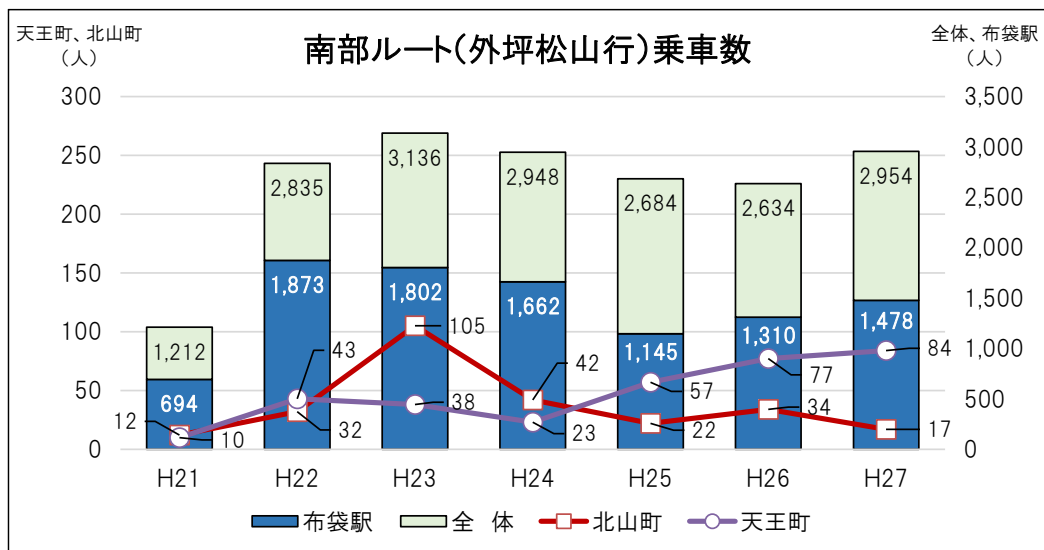


南部ルート 布袋駅行(降車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
天王町	10	62	75	46	78	113	109
北山町	13	21	113	85	56	38	15
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169
全体	1,649	4,072	5,136	4,735	4,507	4,327	4,515

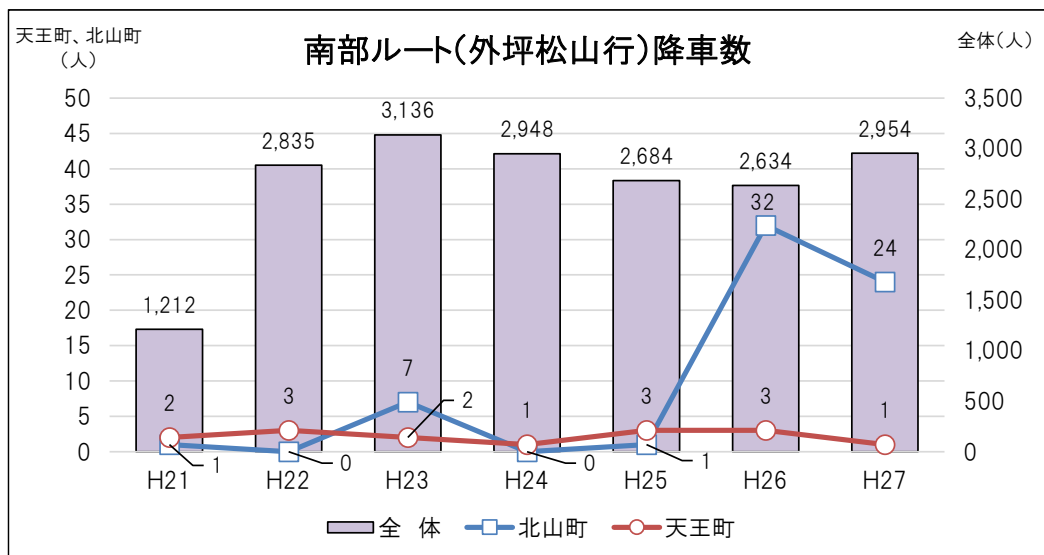
乗降客数合計 南部ルート(布袋駅行) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
天王町	11	66	78	51	89	117	113
北山町	13	22	114	87	59	48	32
布袋駅	958	2,860	3,181	3,112	3,082	2,990	3,169
計	982	2,948	3,373	3,250	3,230	3,155	3,314



南部ルート 外坪松山行(乗車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478
北山町	12	32	105	42	22	34	17
天王町	10	43	38	23	57	77	84
全 体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954



南部ルート 外坪松山行(降車数) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
布袋駅	—	—	—	—	—	—	—
北山町	1	0	7	0	1	32	24
天王町	2	3	2	1	3	3	1
全 体	1,212	2,835	3,136	2,948	2,684	2,634	2,954

乗降客数合計 南部ルート(外坪松山行) (単位:人)

停留所	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
布袋駅	694	1,873	1,802	1,662	1,145	1,310	1,478
北山町	13	32	112	42	23	66	41
天王町	12	46	40	24	60	80	85
計	719	1,951	1,954	1,728	1,228	1,456	1,604

2.時間帯別利用状況

○中部ルート

(単位：人)

中部ルート(江南駅行)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
9:15	今市場・力長	21	32	56	99	125	130	103
	尾崎町	36	57	6	21	25	38	54
	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	1,920	4,082	2,075	3,708	3,504	4,482	4,396
11:10	今市場・力長	17	76	166	155	159	289	139
	尾崎町	56	127	22	186	125	182	121
	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	1,816	3,334	2,048	3,540	3,418	3,614	3,078
13:45	今市場・力長	11	30	12	115	89	100	48
	尾崎町	28	118	24	102	123	60	46
	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	1,394	2,724	1,433	2,524	2,772	3,000	2,802
15:40	今市場・力長	11	26	62	56	109	93	59
	尾崎町	194	382	29	405	300	23	27
	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	1,584	2,462	1,614	2,672	2,922	1,906	1,918
合計	今市場・力長	60	164	296	425	482	612	349
	尾崎町	314	684	81	714	573	303	248
	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	6,714	13,404	7,170	12,444	12,616	13,002	12,194

中部ルート(パロー前行)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
10:10	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	尾崎町	74	270	204	304	192	204	146
	今市場・力長	13	54	51	182	213	316	203
	全 体	1,548	3,506	1,723	3,032	3,010	3,444	3,356
12:00	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	尾崎町	173	384	383	407	322	102	221
	今市場・力長	18	14	32	107	88	80	75
	全 体	2,238	4,718	2,058	3,500	3,406	3,390	3,660
14:40	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	尾崎町	48	55	103	61	53	28	38
	今市場・力長	12	17	21	74	79	137	86
	全 体	1,162	1,828	944	1,588	1,632	1,934	1,732
16:30	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	尾崎町	15	10	68	20	14	7	36
	今市場・力長	8	8	10	37	44	36	31
	全 体	584	1,196	522	732	668	1,090	978
合計	江南駅	-	-	-	-	-	-	-
	尾崎町	310	719	758	792	581	341	441
	今市場・力長	51	93	114	400	424	569	395
	全 体	5,532	11,248	5,247	8,852	8,716	9,858	9,726

○南部ルート

(単位：人)

南部ルート(布袋駅行)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
9:50	天王町	0	4	4	13	21	16	2
	北山町	1	2	5	14	9	19	6
	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	930	2,118	1,355	2,330	2,084	2,118	2,240
11:40	天王町	5	25	1	13	44	46	50
	北山町	5	13	0	32	7	8	4
	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	1,252	2,666	1,545	2,570	2,340	2,362	2,694
14:15	天王町	6	34	7	24	22	55	58
	北山町	7	5	3	35	37	13	11
	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	1,116	2,076	1,245	1,998	1,544	1,508	1,458
16:10	天王町	-	0	2	1	2	0	3
	北山町	-	2	1	6	6	8	11
	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	-	836	1,718	2,572	3,046	2,666	2,638
合計	天王町	11	66	14	51	89	117	113
	北山町	13	22	9	87	59	48	32
	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	全 体	3,298	8,144	5,863	9,470	9,014	8,654	9,030

南部ルート(外坪松山行)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
9:05	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	北山町	11	6	31	5	2	42	29
	天王町	11	-	-	-	-	-	-
	全 体	832	274	373	914	1,030	1,198	1,227
10:45	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	北山町	0	22	57	32	13	15	4
	天王町	0	28	18	20	50	52	34
	全 体	816	1,842	1,222	1,534	1,474	1,644	1,558
12:40	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	北山町	2	2	10	4	4	3	6
	天王町	1	13	17	3	8	26	46
	全 体	776	1,946	1,032	1,690	1,856	1,418	1,684
15:10	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	北山町	-	2	7	1	4	6	2
	天王町	-	5	5	1	2	2	5
	全 体	-	1,726	953	1,758	1,008	1,008	1,436
合計	布袋駅	-	-	-	-	-	-	-
	北山町	13	32	105	42	23	66	41
	天王町	12	46	40	24	60	80	85
	全 体	2,424	5,670	3,580	5,896	5,368	5,268	5,905

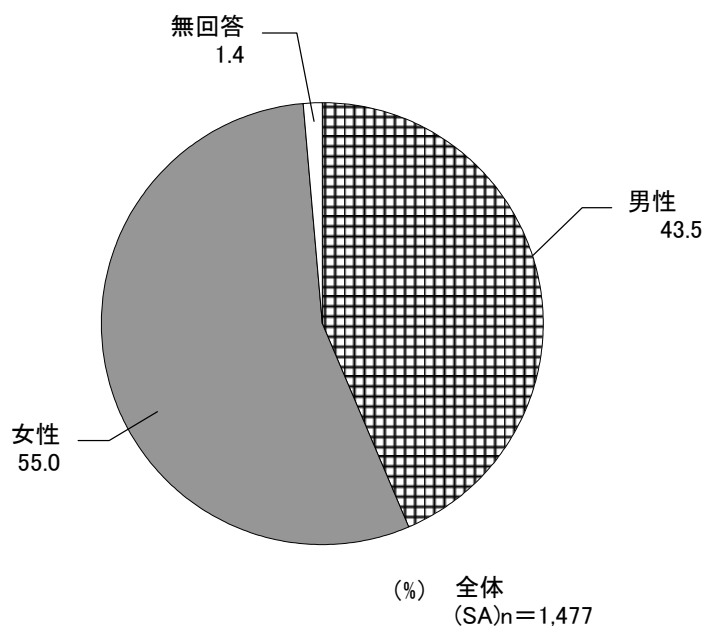
10. 市民アンケート調査結果（平成 25 年度調査）

問 1. アンケート対象の属性

(1) 性別

○ 回答者の属性として、「男性」が 43.5%、「女性」が 55.0%となり、若干女性の回答が多い。

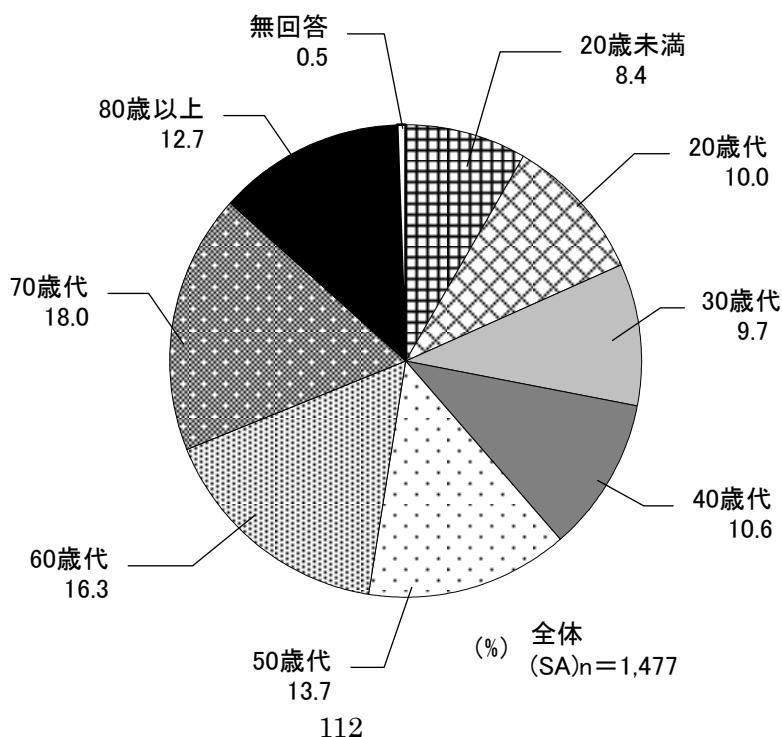
図表-1 性別



(2) 年齢

○ 回答者の年齢構成としては、概ね各年代毎に均等になるように抽出したが、高齢者層の回収率が高い。「70 歳代」の回答が 18%と最も多く、次いで「60 歳代」16.3%、「50 歳代」13.7%となっている。

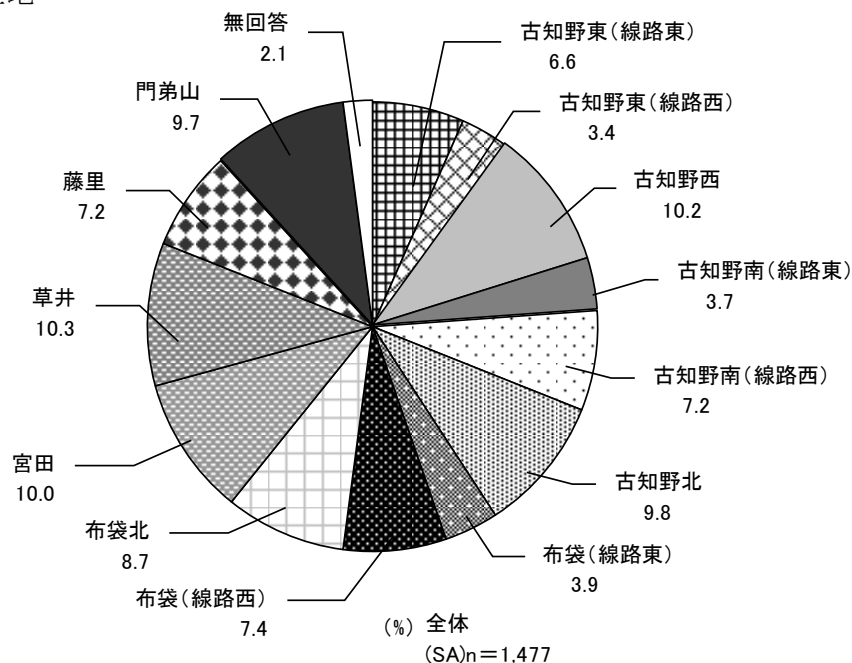
図表-2 年齢



(3) 住まい

- 居住地については、概ね各居住地でほぼ同数になるように抽出したが、若干地域ごとに回収状況が異なり、「草井」が10.3%、「古知野西」が10.2%、「宮田」が10.0%の割合となった。

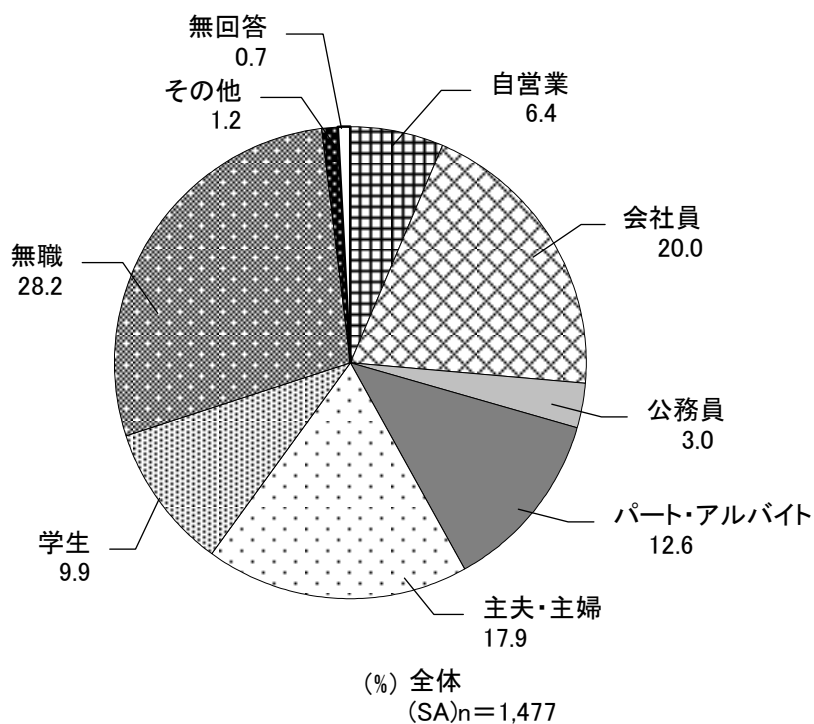
図表-3 居住地



(4) 職業

- 職業については、高齢者層の回答が多いことが影響してか、「無職」が28.2%と最も多く、次いで、「会社員」20.0%、「主夫・主婦」が17.9%となった。

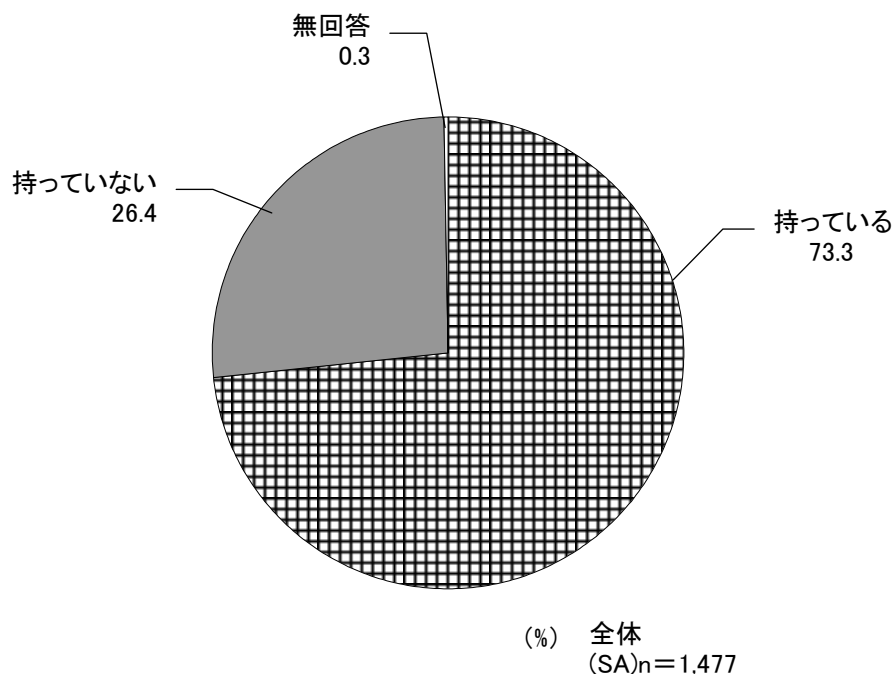
図表-4 職業



(5) 自動車免許の保有

- 回答者の「自動車免許保有状況」を確認すると、全体で73.3%が「所有している」との回答を得た。20歳未満が8.4%であるので、「免許を持っていない」者から8.4%除外した約16%が、20歳以上の「免許を持っていない」層になる。

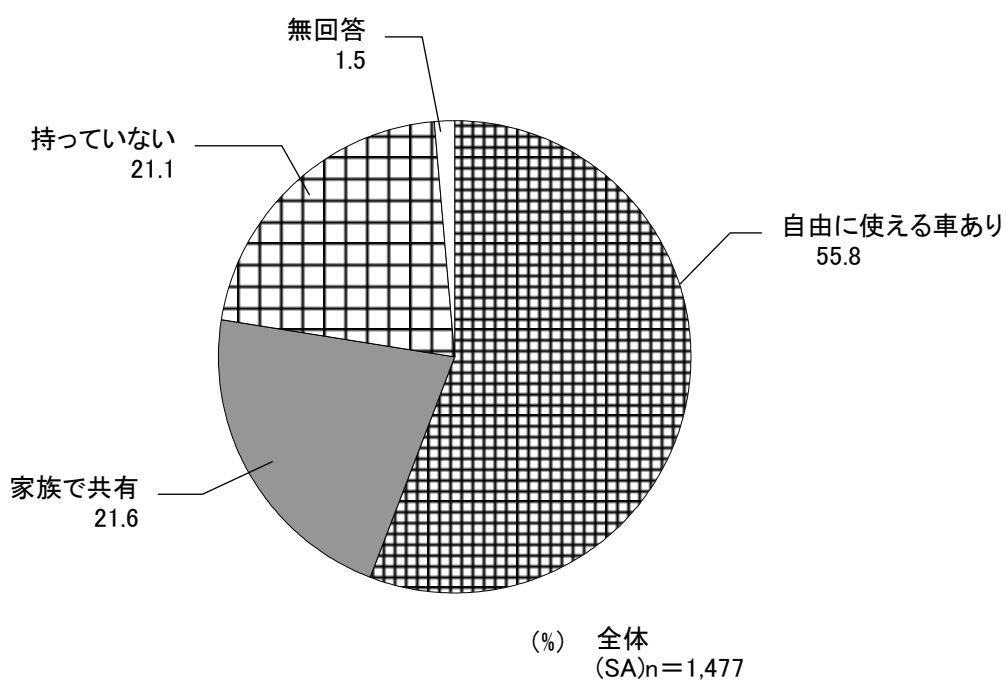
図表-5 免許の保有状況



(6) 自家用車の保有

- 「自家用車の保有状況」は、過半数が自由に使える車がある状況で、「持っていない」人は、全体の21.1%であった。

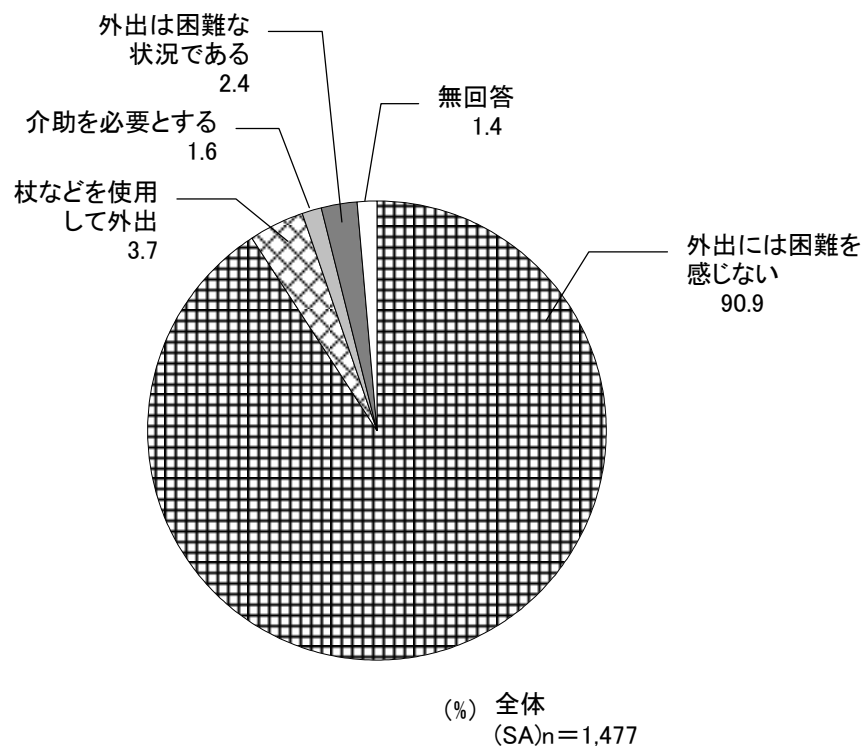
図表-6 自動車の保有状況



(7) 外出における困難状況

- 回答者の外出状況については、90.9%が「外出には困難を感じない」と回答しているものの、「外出は困難な状況である」2.4%、「介助を必要とする」1.6%、「杖などを使用して外出」3.7%という回答となり、約1割が外出に対して不便を感じている。
- 年齢別にみた困難状況についてみると、70歳以上になると外出に対して困難な人が見られ、80歳以上になると4割の人が困難と感じている。

図表-7 外出における困難状況



図表-8 年齢別にみた外出における困難状況

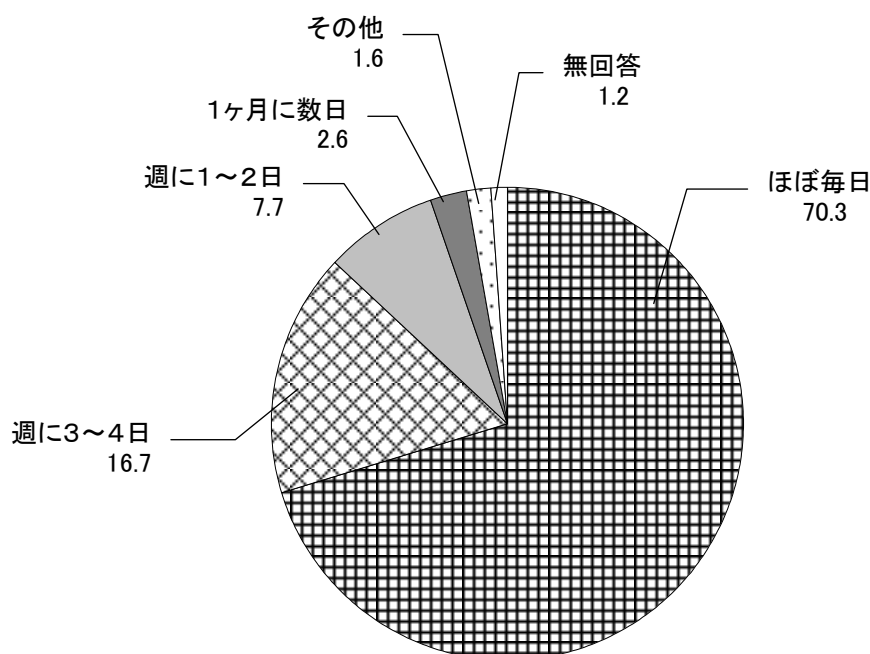
	サンプル数	外出には困難を感じない	杖などを使用して外出	介助を必要とする	外出は困難な状況である	無回答
全 体	100.0 1477	90.9 1343	3.7 55	1.6 24	2.4 35	1.4 20
* 年齢別 *						
20歳未満	100.0 124	100.0 124	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0
20歳代	100.0 147	99.3 146	0.0 0	0.0 0	0.7 1	0.0 0
30歳代	100.0 144	99.3 143	0.0 0	0.7 1	0.0 0	0.0 0
40歳代	100.0 157	99.4 156	0.0 0	0.0 0	0.6 1	0.0 0
50歳代	100.0 202	98.0 198	1.5 3	0.0 0	0.5 1	0.0 0
60歳代	100.0 241	96.3 232	0.0 0	0.0 0	1.7 4	2.1 5
70歳代	100.0 266	87.2 232	3.8 10	3.0 8	4.9 13	1.1 3
80歳以上	100.0 188	56.9 107	22.3 42	8.0 15	8.0 15	4.8 9
無回答	100.0 8	62.5 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0	37.5 3

問2. 外出の頻度や目的について

問2-1. 「外出」の頻度

○ 回答者の「外出の頻度」を確認すると、「ほぼ毎日」が70.3%、「週に3～4日」が16.7%となっており、約9割の人が2日に1度は外出している状況が確認された。

図表-9 「外出」の頻度

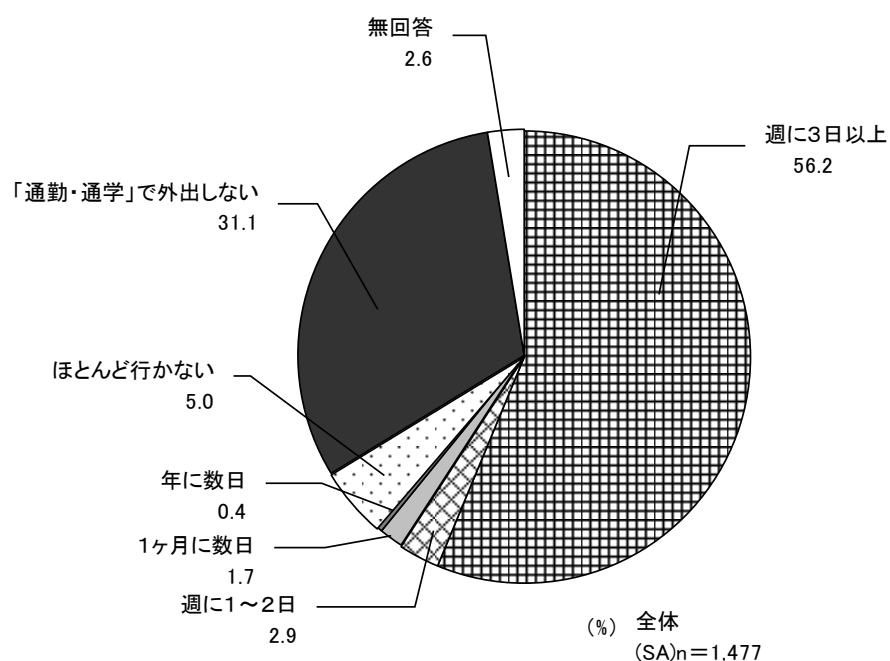


(%) 全体
(SA)n=1,477

問2-2. (1) 外出する頻度と交通手段(「通勤・通学」の場合)

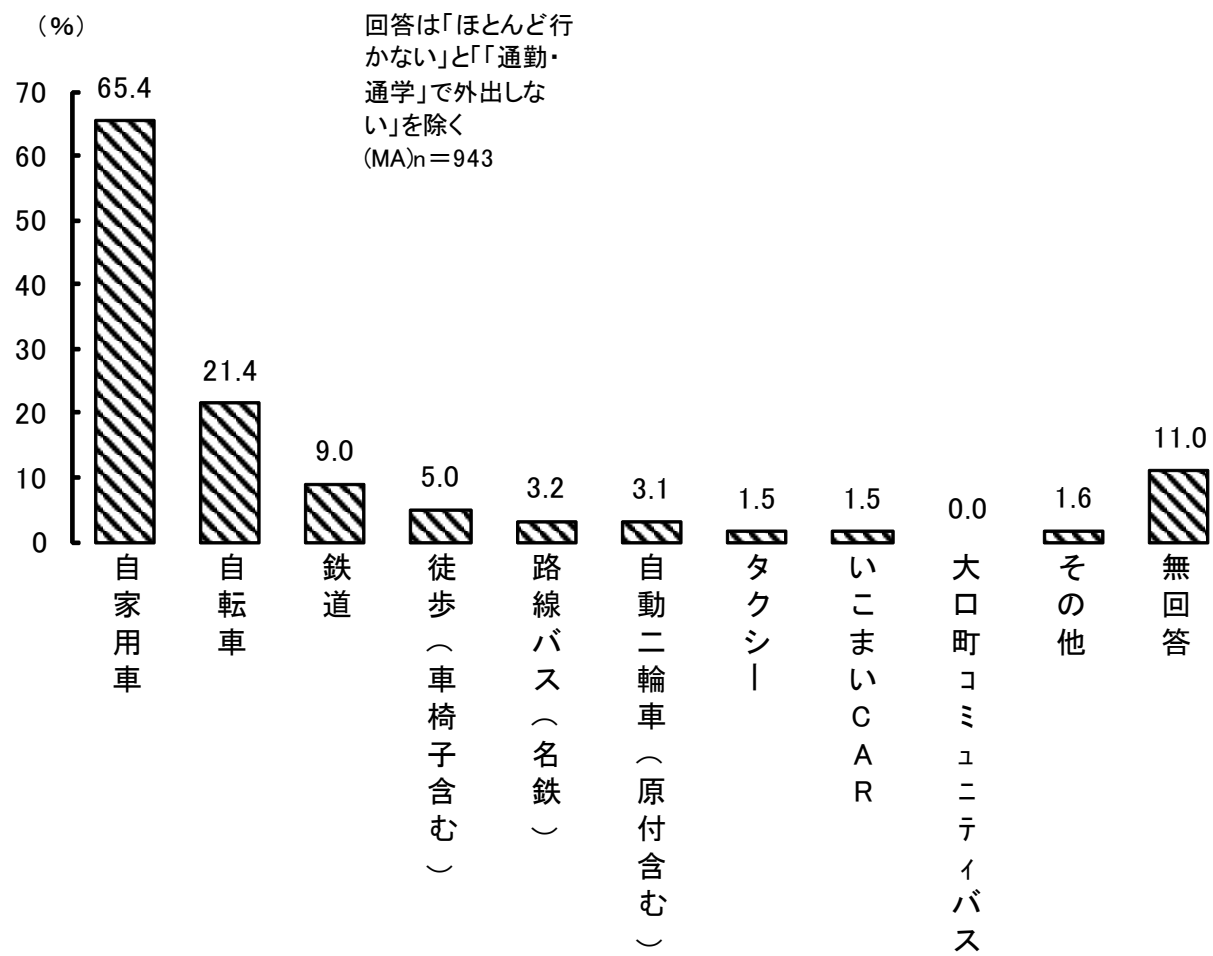
○ 「通勤・通学」の外出頻度は、過半数が「週に3日以上」で、約36.1%が「ほとんど行かない」「通勤・通学で外出しない」と回答している。
その時の交通手段は、「自家用車」が多く全体の65.4%を占める状況にある。

図表-10 外出する頻度



(%) 全体
(SA)n=1,477

図表-11 交通手段

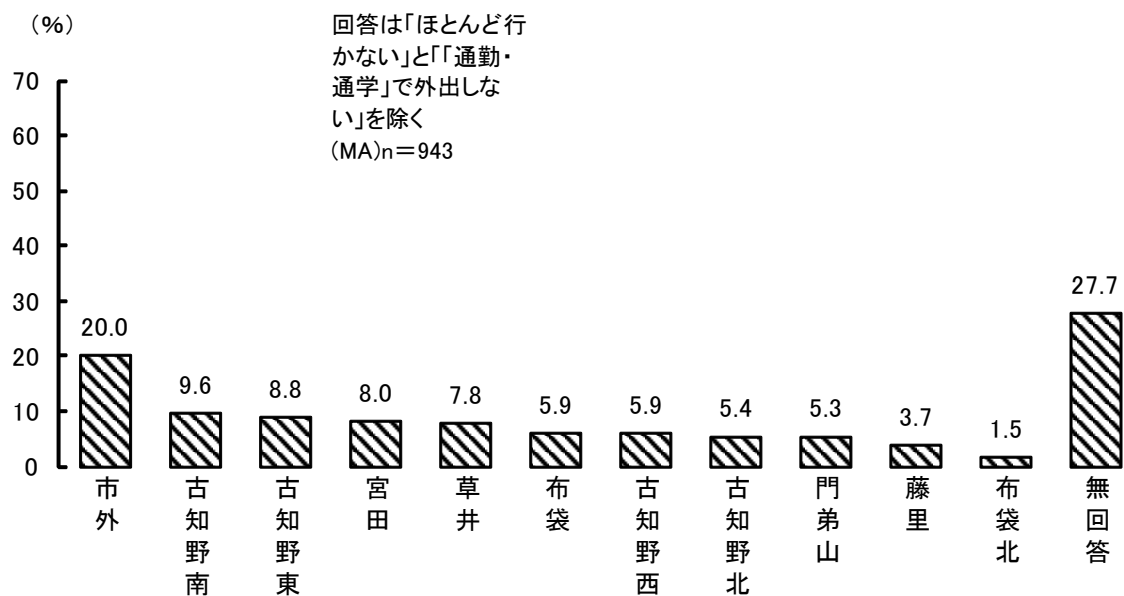


問2-2.(1) 目的地と外出の「時間帯」(「通勤・通学」の場合)

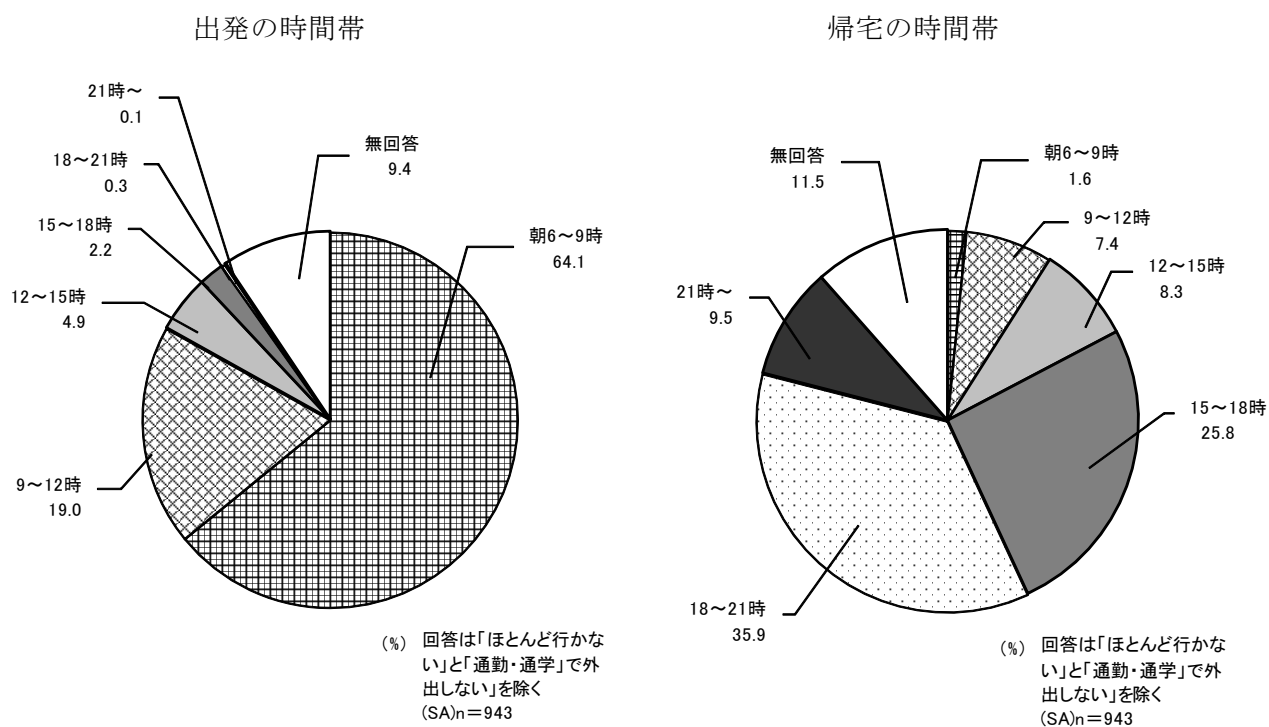
○ 「通勤・通学」の移動先は、回答のあった中で最も多かったのは「市外」で20.0%であった。

「通勤・通学」時の移動時間帯としては、出発時は「朝6～9時」が64.1%と最も多く、帰宅時は「18～21時」が35.9%と最も多かった。

図表-12 目的地



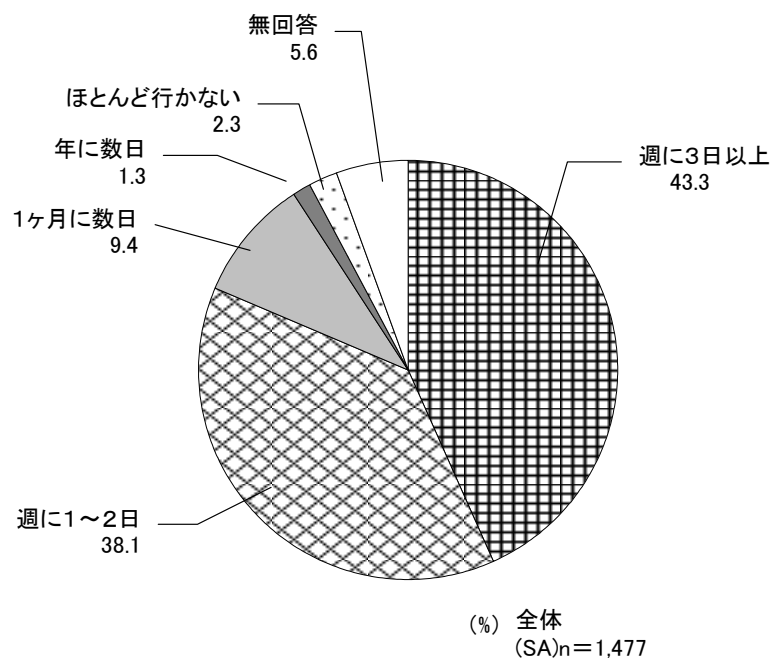
図表-13 外出の「時間帯」



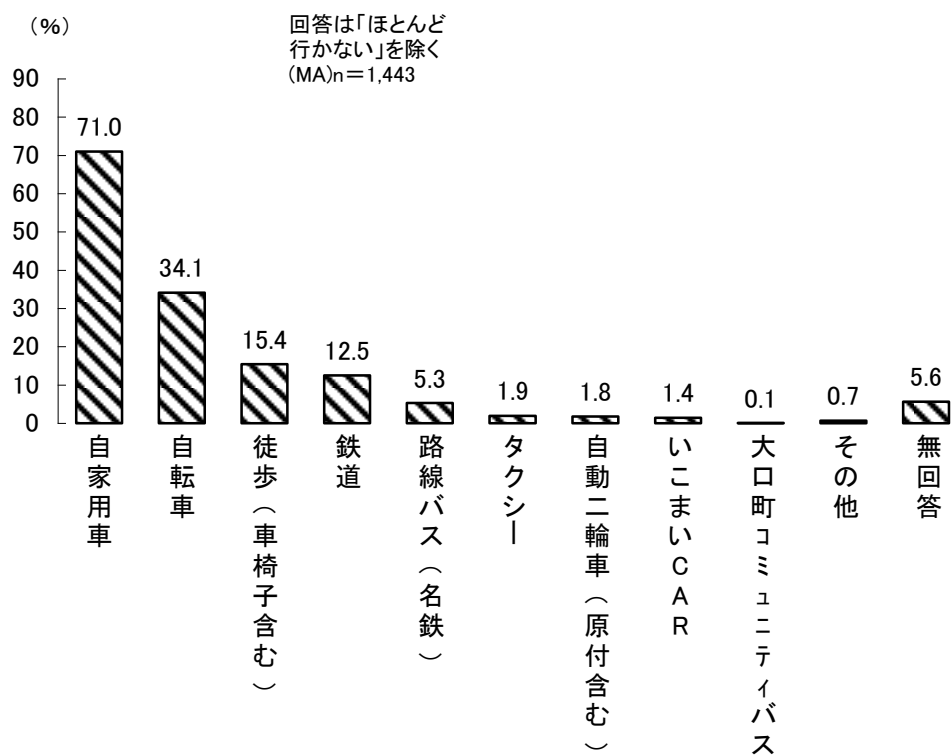
問2-2. (2) 外出する頻度と交通手段（「買い物や娯楽」の場合）

○ 「買い物や娯楽」の外出頻度は、「週に3日以上」が43.3%、「週に1～2日」が38.1%となっており、81.4%が週に1度は外出している状況にある。
その時の交通手段は、「自家用車」が多く全体の71.0%であった。

図表-14 外出する頻度



図表-15 交通手段

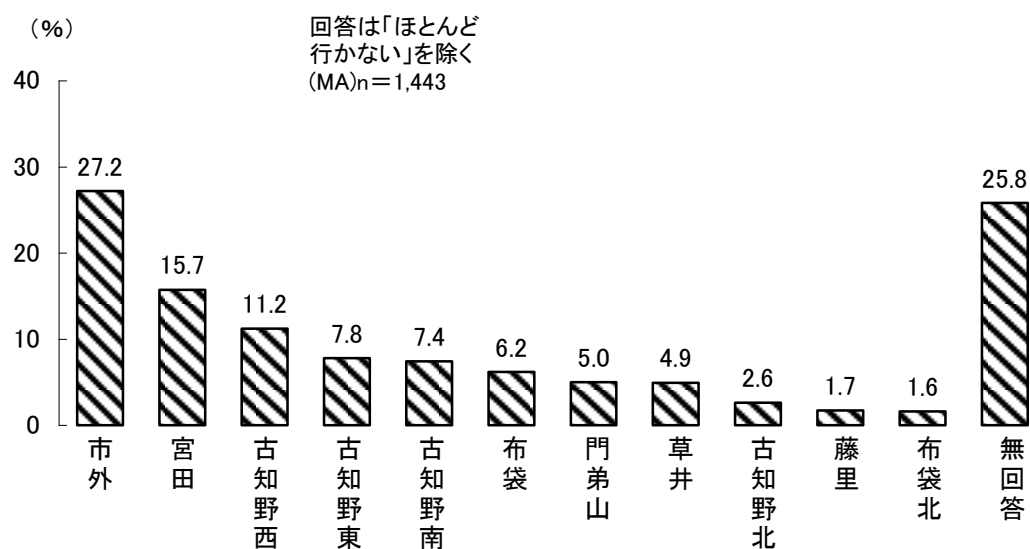


問2-2.(2) 目的地と外出の「時間帯」(「買い物や娯楽」の場合)

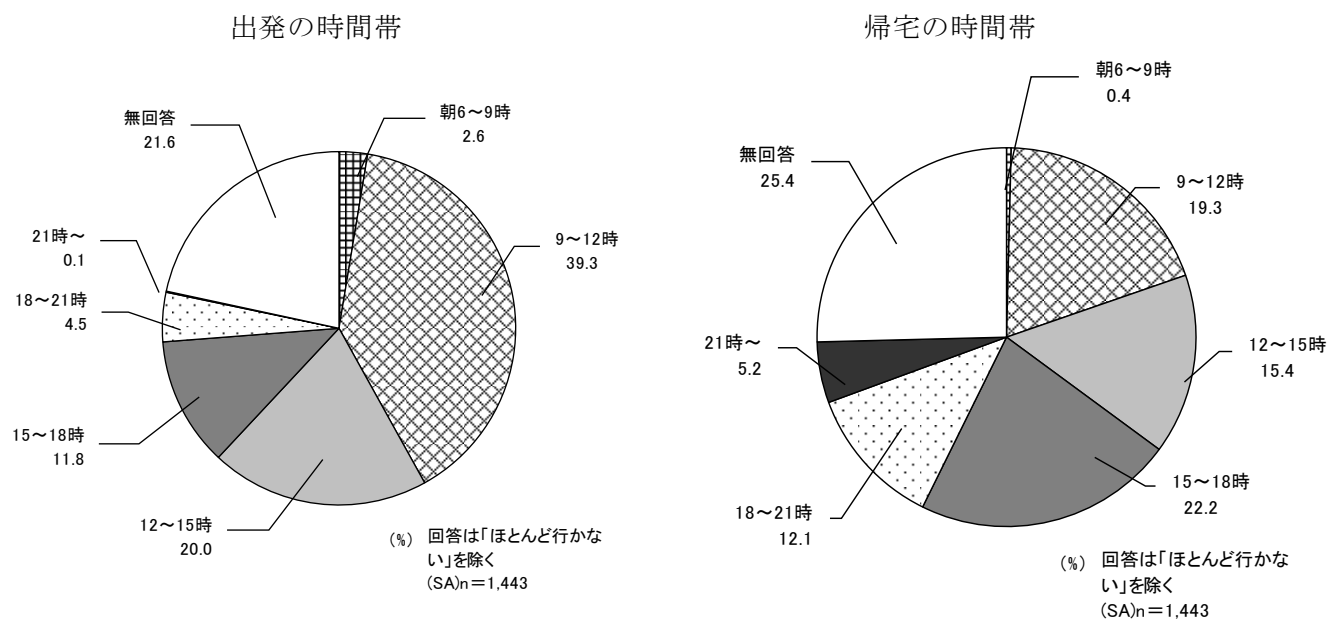
○ 「買い物や娯楽」の移動先は、回答のあった中で最も多かったのは「市外」で27.2%であった。

「買い物や娯楽」時の移動時間帯としては、出発時は「朝6～9時」が39.3%と最も多く、帰宅時は比較的利用時間帯が分散しその中でも「15～18時」が22.2%と最も多かった。

図表-16 目的地



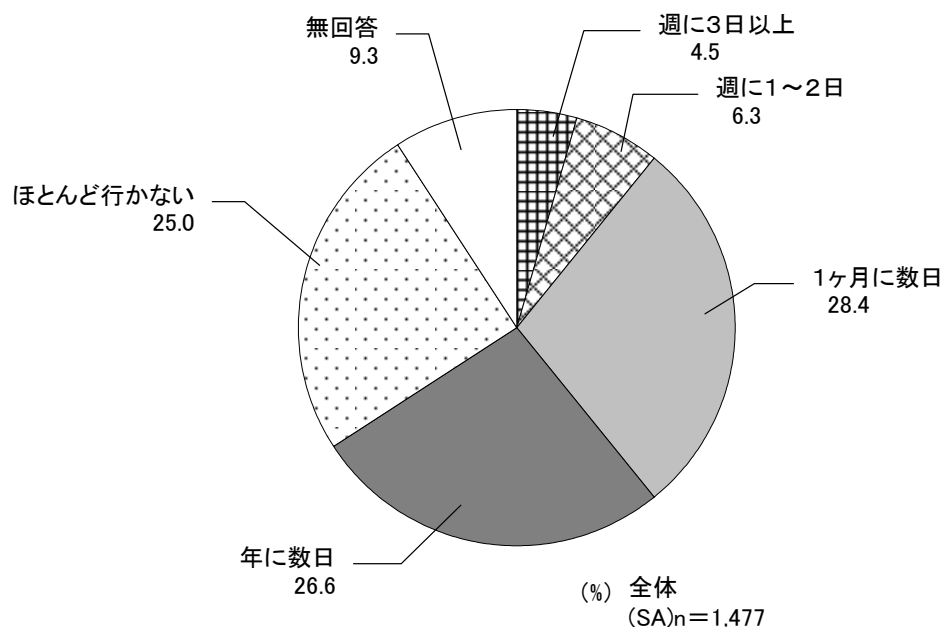
図表-17 外出の「時間帯」



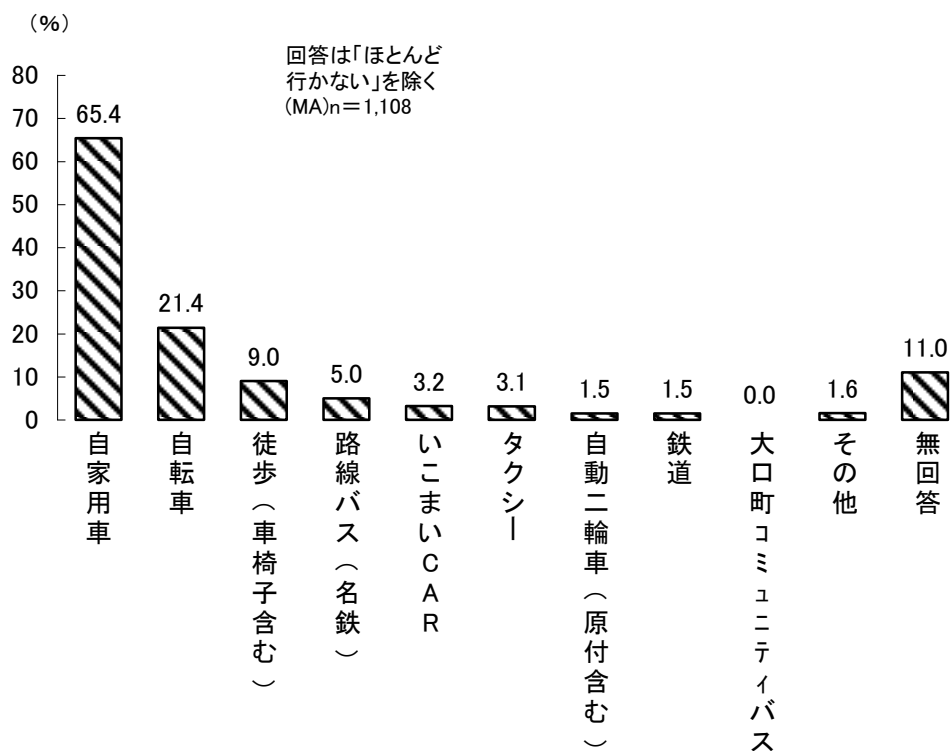
問 2-2. (3) 外出する頻度と交通手段（「病院や福祉施設」の場合）

○ 「病院や福祉施設」の外出頻度は、「週に 3 日以上」が 4.5%、「週に 1～2 日」が 6.3%と合わせて 10.8%となり、週 1 日の利用は約 1 割にとどまっている。
その時の交通手段は、「自家用車」が多く全体の 65.4%であった。

図表-18 外出する頻度



図表-19 交通手段

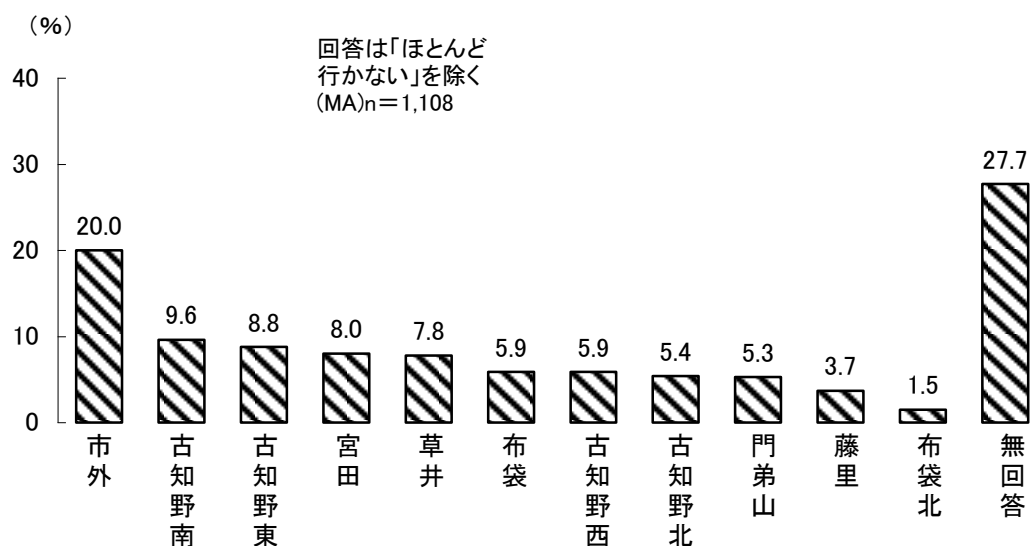


問 2-2. (3) 目的地と外出の「時間帯」(「病院や福祉施設」の場合)

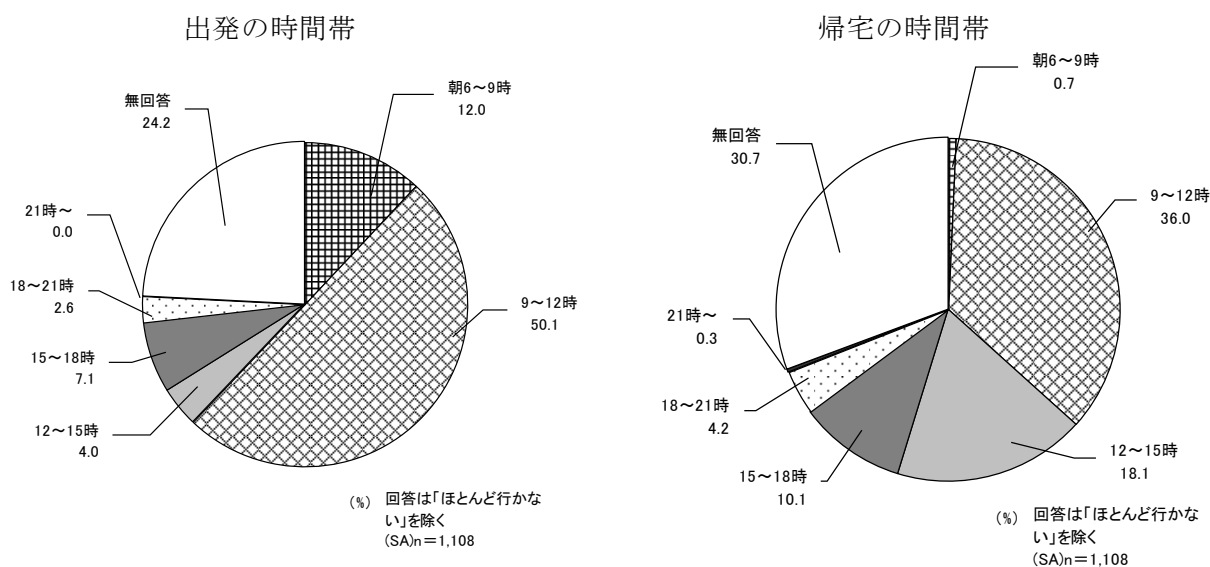
○ 「病院や福祉施設」の移動先は、回答のあった中で最も多かったのは「市外」で 20.0%であった。

「病院や福祉施設」の移動時間帯としては、出発時は「朝 6～9 時」が 50.1%と最も多く、帰宅時も「9～12 時」が 36.0%と最も多かった。

図表-20 目的地



図表-21 外出の「時間帯」

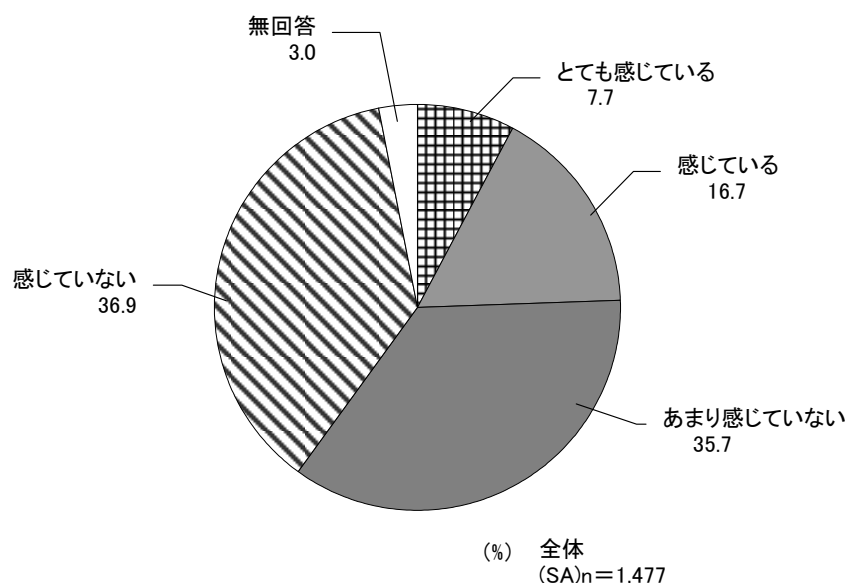


問3. 公共交通に対する評価や利用状況等について

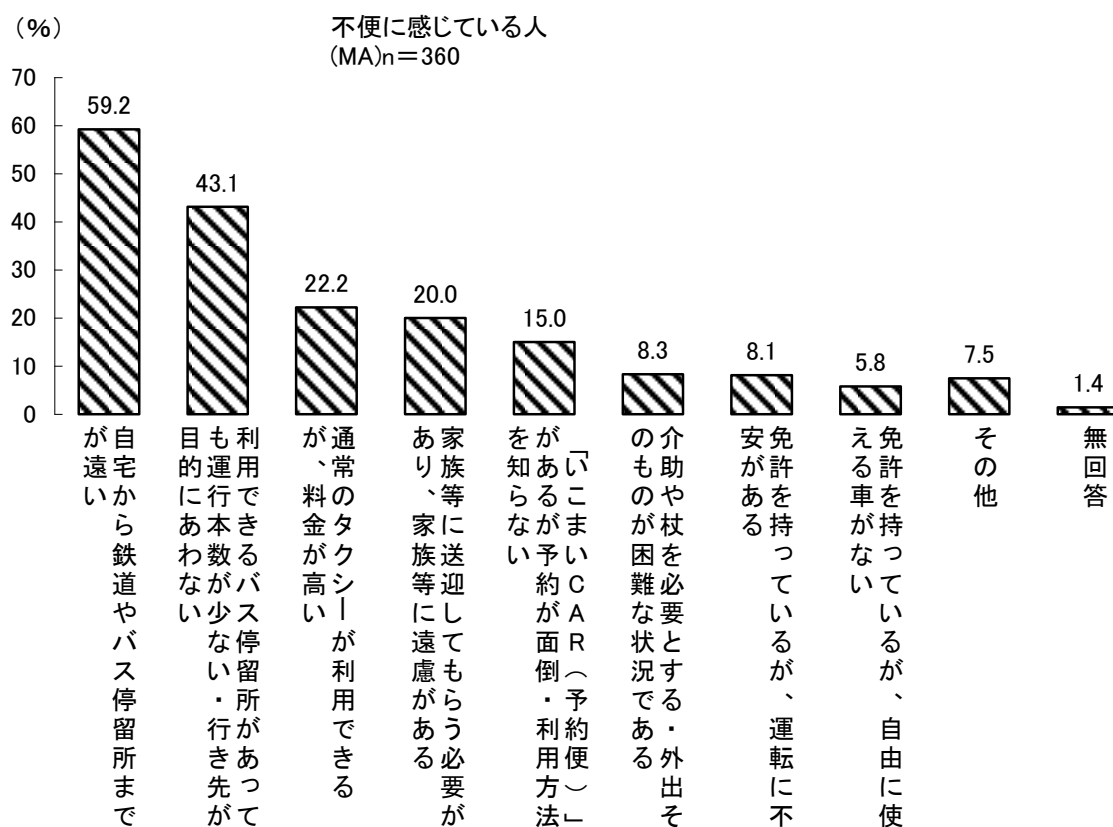
問3-1. 日常の移動に不便を感じているか

○ 「日常の移動に不便を感じているか」確認すると、「とても感じている」「感じている」があわせて24.4%存在した。4人に1人が移動に不便を感じている。
「不便を感じている理由」を確認すると、「自宅から鉄道やバス停留所が遠い」が59.2%と最も選択されており、次いで「利用できるバス停留所があっても運行本数が少ない・行き先が目的にあわない」(43.1%)が選択された。

図表-22 日常の移動に不便を感じているか



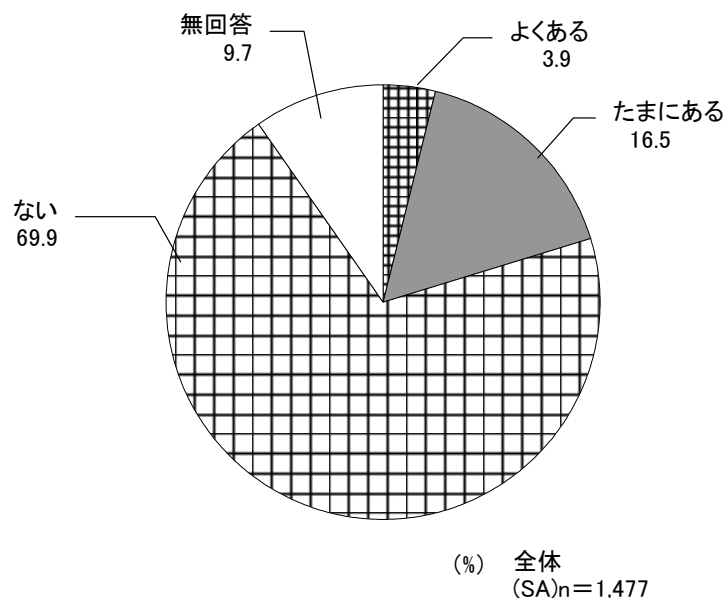
図表-23 不便を感じる理由



問 3-2. 外出を控えたことがあるか

- 「公共交通がない・あるいは利用しづらいために外出を控えたことがあるか」を確認すると、「よくある」「たまにある」が 20.4%となっており、5 人に 1 人が外出を控えた経験がある。
- 年齢別にみると、80 歳以上になると外出を控えるケースがあることが認められる。

図表-24 外出を控えることの有無



図表-25 外出を控えることの有無

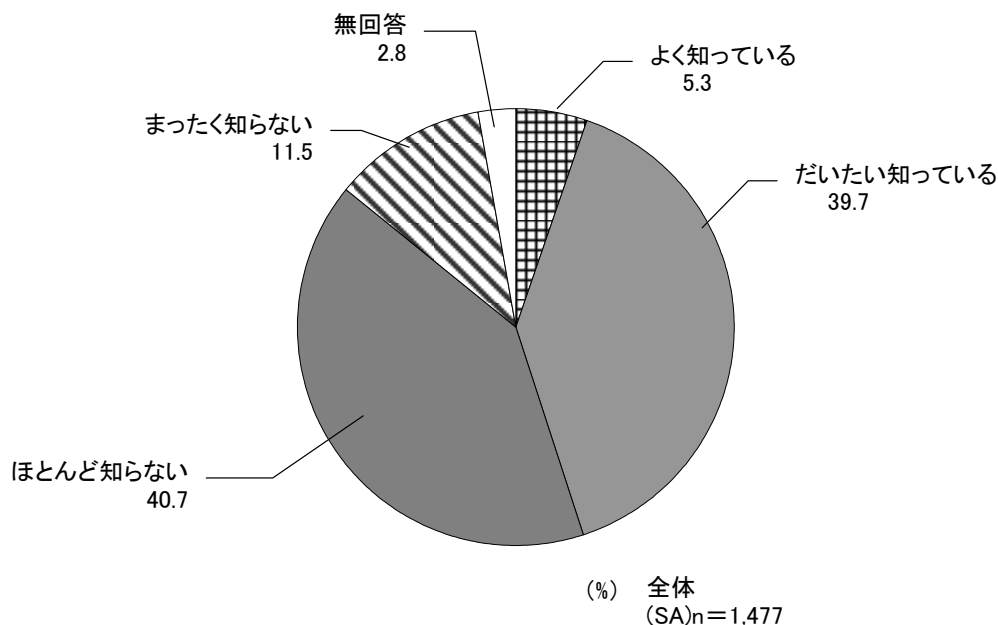
	サンプル数	よくある	たまにある	ない	無回答
全 体	100.0 1477	3.9 57	16.5 243	69.9 1033	9.7 144
* 年齢別 *					
20歳未満	100.0 124	2.4 3	15.3 19	81.5 101	0.8 1
20歳代	100.0 147	2.7 4	22.4 33	72.1 106	2.7 4
30歳代	100.0 144	2.1 3	17.4 25	77.1 111	3.5 5
40歳代	100.0 157	3.2 5	18.5 29	73.9 116	4.5 7
50歳代	100.0 202	3.0 6	13.9 28	75.7 153	7.4 15
60歳代	100.0 241	2.9 7	10.0 24	74.7 180	12.4 30
70歳代	100.0 266	3.4 9	15.4 41	66.2 176	15.0 40
80歳以上	100.0 188	9.0 17	23.4 44	45.7 86	21.8 41
無回答	100.0 8	37.5 3	0.0 0	50.0 4	12.5 1

問3-3. 市内の公共交通（バス・いこまいCAR）について

（1）バス路線の認知状況

○ 「バス路線の認知状況」を確認すると、「ほとんど知らない」「まったく知らない」が合わせて52.2%となっており、住民の過半数がバス路線を知らない状況にある。

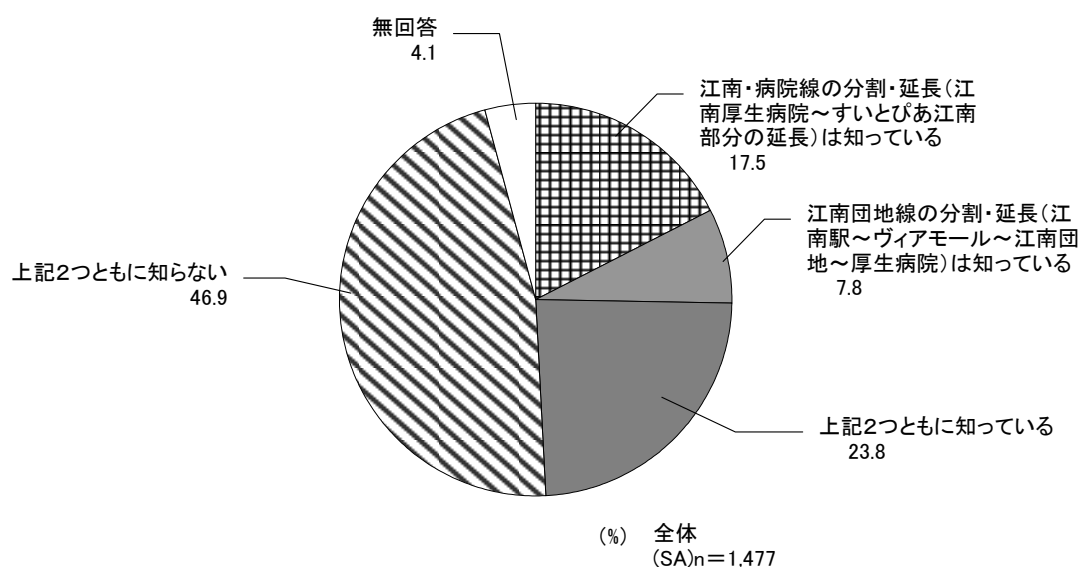
図表-26 認知程度



（2）バス路線の路線変更の認知状況

○ 「4月1日にバス路線が一部変更されたこと」を確認すると、「2つともに知らない」が46.9%を占めている。バス路線の認知度の低さが反映された結果となった。

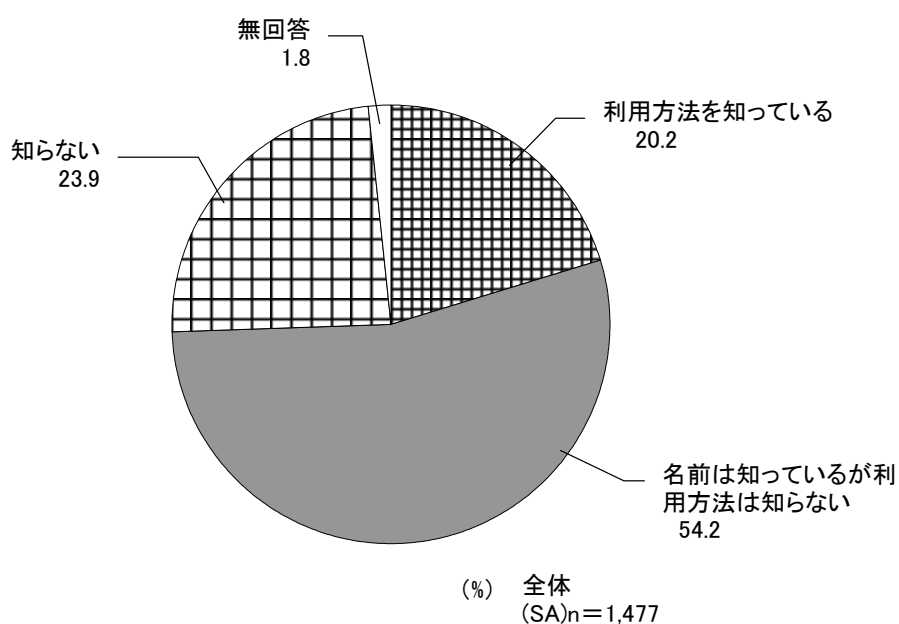
図表-27 一部変更の認知



(3) 「いこまいCAR（予約便）」の認知状況

- 「いこまいCAR（予約便）」の認知状況については、「利用方法を知っている」が20.2%にとどまり、約8割の人が「いこまいCAR（予約便）」を「知らない」「使い方を知らない」状況にある。
- 年齢別にみると、70歳以上になると認知度が高まり、利用者層となっていることが伺われる。

図表-28 「いこまいCAR（予約便）」の認知状況



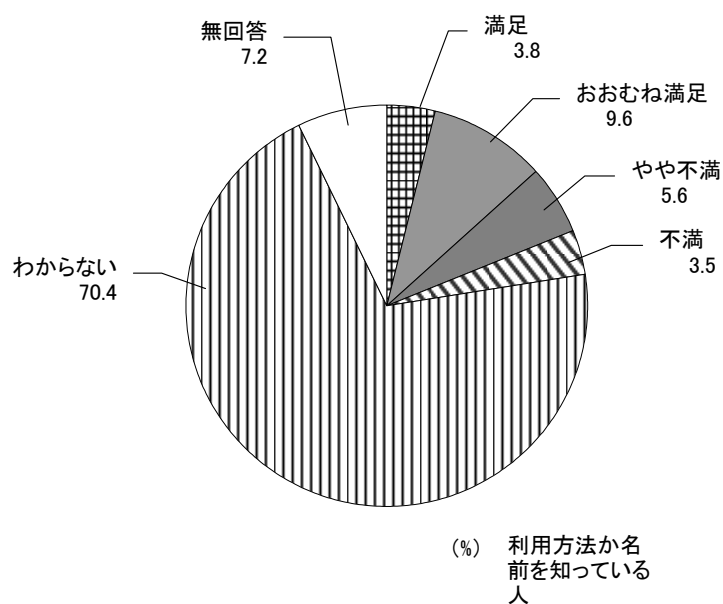
図表-29 「いこまいCAR（予約便）」の認知状況

	サンプル数	利用方法を知っている	名前を知っているが利用方法は知らない	知らない	無回答
全 体	100.0 1477	20.2 298	54.2 800	23.9 353	1.8 26
* 年齢別 *					
20歳未満	100.0 124	6.5 8	41.9 52	51.6 64	0.0 0
20歳代	100.0 147	7.5 11	59.2 87	32.7 48	0.7 1
30歳代	100.0 144	7.6 11	62.5 90	29.9 43	0.0 0
40歳代	100.0 157	13.4 21	61.8 97	24.8 39	0.0 0
50歳代	100.0 202	16.3 33	66.3 134	16.3 33	1.0 2
60歳代	100.0 241	19.9 48	56.0 135	23.2 56	0.8 2
70歳代	100.0 266	36.1 96	47.4 126	13.2 35	3.4 9
80歳以上	100.0 188	36.2 68	39.4 74	18.1 34	6.4 12
無回答	100.0 8	25.0 2	62.5 5	12.5 1	0.0 0

問3-4. 「いこまいCAR（予約便）」の現状のサービス水準の満足度

- 「いこまい CAR（予約便）」の「サービス水準の満足度」については、「わからない」が全体の70.4%となっており、適切に評価できる状況にはない。
- ただし、問3-7の「いこまいCAR（予約便）」の利用の有無により、サービス水準の満足度を確認すると、「利用したことがある」人の満足度は非常に高く、「利用したことがない」人の満足度は、わからないと回答している。
- 年齢別にみると、70歳以上になると満足度の割合が高くなっている。
- これより、「いこまい CAR（予約便）」を利用してもらえれば、高い評価が得られるものと想定される。

図表-30 「いこまいCAR（予約便）」の現状のサービス水準の満足度



図表-31 利用の有無からみた現状のサービス水準の満足度

	満足①	不満②	わからない	①－②
市全体	13.4	9.1	70.4	4.3
利用したことがある	58.6	22.3	15.3	36.3
利用したことがない	5.5	6.8	80.6	-1.3

図表-32 年齢別からみた現状のサービス水準の満足度

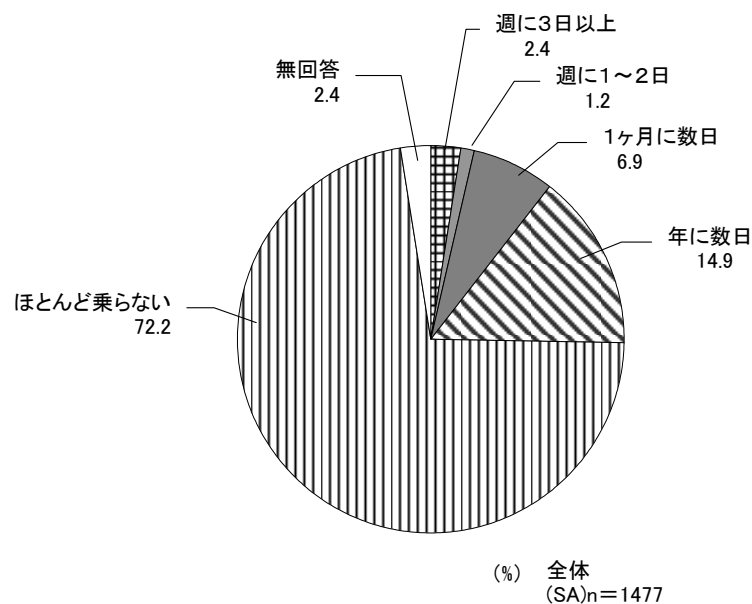
	サンプル数	満足	おおむね満足	やや不満	不満	わからない	無回答
全 体	1098	42	105	61	38	773	79
* 年齢別 *							
20歳未満	100.0	5.0	5.0	0.0	0.0	90.0	0.0
	60	3	3	0	0	54	0
20歳代	100.0	0.0	4.1	4.1	3.1	82.7	6.1
	98	0	4	4	3	81	6
30歳代	100.0	2.0	5.9	5.0	2.0	84.2	1.0
	101	2	6	5	2	85	1
40歳代	100.0	0.0	5.9	6.8	3.4	80.5	3.4
	118	0	7	8	4	95	4
50歳代	100.0	2.4	8.4	3.6	0.6	78.4	6.6
	167	4	14	6	1	131	11
60歳代	100.0	1.6	4.9	2.7	6.6	75.4	8.7
	183	3	9	5	12	138	16
70歳代	100.0	7.2	15.8	7.2	5.0	55.9	9.0
	222	16	35	16	11	124	20
80歳以上	100.0	9.9	18.3	11.3	3.5	42.3	14.8
	142	14	26	16	5	60	21
無回答	100.0	0.0	14.3	14.3	0.0	71.4	0.0
	7	0	1	1	0	5	0

問 3－5. 市内のバスの利用状況

(1) バスの利用頻度

○ 「バスの利用状況」を確認すると、約 7 割の人が「ほとんど乗らない」と回答しており、利用している人の中でも「週に 3 日以上」「週に 1～2 日」を合わせた「週に 1 日以上」利用する人は 3.6%にとどまる状況にある。

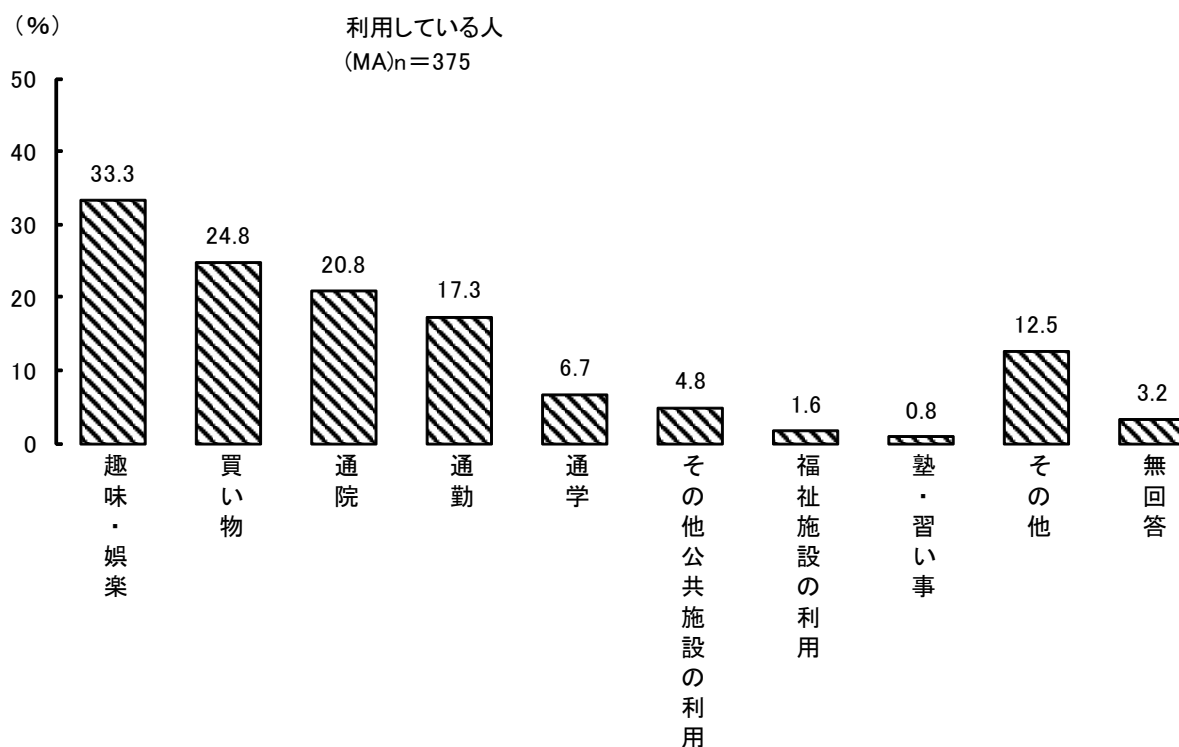
図表-33 利用頻度



(2) バスの利用目的

○ バス利用者の「利用目的」は、「趣味・娯楽」が 33.3%と最も多く、次いで「買い物」が 24.8%であった。

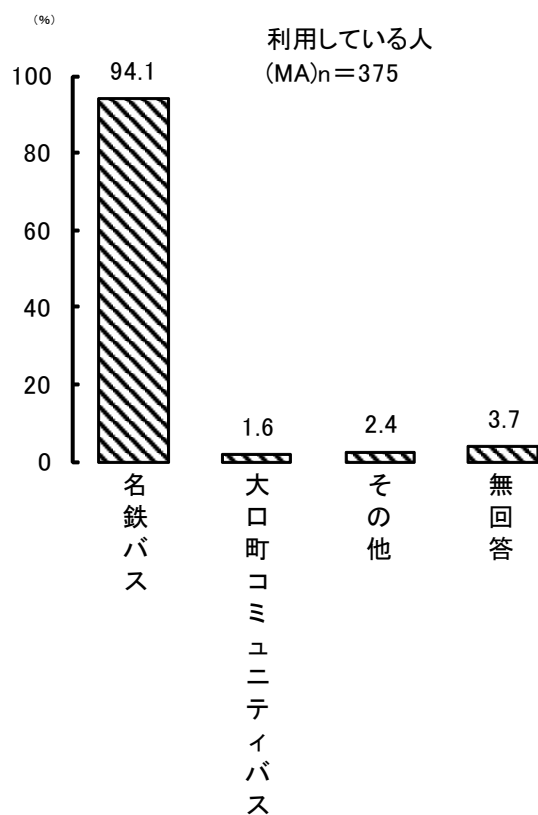
図表-34 利用目的



(3) よく利用されるバス

○ 「利用されているバス」は、「名鉄バス」が94.1%と最も多かった。

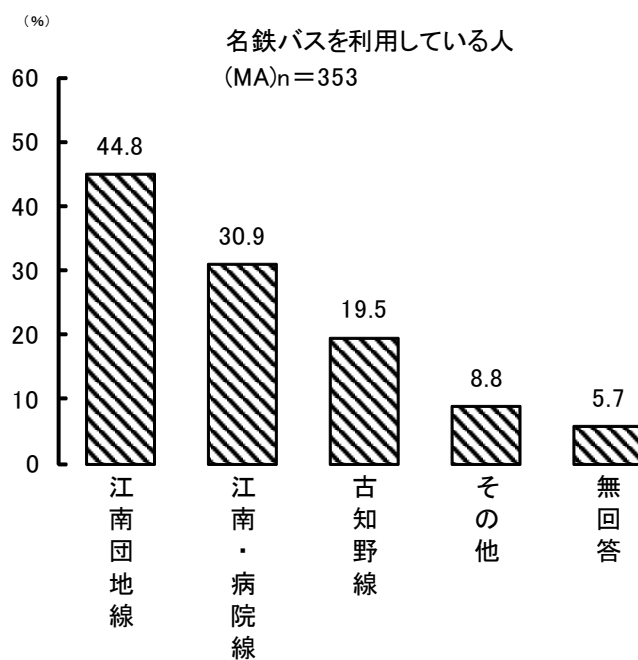
図表-35 よく利用するバス



(4) よく利用される路線

○ 名鉄バスの中でも「江南団地線」が44.8%と最も多く、次いで「江南・病院線」30.9%であった。

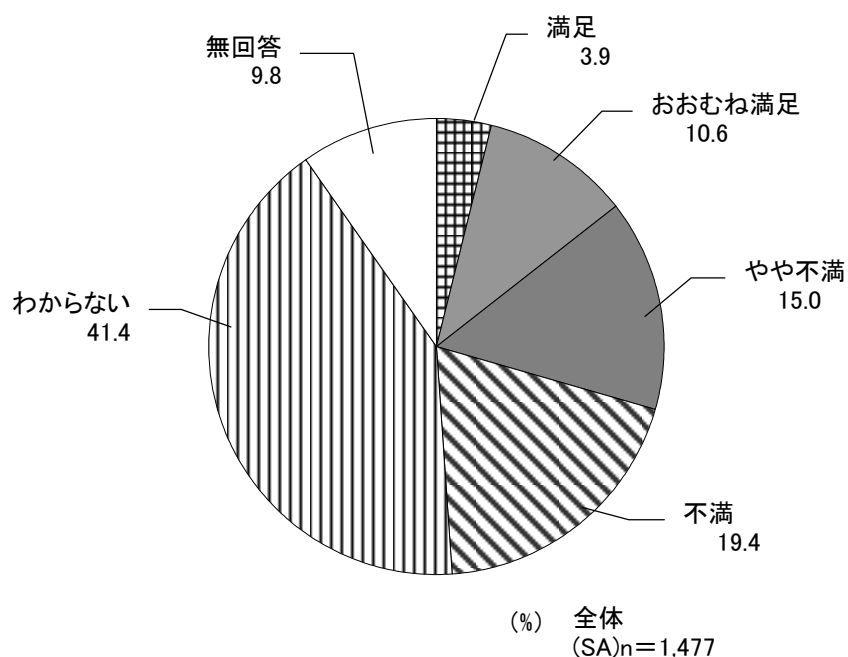
図表-36 よく利用する路線



問3-6. バスのサービス水準に対する満足度

- バスに対する「現状のサービス水準の満足度」を確認すると、利用者が少ないため、「わからない」が41.4%と最も多かった。
「満足」「おおむね満足」の小計が14.5%で、「不満」「やや不満」の小計34.4%となり、「不満」の声の方が多かった。
- 問3-5の利用頻度からみた「満足（満足+おおむね満足）」と「不満（不満+やや不満）」の割合の差を確認したところ、「ほとんど乗らない」人は、「満足」より「不満」が25.7%上回ったが、それ以上の52.5%が「わからない」と回答している。「利用している」人に着目すると、「週に1～2日」以下の利用頻度の少ない人は、「満足」と「不満」が均衡しており、「週に3日以上」のヘビーユーザーになると「不満」と回答する割合が多くなっている。
- 利用頻度の少ない人については、一定の理解を得られるサービスが提供できていると思われる一方で、ヘビーユーザーにとっては、より利便性の高いサービスを求めている結果となった。

図表-37 サービス水準の満足度



図表-38 利用の有無からみたサービス水準の満足度

	満足①	不満②	わからない	①－②
市全体	14.5	34.4	41.4	-19.9
週に3日以上	37.2	60.0	0.0	-22.8
週に1～2日	50.0	38.9	5.6	11.1
1ヶ月に数日	43.2	48.0	5.9	-4.8
年に数日	37.7	40.0	17.3	-2.3
ほとんど乗らない	5.9	31.6	52.5	-25.7

- 居住地別に「満足（満足+おおむね満足）」と「不満（不満+やや不満）」の割合の差を確認したところ、「藤里」地区を除いたその他地域で、満足よりも不満が上回った。満足度から不満度の値を差し引いた値が-40を超える地域は、「布袋（線路東）」・「布袋北」・「草井」となった。
- 「線路東」地区と、江南駅から離れた地区については、江南市全体と比較して満足度の値が低い。
- 年齢別にみた満足度は、70歳以上になるとやや満足度の割合が高くなっている。

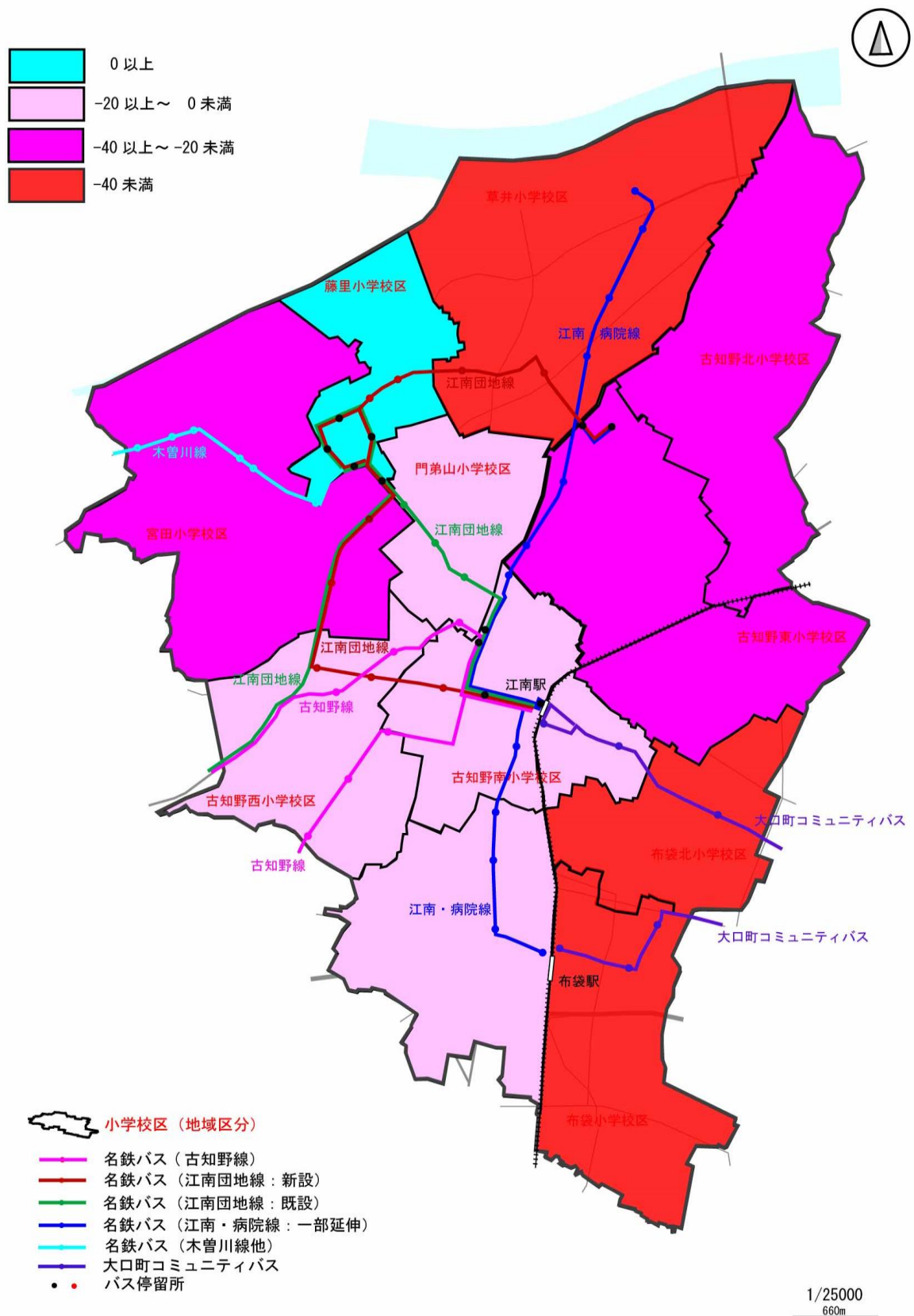
図表-39 居住地別にみたサービス水準の満足度

	満足①	不満②	①－②
市全体	14.5	34.4	-19.9
古知野東（線路東）	3.1	29.8	-26.7
古知野東（線路西）	6.0	36.0	-30.0
古知野西	26.7	28.0	-1.3
古知野南（線路東）	11.1	16.7	-5.6
古知野南（線路西）	12.2	23.6	-11.4
古知野北	4.2	35.8	-31.6
布袋（線路東）	1.8	42.1	-40.3
布袋（線路西）	16.6	25.6	-9.0
布袋北	2.4	44.9	-42.5
宮田	17.6	42.9	-25.3
草井	7.9	49.3	-41.4
藤里	45.3	27.4	17.9
門弟山	21.6	34.1	-12.5

図表-40 年齢別にみたサービス水準の満足度

	満足①	不満②	①－②
市全体	14.5	34.4	-19.9
20歳未満	11.3	29.0	-17.7
20歳代	12.3	42.2	-29.9
30歳代	8.4	45.1	-36.7
40歳代	15.3	41.4	-26.1
50歳代	14.9	41.6	-26.7
60歳代	13.3	27.8	-14.5
70歳代	18.4	30.1	-11.7
80歳以上	17.6	23.4	-5.8

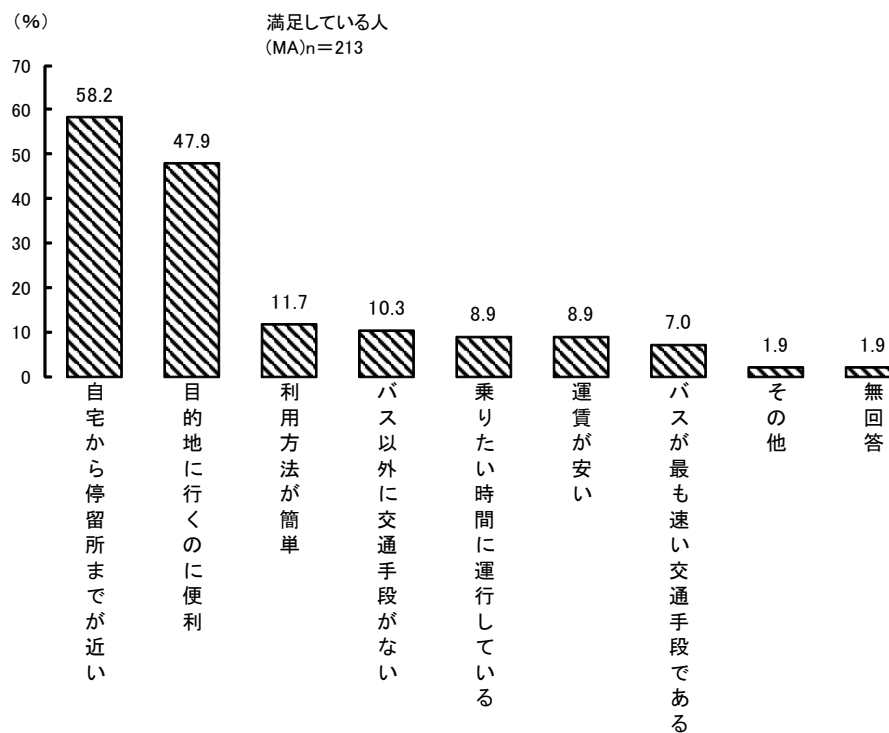
図表-41 居住地別にみたサービス水準の満足度



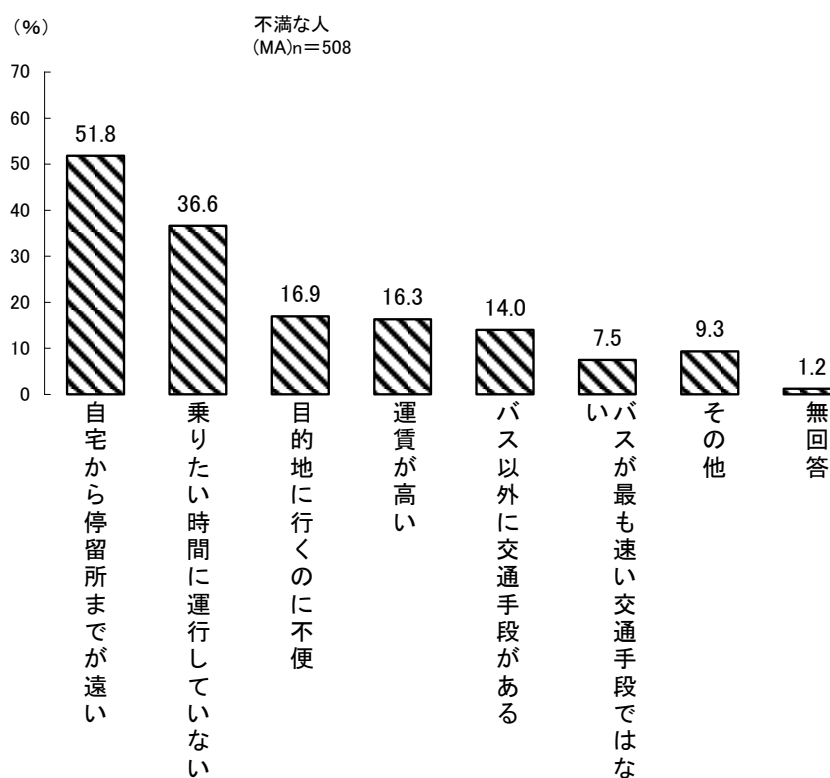
問 3－6. 満足な理由と不満な理由

- バスサービス水準が「満足」と回答する主な「理由」は、「自宅から停留所までが近い (58.2%)」が最も選択され、次いで、「目的地に行くのに便利 (47.9%)」が選択された。一方、「不満」と回答する主な「理由」は、「自宅から停留所までが遠い (51.8%)」が最も選択され、次いで「乗りたい時間に運行していない (36.6%)」が選択された。

図表-42 満足な理由



図表-43 不満な理由



図表-44 年齢別・地区別にみた不満な理由

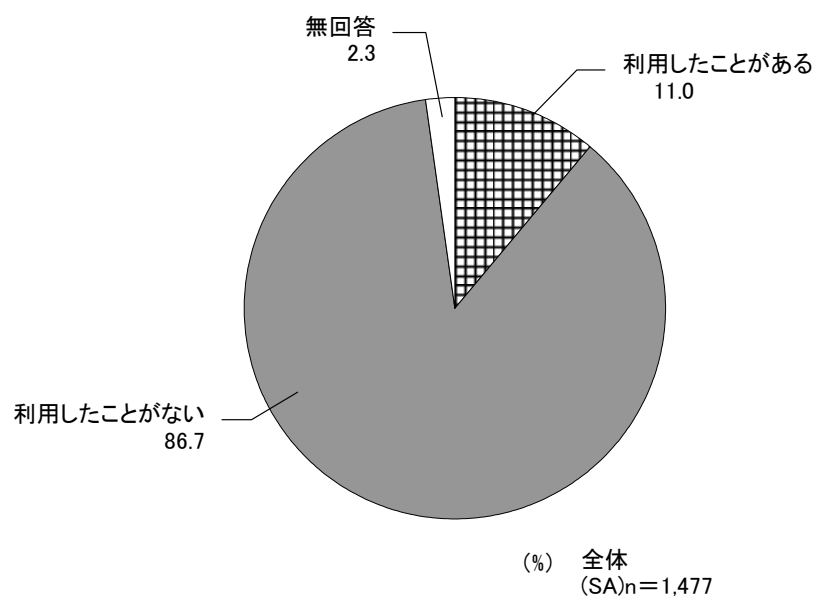
	サンプル数	目的地に行くのに不便	自宅から停留所までが遠い	乗りたい時間に運行していない	運賃が高い	バスが最も速い交通手段ではない	バス以外に交通手段がある	その他	無回答
全 体	100.0 508	16.9 86	51.8 263	36.6 186	16.3 83	7.5 38	14.0 71	9.3 47	1.2 6
* 年齢別 *									
20歳未満	100.0 36	16.7 6	36.1 13	33.3 12	22.2 8	8.3 3	11.1 4	27.8 10	0.0 0
20歳代	100.0 62	21.0 13	51.6 32	37.1 23	19.4 12	8.1 5	12.9 8	4.8 3	0.0 0
30歳代	100.0 65	18.5 12	46.2 30	50.8 33	15.4 10	7.7 5	7.7 5	7.7 5	0.0 0
40歳代	100.0 65	10.8 7	49.2 32	41.5 27	24.6 16	7.7 5	9.2 6	13.8 9	1.5 1
50歳代	100.0 84	17.9 15	42.9 36	40.5 34	19.0 16	11.9 10	20.2 17	4.8 4	0.0 0
60歳代	100.0 67	10.4 7	52.2 35	37.3 25	16.4 11	4.5 3	20.9 14	7.5 5	1.5 1
70歳代	100.0 80	18.8 15	58.8 47	27.5 22	10.0 8	8.8 7	18.8 15	7.5 6	2.5 2
80歳以上	100.0 44	22.7 10	75.0 33	22.7 10	4.5 2	0.0 0	4.5 2	9.1 4	4.5 2
無回答	100.0 5	20.0 1	100.0 5	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0	20.0 1	0.0 0
* 居住地別 *									
古知野東（線路東）	100.0 29	27.6 8	62.1 18	17.2 5	3.4 1	6.9 2	17.2 5	6.9 2	3.4 1
古知野東（線路西）	100.0 18	16.7 3	50.0 9	22.2 4	22.2 4	11.1 2	11.1 2	5.6 1	5.6 1
古知野西	100.0 42	16.7 7	28.6 12	50.0 21	28.6 12	9.5 4	11.9 5	19.0 8	0.0 0
古知野南（線路東）	100.0 9	33.3 3	33.3 3	44.4 4	11.1 1	11.1 1	22.2 2	11.1 1	0.0 0
古知野南（線路西）	100.0 25	24.0 6	28.0 7	24.0 6	44.0 11	4.0 1	20.0 5	0.0 0	0.0 0
古知野北	100.0 52	13.5 7	69.2 36	11.5 6	1.9 1	7.7 4	7.7 4	19.2 10	3.8 2
布袋（線路東）	100.0 24	33.3 8	79.2 19	12.5 3	12.5 3	0.0 0	20.8 5	8.3 2	0.0 0
布袋（線路西）	100.0 28	7.1 2	39.3 11	46.4 13	21.4 6	7.1 2	17.9 5	7.1 2	0.0 0
布袋北	100.0 58	20.7 12	74.1 43	25.9 15	5.2 3	5.2 3	15.5 9	5.2 3	1.7 1
宮田	100.0 63	17.5 11	69.8 44	28.6 18	19.0 12	4.8 3	15.9 10	6.3 4	0.0 0
草井	100.0 75	12.0 9	56.0 42	53.3 40	12.0 9	12.0 9	13.3 10	5.3 4	1.3 1
藤里	100.0 29	6.9 2	13.8 4	55.2 16	34.5 10	17.2 5	13.8 4	6.9 2	0.0 0
門弟山	100.0 49	16.3 8	24.5 12	67.3 33	14.3 7	4.1 2	10.2 5	16.3 8	0.0 0
無回答	100.0 7	0.0 0	42.9 3	28.6 2	42.9 3	0.0 0	0.0 0	0.0 0	0.0 0

問3-7. 「いこまいCAR（予約便）」の利用状況

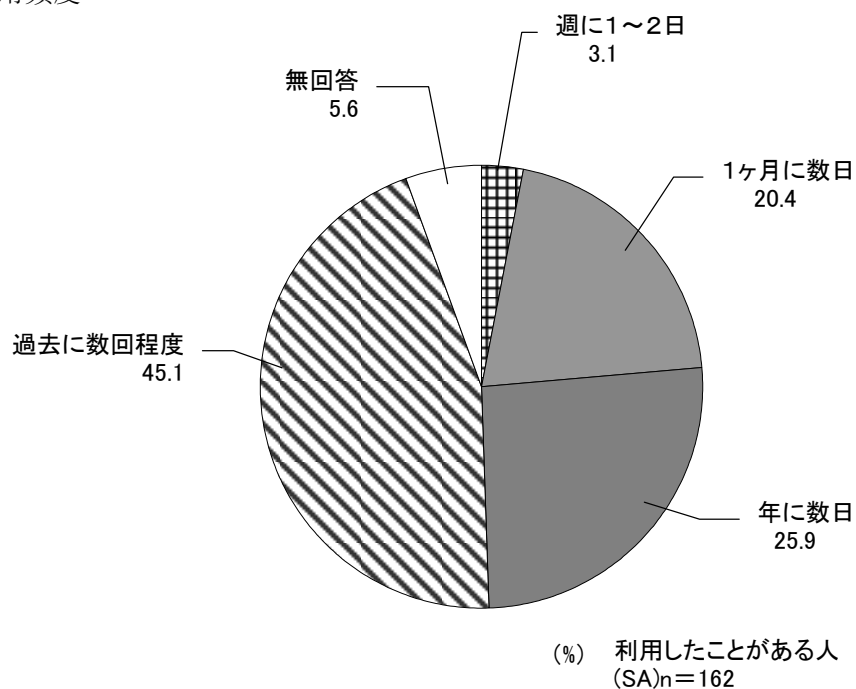
(1) 利用の有無と利用頻度

○ 「いこまいCAR（予約便）」の利用状況は、「利用したことがある」人は11.0%であった。
それら利用している人の利用頻度は、「過去に数回程度」が45.1%と最も多く、「週に1～2日」の利用は3.1%にとどまる。

図表-45 利用の有無



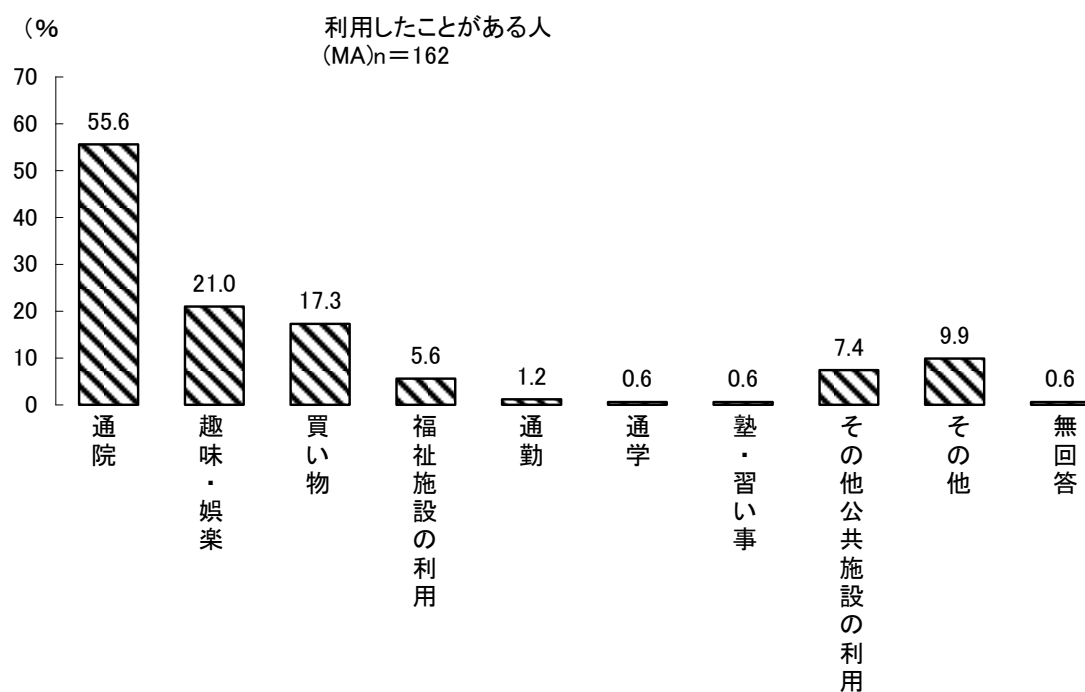
図表-46 利用頻度



(2) 利用目的

○ 「いこまい CAR (予約便)」の利用目的は、「通院」が 55.6%と最も多く、次いで「趣味・娯楽 (21.0%)」、「買い物 (17.3%)」となっている。

図表-47 利用目的

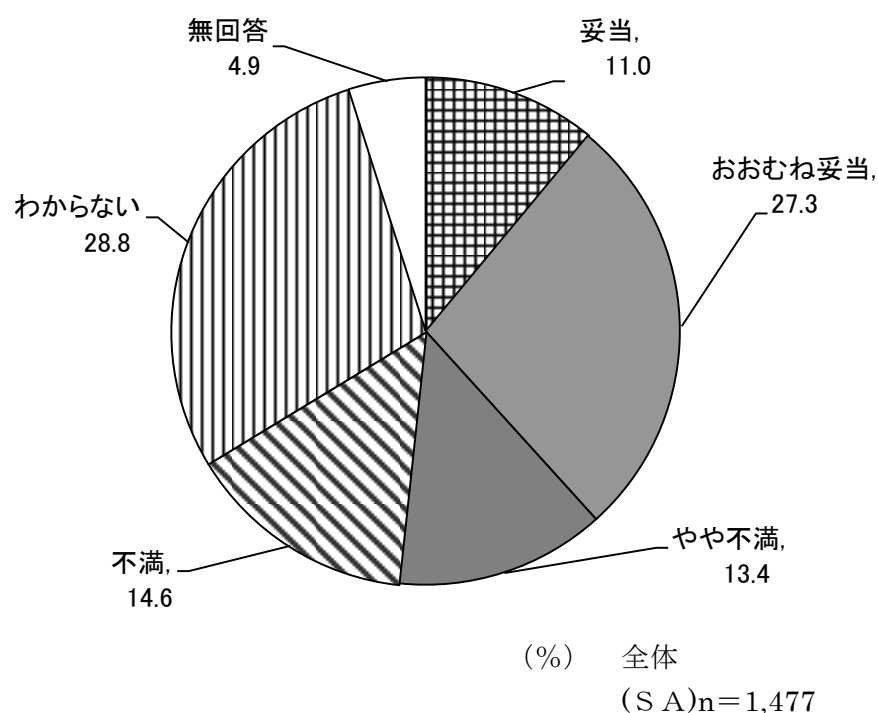


問 4. 江南市の将来的な公共交通施策について

問 4-1. 税金を投入して民間路線バスを維持することに対する評価

- 年間数百万円の税金を投入して「民間路線バスを維持することは妥当と考えるか」を確認したところ、「妥当」「おおむね妥当」が 38.3%であるのに対し、「不満」「やや不満」が 28.0%であり、「妥当」とする意見が約 10%上回った。
- ただし、「わからない」を選択する回答者が 28.8%存在しており、「妥当」が大多数を占める状況にはない。
- 問 3-5 の利用の有無から「妥当（妥当+おおむね妥当）」と「不満（不満+やや不満）」の割合を比較すると、「利用している」人は「不満」より「妥当」という評価が、市全体平均よりも概ね上回っており、特に「週に 3 日以上」利用するヘビーユーザーの評価が大きく上回った。その一方で、「ほとんど乗らない」人の回答は、「妥当」と「不満」と「わからない」が拮抗した。

図表-48 民間路線バスを維持することに対する評価



図表-49 利用の有無からみた評価

	妥当①	不満②	わからない	①－②
市全体	38.3	28.0	28.8	10.3
週に 3 日以上	77.2	5.8	14.3	71.4
週に 1 ～ 2 日	33.4	27.8	27.8	5.6
1 ヶ月に数日	60.8	15.6	14.7	45.2
年に数日	50.0	22.7	24.1	27.3
ほとんど乗らない	33.2	31.4	31.9	1.8

- 居住地別にみた評価の違いを確認すると、「妥当（妥当+おおむね妥当）」よりも「不満（不満+やや不満）」が上回った地域は、「古知野東（線路東）」・「古知野北」・「布袋（線路東）」・「布袋北」であった。
- 名鉄バスが通過していない「線路東」地区は、評価が低い結果が示された。
- 年齢別にみると、どの年代も不満より妥当との回答が上回っている。

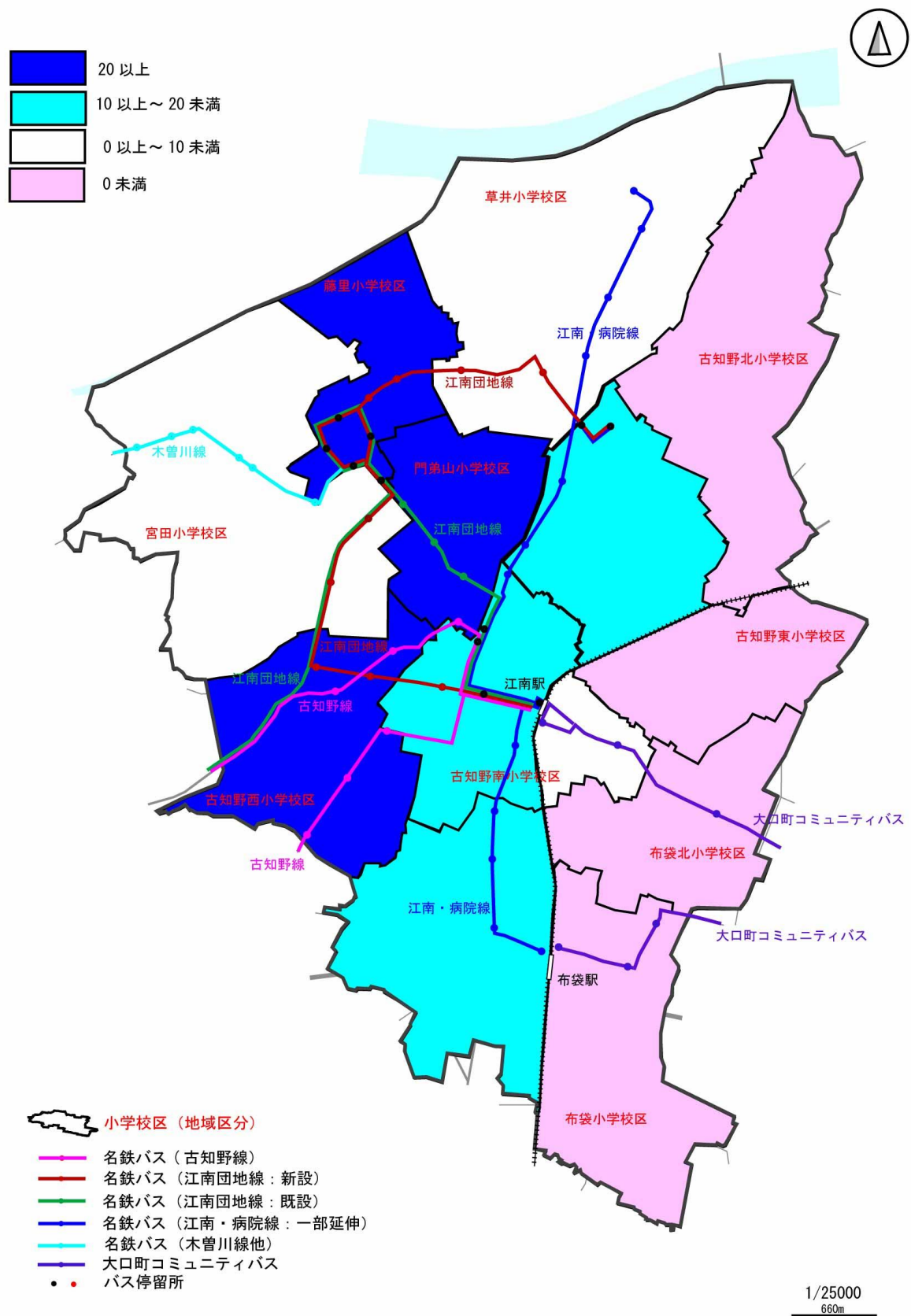
図表-50 居住地別にみた評価

	妥当①	不満②	①－②
市全体	38.3	28.0	10.3
古知野東（線路東）	23.7	36.0	-12.3
古知野東（線路西）	36.0	24.0	12.0
古知野西	40.7	19.3	21.4
古知野南（線路東）	38.9	38.9	0.0
古知野南（線路西）	41.5	26.5	15.0
古知野北	32.4	33.1	-0.7
布袋（線路東）	31.6	40.4	-8.8
布袋（線路西）	38.5	27.5	11.0
布袋北	28.7	34.9	-6.2
宮田	38.8	30.6	8.2
草井	36.8	31.5	5.3
藤里	54.7	16.9	37.8
門弟山	50.0	20.1	29.9

図表-51 年齢別にみた評価

	妥当①	不満②	①－②
市全体	38.3	28.0	10.3
20歳未満	37.1	28.2	8.9
20歳代	46.2	32.0	14.2
30歳代	42.4	34.1	8.3
40歳代	49.1	24.2	24.9
50歳代	40.6	34.6	6.0
60歳代	34.0	30.3	3.7
70歳代	30.8	26.7	4.1
80歳以上	34.5	15.4	19.1

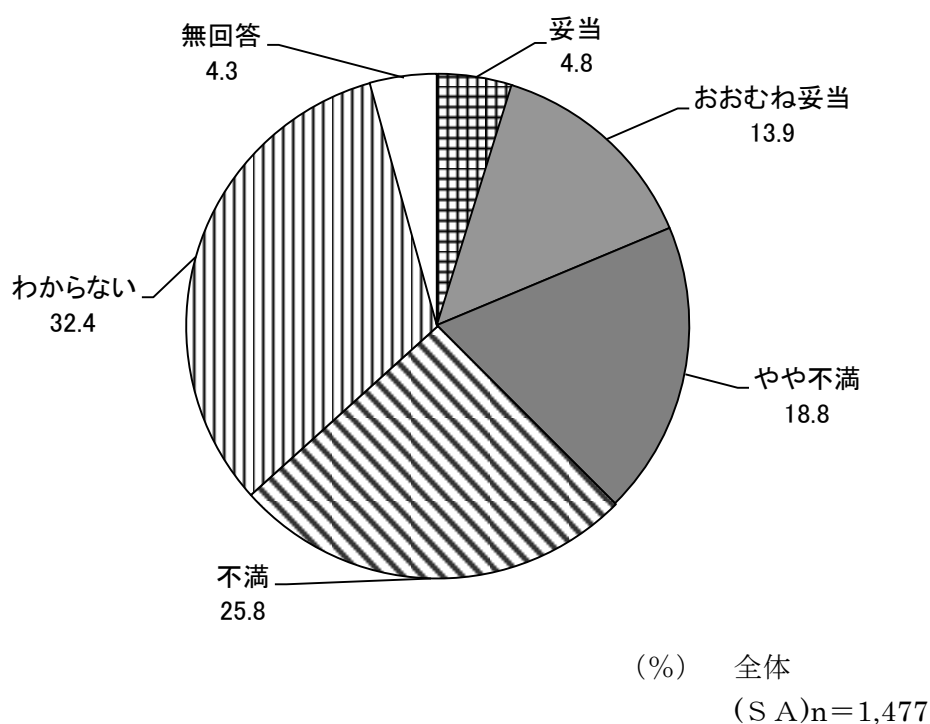
図表-52 居住地別にみた評価



問4-2. 「いこまいCAR（予約便）」を維持することに対する評価

- 「いこまい CAR（予約便）」を維持することの妥当性」を確認したところ、「妥当」「おおむね妥当」が 18.7%、「不満」「やや不満」が 44.6% となり、「不満」とする意見が 25.9% 上回った。路線バスを維持するよりも「不満」とする意見が多い。
- 利用の有無から「妥当（妥当+おおむね妥当）」と「不満（不満+やや不満）」の割合を確認すると、「利用したことがある」人の評価は「妥当」が上回っている一方で、「利用したことがない」人は「不満」が上回っている。
- 「利用したことがない」人が、このまま利用しないのであれば評価が低いままであり、仮に将来利用すれば、評価が変化するものと思われる。

図表-53 「いこまいCAR（予約便）」を維持することに対する評価



図表-54 利用の有無からみた評価

	妥当①	不満②	わからない	①－②
市全体	18.7	44.6	32.4	-25.9
利用したことがある	48.7	27.8	19.1	20.9
利用したことがない	15.3	47.3	34.6	-32.0

- 居住地別に評価状況を確認すると、すべての地区で、「妥当（妥当+おおむね妥当）」よりも「不満（不満+やや不満）」が上回っている。不満の割合が大きい地域としては、「古知野北」・「古知野南（線路東）」・「布袋北」等である。
- 「線路」東西での意向の違いは特に認められなかった。
- なお、利用したことがない人が約 9 割を占める状況にあるため、イメージだけで回答していることを考慮する必要がある。
- 年齢別にみると、70 歳以上になると妥当とする回答の割合が高くなり、80 歳以上では、不満より妥当との回答が上回っている。

図表-55 居住地別にみた評価

	妥当①	不満②	①－②
市全体	18.7	44.6	-25.9
古知野東（線路東）	15.4	43.3	-27.9
古知野東（線路西）	26.0	30.0	-4.0
古知野西	19.3	38.6	-19.3
古知野南（線路東）	16.7	55.5	-38.8
古知野南（線路西）	17.9	46.3	-28.4
古知野北	21.3	61.3	-40.0
布袋（線路東）	21.0	50.9	-29.9
布袋（線路西）	16.5	48.6	-32.1
布袋北	21.7	58.2	-36.5
宮田	18.3	45.6	-27.3
草井	15.1	48.0	-32.9
藤里	18.9	42.4	-23.5
門弟山	18.1	48.7	-30.6

図表-56 年齢別にみた評価

	妥当①	不満②	①－②
市全体	18.7	44.6	-25.9
20歳未満	8.9	50.0	-41.1
20歳代	16.3	49.7	-33.4
30歳代	13.2	61.8	-48.6
40歳代	19.1	50.3	-31.2
50歳代	18.9	54.0	-35.1
60歳代	16.2	43.2	-27.0
70歳代	21.4	35.0	-13.6
80歳以上	30.9	23.9	7.0

0 以上

-20 以上～ 0 未満

-40 以上～ -20 未満

草井小学校区

藤里小学校区

江南 病院線

古知野北小学校区

江南団地線

門前山小学校区

江南団地線

木曾川線

宮田小学校区

江南団地線

古知野線

古知野東小学校区

古知野西小学校区

古知野線

江南・病院線

古知野南小学校区

布袋北小学校区

大町コミュニティバス

布袋駅

大町コミュニティバス

布袋小学校区

小学校区（地域区分）

名鉄バス（古知野線）

名鉄バス（江南団地線：新設）

名鉄バス（江南団地線：既設）

名鉄バス（江南・病院線：一部延伸）

名鉄バス（木曾川線他）

大町コミュニティバス

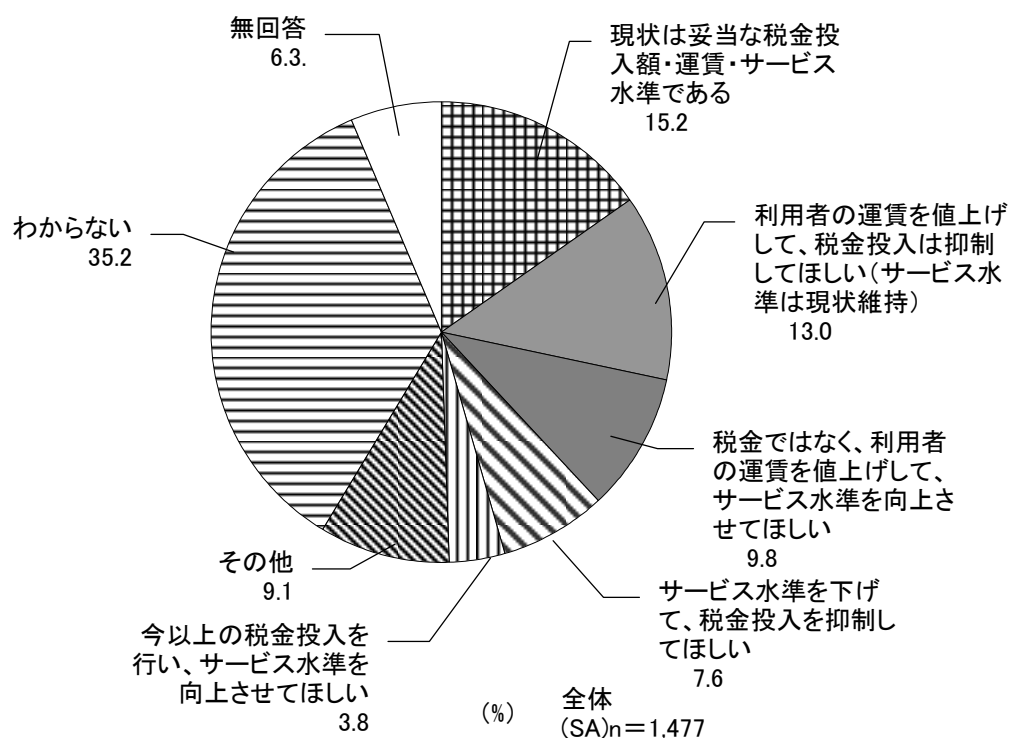
バス停留所

1/25000
660m

問4－3. 今後の税金投入とサービス水準のあり方

- 「今後の税金投入とサービス水準のあり方」について確認すると、「わからない」が35.2%と最も多かった。
明確な意思表示をした意見を確認すると、「現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である」が15.2%と一番多く、次いで「利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービスは現状維持）」が13.0%、「税金ではなく運賃を値上げし、サービス水準を向上させてほしい」が9.8%となった。
市民の意向は、「税金投入は維持もしくは抑制」し、「運賃負担で賄うべき」という意向にあると言える。
- 利用の有無による傾向を確認すると、「バス利用者」も「いこまいCAR（予約便）利用者」ともに、「現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である」を選択している割合が高い。
- 居住地別の傾向を確認すると、「今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい」という回答が、市全体の平均値よりも大きく上回ったのは、「布袋（線路東）」・「布袋北」であった。「線路東」地区は、税投入によるサービス向上を求めている。

図表-58 今後の税金投入とサービス水準のあり方



図表-59 利用頻度別にみた今後の税金投入とサービス水準のあり方

	サンプル数	現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である	今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい	税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい	サービス水準を下げ、税金投入を抑制してほしい	利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）	その他	わからない	無回答
全 体	100.0 1477	15.2 224	3.8 56	9.8 145	7.6 112	13.0 192	9.1 135	35.2 520	6.3 93
利用頻度別									
週に3日以上	100.0 35	37.1 13	5.7 2	2.9 1	2.9 1	0.0 0	8.6 3	34.3 12	8.6 3
週に1～2日	100.0 18	33.3 6	0.0 0	16.7 3	0.0 0	11.1 2	11.1 2	27.8 5	0.0 0
1ヶ月に数日	100.0 102	23.5 24	7.8 8	8.8 9	5.9 6	7.8 8	9.8 10	28.4 29	7.8 8
年に数日	100.0 220	20.9 46	3.2 7	8.2 18	6.8 15	17.3 38	8.2 18	30.0 66	5.5 12
ほとんど乗らない	100.0 1066	12.4 132	3.7 39	10.5 112	8.3 88	13.1 140	9.4 100	37.5 400	5.2 55
無回答	100.0 36	8.3 3	0.0 0	5.6 2	5.6 2	11.1 4	5.6 2	22.2 8	41.7 15
利用の有無別									
利用したことがある	100.0 162	29.6 48	9.9 16	10.5 17	4.9 8	9.9 16	6.2 10	22.2 36	6.8 11
利用したことがない	100.0 1281	13.5 173	3.1 40	9.9 127	8.0 103	13.3 170	9.8 125	37.4 479	5.0 64
無回答	100.0 34	8.8 3	0.0 0	2.9 1	2.9 1	17.6 6	0.0 0	14.7 5	52.9 18

5ポイント以上

図表-60 居住地別にみた今後の税金投入とサービス水準のあり方

	サンプル数	現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である	今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい	税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい	サービス水準を下げ、税金投入を抑制してほしい	利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい (サービス水準は現状維持)	その他	わからない	無回答
全 体	100.0 1477	15.2 224	3.8 56	9.8 145	7.6 112	13.0 192	9.1 135	35.2 520	6.3 93
年齢別									
20歳未満	100.0 124	11.3 14	0.0 0	3.2 4	11.3 14	8.1 10	8.9 11	56.5 70	0.8 1
20歳代	100.0 147	17.0 25	4.8 7	8.8 13	8.8 13	17.0 25	3.4 5	38.8 57	1.4 2
30歳代	100.0 144	11.1 16	2.8 4	8.3 12	11.8 17	13.9 20	15.3 22	35.4 51	1.4 2
40歳代	100.0 157	19.7 31	4.5 7	9.6 15	8.3 13	11.5 18	12.1 19	30.6 48	3.8 6
50歳代	100.0 202	16.3 33	3.5 7	9.9 20	5.9 12	12.4 25	13.9 28	31.7 64	6.4 13
60歳代	100.0 241	12.4 30	4.1 10	11.2 27	7.1 17	17.8 43	7.9 19	31.1 75	8.3 20
70歳代	100.0 266	14.7 39	4.5 12	10.2 27	5.3 14	13.2 35	9.0 24	32.7 87	10.5 28
80歳以上	100.0 188	18.6 35	4.8 9	13.8 26	5.3 10	8.5 16	3.7 7	34.0 64	11.2 21
無回答	100.0 8	12.5 1	0.0 0	12.5 1	25.0 2	0.0 0	0.0 0	50.0 4	0.0 0
居住地別									
古知野東（線路東）	100.0 97	14.4 14	2.1 2	11.3 11	7.2 7	15.5 15	6.2 6	35.1 34	8.2 8
古知野東（線路西）	100.0 50	10.0 5	2.0 1	8.0 4	2.0 1	18.0 9	10.0 5	40.0 20	10.0 5
古知野西	100.0 150	16.7 25	0.7 1	7.3 11	10.0 15	10.0 15	4.7 7	43.3 65	7.3 11
古知野南（線路東）	100.0 54	9.3 5	5.6 3	16.7 9	13.0 7	16.7 9	5.6 3	33.3 18	0.0 0
古知野南（線路西）	100.0 106	16.0 17	3.8 4	11.3 12	8.5 9	9.4 10	8.5 9	38.7 41	3.8 4
古知野北	100.0 145	11.0 16	3.4 5	14.5 21	3.4 5	13.8 20	10.3 15	35.2 51	8.3 12
布袋（線路東）	100.0 57	17.5 10	7.0 4	10.5 6	3.5 2	14.0 8	17.5 10	28.1 16	1.8 1
布袋（線路西）	100.0 109	12.8 14	5.5 6	4.6 5	11.9 13	13.8 15	8.3 9	36.7 40	6.4 7
布袋北	100.0 129	7.8 10	8.5 11	14.7 19	9.3 12	14.0 18	9.3 12	31.0 40	5.4 7
宮田	100.0 147	13.6 20	4.1 6	8.8 13	7.5 11	12.2 18	11.6 17	34.0 50	8.2 12
草井	100.0 152	14.5 22	3.9 6	9.2 14	7.2 11	11.8 18	13.2 20	35.5 54	4.6 7
藤里	100.0 106	27.4 29	2.8 3	7.5 8	3.8 4	15.1 16	9.4 10	27.4 29	6.6 7
門弟山	100.0 144	21.5 31	2.8 4	6.9 10	9.0 13	12.5 18	8.3 12	34.7 50	4.2 6
無回答	100.0 31	19.4 6	0.0 0	6.5 2	6.5 2	9.7 3	0.0 0	38.7 12	19.4 6

3ポイント以上

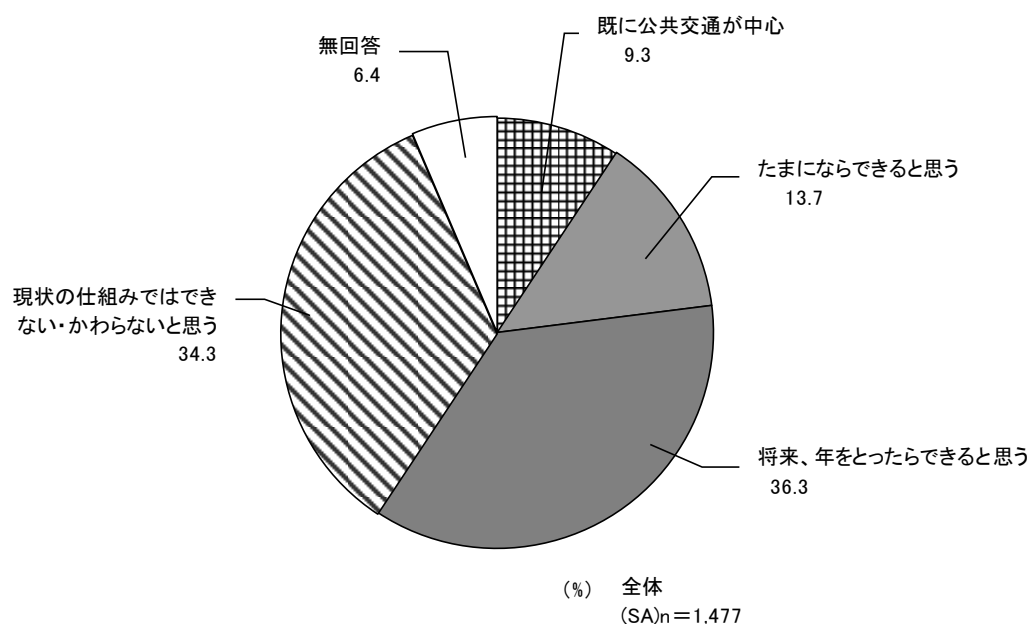
問 4－4. 公共交通中心の生活への転換可能性

○ 「公共交通中心の生活に転換できるか」 どうか確認すると、「たまにならできる」「将来、年をとったらできる」をあわせると 50.0%となり、約半数の市民については、転換の可能性が確認された。「公共交通に転換する年齢」を確認すると、「80 歳」41.4%と最も多く、次いで「70 歳」が 37.5%となった。

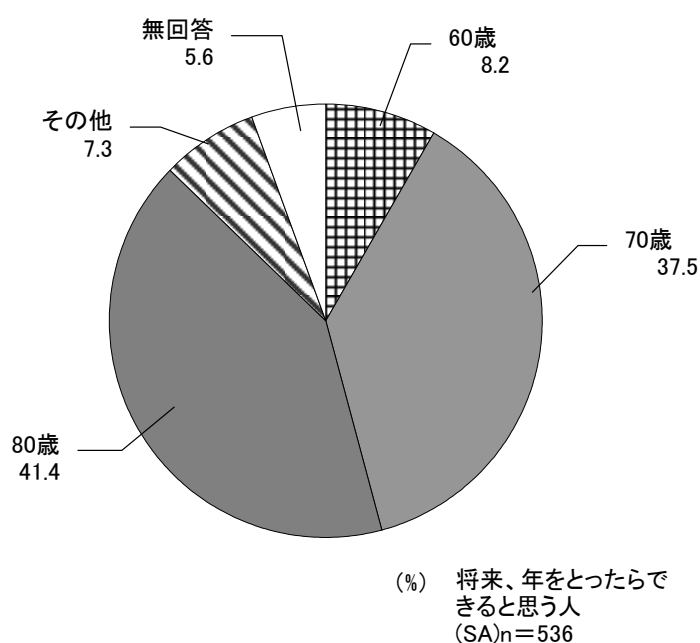
その一方で、「現状の仕組みではできない・かわらないと思う」が 34.3%存在し、3 人に 1 人の割合で、公共交通への転換はできないと指摘している。

現状は、「70 歳以上の方が運転免許の更新を希望する場合、高齢者講習を受講しなければ更新ができない」制度となっているが、住民の意向は、それより高齢の「80 歳」で公共交通に転換すると回答しており、免許が手放せない実態が想起される。

図表-61 公共交通中心の生活への転換可能性



図表-62 公共交通に転換する年齢



図表-63 居住地別にみる公共交通中心の生活への転換可能性

	サンプル数	既に公共交通が中心	たまにならできと思う	将来、年をとったらできと思う	現状の仕組みではできない・かわらないと思う	無回答
全 体	100.0 1477	9.3 137	13.7 203	36.3 536	34.3 506	6.4 95
年齢別						
20歳未満	100.0 124	16.1 20	25.8 32	18.5 23	38.7 48	0.8 1
20歳代	100.0 147	12.2 18	19.7 29	29.3 43	38.1 56	0.7 1
30歳代	100.0 144	5.6 8	15.3 22	40.3 58	37.5 54	1.4 2
40歳代	100.0 157	5.1 8	16.6 26	39.5 62	35.7 56	3.2 5
50歳代	100.0 202	6.9 14	13.4 27	41.6 84	35.1 71	3.0 6
60歳代	100.0 241	5.0 12	10.0 24	49.0 118	32.0 77	4.1 10
70歳代	100.0 266	11.3 30	7.5 20	42.1 112	27.8 74	11.3 30
80歳以上	100.0 188	14.4 27	11.7 22	18.1 34	35.1 66	20.7 39
無回答	100.0 8	0.0 0	12.5 1	25.0 2	50.0 4	12.5 1
居住地別						
古知野東（線路東）	100.0 97	4.1 4	12.4 12	43.3 42	36.1 35	4.1 4
古知野東（線路西）	100.0 50	8.0 4	8.0 4	40.0 20	40.0 20	4.0 2
古知野西	100.0 150	10.0 15	18.7 28	33.3 50	26.7 40	11.3 17
古知野南（線路東）	100.0 54	11.1 6	11.1 6	42.6 23	29.6 16	5.6 3
古知野南（線路西）	100.0 106	13.2 14	13.2 14	40.6 43	27.4 29	5.7 6
古知野北	100.0 145	4.1 6	14.5 21	22.1 32	51.7 75	7.6 11
布袋（線路東）	100.0 57	7.0 4	12.3 7	31.6 18	42.1 24	7.0 4
布袋（線路西）	100.0 109	14.7 16	9.2 10	45.0 49	26.6 29	4.6 5
布袋北	100.0 129	7.0 9	6.2 8	39.5 51	41.1 53	6.2 8
宮田	100.0 147	5.4 8	14.3 21	37.4 55	35.4 52	7.5 11
草井	100.0 152	2.0 3	16.4 25	33.6 51	45.4 69	2.6 4
藤里	100.0 106	23.6 25	18.9 20	32.1 34	19.8 21	5.7 6
門弟山	100.0 144	13.9 20	17.4 25	40.3 58	24.3 35	4.2 6
無回答	100.0 31	9.7 3	6.5 2	32.3 10	25.8 8	25.8 8

 3ポイント以上

問４－５．維持が困難になってきた場合の対策

○ 「現状のバス路線の維持が困難になってきた場合の対策について」確認すると、「福祉タクシーチケットの配付制度の維持拡充」が42.5%と最も多く、次いで「地域の助け合いの精神で、ボランティアによる送迎する仕組みの導入」が25.9%となった。

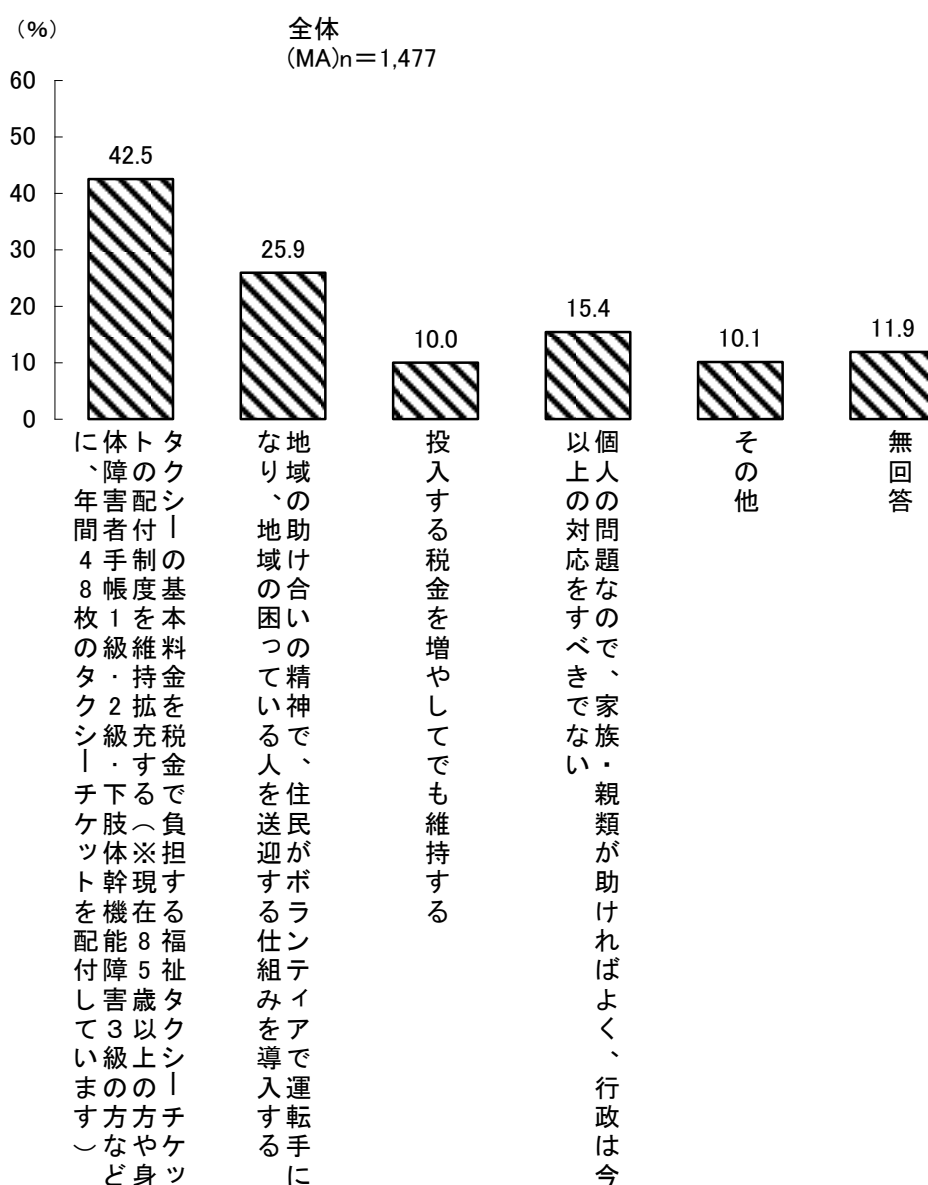
「個人の問題として行政は今以上の対応をすべきでない」が15.4%に対して、10.0%の市民が「投入する税金を増やしてでも維持する」と回答している。

「福祉タクシーチケットの配付制度の維持拡充（42.5%）」も「税金の増加」を容認する意見として捉えると、「税金投入の増加・維持（10.0%）」と合わせて過半数が、税金増加を容認していることになる。

前述の「税金投入額とサービス水準のあり方について」の質問では、市民の意向は「税金投入額は維持もしくは抑制の方向」にあり、矛盾した傾向を示している。

市民の意見は、多数は「税金投入額の維持」で、「抑制か拡大」かについての方向性は明確にならなかった。

図表-64 維持が困難になってきた場合の対策



- バスの利用の有無から傾向をみると、「バスの利用者」は、「投入する税金を増やしても維持する」と回答している割合が多い。
- 居住地ごとの傾向をみると、「草井」・「藤里」・「門弟山」等において「投入する税金を増やしても維持する」との回答が市全体平均よりも大きく上回っている。

図表-65 バスの利用の有無からみた維持が困難になってきた場合の対策

	サンプル数	タクシーの基本料金を税金で負担する福祉タクシー制の配付制度を維持拡充する	地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入する	投入する税金を増やしても維持する	個人の問題なので、家族・親類が助ければよく、行政は今以上の対応をすべきでない	その他	無回答
全 体	100.0 1477	42.5 628	25.9 383	10.0 148	15.4 228	10.1 149	11.9 176
利用頻度別							
週に3日以上	100.0 35	14.3 5	31.4 11	34.3 12	8.6 3	14.3 5	14.3 5
週に1～2日	100.0 18	38.9 7	16.7 3	22.2 4	11.1 2	11.1 2	16.7 3
1ヶ月に数日	100.0 102	39.2 40	24.5 25	12.7 13	9.8 10	14.7 15	13.7 14
年に数日	100.0 220	45.9 101	25.9 57	15.5 34	10.9 24	8.6 19	10.9 24
ほとんど乗らない	100.0 1066	44.0 469	26.5 283	7.8 83	17.2 183	9.9 106	10.5 112
無回答	100.0 36	16.7 6	11.1 4	5.6 2	16.7 6	5.6 2	50.0 18

図表-66 居住地別にみた維持が困難になってきた場合の対策

	サンプル数	タクシーの 基本料金を 税金で負担 する福祉タ クシーチ ケットの配 付制度を維 持拡充する	地域の助け 合いの精神 で、住民が ボランティア で運転手 になり、地 域の困って いる人を送 迎する仕組 みを導入す る	投入する税 金を増やし ても維持 する	個人の問題 なので、家 族・親類が 助ければよ く、行政は 今以上の対 応をすべき でない	その他	無回答
全 体	100.0 1477	42.5 628	25.9 383	10.0 148	15.4 228	10.1 149	11.9 176
* 年齢別 *							
20歳未満	100.0 124	33.9 42	21.8 27	8.1 10	23.4 29	12.9 16	7.3 9
20歳代	100.0 147	40.1 59	31.3 46	9.5 14	9.5 14	12.2 18	6.1 9
30歳代	100.0 144	45.8 66	31.9 46	11.1 16	18.8 27	9.0 13	2.1 3
40歳代	100.0 157	42.7 67	31.2 49	8.9 14	14.0 22	14.6 23	7.6 12
50歳代	100.0 202	48.0 97	26.7 54	14.4 29	5.9 12	14.4 29	7.4 15
60歳代	100.0 241	41.5 100	27.4 66	10.0 24	20.3 49	6.2 15	13.3 32
70歳代	100.0 266	43.2 115	22.6 60	8.6 23	16.9 45	8.3 22	18.0 48
80歳以上	100.0 188	41.0 77	18.1 34	9.6 18	15.4 29	6.4 12	25.0 47
無回答	100.0 8	62.5 5	12.5 1	0.0 0	12.5 1	12.5 1	12.5 1
* 居住地別 *							
古知野東（線路東）	100.0 97	49.5 48	25.8 25	6.2 6	19.6 19	6.2 6	7.2 7
古知野東（線路西）	100.0 50	44.0 22	22.0 11	6.0 3	14.0 7	12.0 6	16.0 8
古知野西	100.0 150	45.3 68	25.3 38	9.3 14	18.0 27	8.0 12	16.0 24
古知野南（線路東）	100.0 54	44.4 24	16.7 9	9.3 5	20.4 11	7.4 4	9.3 5
古知野南（線路西）	100.0 106	46.2 49	24.5 26	8.5 9	15.1 16	12.3 13	10.4 11
古知野北	100.0 145	45.5 66	27.6 40	6.2 9	15.9 23	8.3 12	10.3 15
布袋（線路東）	100.0 57	45.6 26	29.8 17	8.8 5	14.0 8	5.3 3	12.3 7
布袋（線路西）	100.0 109	35.8 39	29.4 32	12.8 14	19.3 21	11.9 13	9.2 10
布袋北	100.0 129	45.0 58	27.9 36	5.4 7	17.8 23	9.3 12	14.7 19
宮田	100.0 147	39.5 58	27.2 40	10.2 15	12.9 19	12.9 19	12.2 18
草井	100.0 152	38.2 58	23.7 36	13.8 21	11.2 17	13.2 20	11.8 18
藤里	100.0 106	38.7 41	27.4 29	17.0 18	10.4 11	13.2 14	12.3 13
門弟山	100.0 144	42.4 61	26.4 38	13.9 20	15.3 22	9.0 13	7.6 11
無回答	100.0 31	32.3 10	19.4 6	6.5 2	12.9 4	6.5 2	32.3 10

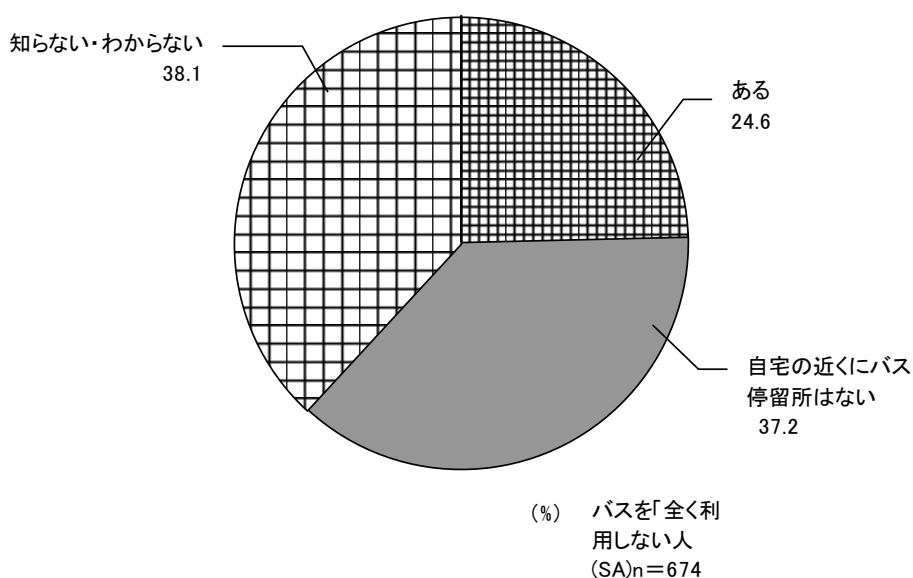
3ポイント以上

問5. バスを「まったく利用しない人だけ」について

問5-1. 居住地近くにおけるバス停留所の有無

- バスを「まったく利用しない人」に、「近くにバス停留所があるか」確認すると、「知らない・わからない」が38.1%で、「自宅の近くにバス停留所はない」(37.2%)の回答をわずかであるが上回った。
- また、「近くにバス停留所がある」人も24.6%存在しており、「バスを利用しない人」は、そもそもバス停留所を知らない・関心のない人、近くにあっても利用しない人が大多数(75.3%)を占めている状況にある。
- 居住地別の傾向をみると、「自宅の近くにバス停留所はない」との回答割合が多い地区は、「古知野北」・「古知野東(線路東)」・「布袋北」等である。

図表-67 居住地近くにおけるバス停留所の有無



図表-68 居住地別にみたバス停留所の有無

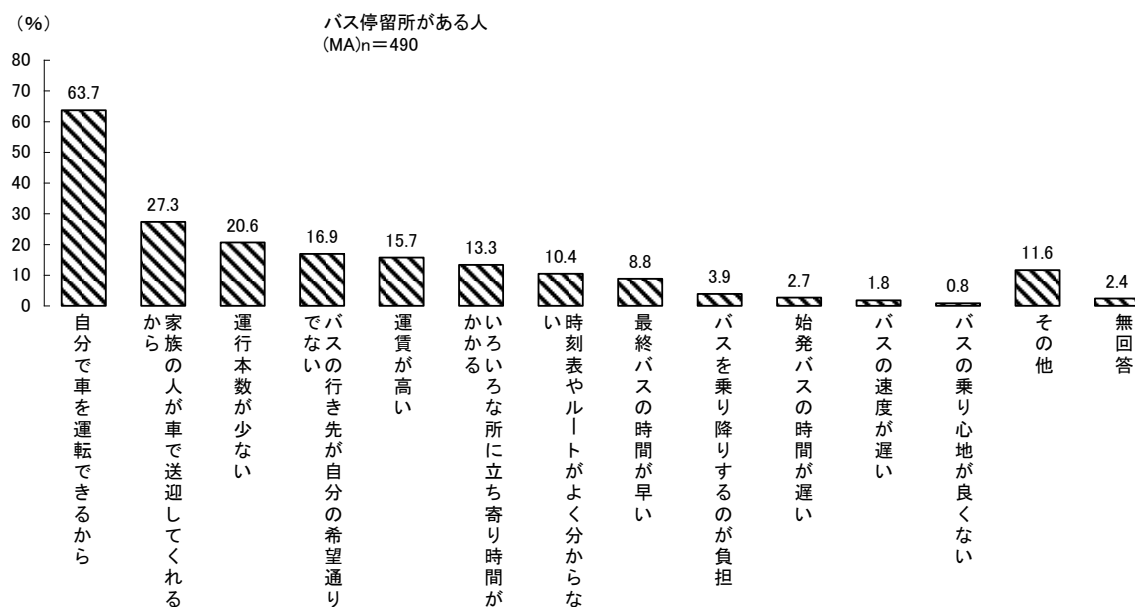
	サンプル数	ある	自宅の近く にバス停留 所はない	知らない・ 分からない
全 体	100.0 1174	41.7 490	48.9 574	9.4 110
* 年齢別 *				
20歳未満	100.0 107	55.1 59	28.0 30	16.8 18
20歳代	100.0 114	45.6 52	44.7 51	9.6 11
30歳代	100.0 119	42.0 50	43.7 52	14.3 17
40歳代	100.0 119	39.5 47	49.6 59	10.9 13
50歳代	100.0 156	46.2 72	45.5 71	8.3 13
60歳代	100.0 191	39.3 75	52.9 101	7.9 15
70歳代	100.0 211	39.3 83	56.4 119	4.3 9
80歳以上	100.0 150	34.0 51	58.0 87	8.0 12
無回答	100.0 7	14.3 1	57.1 4	28.6 2
* 居住地別 *				
古知野東（線路東）	100.0 92	14.1 13	73.9 68	12.0 11
古知野東（線路西）	100.0 46	15.2 7	71.7 33	13.0 6
古知野西	100.0 97	75.3 73	20.6 20	4.1 4
古知野南（線路東）	100.0 46	56.5 26	32.6 15	10.9 5
古知野南（線路西）	100.0 84	71.4 60	20.2 17	8.3 7
古知野北	100.0 135	5.2 7	82.2 111	12.6 17
布袋（線路東）	100.0 53	17.0 9	66.0 35	17.0 9
布袋（線路西）	100.0 90	57.8 52	36.7 33	5.6 5
布袋北	100.0 120	9.2 11	72.5 87	18.3 22
宮田	100.0 112	43.8 49	51.8 58	4.5 5
草井	100.0 131	43.5 57	46.6 61	9.9 13
藤里	100.0 58	84.5 49	15.5 9	0.0 0
門弟山	100.0 90	77.8 70	16.7 15	5.6 5
無回答	100.0 20	35.0 7	60.0 12	5.0 1

 10ポイント以上

問5－1.（1）近くにバス停留所がある人で、バスを利用しない理由

○ 近くにバス停留所がある人の「バスを利用しない理由」は、「車を運転できる」が 63.7%と最も多く、次いで「家族の送迎がある」が 27.3%となっている。「運行本数が少ない（20.6%）」、「行き先が希望通りでない（16.9%）」、「運賃が高い（15.7%）」など、バスの利便性が低く利用されないことが上位には選択されておらず、利便性の高い自動車中心の生活が優先されていることが裏付けされた。

図表-69 バスを利用しない理由



問5-1.①自宅近くにバス（路線）が運行された場合の利用意向

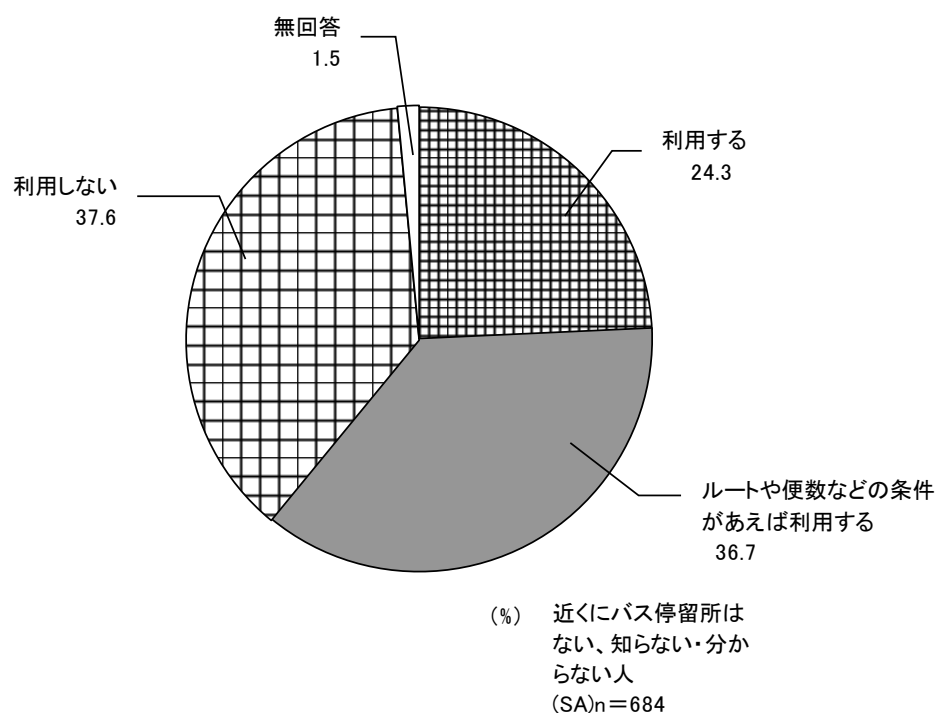
○ 「自宅近くにバス停留所がない」「知らない・わからない」人が、バスが運行された時の利用意向を確認すると、「利用しない」人が37.6%と最も多かった。

「ルートや便数などの条件があれば利用する」との回答が36.7%認められたが、条件付きの利用であり、利便性が高くないと利用されない。

条件を付けずに「利用する」と回答したのは24.3%であった。

江南市民全体でバスを利用しない人（問3-5の利用したことがない・年に数日）は87.1%存在し、自宅近くにバス停留所はない・知らない人は75.3%で、条件を付けずに「利用する」との回答が24.3%であることから、全市民の16%（ $87.1\% \times 75.3\% \times 24.3\%$ ）程度しか、バス利用者には転換しないものと想定される。

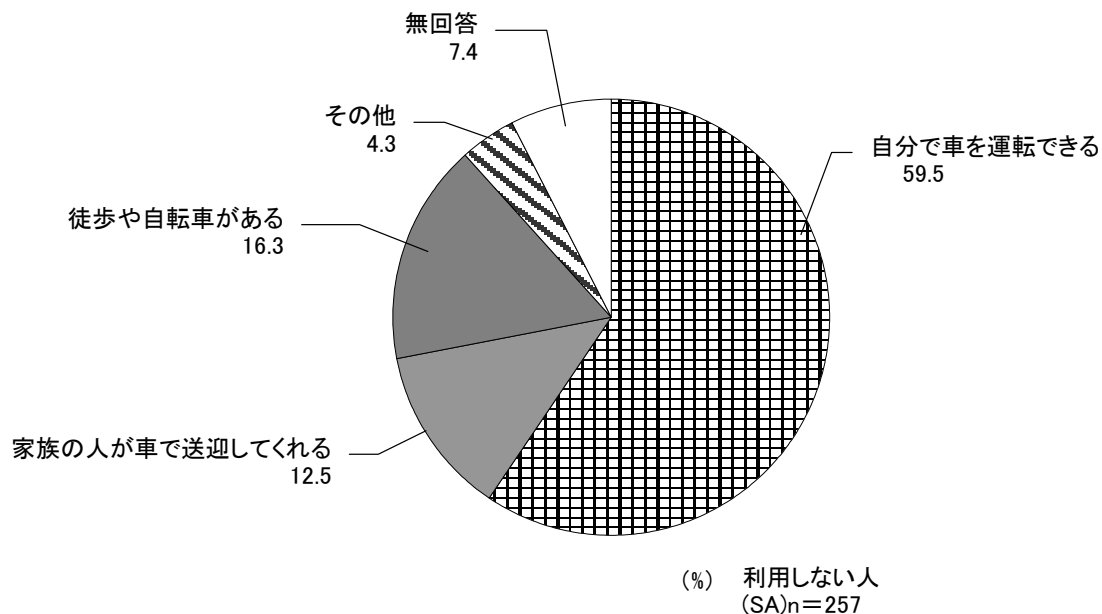
図表-70 自宅近くにバス（路線）が運行された場合の利用意向



問5-1.①利用しない理由

- 自宅近くにバスが運行されても「利用しない理由」を確認すると、「自分で車を運転できる」が59.5%と最も多く、次いで「徒歩や自転車がある」が16.3%であった。
「自動車」からの転換がなければ、公共交通は利用されない。

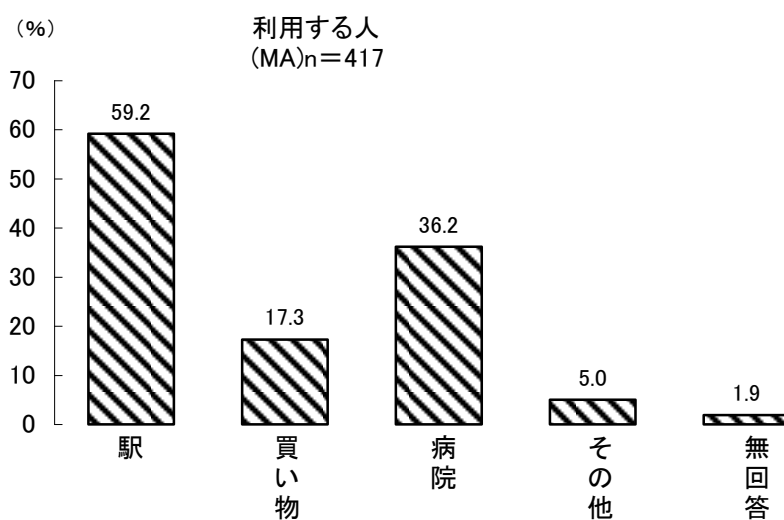
図表-71 利用しない理由



問5-1.②利用する時の目的地

- 自宅近くにバスが運行した場合、利用するときの「目的地」を確認すると、「駅」が59.2%と最も多く、次いで「病院 (36.2%)」であった。

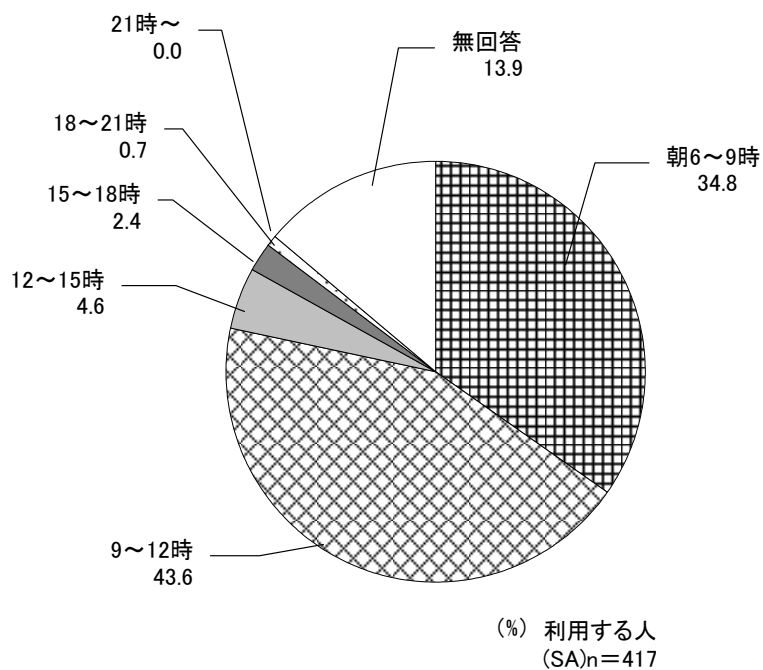
図表-72 利用する時の目的地



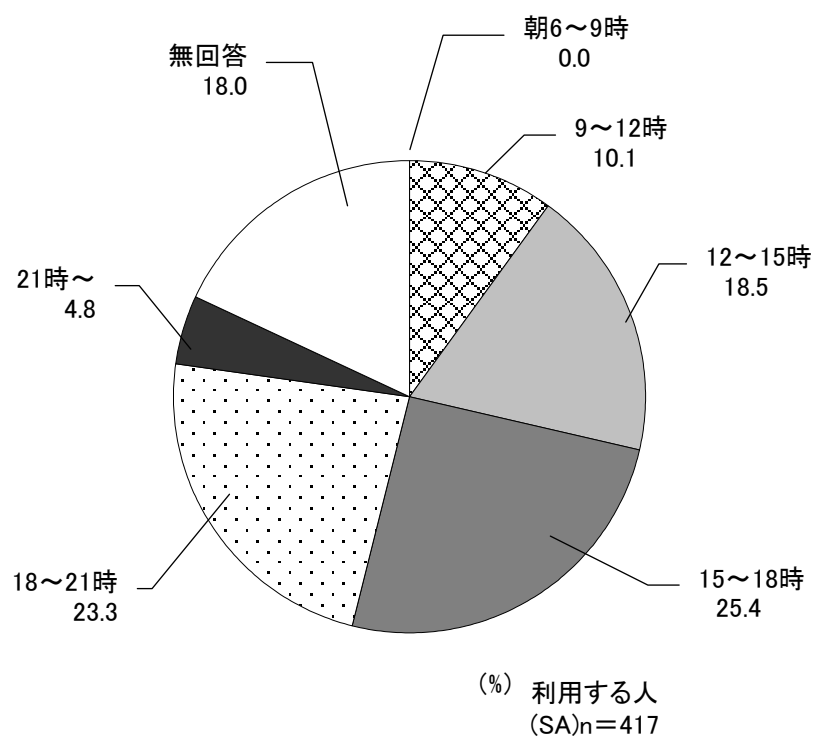
問5-1.③利用の時間帯

○ 自宅近くにバスが運行した場合、利用するときの「利用時間帯」を確認すると、出発時は「9～12時（43.6%）」が、帰宅時は「15～18時（25.4%）」が最も選択されている。

図表-73 利用の時間帯（出発時）



図表-74 利用の時間帯（帰宅時）



11. 市民アンケート調査票

江南市における公共交通に関するアンケート調査について (ご協力をお願いします)

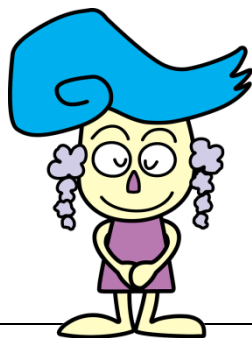
皆様には、日ごろから市行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

江南市では、名鉄バスの運行に対する一部経費負担や「いこまい CAR」など、公共交通の維持に向けた対策を行っています。

今後、少子高齢化・人口減少が予測される中で、公共交通を将来にわたって維持していくためには、皆様のご利用と路線の効率的運営が不可欠です。

そのため、江南市にお住まいの皆様の地域公共交通に対するご要望や、普段の交通行動実態等についてお伺いし、将来的な公共交通の検討に向けた基礎情報を得るためのアンケート調査を実施することといたしました。

ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



ご協力よろしく
お願いします。

平成25年5月 江南市長 堀 元

回答にあたってのお願い

- ・ 本調査は、江南市にお住まいの16歳以上の皆様から無作為に抽出した3,000人の方々に
対してお送りしております。なお、抽出データは平成25年5月15日現在のものです。
- ・ ご回答内容は、すべて統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用す
ることは一切ございません。
- ・ 回答は、ご本人（あて名の方）がご記入ください。事情によって、ご本人が回答できない場
合は、ご家族の方でお答えください。
- ・ 質問毎に、あてはまる番号に○印をつけるか、（ ）内に必要事項を直接ご記入ください。
- ・ 記入後は、同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、**平成25年6月17日(月)
までにご投函ください。**なお、市役所1階 生活産業部 市民サービス課または各支所の窓口
へお持ちいただいても結構です。
- ・ この調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

江南市役所 生活産業部 市民サービス課

〒483-8701 江南市赤童子町大堀 90 番地

電話：(0587) 54-1111 (内線409) FAX (0587) 56-5951

担当：鵜飼、滝

公共交通に関するアンケート 回答用紙

問1. はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。(1つに○)

性別は？	1: 男性 2: 女性
年齢は？	1: 20 歳未満 2: 20 歳代 3: 30 歳代 4: 40 歳代 5: 50 歳代 6: 60 歳代 7: 70 歳代 8: 80 歳以上
お住まいは？ 小学校区単位です。別紙 の地図を参照ください。 なお、線路とは名鉄犬山 線のことです。	1: 古知野東（線路東） 2: 古知野東（線路西） 3: 古知野西 4: 古知野南（線路東） 5: 古知野南（線路西） 6: 古知野北 7: 布袋（線路東） 8: 布袋（線路西） 9: 布袋北 10: 宮田 11: 草井 12: 藤里 13: 門弟山
職業は？	1: 自営業 2: 会社員 3: 公務員 4: パート・アルバイト 5: 主夫・主婦 6: 学生 7: 無職 8: その他（_____）
自動車免許は お持ちですか？	1: 持っている 2: 持っていない
自家用車は お持ちですか？	1: 自由に使える車あり 2: 家族で共有 3: 持っていない
外出(通勤・通学 含む)については？	1: 外出には困難を感じない 2: 杖などを使用して外出 3: 介助を必要とする 4: 外出は困難な状況である

問2. 外出(通勤・通学含む)の頻度や目的についてお伺いします。

問2-1. あなたは、どの程度の頻度で「外出」しますか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 1: ほぼ毎日 | 2: 週に3～4日 | 3: 週に1～2日 | 4: 1ヶ月に数日 |
| 5: その他 | | | |

問2-2.「通勤・通学」「買い物や娯楽」「通院」の時の、それぞれの最も行く目的地について、頻度、交通手段、名前・場所、外出の時間帯を教えてください。
 (「通勤」には、畑仕事を含みます)

		外出する頻度は？ (1つに○をつけてください)		その時の「交通手段」は？ (該当するすべての番号に○をつけてください)	
「通勤・通学」 の場合	➡	1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日 5: ほとんど行かない (次の問へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄) 7: いこまいCAR 8: 大口町コミュニティバス 9: 鉄道 10: その他()	➡
「買い物や 娯楽」 の場合	➡	1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日 5: ほとんど行かない (次の問へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄) 7: いこまいCAR 8: 大口町コミュニティバス 9: 鉄道 10: その他()	➡
「病院や 福祉施設」を 利用する場合	➡	1: 週に3日以上 2: 週に1～2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日 5: ほとんど行かない (次の問へ)	➡	1: 徒歩(車椅子含む) 2: 自転車 3: 自動二輪車(原付含む) 4: タクシー 5: 自家用車 6: 路線バス(名鉄) 7: いこまいCAR 8: 大口町コミュニティバス 9: 鉄道 10: その他()	➡

「目的地」はどこですか？ 施設の名前・場所（別紙の地図参照）を教えてください		➡	外出の「時間帯」は？	
施設の名前	場所(小学校区)		出発の時間帯	帰宅の時間帯
例：〇〇会社、〇〇高校、等 ()	1: 古知野東 2: 古知野西 3: 古知野南 4: 古知野北 5: 布袋 6: 布袋北 7: 宮田 8: 草井 9: 藤里 10: 門弟山 11: 市外 ()	➡	1: 朝 6～9 時 2: 9～12 時 3: 12～15 時 4: 15～18 時 5: 18～21 時 6: 21 時～	1: 朝 6～9 時 2: 9～12 時 3: 12～15 時 4: 15～18 時 5: 18～21 時 6: 21 時～
例：商業施設（店舗名）、 市民文化会館、図書館 等 ()	1: 古知野東 2: 古知野西 3: 古知野南 4: 古知野北 5: 布袋 6: 布袋北 7: 宮田 8: 草井 9: 藤里 10: 門弟山 11: 市外 ()	➡	1: 朝 6～9 時 2: 9～12 時 3: 12～15 時 4: 15～18 時 5: 18～21 時 6: 21 時～	1: 朝 6～9 時 2: 9～12 時 3: 12～15 時 4: 15～18 時 5: 18～21 時 6: 21 時～
例：江南厚生病院 老人福祉センター等 ()	1: 古知野東 2: 古知野西 3: 古知野南 4: 古知野北 5: 布袋 6: 布袋北 7: 宮田 8: 草井 9: 藤里 10: 門弟山 11: 市外 ()	➡	1: 朝 6～9 時 2: 9～12 時 3: 12～15 時 4: 15～18 時 5: 18～21 時 6: 21 時～	1: 朝 6～9 時 2: 9～12 時 3: 12～15 時 4: 15～18 時 5: 18～21 時 6: 21 時～

※「施設の名前」について、具体名を記入することに支障がある場合は、「〇〇にある会社」、「〇〇にある病院」等、大まかな場所と目的をお答えください。

(3)江南市独自の公共交通である
「いこまい CAR(予約便)」のことは知っていますか？
(1つに○)



- 1: 利用方法を知っている。
2: 名前は知っているが利用方法は知らない。
3: 知らない。 (問3-5へ)

問3-4. 「いこまい CAR(予約便)」について、料金設定や予約方法など、現状のサービス水準について、満足していますか？ (1つに○)

- 1: 満足 2: おおむね満足 3: やや不満 4: 不満 5: わからない

問3-5. 市内のバスの利用状況についてお伺いします。

(1)あなたはバスをどの程度利用されますか？ (1つに○)

- 1: 週に3日以上 2: 週に1~2日 3: 1ヶ月に数日 4: 年に数日
5: ほとんど乗らない (問3-6へ)

(2)主なバスの利用目的をお答えください。 (2つまで○)

- 1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事 5: 趣味・娯楽
6: 通院 7: 福祉施設の利用 8: その他公共施設の利用
9: その他 ()

(3)よく利用されるバスは何ですか？ 別紙のバス路線図を参考にお答えください。
(あてはまるすべてに○)

- 1: 名鉄バス ※よく利用する路線は何ですか？
ア) 古知野線 イ) 江南団地線 ウ) 江南・病院線 エ) その他
2: 大口町コミュニティバス
3: その他 ()

問3-6. 現状のバスのサービス水準(運行本数、ルート、車両等)について、
満足していますか？ (1つに○)
また、その満足・不満の理由をお答えください。

1: 満足	2: おおむね満足	3: やや不満	4: 不満	5: わからない
-------	-----------	---------	-------	----------

満足な理由は？ (2つまで○)

1: 目的地に行くのに便利
 2: 自宅から停留所までが近い
 3: 乗りたい時間に運行している
 4: 運賃が安い
 5: バスが最も速い交通手段である
 6: バス以外に交通手段がない
 7: 利用方法が簡単
 8: その他()

不満な理由は？ (2つまで○)

1: 目的地に行くのに不便
 2: 自宅から停留所までが遠い
 3: 乗りたい時間に運行していない
 4: 運賃が高い
 5: バスが最も速い交通手段ではない
 6: バス以外に交通手段がある
 7: その他()



問3-7. 「いこまい CAR(予約便)」の利用状況についてお伺いします。

(1)あなたは「いこまい CAR(予約便)」を利用したことがありますか？ (1つに○)

1: 利用したことがある ※利用頻度を教えてください

㍿ 週に1~2日 ㍿ 1ヶ月に数日 ㍿ 年に数日 ㍿ 過去に数回程度

2: 利用したことがない

(2)利用したことがある人にお伺いします。

利用する際の利用目的を教えてください。 (2つまで○)

1: 通勤 2: 通学 3: 買い物 4: 塾・習い事
 5: 趣味・娯楽 6: 通院 7: 福祉施設の利用
 8: その他公共施設の利用
 9: その他()

問4. 江南市の将来的な公共交通施策についてお伺いします。

江南市では、民間の路線バスが確保されていますが、これらの路線の維持のために一部経費を負担（税金投入）しています。また、民間のバス事業者だけに頼ることはできず、「いこまいCAR（予約便）」などの市主導の事業も展開しています。



平成24年度は、路線バスに約400万円、「いこまいCAR（定期便）」に約700万円、「いこまいCAR（予約便）」に約3,700万円、合計約4,800万円の税金投入を行いました。

平成25年度は、「いこまいCAR（定期便）」を廃止しましたが、路線バスを分割・延長しているため、税金投入合計額は増大する見通しです。

このままでは現状の公共交通を維持することは難しく、将来に向けて見直さなければなりません。

問4-1. 年間数百万円の税金を投入して、民間路線バスを維持することは、妥当だと考えますか？（1つに○）

1: 妥当 2: おおむね妥当 3: やや不満 4: 不満 5: わからない

問4-2. 年間約3,700万円の税金を投入して、「いこまいCAR（予約便）」を維持することは、妥当だと考えますか？（1つに○）

1: 妥当 2: おおむね妥当 3: やや不満 4: 不満 5: わからない

問4-3. 今後の税金投入と路線バスや「いこまいCAR」のサービス水準（運賃設定や運行本数等）のあり方について、どのように考えますか？（1つに○）

- 1: 現状は妥当な税金投入額・運賃・サービス水準である
- 2: 今以上の税金投入を行い、サービス水準を向上させてほしい
- 3: 税金ではなく、利用者の運賃を値上げして、サービス水準を向上させてほしい
- 4: サービス水準を下げて、税金投入を抑制してほしい
- 5: 利用者の運賃を値上げして、税金投入は抑制してほしい（サービス水準は現状維持）
- 6: その他（_____）
- 7: わからない

問4-4. 公共交通の維持のためには、たくさんの方が利用する必要があります。
あなた自身は、自家用車中心の生活から、公共交通中心の生活に転換できると思いますか？（1つに○）

- 1: 既に公共交通が中心
- 2: たまにならできると思う
- 3: 将来、年をとったらできると思う

※何歳になったら公共交通に転換しますか？

ア) 60 歳 イ) 70 歳 ウ) 80 歳 エ) その他（ 歳）

- 4: 現状の仕組みではできない・かわらないと思う

問4-5. 利用者数の減少で現状のバス路線の維持が困難になってきた場合、
どのような対策が良いと考えますか？（あてはまるものすべてに○）

- 1: タクシーの基本料金を税金で負担する福祉タクシーチケットの配付制度を維持拡充する
（※現在 85 歳以上の方や身体障害者手帳 1 級・2 級・下肢体幹機能障害 3 級の方などに、年間 48 枚のタクシーチケットを配付しています）
- 2: 地域の助け合いの精神で、住民がボランティアで運転手になり、地域の困っている人を送迎する仕組みを導入する
- 3: 投入する税金を増やしてでも維持する
- 4: 個人の問題なので、家族・親類が助ければよく、行政は今以上の対応をすべきでない
- 5: その他（_____）

問5. バスを「まったく利用しない人だけ」にお伺いします。

※バスを利用する人（当てはまらない人）は、次の問6にお進みください。

問5-1 あなたのお住まいの近くにバス停留所がありますか。（1つに○）

- 1: ある 2: 自宅の近くにバス停留所はない 3: 知らない・わからない

→ 上記問5-1で、1を選択した、バス停留所がある人にお伺いします。

あなたが「バスを利用しない理由」をお聞かせください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1: 自分で車を運転できるから | 2: 家族の人が車で送迎してくれるから |
| 3: バスの行き先が自分の希望通りでない | 4: バスの乗り心地が良くない |
| 5: 始発バスの時間が遅い | 6: 最終バスの時間が早い |
| 7: いろいろな所に立ち寄り時間がかかる | 8: 運行本数が少ない |
| 9: バスの速度が遅い | 10: バスを乗り降りするのが負担 |
| 11: 時刻表やルートがよくわからない | 12: 運賃が高い |
| 13: その他（_____） | |

→ 上記問5-1で、2・3を選択した、近くにバス停留所はない、知らない・わからない人にお伺いします。

①自宅近くにバス（路線）が運行されれば、あなたは利用しますか？（1つに○）

- 1: 利用する
2: ルートや便数などの条件があれば利用する
3: 利用しない

※利用しない理由は？（問6へ）

- | | |
|---------------|-------------------|
| ア) 自分で車を運転できる | イ) 家族の人が車で送迎してくれる |
| ロ) 徒歩や自転車がある | II) その他（_____） |

②利用する時の目的地はどこですか？

優先する場所を1つ選び名前を教えてください。（1つに○）

- | | |
|----------------------------|--|
| 1: 駅・・・・駅名を教えてください（_____） | |
| 2: 買い物・・・・商業施設の名前は？（_____） | |
| 3: 病院・・・・病院名は？（_____） | |
| 4: その他・・・・目的地の名前は？（_____） | |

③主に利用する時間帯を教えてください。（出発時・帰宅時それぞれ1つに○）

＜出発時＞

1: 朝 6～9 時

2: 9～12 時

3: 12～15 時

4: 15～18 時

5: 18～21 時

6: 21 時～

＜帰宅時＞

1: 朝 6～9 時

2: 9～12 時

3: 12～15 時

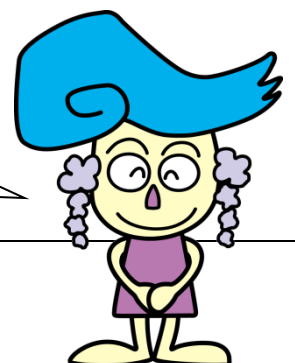
4: 15～18 時

5: 18～21 時

6: 21 時～

問6. 公共交通(バス等)への、ご意見などがありましたらお書きください。

ご回答ありがとうございます。
ございました。



同封の返信用封筒に調査票を入れて、切手を貼らずに、
平成 25 年 6 月 17 日（月）までに投函してください。

1 2. 利用者アンケート調査票

名鉄バス（江南・病院線）の利用者アンケートのご協力のお願い

名鉄バスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111（内線 225）
入力・集計	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問 1. 名鉄バス（江南・病院線）の利用状況についてお伺いします。

(1) 本日、利用されるバス停を教えてください。（乗車・降車すべてに○）

- | | | | |
|-------------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 布袋駅 | 2. 布袋五明 | 3. 木賀定和 | 4. 木賀本郷 |
| 5. 江南市役所 | 6. 江南駅 | 7. 古知野南小学校前 | 8. 愛栄通 |
| 9. 飛高口 | 10. 野白 | 11. 市民体育会館 | 12. 高屋大松原 |
| 13. 江南厚生病院 | 14. 村久野新開 | 15. 小杵 | 16. 草井 |
| 17. すいとぴあ江南 | 18. その他〔 | | 〕 |

(2) 本日は、「江南・病院線」以外を利用されますか。

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 往復とも江南・病院線のみ | |
| 2. 名鉄犬山線に乗り換える | |
| 3. 他の名鉄バスに乗り換える | |
| 4. その他〔 | 〕 |

(3) 名鉄バスの乗車・降車前後の移動手段を教えてください。

- | | | | | |
|---------------|------------|----------------|---------|-------|
| 1. 自動車（自分で運転） | 2. 自動車（送迎） | 3. 自転車 | 4. バイク | 5. 徒歩 |
| 6. 鉄道 | 7. いこまいCAR | 8. 大口町コミュニティバス | 9. その他〔 | 〕 |

(4) 名鉄バス「江南・病院線」を利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 1週間に2～3日程度 | 3. 1週間に1日程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. 雨の日のみ利用する | 6. ほとんど乗ることはない |

(5) あなたの名鉄バス「江南・病院線」の利用の仕方を教えてください。

- | | |
|------------------------|---|
| 1. ほとんど同じ便（同じバス）を利用する。 | |
| 2. 利用はするが、便は決まっていない。 | |
| 3. その他〔 | 〕 |

(6) どのような目的で利用されますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | | | |
|--------|-------|-------|---------|-------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院 | 4. 買い物 | 5. 訪問 |
| 6. 習い事 | 7. 娯楽 | 8. 食事 | 9. その他〔 | 〕 |

裏面に続きます。

問2. 名鉄バス（江南・病院線）の運行サービスの満足度を教えてください。

(1) それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	選択肢			
1) 運行頻度	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
2) 定時性（遅れ）	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
3) ダイヤ設定	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
4) 鉄道等との接続性	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。

改善すべき点について具体的に教えてください。

問3. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内（↓お住まいの小学校区を教えてください。）

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1) 古知野東（線路東側） | 2) 古知野東（線路西側） | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南（線路東側） | 5) 古知野南（線路西側） | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋（線路東側） | 8) 布袋（線路西側） | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 2. 一宮市 | 3. 岩倉市 | 4. 犬山市 | 5. 大口町 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他〔 | 市・町・村〕 | | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> 〔 〕歳 <性別> 〔1 男性 2 女性〕

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|----------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他〔 〕 |

問4. その他バス事業の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、アンケートは9月10日(土)までに返信用封筒に封入のうえ、ご送付ください。

名鉄バス（江南団地線）の利用者アンケートのご協力のお願い

名鉄バスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111（内線 225）
入力・集計	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問 1. 名鉄バス（江南団地線）の利用状況についてお伺いします。

(1) 本日、利用されるバス停を教えてください。（乗車・降車すべてに○）

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|-----------|
| 1. 江南駅 | 2. 古知野南小学校前 | 3. 古知野福寿 | 4. 滝学園北 |
| 5. 東野交番前 | 6. ヴィアモール前 | 7. 曼陀羅寺 | 8. 江南団地 |
| 9. 団地西 | 10. 藤ヶ丘幼稚園前 | 11. 団地東 | 12. 藤町 |
| 13. 緑ヶ丘 | 14. 古知野高校前 | 15. 愛栄通 | 16. 村久野藤里 |
| 17. 藤里小学校 | 18. 音楽寺 | 19. 村久野小村 | 20. 高屋大松原 |
| 21. 江南厚生病院 | 22. その他〔 | | 〕 |

(2) 本日は、「江南団地線」以外を利用されますか。

1. 往復とも江南団地線のみ
2. 名鉄犬山線に乗り換える
3. 他の名鉄バスに乗り換える
4. その他〔

(3) 名鉄バスの乗車・降車前後の移動手段を教えてください。

1. 自動車（自分で運転）
2. 自動車（送迎）
3. 自転車
4. バイク
5. 徒歩
6. 鉄道
7. いこまい CAR
8. 大口町コミュニティバス
9. その他〔

(4) 名鉄バス「江南団地線」を利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。（1つに○）

1. ほぼ毎日
2. 1週間に2～3日程度
3. 1週間に1日程度
4. 月に1回程度
5. 雨の日のみ利用する
6. ほとんど乗ることはない

(5) あなたの名鉄バス「江南団地線」の利用の仕方を教えてください。

1. ほとんど同じ便（同じバス）を利用する。
2. 利用はするが、便は決まっていない。
3. その他〔

(6) どのような目的で利用されますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 通勤
2. 通学
3. 通院
4. 買い物
5. 訪問
6. 習い事
7. 娯楽
8. 食事
9. その他〔

裏面に続きます。

問2. 名鉄バス（江南団地線）の運行サービスの満足度を教えてください。

(1) それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

項目	選択肢			
1) 運行頻度	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
2) 定時性（遅れ）	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
3) ダイヤ設定	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満
4) 鉄道等との接続性	1. 満足	2. やや満足	3. 若干不満点あり	4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。

改善すべき点について具体的に教えてください。

問3. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内（↓お住まいの小学校区を教えてください。）

1) 古知野東（線路東側）

2) 古知野東（線路西側）

3) 古知野西

4) 古知野南（線路東側）

5) 古知野南（線路西側）

6) 古知野北

7) 布袋（線路東側）

8) 布袋（線路西側）

9) 布袋北

10) 宮田

11) 草井

12) 藤里

13) 門弟山

2. 一宮市

3. 岩倉市

4. 犬山市

5. 大口町

6. 扶桑町

7. 名古屋市

8. その他〔

市・町・村〕

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> 〔 〕 歳

<性別> 〔 1 男性 2 女性〕

(3) 職業等を教えてください。

1. 自営業

2. 会社員

3. 公務員

4. パート・アルバイト

5. 主夫・主婦

6. 学生

7. 無職

8. その他〔 〕

問4. その他バス事業の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、アンケートは9月10日(土)までに返信用封筒に封入のうえ、ご送付ください。

いこまいCAR(予約便)の利用者アンケートのご協力のお願い

いこまいCARをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111 (内線 225)
入力・集計	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問1. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

○江南市内 (↓お住まいの小学校区を教えてください。)

- | | | |
|----------------|----------------|---------|
| 1) 古知野東 (線路東側) | 2) 古知野東 (線路西側) | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南 (線路東側) | 5) 古知野南 (線路西側) | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋 (線路東側) | 8) 布袋 (線路西側) | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

<年齢> [] 歳 <性別> [1 男性 2 女性]

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|---------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他 [] |

問2. いこまいCARの利用状況についてお伺いします。

(1) いこまいCARを利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|---------------|----------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 1週間に2～3日程度 | 3. 1週間に1日程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. 雨の日のみ利用する | 6. ほとんど乗ることはない |

(2) どのような目的で利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|-------|---------------------------------|-------|--------|-------|
| 1. 通院 | 2. 買い物 | 3. 訪問 | 4. 習い事 | 5. 娯楽 |
| 6. 食事 | 7. その他 [] | | | |

裏面に続きます。

問3. いこまいCARのサービス内容についてお伺いします。

(1) 以下の利用制限がありますが、これら制限に対する「評価」を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

項目	解答欄
1) 予約受付時間	予約受付時間は、前日の午前10時～午後7時まで 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
2) 利用時間	利用時間は、午前8時30分～午後5時まで（通院で直接病院から乗車する場合は午後6時） 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
3) 運行区域	運行区域は、江南市内のみ 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
4) 利用目的	通院には利用できますが、通勤・通学・通塾などの定期的利用、業務利用はできません。 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満
5) 料金設定	一人や友人等との相乗り利用時・・・タクシー運賃の1/2 他の利用客との乗り合い利用時・・・タクシー運賃の1/3 10円未満は切り捨て、最低利用料金は300円。迎車料金は利用者負担。 1. 満足 2. やや満足 3. 若干不満点あり 4. まだまだ不満

(2) 「若干不満点あり」、「まだまだ不満」ということについて、対応すべきことはありますか。

改善すべき点について具体的に教えてください。

問4. その他「いこまいCAR」の改善点やご意見・ご要望があればお書きください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、アンケートは9月10日(土)までに返信用封筒に封入のうえ、ご送付ください。

大口町コミュニティバスの利用者アンケートのご協力のお願い

大口町コミュニティバスをご利用いただきありがとうございます。

ご利用いただいている皆様の利用状況や運行内容などについてアンケート調査を実施し、今後の改善に向けた検討資料として活用したいと考えております。

お手数をおかけしますが、趣旨をご理解のうえご協力いただきますよう、お願いいたします。なお、調査結果は統計的に処理し、個々の回答を調査の目的以外に使うことは決してありません。

また、往復でバスをご利用される方は、可能な範囲でご回答ください。

江南市

問合せ先	江南市 生活産業部 市民サービス課	TEL0587-54-1111（内線 225）
入力・集計	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 研究開発部	TEL052-307-1103

問 1. あなた自身についてお伺いします。

(1) お住まいはどちらですか。

1. 江南市内（↓お住まいの小学校区を教えてください。）

- | | | |
|---------------|---------------|---------|
| 1) 古知野東（線路東側） | 2) 古知野東（線路西側） | 3) 古知野西 |
| 4) 古知野南（線路東側） | 5) 古知野南（線路西側） | 6) 古知野北 |
| 7) 布袋（線路東側） | 8) 布袋（線路西側） | 9) 布袋北 |
| 10) 宮田 | 11) 草井 | 12) 藤里 |
| 13) 門弟山 | | |

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 2. 大口町 | 3. 一宮市 | 4. 岩倉市 | 5. 犬山市 | 6. 扶桑町 |
| 7. 名古屋市 | 8. その他〔 | | 市・町・村〕 | |

(2) 年齢、性別を教えてください。

＜年齢＞ 〔 〕 歳 ＜性別＞ 〔 1 男性 2 女性〕

(3) 職業等を教えてください。

- | | | | |
|----------|--------|--------|--------------------------------|
| 1. 自営業 | 2. 会社員 | 3. 公務員 | 4. パート・アルバイト |
| 5. 主夫・主婦 | 6. 学生 | 7. 無職 | 8. その他〔 〕 |

裏面に続きます。

(1) 本日、利用されるバス停を教えてください。(乗車・降車すべてに○)

- (2) 大口町コミュニティバスを利用される^{ひんど}頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- (3)-1 どのような目的で利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

- (3)-2 目的地の具体的な施設名を可能な範囲で教えてください。

--

(1)それぞれの項目毎に、あてはまるもの1つに○をつけてください。

(2) 「若干不満点あり」「まだまだ不満」と思うことについて、対応すべきことはありますか。
改善すべき点について具体的に教えてください。

--

[illegible]

175

1 3. 主要施設における公共交通の利用実態について

1. 江南市民がよく利用する施設

「江南市公共交通に関するアンケート調査」（平成 25 年）における市民がよく利用する施設としては、表 1 のとおり。

表 1 アンケート調査における市民がよく利用する施設（上位）

機能	公共施設		商業施設		病院	
利用の多い施設	図書館	22	アピタ・ヴィアモール	280	江南厚生病院	307
	市民文化会館	10	ピアゴ江南店（厚生病院側）	77	平成クリニック	16
	市民体育会館	5	イオン（扶桑店）	77	・・・	
	すいとぴあ江南	4	㈱平和堂	42	（老人福祉センター）	8

※自由回答による集計のため、適切な名称が記述されない場合があり、集計値には誤差が含まれる。

2. 主な施設でのバス停設置状況とその利用割合

施設名称 (停留所名称)	年間利用者数	バス停利用者数 ※1	バス利用割合
図書館	95,770 人 (H27) (262.4 人/日)	バス停なし	— (ほぼ 0 %)
市民文化会館	217,805 人 (H27) (596.7 人/日)	バス停なし	— (ほぼ 0 %)
市民体育会館 (市民体育会館停留所) 市民体育会館 市営グラウンド 市営テニスコート	231,574 人 (H27) (634.4 人/日) 195,097 人 29,299 人 7,178 人	江南病院線 乗車：516 人/月 (16.6 人/日) 降車：640 人/月 (20.6 人/日)	3.2% (降車数÷利用者数)
すいとびあ江南 (すいとびあ江南停留所)	149,339 人 (H27) (409.1 人/日)	江南病院線 乗車：257 人/月 (8.3 人/日) 降車：316 人/月 (10.2 人/日)	2.5% (降車数÷利用者数)
アピタ・ヴィアモール (ヴィアモール前停留所)	約 3,050,000 人 (8,356 人/日) ※2	江南団地線 乗車：2,077 人/月 (67.0 人/日) 降車：2,441 人/月 (78.7 人/日)	0.94% (降車数÷来場者数)
ヴィアモールによる調査 ※3		自動車	85%
		自転車	11%
		その他(徒歩・公共交通等)	4%
ピアゴ江南店 (高屋大松原停留所)	約 940,000 人 (2,575 人/日) ※2	江南病院線+江南団地線 乗車：421+28 人/月 (14.5 人/日) 降車：601+51 人/月 (21.0 人/日)	0.82% (降車数÷来場者数)
ピアゴ江南店による調査 ※3		自動車	80%
		自転車	15%
		その他(徒歩・公共交通等)	5%
江南厚生病院 (江南厚生病院停留所) 外来延べ患者数(年間) ※4 職員数 ※5	2,624 人/日 (1,125 人/日+1,499 人) 410,758 人 (H26) 1,499 人 (H26)	江南病院線+江南団地線 乗車：4,375 +253 人/月 (149.3 人/日) 降車：4,469 +427 人/月 (157.9 人/日)	6.0% (降車数÷(外来患者数+職員数))
江南厚生病院による外来患者調査 ※6	外来回収数 765 サンプル	バス	5.6%
		タクシー	5.4%

※1 路線バスの利用者数(バス停留所利用者)＝平成 28 年 3 月時 1 か月間

※2 直営レジ通過者数

※3 各店舗独自調査(企業ヒアリングによる)

※4 外来延べ患者数＝JA 愛知厚生連江南厚生病院「診療データ 臨床指標①」より

※5 職員数＝JA 愛知厚生連江南厚生病院 病院年報(平成 26 年度)より

※6 外来患者調査＝平成 27 年度「外来患者アンケート集計報告」(平成 28 年 2 月 JA 愛知厚生連江南厚生病院)より

図書館・市民文化会館にはバス停留所がないため、バス利用率はほぼ 0 %と想定される。

商業施設については、来場者数に対する最寄停留所の利用割合で 1 %未満、各施設の調査でも数%程度。

江南厚生病院では、バス利用者数からの推計では 6%で、外来患者調査ではバス利用率 5.6%、タクシー利用率 5.4%であった。患者だけでなく入院者の見舞客等を考えても、公共交通は 1 割を満たさない程度の利用と想定される。

1 4. 江南市地域公共共通を語る会の案内・説明資料

江南市地域公共交通を語る会

を開催します！

いこまいCARやバスなど、皆さんは公共交通を利用していますか？
ご自身やご家族のいこまいCAR・バスの利用状況や公共交通に対するご意見、改善案など、地域の公共交通について意見交換会を行います。
今は公共交通を使っていない方でも大歓迎です。地域の皆さんで公共交通について語り合しましょう。

開催日程

期 日	時 間	場 所
8月20日 (土)	午後6時30分～8時	布袋ふれあい会館 会議室
8月21日 (日)	午後2時～3時30分	古知野西公民館 会議室
8月25日 (木)	午後6時30分～8時	中央コミュニティ・センター (老人福祉センター) 会議室
8月31日 (水)		宮田地区学習等供用施設 集会室
9月2日 (金)		古知野北部地区学習等供用施設 集会室(大)

※お車でのご来場はできる限りご遠慮ください

内容

- ・江南市の公共交通の現状について
- ・グループに分かれ意見交換・発表
(テーマ:最近の公共交通の利用状況について、公共交通サービスに対する課題について、改善策について)

対象者 市内在住・在勤・在学の方

申込方法 各開催日の前日までに、参加会場、人数、地区(町名)、申込者氏名を市役所市民サービス課へ(電話、ファクシミリまたはEメール可。様式は任意)。

問合せ

江南市役所市民サービス課
消費・相談・交通グループ
電話：54-1111 (内線225)
FAX：56-5951
Eメール：simin@city.konan.lg.jp

※申し込みをしていなくても当日参加は可能ですが、会場準備の関係上、できるだけ事前に参加会場・人数、地区(町名)をお知らせください。





江南市地域公共交通を語る会

8月20日（土）18：30～布袋ふれあい会館

8月21日（日）14：00～古知野西公民館

8月25日（木）18：30～中央コミュニティ・センター

8月31日（水）18：30～宮田地区学習等供用施設

9月2日（金）18：30～古知野北部地区学習等供用施設

1



本日の内容

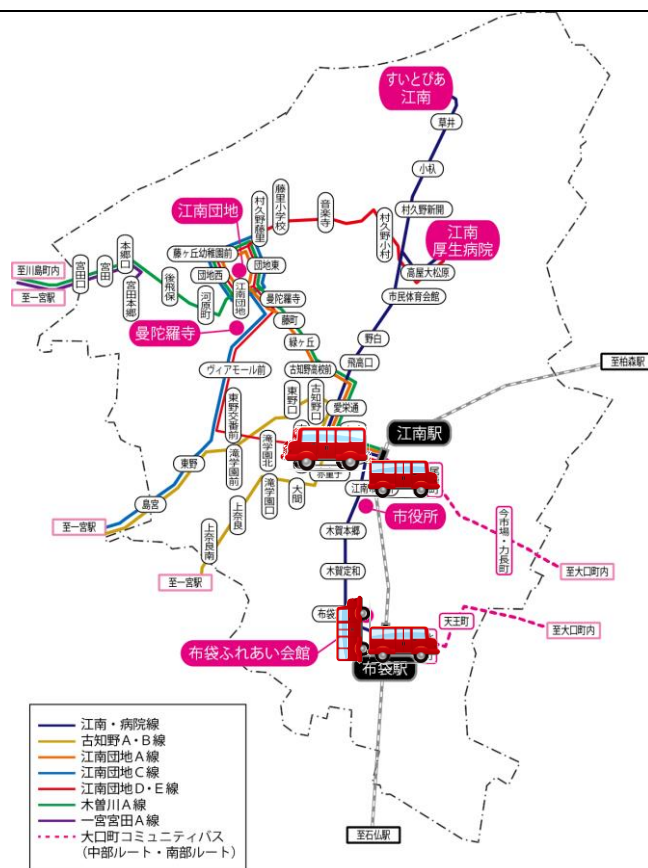
○江南市の公共交通の現状について報告します。

○グループに分かれ意見交換を行います。

○各グループの意見の発表、確認を行います。

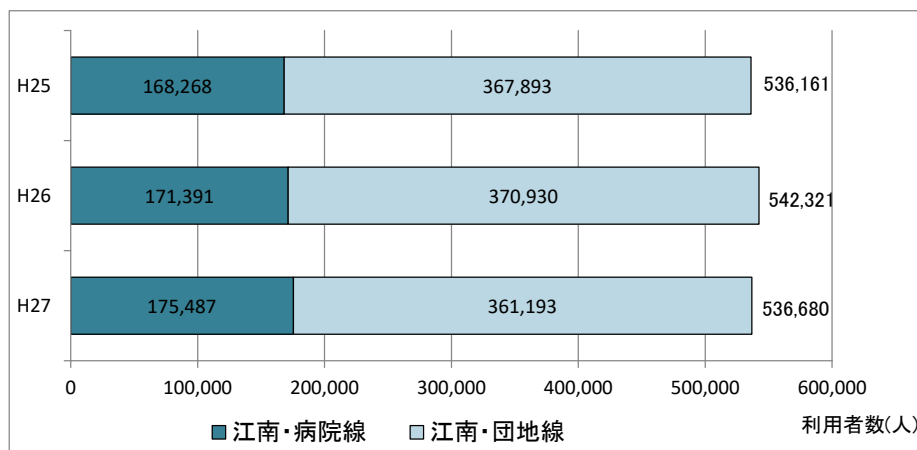
2

江南市の公共交通の現状



3

名鉄バスの利用状況



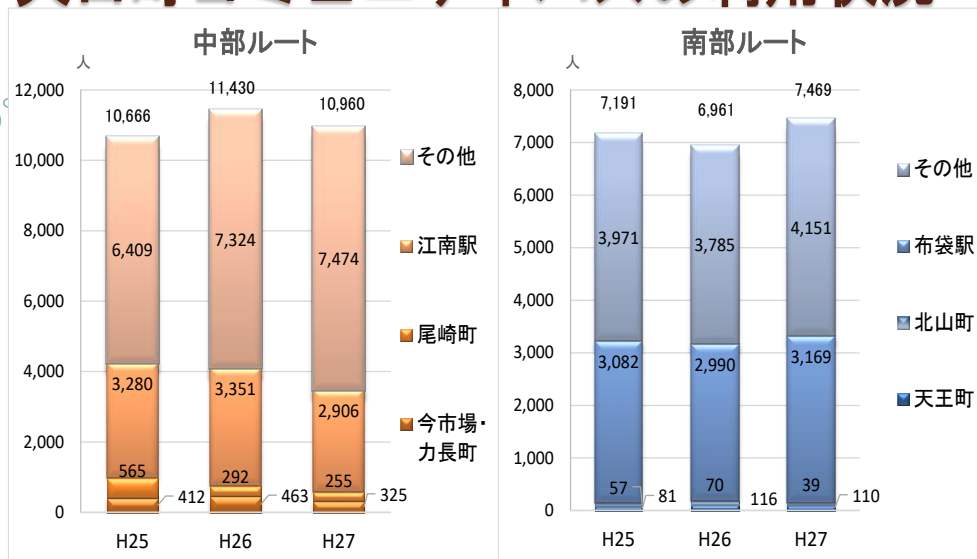
利用実績(年度・路線別)

(単位:人)

区分		利用者数		
		H25	H26	H27
江南・病院線		168,268	171,391	175,487
江南・団地線	古知野高校前経由江南団地線	181,362	167,645	167,934
	ヴィアモール前経由江南団地線	141,196	150,235	153,980
	江南団地経由厚生病院線	45,335	53,050	39,279
	団地線計	367,893	370,930	361,193
合計		536,161	542,321	536,680

4

大口町コミュニティバスの利用状況



中部ルート				南部ルート			
停留所	H25	H26	H27	停留所	H25	H26	H27
今市場・力長町	412	463	325	天王町	81	116	110
尾崎町	565	292	255	北山町	57	70	39
江南駅	3,280	3,351	2,906	布袋駅	3,082	2,990	3,169
全 体	10,666	11,430	10,960	全 体	7,191	6,961	7,469

5

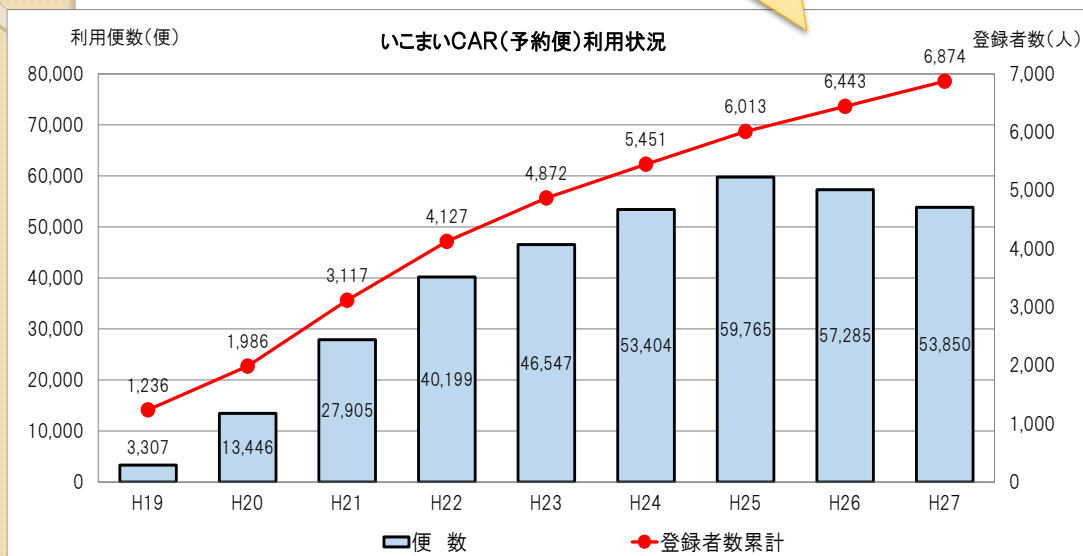
いこまいCAR（予約便）

- **運行日** 毎日
- **運行時間** 午前 8 時 3 0 分～午後 5 時
※病院利用の場合は午後 6 時（到着）
- **運行区間** 江南市内
- **利用料金** タクシー運賃の 1 / 2
（一般乗車方式の場合）
※お迎え料金は利用者負担
- **利用者登録** 義務教育修了後の市民
- **利用方法** 利用者登録後、
利用の前日までに要予約

6

いこまいCAR（予約便）の 利用状況①

H26年度
利用料金改正



7

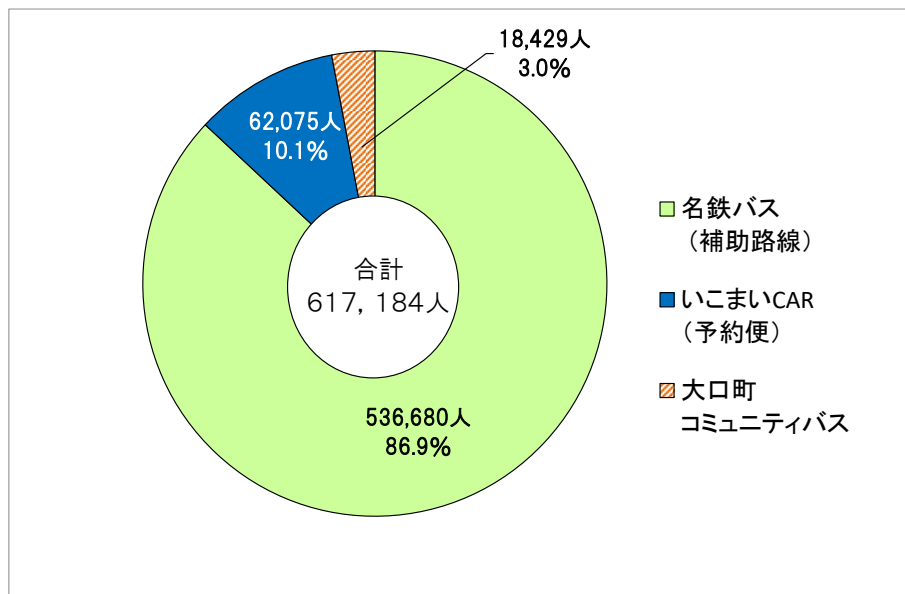
いこまいCAR（予約便）の 利用状況②

○登録者数・利用状況

年度	登録者数累計 (人)	利用者数 (人)	便数 (便)	利用率 (人/便)	市負担額(円)	うち	
						メーター運賃	迎車料金
H19	1,236	3,887	3,307	1.18	2,202,240	1,910,410	291,830
H20	1,986	17,351	13,446	1.29	9,552,140	8,371,070	1,181,070
H21	3,117	37,590	27,905	1.35	19,526,940	17,089,790	2,437,150
H22	4,127	51,348	40,199	1.28	28,103,170	24,535,980	3,567,190
H23	4,872	54,692	46,547	1.17	32,006,190	27,818,160	4,188,030
H24	5,451	63,550	53,404	1.19	36,908,650	32,047,090	4,861,560
H25	6,013	70,911	59,765	1.19	41,421,510	35,916,010	5,505,500
H26	6,443	67,932	57,285	1.19	32,088,610	32,088,610	0
H27	6,874	62,075	53,850	1.15	30,644,050	30,644,050	0
計		429,336	355,708	1.21	232,453,500	210,421,170	22,032,330

8

公共交通の利用人数（平成27年度）



9

高齢者・障害者福祉タクシー助成

共通事項

- 助成内容
小型・中型タクシー基本料金相当額のチケットを年間48枚配布

高齢者福祉タクシー助成

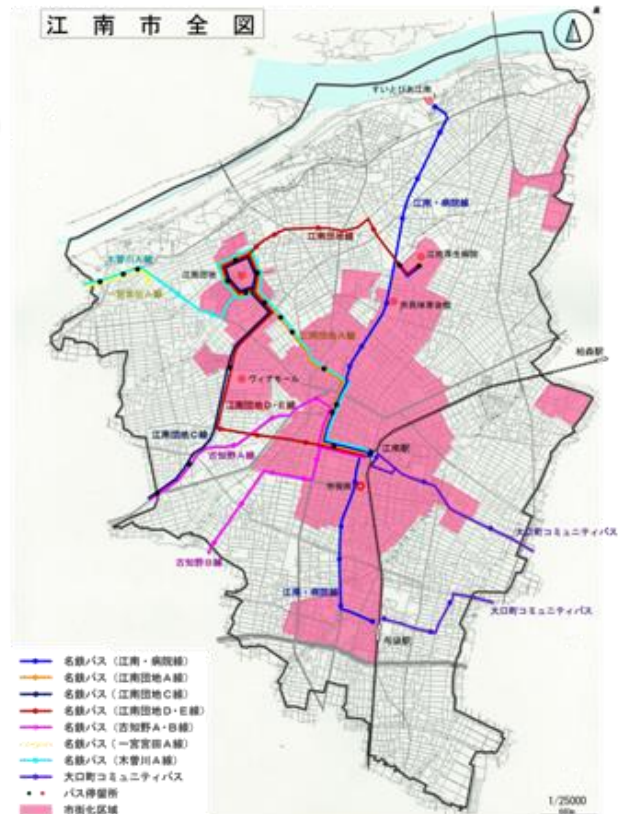
- 対象者 85歳以上の方

障害者福祉タクシー助成

- 対象者 障害者手帳等をお持ちの方で決められた要件を満たす方

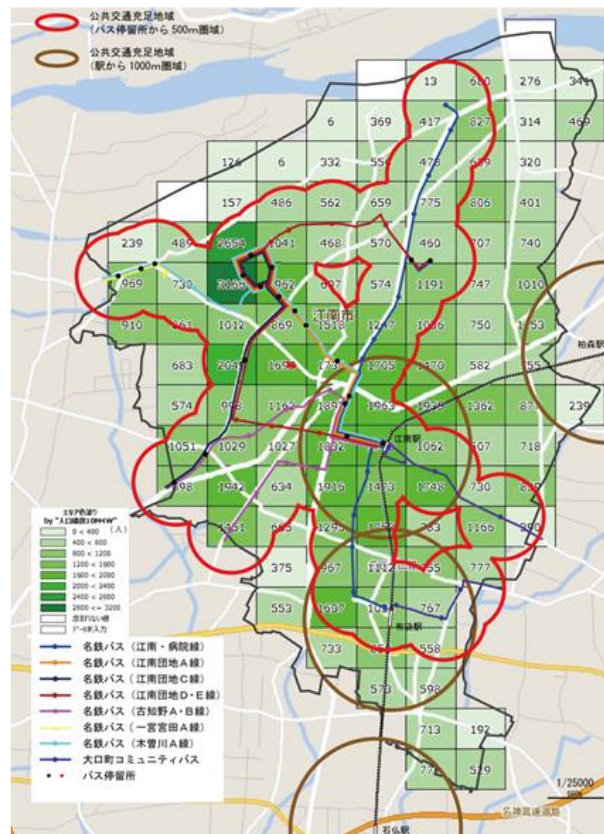
10

公共交通の カバー状況①



11

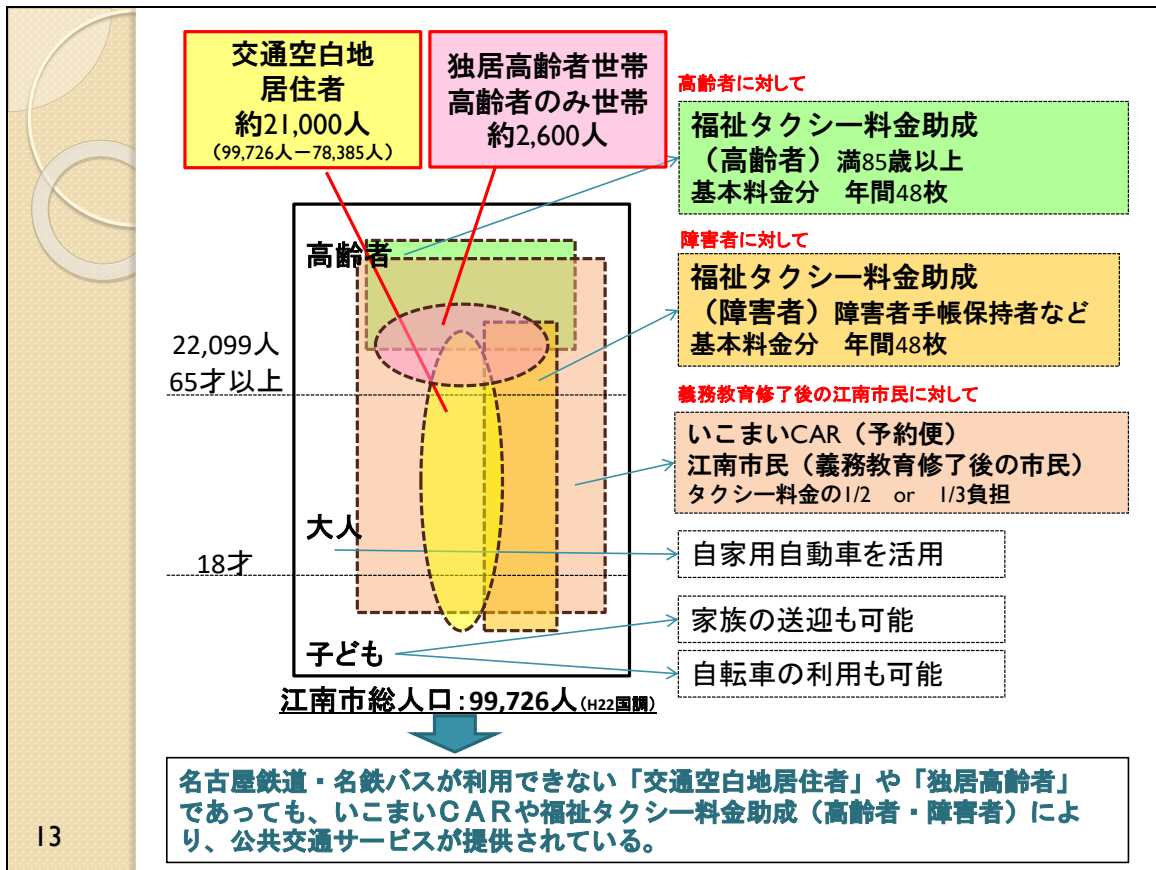
公共交通の カバー状況②



	公共交通 機関 カバーエ リア人口	全人口に 対する カバー率 (※)
江南駅・布袋 駅・柏森駅・石 仏駅から半径1km、 バス停から半径 500mの場合	78,531人	78.7%

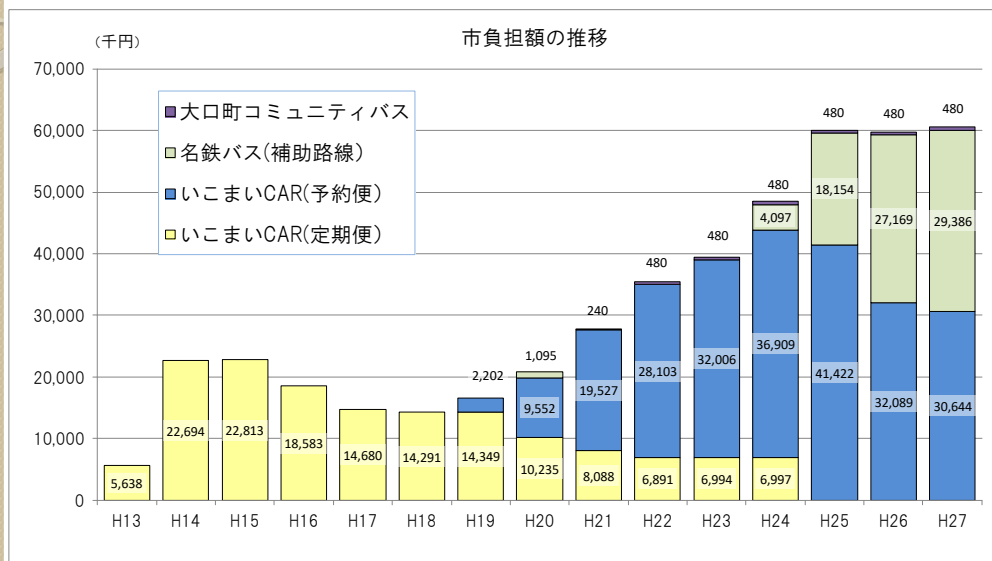
(※ 母数の江南市人口には平成22年国勢調査時の99,726人を採用)

12



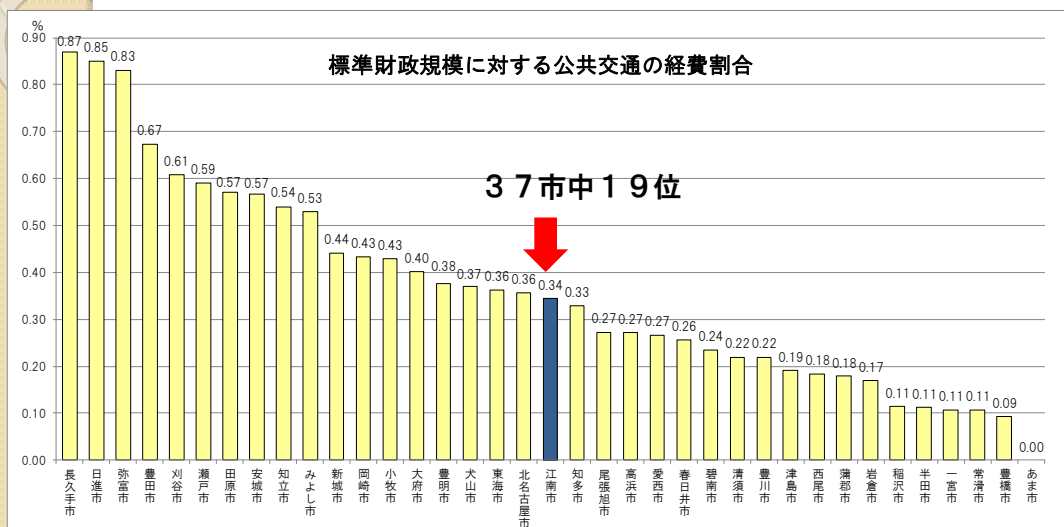
13

市の財政投入状況



14

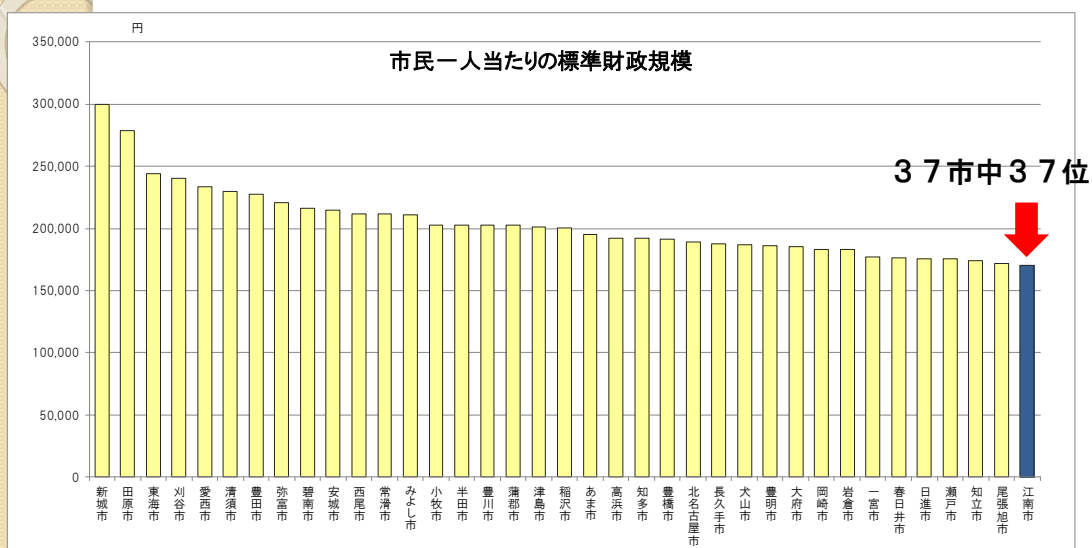
県内他市の状況との比較①



平成26年度 自主運行バス等の運行状況等より
(愛知県交通対策課調べ+江南市による独自調査を加味)

15

県内他市の状況との比較②

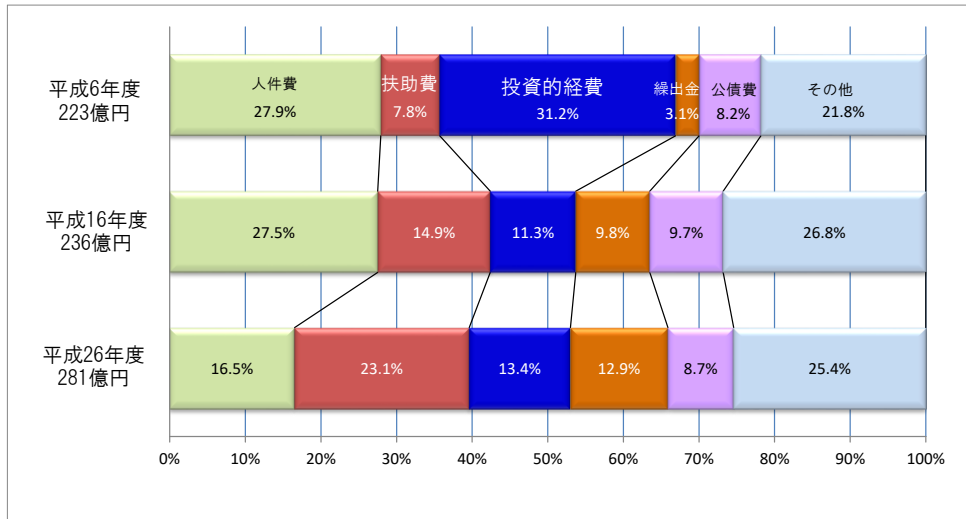


平成26年度普通会計決算状況調より (江南市)

16

江南市の財政状況の推移

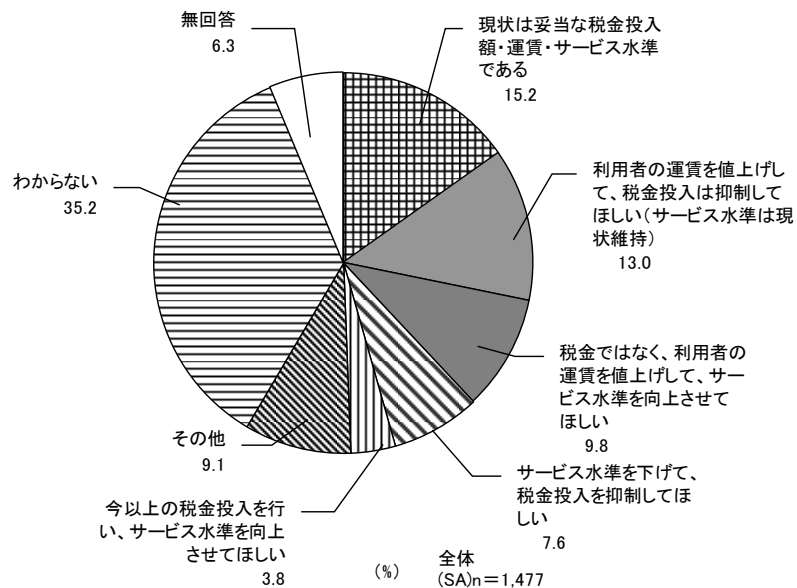
歳出・性質別決算額の推移



17

江南市民の意見① (H25アンケート調査)

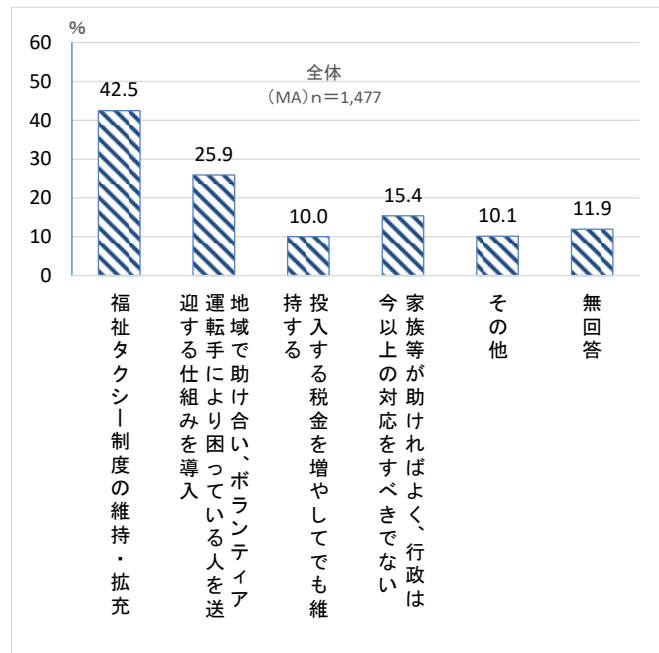
◆今後の税金投入とサービス水準のあり方



18

江南市民の意見② (H25アンケート調査)

◆現状のバス路線の維持が困難になってきた場合の対策



19

公共交通の実態（まとめ）

(1) 交通空白について

- ◆ 鉄道駅やバス停留所からの物理的距離のある「交通空白地」に居住する人口は、江南市民の約21%となっており、79%はカバーできている。
- ◆ 高齢者・障害者等には福祉タクシー支援制度があること、15歳以上（義務教育修了後）の江南市民には「いこまいCAR（予約便）」のサービスが提供されており、「移動制約者」は存在しないといえる。

(2) 財政投入状況について

- ◆ 公共交通サービスのための財政負担は拡大しており、現状のサービス水準を維持するとしても市負担額は拡大していくと想定される。
- ◆ 財政規模に対する公共交通の経費は県内各市と比較しても、決して低くない額を投入している。
- ◆ 市の財政見通しは、高齢化の進展により厳しい見通しにある。

(3) アンケート調査に見る住民の意向について

- ◆ 「今後の税金投入とサービス水準のあり方」に対する意見は、「わからない」が35.2%と最も多い。
- ◆ 「税投入の抑制」意見は20.6%、「現状は妥当」が15.2%、「さらなる税投入」は3.8%。
- ◆ 住民意見は、「税投入の拡大」は望んでいない。

20



今から、グループに分かれて 意見交換を行います。

○進行役（ファシリテーター）の進行に従って、
意見交換をお願いします。

21



話し合う内容について（45分）

- （１）自己紹介を兼ねて、公共交通の利用状況を教えてください。（５分）
- （２）「公共交通の現状報告」に対するあなたの意見を教えてください。（２０分）
- （３）「今後、どのような対応をすべきか」、あなたの意見を教えてください。（２０分）
- （４）意見のとりまとめ。発表者を決めてください。

22



各グループからの報告

○各グループ5分程度でお願いします。

15. 江南市地域公共共通を語る会の各回の成果

(1) 8月20日(土) 布袋ふれあい会館

(Aグループ) 現状報告に対する意見

いこまいCAR

- ・当初の相乗りいこまいCAR制度を再度構築する必要あり。
- ・相乗りできる制度にするべき。
- ・いこまいCARの予約がネックになっている。当日急に利用したい時に利用できない。
- ・いこまいCARが今も引き続き利用できていることが知れてなかった。障害者福祉タクシーも利用できることが知られてなかった。
- ・今後高齢者が増える傾向等の観点から今以上の税金等を増やして充実させていただきたい。

名鉄バス

- ・布袋駅まで行かないとバスに乗れないが駅へ行く方法を考えると利用できない。
- ・江南市も大口町みたいなコミュニティバスのような方法もあるんじゃないかな？名鉄バスの名より江南市バスみたいに名前をかえてみたら市民が利用しやすいのでは？
- ・バス乗車率の数値のデータ→区間ごとに。
- ・中奈良町本郷地区はバス停までが遠いため名鉄バスを利用しにくい。(公共交通のカバー外)
- ・バス利用者(いこまいCAR)利用者のうち厚生病院、買物利用者の人数のデータが欲しい。
- ・半径300mでアクセスできるように。

他市町の状況は？

- ・利用者と費用(個人、行政)
- ・小牧市、岩倉市、他市のコミュニティバスの状況

公共交通を知らなかった

- ・公共交通が約8万人(80%)カバーできていると伺い正直驚いた。
- ・いこまいCARを利用したことがなかったので登録者が多いのに驚いた。
- ・いこまいCARについて具体的利用方法等十分周知されていないと思われる。

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

いこまいCAR

- ・当日予約ができると良い。利用時間帯の拡大。
- ・他市より良い方法になっているのか知りたい。良かったらもっと市民にわかる様にしてほしい。
- ・本当に必要な人にサービスを提供する。
- ・希望朝6:00~夜10:00
- ・乗合での利用率が増やせるような方法を検討すべきこれにより利用料金を引き下げ。
- ・相乗り制度の構築。
- ・目的と緊急性に応じて分類するべき。
- ・予約をなくしタクシー同様とすれば利用が増える。
- ・何かしらの制限があってもいいのでは(年齢等)

名鉄バス

- ・全ての地域でバス停までの距離を500メートルくらいにできるとよい。
- ・バスの車両を小さくして頻度を増やす。
- ・バスの本数が少ない→多くしてほしい。利用しにくい→利用しやすくしてほしい。
- ・赤字バス路線の補助はやめるべき。
- ・もっと大勢乗る工夫をしてほしい。

公共交通の要望

- ・公共交通のカバーされない地域に対して何らかの対策を考えてほしい。
- ・市内特定交通弱者への特定サービスの検討。
- ・高齢者社会になった時病院、買い物へ行く足が必要。運賃を安くして利用しやすくしてほしい。
- ・自分又は家族で車が使用できない高齢者、障害者に対しきめ細かい対応をすべき。(ターゲットを明確に)

更なる分析希望→市民への公表

- ・いこまいCARと名鉄バスで江南市全部カバーをしているがそれで良いのか。一本化したコミュニティバスを作ったらよいか？財政補助金が少なくなるか？6千万円の補助は多くないか？
- ・福祉車両の昼間の別用途利用(法制度は？)
- ・デイサービス等福祉施設は福祉車両等を保有しているが朝、夕方以外は車が遊んでいると思われる。市と連携して有効活用ができないか。
- ・検討の為に他市町村(同スケール→人口、面積)の事例を示してほしい。(コミュニティバス等)

(B グループ) 現状報告に対する意見

アンケート

・H25アンケートで税金の投入が少ない方が多い意見が多い。利用しやすい制度ができれば税金の投入もよいと思われるが。
・みんなで使えれば投入できれば。

空白

・いこまいCAR→高い
・電車、バス、いこまいCARで市民の足が確保されていると言われましたがいこまいCARは使いにくく高額であり利用できない。確保されていると判断するのはおかしい。
・空白地域に住んでいる。年数回酒屋の懇親会には春明(一宮市)のバス停から乗車。

スポンサー

・企業スポンサー(大口町)
・広告等スポンサーをつける。「さくらバス」のようにバス停に名前をつける。

いこまいCAR・使用方法

・タクシー、いこまいCARの使い分けができない。
・いこまいCAR(予約便)について、高齢者タクシー助成と思っていた。高齢者のみと思っていた。
・高齢者タクシー48枚は二人で利用すれば98回利用できるものですか？

いこまいCAR価格

・公共交通のカバー状況78,531人。残りの人に対してのカバーをどうするのか。いこまいCARだよりは限界があり使いにくい。高額のため。
・いこまいCAR生活圏にあっていない。市内のみ。

外側不便

・ピンクの外側不便

駅東

・名鉄路線より東側は名鉄バスが走っていない。
・大口町のバス便数が少ない。

赤字の基準

・名鉄バスの補助金について、予約便とほぼ同額である。名鉄への補助金の基準は？

将来不安

・今は車に乗っているが高齢で車にのれなくなった時が不安。
・将来不安

市内のみ

・いこまいCAR生活圏にあっていない。

方法の工夫を

・夜の巡回バス。飲み帰り対策
・巡回バス
・バスを小型化して、細かい路線にしてほしい。

利用者について

・利用状況からみると年々増加しているので今後の対応が心配。

いこまいCAR増えるほど赤字

若い世代が利用しやすい様に出来れば(高校生)

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

高齢者の外出支援

・高齢者を外出させる。
・老人クラブ活動を考える。
・病院へ行けるのは元気な証拠との意見さえ聞きますが老人会等の活用により病院へ行く回数を減らす事も方法かと思います。

買物サービス

・買物難民(車を利用できない人)と言われる人も多いと思いますので商店に定期便を運行してもらおう市が工夫すべき事があればと思います。
・商店まわる。

ボランティアでやれる

・ボランティアでやれるのでは？
・地域通貨のような券で近所の人に乗せてあげる。

方法を工夫

・とにかく利用者数を増やす。
・小型バス、コミュニティバス、イメージも良い気がする。
・かわいいイメージ。
・大型は無駄。

サービス。

便数。

巡回バスについて
名鉄以外の会社が事業者としてできるか。

市長に考えてほしい。

名鉄バス→コミバス化

・今の投入額をコミバスに振り替える。
・名鉄バスやめても。
・駅から、スーパーから、病院から自宅近く300メートル以内のバス停、コミュニティバスを走らせる。費用は名鉄バス補助金といこまいCAR補助金とバス利用料金。不足する分は市がもっと補助する。どのくらい必要か検討する。いかが。

投入の上限額を決める

・キャップ
・上限額は議会で決めて。
・市負担金の上限を定めることが必要ではないか。

大口町と一緒に

・生活圏。
・いこまいCARは各地域の生活圏が違うため市外利用でも走行距離を決めて利用することができないか。
・歩み寄り。
・江南ー大口一緒にやれない。

(C グループ) 現状報告に対する意見

バス

- ・布袋駅発のヘッドダイヤがバスと乗り継げない。
- ・待たなければならない。
- ・便数が少ない。
- ・バス到着情報が遅い。

福祉

- ・高齢者福祉タクシー助成(85歳)弱者対象年齢を実情に合わせた対象を考慮。
- ・福祉ボランティアマイカー利用(有料)登録制。

いこまいCAR

- ・いこまいCAR予約を現在の利用の前日までの予約から当日の予約に出来るようにしてもらいたい。
- ・予約便を使うかわからないので登録しづらい。
- ・定期便の時より予約便の負担増。
- ・定期便の時の方が利用者負担が少なかった。
- ・いこまいCAR利用者登録今わかりました。

その他

- ・企業バスの連携検討
- ・公共交通について十分理解できていませんでした。

(C グループ) 今後どのような対応をすべきか

バス

- ・乗り継ぎ・・名鉄グループ内での
- ・名鉄バスが大きすぎる。乗客数からすればワゴン車くらいでよい。

福祉

- ・制度対象外弱者の拡大。
- ・ボランティアの発掘。
- ・自転車、車に乗れなくなった場合本当に温かい対応を望みます。お金の問題などで今はよくわからない都合あり。

いこまいCAR

- ・予約便で利用が多い区間で定期便化。
- ・いこまいCARの自動登録。
- ・予約便と福祉タクシーの役割分担。

その他

- ・企業と行政の連携。
- ・他の町、他県でもよいがユニークな公共交通の事例があれば教えて欲しい。
- ・新しくコミュニティバスでお願いしたい。

(2) 8月21日(日) 古知野西公民館

(Aグループ) 現状報告に対する意見

駅整備

- ・朝、夜、江南駅前送迎車で危ない。

名鉄バス

ダイヤの延長・接続

- ・江南駅からのバスで帰りの時間が間に合わない。
- ・バスに乗る人が増えるように何か策があるとよい。
- ・犬山方面から電車で帰ってきた時、江南→上奈良バスの時間がぎりぎりすぎる。

便が少ない

- ・江南団地～厚生病院行き(行き8:43発帰り12:23発)に乗り遅れると(行き16:07発帰り17:07発)送ないのでタクシーを利用することになります。みなさん困っています。
- ・厚生病院からの帰りバスが12:23発が午前中最後です。もう1本はだしてください。朝8:43発はまあ満足しています。

ルートの見直し

- ・江南⇄一宮線(大山町経由) 平和堂と滝との間に広い道ができたので、バスの帰り道をこちらに変更は？歩道があり乗り降りも安全だと思う。
- ・江南市内の道のルート見直し。

いこまいCAR

- ・いこまいCARをなくしてほしい。到着時間が長くてほしい。
- ・いこまいCARが便利ですのでなくしてほしい。到着時間を長くしてほしい。
- ・なくすな
- ・いこまいCARの運行区間を市外へも拡張してほしい。(市外最寄駅の方が近い所もある)
- ・15歳～←パチンコ？
- ・いまだにいこまいCARのバス停があると思っている人が多い気がする。市のPR不足？
- ・登録が年配の人しかできないと誤解している人が多い。
- ・年齢についてわかっていない。PR
- ・市内のみ
- ・海外旅行での、駅まで

お金

- ・名鉄タクシー、名鉄バス補助金。乗車状況が少ないのはわかりませんが長く続けようとするのは何がベストなのか？
- ・やりくり

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

今のお金の中で工夫をすべき

名鉄バス

- ・学生はバス利用する←収入UP

団地～病院

- ・補助においては路線を利用している地域の人に特に利用するようPRを！(団地の人)
- ・補助している地域での認知。

いこまいCAR

- ・年齢制限。
- ・名鉄バス、いこまいCAR年齢制限。何歳以上の利用・目的は？色々考えることが大事では。
- ・年間乗る回数を制限する。
- ・利用目的は病院のみ。
- ・利用者の年齢を制限する。
- ・利用条件を年齢&目的で制限する。
- ・年齢を70歳以上にする。

福祉タクシー助成

- ・福祉チケット。
- ・高齢者福祉タクシー助成。85歳を80歳に又は75歳に。

大口バス

- ・大口町との話し合いをすべき。
- ・月48万円今なら可。
- ・大口バスの定期を作って。

(B グループ) 現状報告に対する意見

—— いこまいCAR ——

- ・いつでも呼べるように。
- ・非常に便利で大切です。予約よりすぐに乗りたい。
- ・もう少し市民の中に定着させてほしい。
- ・タクシーの当日予約
- ・ほとんど使用してません。
- ・待ち時間が長く感じる時がある。

—— 福祉タクシー ——

- ・高齢者のタクシー助成年齢の引き下げ。
- ・福祉タクシーの年齢を85歳から80歳に下げたらどうか。
- ・介護専用のタクシー等は今後どう考えているか。
- ・利用するのに年齢が高い。もう少し低くできないか。

—— コミュニティバス ——

- ・他の市町にはコミュニティバスがある。時刻表で乗れるバスがあると便利が良い。
- ・幹線道路を中心にした交通機関となっているがもう少し範囲を広げられないか？
- ・実際に動けなくなってから申し出るでは遅い。

—— 名鉄バス ——

- ・病院でバスの待ち時間長い。
- ・病院—布袋駅バス1時間に2本にして欲しい。
- ・名鉄バスが布袋駅へは1時間に1本というのはどうか。

—— 公共交通全体について ——

- ・公共交通のカバーを広くしてもらえないか。
- ・私は便利な所に住んでいるので現状維持でたらうれしいです。
- ・駅へでるにも20～30分かかるところへの配慮が必要。
- ・自転車が気楽に走れる道路がほしい。

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

—— 全体的な視点 ——

- ・高齢化、過疎化進む中の対応策必要。

—— いこまいCAR ——

- ・臨機応変に対応してもらえると良い。いこまいCARの予約。
- ・運営を第三セクター(個人)等につけてもよいのでは。
- ・タクシー業界との連携。
- ・タクシーの当日予約

—— 利用の促進 ——

- ・公共交通の周知が大切

—— バス(コミュニティバスを含む) ——

- ・コミュニティバスのようなもの。(定時)の取り入れ。
- ・コミュバス1日1本でも良いので定時定路線を。
- ・コミュニティバスができてもう少し細かく廻れば良い。
- ・バスが大きい道路を走るのでバス停まで出なければいけない。
- ・マイクロバスにかえてバスの回数を増やしてほしい。バスの小型化、頻度を多くする。

(3) 8月25日(木) 中央コミュニティ・センター
(Aグループ) 現状報告に対する意見

PR

・利用の周知を言っているがこれを維持するのは財政の障害になる。

駅の駐輪場

・駅前の駐輪場、駐車場の整備。Pが少ない。

名鉄バス

・最終便の時間が早い。
・大型バスから小型バスへの変更(効率の悪い路線)
・応分の負担を考える。利用者負担。
・バスの本数が少ない。
・本数が増えれば利用するのでは？
・バスの利用者が少ない(昼間)

団地～病院

・病院線の利用について早朝便も要望したが認められない。
利益分まで含めて赤字補てんしている。
・団地～病院減便の影響は？
・早朝便が欲しいとの声あり。

空白とタクシー

・いこまいCARの発足の時は空白地域があった。
・江南市に公共交通空白地域はないと結論づけられているがいこまいCARは公共交通といえるのか。空白はある。
・タクシーはあるといってよいか。

いこまいCAR

・前日予約がしにくい。
・いこまいCAR制度の広報必要→知らない。
・老人会などで乗り合いの実施。
・公共交通の主体としてタクシーを利用している自治体はほとんどなくあっても補助的に利用されているだけだ。
・高校生

税投入

・これ以上はNG
・このまま利用人口が増となると補助金の増額となり税投入はこれ以上はダメ。
名鉄6,000万→
3,000万
いこまいCAR3,000万

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

負担の考え

・応分の負担。
・福祉で考える。

名鉄バス

・補助金方法。
・駅ORバス停でいこまいCARを使い！
・すいとびあ赤字をチェック。
・赤字ルートはいこまいCAR定期便に。

ボランティア

・ボランティア輸送。
・小学校区OB活用。
・白タク問題。

拠点まで

・ハブ&スポークと拠点化
・拠点間のバス網

利用してない人の意見を

・議論ができるように。

いこまいCAR

・利用制限すべき
・いこまいCARの利用制限は必須だろう。少なくとも60歳以上～にすべき。
・いこまいCARの利用可能年齢の制限。
・公共交通の代替として考えるならば距離のある人の負担を軽減する方法を考えるべきだ。
・長い距離、高いのでつかえない。
・一律料金とは言わない。距離で補助率の差をつけるとか。距離格差を減らせ。

路線化検討

・路線化考えて。
・いこまいCARの利用状況を分析して多い路線は巡回バスに変化していくと考えていったらどうか。

(B グループ) 現状報告に対する意見

財政負担

- ・財政負担の歯止めがない。
- ・市の財政収入の割に経費が多い。

名鉄バス

- ・定期バスの便数が少なく、不便。
- ・布袋地区から江南市の他の地域へ行くバスがほとんどない。
- ・名鉄バスは、幸いバス停が近いので利用は便利です。バスの到着時刻も正確でした。
- ・利用率が多い。
- ・団地から江南厚生病院への利用者が少ないのではないかな。
- ・バス停に屋根がない。

いこまいCAR

- ・高齢者がいる家庭にはいこまいCAR、コミュニティバスが便利。
- ・いこまいCARは大変助かりますので今のまま市民の足になるようこのまま続けてほしい。
- ・運転手がいらない。車がない。助かる。

福祉タクシー

- ・タクシー助成の85歳以上を引き下げて欲しい。
- ・11のカバー状況から外れた人の1人暮らしの人が心配だ

大口コミュニティバス

- ・便数が少ない。
- ・バス停が暑い、寒い。屋根はあるのか？
- ・大口コミュニティバスの情報があまり知られていない。
- ・大口町コミュニティバスの停留所の位置(布袋駅)が遠い、分かりにくい。

(B グループ) 今後どのような対応をすべきか

路線の見直し

- ・路線の見直し。
- ・できるだけ名鉄バスを利用しやすくする。
- ・路線の見直しを。
- ・積極的にバスを利用するよう努力する。
- ・外出する。
- ・人が集まるコミュニティの場が少ない。

バスが利用できる、
出かけられるように、
コミュニティがある場が必要

- ・補助バス路線のうち利用者が少ない路線については見直しも。(廃止縮小もあり得ることもPR)→いこまいCARへ
- ・赤字路線の見直し。
- ・財政のおさえとして企業との相乗りをする。リンナイ等。
- ・名鉄バスの赤字の多い路線を見直す。

財政負担の多い所の見直し

公共交通のPR

- ・バス路線のコース、時刻をPR。
- ・1人暮らしの住民にPR。利用率の向上。
- ・バスを利用しやすいような看板等。
- ・身近な問題です。今日のような場所が多くあればと思います。
- ・便、ルートを分かりやすくPR。
- ・情報提供。
- ・利用データの提示。

使いたい人の掘り起こし
使いやすくするサポート

- ・使いたい人の掘り起こし。
- ・民生委員の活用。
- ・福祉タクシー85歳の制限を緩和する。
- ・タクシーチケットはどうすれば手に入るか。
- ・サポートする人が必要。

(4) 8月31日(水) 宮田地区学習等供用施設

(Aグループ) 現状報告に対する意見

PR

・せっかくバスが通っているのでもっと皆様に利用してもらるように宣伝して下さい。

福祉タクシー

・高齢者障害者福祉タクシー助成の年間48枚は少なすぎる。最低でもこの倍は必要。それ以上は1/2負担。
・使いたい人は回数使う。
・高福祉要求→市政赤字。既得権にメス。
・各助成のチケット。不正利用の問題。

いこまいCAR

・市外に行けるようにすべき。
・7時から19時まで使えるように。
・運賃が高く感じる。高齢者は年金で収入を得るがそれ程多くないため。高い。
・緊急利用できない。
・やはり予約出来るときは良いが急ぎの場合はタクシー以外には不可なので考えていただきたい。
・足が悪くバス停は近いのですが、利用が難しい。将来はいこまいCARかタクシー利用。

名鉄バスについて

・名鉄バスは順次廃止。コミュニティバスへ転換。
・名鉄に頼らず江南市がマイクロバスで地域の交通網を作る。
・利用減は団地線の減便。
・距離に応じて金額が違ふとの事。少し料金が高いと思います。
・時々見るが回送で空で走ることがある。せっかく回るのであれば回送を少なく調整ができないか。
・小型化。
・大型バスではなく中型マイクロバスならもっと市民に利用してもらえそうです。
・団地～病院。
・今走行している江南団地線について。
①バス停大松原をピアゴに。江南病院線について
②マイクロバスで良いので一時間に一本ほしい。
③8時前に一本。
・フラワーパークまでバスを延伸するとよい。(すいとびあから)
・小型車7～8人乗り。定期巡回する車導入。新規追加。

(Aグループ) 今後どのような対応をすべきか

ボランティア輸送

・地域に人がいるのでは？
・助けあい。
・ファミリーサポート小学校。
・仕組みがない。

お金やりくり

・市長の人件費高い。
・江南市は貧乏ではない。

名鉄バス・努力すべき

・コミバスにして市の補助でやれば。
・名鉄バスより乗ってくれる。
・努力していないので。
・団地～病院、減便したら利用できない。
・バス停の環境がよくない。

コミバスに

(B グループ) 現状報告に対する意見と今後どのような対応をすべきか

福祉タクシー

- ・福祉タクシーの拡充。
- 85歳高齢者＋健康不良者
- ・高齢者福祉タクシー。
- 85歳→75歳へ

コミュニティバスの検討

- ・江南市でバスを独自に走らせるのはいくらかかるのか教えて欲しい。
- ・もし名鉄バスを廃止したら、その3,000万円でどのくらい走らせるのかを教えてほしい。
- ・コミュニティバスの導入を検討してほしい。(細かく走れるバス)
- ・大口コミュニティバスでは広告費で一部経費をまかなっている。
- ・大口コミュニティバスの事例の詳細を教えて欲しい。手法、値段。
- ・公共交通の届いていない地域にはコミュニティバスを走らせてほしい。

江南団地線

- ・宮田地域にバス路線ができるように努力してほしい。
- ・江南団地一周はもったいない→バス停4カ所(名鉄バス)
- ・江南駅より松竹→本郷→厚生路線。江南市の北部の利便を。
- ・団地発厚生病院行き8:36発を1本はやくバスを出してほしい。
- ・蘇南公園⇒江南市宮田総合グラウンドに名称変更。
- ・江南駅から江南団地行き、江南団地経由⇒宮田行きバス
- ※名鉄バス補助金を増して朝、夕は30分間隔であれば宮田地区の方が喜ばれるが...
- ・ヴィアモール...1本西側を走らせて松竹、宮田もほしい。2本に1本でも。
- ・江南のフラワーパークに行くバスがない。すいといから徒歩30分。検討対象にしてほしい。
- ・集客を増やしてバスもうるおい便数も増やせる。

いこまいCAR

- ・ドアツードアで利用できるいこまいCAR(予約便)は充実してほしい。
- ・いこまいCARは廃止しないでほしい。
- ・当日予約を可能にしてほしい。

財政

- ・財政を豊かにすることが先決。福祉に金がかかるのは当然のこと。
- ・高齢化してきていて、財政が厳しくなってきたと感じる。
- ・市全体の大きな財政計画を!

共助

- ・元気な人が他の人を乗せてあげられる仕組みの検討を。(共助、制度検討)

本日の説明

- ・交通事情の江南市の説明はよく聞き勉強になりました。※宮田地区の導入がないので不満。
- ・江南市が各班司会進行すべき(コンサルタントではなく)

公共交通のあり方

- ・もっと動きやすい公共交通を。
- ・現在はマイカーで移動している人が多いが近い将来は公共交通に頼らざるを得ない人が増えてくる。公共交通が利用できない利用しにくい範囲が結構多いので考えていかなくてはいけないと思う。
- ・玄関先まで迎えに来てくれるサービスも必要なのでは。
- ・高齢者増に伴ってマイカー→安価な交通網の拡充。玄関口送迎。
- ・現状報告を説明されただけ。市の考えを聞きたい。
- ・赤い500mの円全てが江南駅に行ける訳ではない。

(C グループ) 現状報告に対する意見

名鉄バス

- ・厚生病院へのバスの便数が減って全く不便。
- ・厚生病院線、最初より本数が減ったので不便。早い時間が欲しい。
- ・一宮線も減ってしまって不便です。
- ・バス停迄500m歩かなくてははいけない。
- ・バス停まで遠い。
- ・江南駅→団地→厚生病院の利用者が少ない。厚生病院との受付の関係か？
- ・バスの料金が安い。
- ・神明から駅までの料金と時間がかかる。自家用車でいったほうが早い。
- ・江南駅⇄江南団地 古知野高校経由、西アピタ経由本数増だと助かる。
- ・アピタ線団地の方の時停留所があぶない。
- ・松竹住宅バス停。

財政負担

- ・名鉄への補助はもっと減らせないか？
- ・市財政から考えればコスト削減すべき。
- ・江南市補助費を出しすぎ。受益者負担にすべき。
- ・税金投入についても工夫して希望をかなえてほしい。

空白地域の考え方

- ・21%の交通空白地を解消することが大事と思う。
- ・交通空白地域がないというのはおかしい。
- ・宮田や後飛保など空白がいっぱい。
- ・空白はないというのは乱暴ではないか。
- ・鹿子島、草井、勝佐の方の人は困っている。

いこまいCAR

- ・時間を朝8時にしてくださるとありがたい。

大口コミュバス

- ・大口町コミュバスの収支は？

その他対策

- ・自家用車をやめなくなる市内状況を！
- ・ほんとに困っている人が増えていくので対策を考えてほしい。
- ・見捨てられて希望がないという地域の方もいる。

(C グループ) 今後どのような対応をすべきか

バスの再編(利便性向上)

- ・名鉄バスの補助金をやめても。10人乗りくらいのタウンバスを網の目で走らせる。
- ・自家用車に乗れなくなる年齢になってきます。市内の巡回バスが必要です。
- ・公共交通として名鉄バス以外の手段を考えるべき。
- ・名北バスの小型マイクロがいつもあるからそれを使い。
- ・現在投入している財政を基本にタウンバスの運行を検討してほしい。
- ・江南駅から厚生病院迄無料バスは？
- ・巡回バス(小型)できめ細かく回ってもらえたらよいと思います。
- ・名鉄バスを小型バスに切り替える。

その他

- ・市議会議員、区長が住民の意見を吸い上げる仕組みが必要。
- ・いこまいCARの認知度が低いのでもう少しPR方法お願いしたい。
- ・個人の意見を聞いても使わなければ...
- ・この会のもち方。
- 夜の会合には高齢者は出てこれない。

選択と集中

- ・今後は行政サービスも選択と集中が必要。
- ・空白地域への対応はいこまいCARのランク分けをして補助。
- ・人口減の中、総合的に考えるべき。
- ・免許証返上する人が今後もっとふえてくる。
- 現在の財政投入は多いとはいえない。
- ・これからの行政サービスを考えれば低減せざるをえない。
- ・空白地域の方は市の負担額多くする。
- ・公共交通再編成事業費は493万円で行えるのか？
- ・いこまいCARを福祉目的に変えて支出を減らす。

空白地域の対応

- ・空白地域21,000人にアンケートをしてほしい。切実な要望をつかんでほしい。
- ・安心料として地域からの寄与を・
- 受益者負担(地域で)

(5) 9月2日(金) 古知野北部地区学習等供用施設
(Aグループ) 現状報告に対する意見と
今後どのような対応をすべきか

☐: 現状に対する意見、☐: どのような対応をすべきか
(Aグループ)

駅前

・江南駅前に駐車場を借りて通勤している人が多いので公共交通で通勤できるようにしてほしい。

駅前

・駅周辺の交通規制。
・江南駅付近の通勤通学用バスが増えると今まで以上に混雑する。

いこまいCAR

・収入のある人は使い勝手がいいが余裕のない人には負担が重い。
・周辺部との格差。
・山尻などの市境の人は、使いにくい。
・ドアToドアのタクシーの助成はもっと増加してよいのではないかと予約手続き等が面倒なの？
・利用がわからない。面倒でタクシーを呼んでしまう。
・登録や予約が無理な高齢者がいる。
・予約方法。

いこまいCAR

・バスといこまいCARが両立する工夫を。二重投資。いこまいCARはバスの乗り継ぎに。
・いこまいCARがバス利用を減らしている。妨害。
・いこまいCAR予約便の料金を見直す。距離での差⇄所得での減免。

独自のバス

・となりの大口や扶桑と共同で、巡回バスなどが走るとよい。議論
・65歳以上の者も多いが高齢者がどんどん増えることを考えると江南市独自のコミュニティバスも一方法か？(路線バスではなく)
・スクールバスの導入をすべき。

名鉄バス

・空バス。
・厚生病院からすいとびあ線は別の手段にした方がよいと思う。
・江南北部はバスは利用しにくい。通勤に使える名鉄バスに。

名鉄バス

・市街地を循環するコミバスを走らせる。
・病院・スーパー・駅等をつなぐ。
・大口町のように企業(バス)との連携。
・県道(犬山江南線や愛岐大橋等)に一日数本(時間を決めて)コミバスを走らせられないか？大口町のように工場送迎バスとの絡みを考えて、学生や主婦も利用できるように。

財政面

・貧しい(?)江南市が財政投入頑張っていることは理解できるが市民は知らないのではないか？

やりくり

PRについて

・関心がなかった。
・知らなかった。
・公共交通ありきの調査。交通空白地居住者の意見が反映されていない。

・広報活動の充実。子供を通じて。テーマはバスだけじゃない。

お金がない中で自転車の活用

・タクシーチケット年齢引き下げを図れないか？(80歳)交通事故減少。・裏道をうまく使って自転車道に。・利用者負担を増やす。・自転車の活用。道路をよくする。歩道の整備。車いすも自転車も通行しにくい。

・江南市の財政状況から考えても今以上のサービスは期待できないと思う。

(Bグループ) 現状報告に対する意見と今後どのような対応をすべきか

☐ 現状に対する意見 [] どのような対応をすべきか(Bグループ)

いこまいCAR

・いこまいCAR利用で高齢者PRを強化する。←意外と皆知らない。+タクシーを使うことへの抵抗感→もったいない。
・だれでも使えるのが疑問。

いこまいCAR

・高齢者の「遠慮」家に自家用車があっても家族に頼みづらい。だから代替サービスが必要。
・高齢者にタクシーが楽だということをPR。
・PRの場所。老人クラブの総会、イベント、回覧板、9/7文化会館の作品展。
・扶桑町のイオンまではいけるように。制度を変えてほしい。
・目的収入制限を設けるべき。
・いこまいCARの負担額の軽減をしてほしい。(70歳以上くらいの人に限り)
・きめ細かいサービス。ドアtoドア。
・本当に必要な人には安く!!
・融通の利いた例外を許可すべき→病院、スーパー等。ただし近隣に限る。

バス

・利用者が限定される。
・名鉄バス(病院線)をいこまいCARに切り替えていく。

バス

・名鉄バスさんにもっとサービスを改善して利益を上げてもらいたい。
・コミュニティバス、たとえ作っても500mもバス停まで歩けない。
・循環バスは皆乗らないと思う。
⇒山尻方面の空白地に2~3台バスが走るとよい。自家用車を手放したときはどうする。
・主要施設を結ぶ公共交通機関は必要。駅→病院、すいとびあ。
・高齢者は免許返納すべきという風潮。

財政

・財政の良い市(新城市)公共交通の負担割合。長久手市が財政の割に大きく負担している。

財政

・今以上の税金は投入すべきでない。

交通空白

・交通空白地が山尻町にある。公共交通がほとんどカバーしているとの事だが84歳以下の病人がいる場合は?
・北部地区がカバーエリアに入っていないところがある。
・昭和33年はバスがあった。北部地区に。

若い人の意見

・参加者のほとんどが60歳以上である。若い人の気持ちは?
現在のクルマ社会から移行できるか?

助け合い

・きめ細かいフォロー、福祉政策で。
・共助の体制が必要。自家用車の乗り合い。法律上の問題が...

(C グループ) 現状報告に対する意見

バス

- ・公共交通のバスが無い。
- ・ほとんど使用していない。交通機関がないので。
- ・巡回バスを作ってほしい。
- ・交通空白地居住者も公共交通サービスが提供されているのは疑問。買物は扶桑方面が多い。

その他

- ・公共交通は大変充実していると思う。
- ・車だと駐車料金が高い。

いこまいCAR

- ・いこまいCARの制度を子育て世代にも周知させたほうがいいと思う。
- ・山尻町にはバス路線がなくいこまいCARを市内に限定のため利用できない。買物など扶桑町へ。
- ・いこまいCARでは扶桑町のイオンに行けない。
- ・いこまいCAR(予約便)が使いにくい。

自転車の利用

- ・シェアサイクルがあると便利と思われる。
- ・雨が降ると自転車に乗れない。
- ・自転車専用道路がない。

(C グループ) 今後どのような対応をすべきか

担い手

- ・ボランティアなどによる送迎。

エリアバス

- ・路線を決めないバス。エリアで。

シェアサイクル

- ・自転車の乗り捨ても可能になる場所を多くする。
シェアサイクル。

巡回バス

- ・巡回バスとかデマンドバスといった小回りのきく機関に変えていく。
- ・小さいバスで周辺部を回ってほしい。
- ・市の中心及び市外でも近くの駅や病院やスーパーへの交通を確保してほしい。
- ・大口町コミュニティバスが江南駅に乗り入れている。市内の北部は扶桑町とのつながりが強い。江南－扶桑間の巡回バスも考えて欲しい。厚生病院行き的小型バスも。→江南と扶桑町の提携。
- ・いこまいCARありきで進んでいくがますます財政の負担が大きくなっていく。
- ・民間委託で。
- ・小さいバスで細い道も行けるように。
- ・厚生病院へのバス巡回のお願い。大口町さくら病院はやっている。
- ・コースを考えるのは難しい。幹線沿いになる。
- ・5年10年先の交通機関を考えるといこまいCARオンリーではダメ。

16. 江南市地域公共交通会議設置要綱・委員名簿

○江南市地域公共交通会議設置要綱

(設置)

第1条 江南市地域公共交通会議（以下「交通会議」という。）は、道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため設置する。

(協議事項)

第2条 交通会議は、次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (2) 市町村運営有償輸送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 交通会議の運営方法その他交通会議が必要と認める事項

(交通会議の構成員)

第3条 交通会議の委員は20人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命するものとする。

- (1) 市長の指名する職員
- (2) 愛知県知事の指名する職員
- (3) 一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者（乗合バス事業者）
- (4) 一般乗用旅客自動車運送事業者の代表者（タクシー事業者）
- (5) 一般旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表者（愛知県タクシー協会及び愛知県バス協会）
- (6) 利用者の代表者（区長代表又は老人クラブ連合会代表）
- (7) 愛知運輸支局長の指名する職員
- (8) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手代表者
- (9) 道路管理者、愛知県警察、学識経験者
- (10) その他交通会議で必要と認める者

2 委員は、事故その他やむを得ない事由により、交通会議に出席できないときは、あらかじめ、その旨を会長に届け出て、代理人を出席させることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から2年とし、再任を妨げない。

2 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 交通会議に会長及び副会長をおき、会長は委員の互選によりこれを定め、副会長は委員のうちから会長が指名する。

2 会長は、交通会議を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 交通会議の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 交通会議は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決をすることができない。

3 交通会議の議決の方法は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところとする。

4 交通会議の会議は原則として公開とする。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、会長は、会議に諮って公開しないことができる。

(1) 江南市情報公開条例(平成15年条例第2号)第7条に規定する不開示情報が含まれる事項に関して調査又は審議するとき。

(2) 会議を公開することにより、当該会議の円滑かつ公正な運営に著しい支障が生じると認められるとき。

5 交通会議は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(傍聴)

第7条 交通会議を傍聴しようとする者は、会議が開始される15分前までに、江南市地域公共交通会議傍聴人受付簿(以下「傍聴人受付簿」という。)(様式第1)に住所、氏名及び年齢を記入しなければならない。

2 会長は、傍聴人が、会議の秩序を乱し、又は妨げとなるような行為をするとき、その他会議の円滑な進行を図るために議長が指示する事項に従わないときは、退場を命ずることができる。

3 会長は、傍聴希望者が多数であるときは、傍聴人の人数を制限することができる。制限する人数や調整方法については、会議室の状況を勘案し、会長がその都度決定するものとする。

(協議結果の取扱い)

第8条 交通会議において協議が調った事項について、関係者はその結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(庶務)

第9条 交通会議の庶務は、生活産業部市民サービス課において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、交通会議の運営に関して必要な事項は、会長が交通会議に諮り定める。

附 則

この要綱は、平成19年6月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この要綱の施行の日以後最初に委嘱される委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成29年6月26日までとする。

様式第1（第7条関係）

年 月 日

江南市地域公共交通会議傍聴人受付簿

整理番号 _____

氏 名	年 齢	住 所

○江南市地域公共交通会議 委員名簿

平成 29 年 3 月現在（敬称略・順不同）

区分	職 名	氏 名	備 考
会長	中部大学工学部教授	磯部 友彦	第 9 号（学識経験者）
副会長	(株)江南自動車学校校長	平野 富一	第 9 号（学識経験者）
委員	愛知県振興部 交通対策課主幹	桑原 良隆	第 2 号（愛知県職員）
〃	名鉄バス(株) 運輸部長兼運輸計画課長	近藤 博之	第 3 号（乗合旅客自動車運送事業者の代表者）
〃	愛北乗用自動車(有) 代表取締役	森 一浩	第 4 号（乗用旅客自動車運送事業者の代表者）
〃	公益社団法人愛知県バス協会 専務理事	古田 寛	第 5 号（旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表者）
〃	愛知県タクシー協会副会長 （名鉄西部交通西部(株)代表取締役社長）	河村 富貴	第 5 号（旅客自動車運送事業者の組織する団体の代表者）
〃	江南市老人クラブ連合会 会長	坪内 三	第 6 号（利用者の代表者）
〃	中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	古橋 靖弘	第 7 号（愛知運輸支局の職員）
〃	尾張北部タクシー(株)	長屋 涼	第 8 号（運転手の代表者）
〃	愛知県一宮建設事務所 維持管理課長	向原 宏	第 9 号（道路管理者）
〃	愛知県江南警察署 交通課長	山田 敏也	第 9 号（愛知県警察の職員）
〃	江南市社会福祉協議会 事務局長	脇田 和美	第 10 号（その他の交通会議が必要と認める者）
〃	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院事務部長	村瀬 徳行	第 10 号（その他の交通会議が必要と認める者）
〃	公募市民	倉橋 義一	第 10 号（その他の交通会議が必要と認める者）
〃	公募市民	原 朋子	第 10 号（その他の交通会議が必要と認める者）
〃	江南市副市長	佐藤 和弥	第 1 号（市職員）
〃	江南市生活産業部長	武田 篤司	第 1 号（市職員）
オブザーバー	名古屋鉄道株式会社 鉄道事業本部西部支配人	水野 泰	第 6 条第 5 項
オブザーバー	大口町 地域協働部長兼町民安全課長	鵜飼 嗣孝	第 6 条第 5 項

江南市地域公共交通基礎調査
基 礎 調 査 結 果
報 告 書

平成２９年３月

江南市
生活産業部市民サービス課